接続・設定ガイド

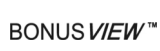
接続や初期設定は巻末からご覧ください。

SHARP®

取扱説明書

ブルーレイディスクレコーダー

形名 BD-W515（ビー ディー ダブル）

確認・基本
視聴
録画・予約録画
再生・消去・編集
ダビング・管理
ファミリンク
携帯電話・カメラ
ホームネットワーク
接続
基本設定
各種設定
困ったときは

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」（→ **8** ページ）を必ずお読みください。
- この取扱説明書および別冊のかんたんメニュー操作ガイドは、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。
- 製造番号は、品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記入されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

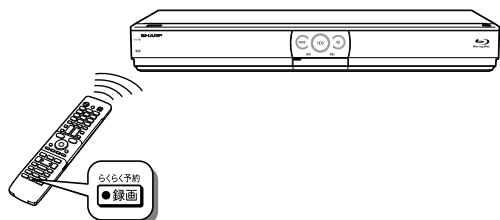
目的別早見もくじ

● ご使用の前に、「**安全にお使いいただくために**」（→ **8** ページ）を必ずお読みください。

ご自分で接続・設定を行う

・アンテナ線の接続やテレビとの接続

録画を行う

・録画したい番組を選局して、録画ボタンを押すだけで録画できます。

※ DVDディスクへの直接録画は行えません。

予約録画を行う

・デジタル放送は、電子番組表を使って予約できます。

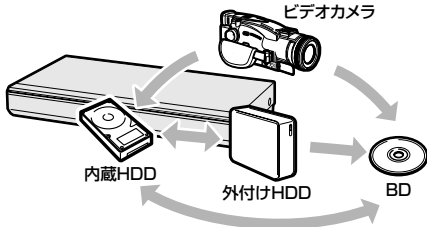
※ DVDディスクへの予約録画は行えません。

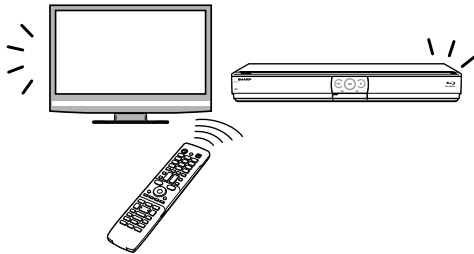
録画した番組などを再生する

・録画した番組の再生や市販のBDビデオやDVDビデオの再生ができます。再生中の便利機能も試してみましょう。

- 取扱説明書では、「ブルーレイディスクレコーダー BD-W515」を「本機」と表現しています。
- 取扱説明書では、本機に内蔵の HDD（ハードディスク）を「内蔵 HDD」と、外付けの HDD を「外付け HDD」と表現しています。
- 取扱説明書では、「ブルーレイディスク」を「BD」と表現しています。
- 取扱説明書に掲載しているイラストは、説明のため簡略化していますので、実際のものとは多少異なります。
- 取扱説明書の操作説明は、おもにリモコンを使って説明しています。

ダビングする

・内蔵HDDとBD（ブルーレイディスク）や外付けHDD、DVD、外部機器とダビングできます。

ファミリンクで便利に使う

・シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」と本機をHDMIケーブルを使って接続することにより、テレビと本機を連携させた操作が行えます。

携帯電話、デジタルスチルカメラとつなぐ

※ 外付けHDD／BDに写真をコピーすることはできません。

操作ができないときは

DVD/BDサポートステーションの「Q&A情報」もご覧ください。▶ http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/

もくじ

確認する

基本の使いかた

接続と設定（ご自分で接続するときはここからお読みください。）

本機を操作する

番組を見る

録画する

予約録画する

再生する

誤消去防止（保護）設定をする

録画した番組を消去する

編集する

ダビングする

ディスクを管理する

ファミリンクで便利に使う（シャープ製テレビとの連動）

デジタルスチルカメラ、携帯電話を使って楽しむ

ホームネットワーク（シャープ製 DLNA 対応テレビ・スカパー！プレミアムサービスチューナー）で楽しむ

各種設定する

困ったときは

安全にお使いいただくために

●「安全にお使いいただくために」はお使いになる前に必ず読み、正しく安全にご使用ください。
●この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

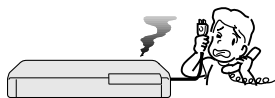
気をつける必要があることを表しています。

してはいけないことを表しています。

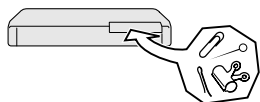
しなければならないことを表しています。

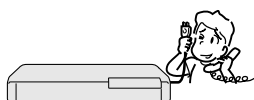
警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のときは電源プラグを抜く

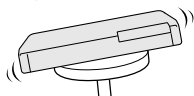
- 異常状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

内部に物や水などを入れない

- 本機の開口部（通風孔やディスクトレイ開閉口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

- 異物や水が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

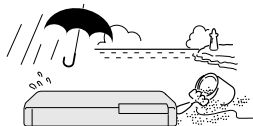
不安定な場所に置かない

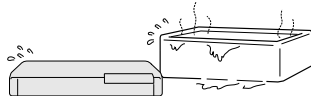
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁止

本機の上には花びん、水などの入った容器を置かない

- 水がこぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

水ぬれ禁止

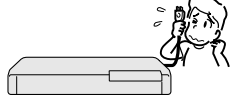
- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止

表示された電源電圧で使用する

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

100V 使用

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れない

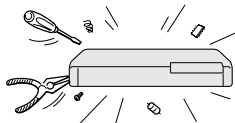
- 感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 警告

キャビネットは絶対に開けない

- 感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

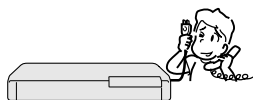
分解禁止

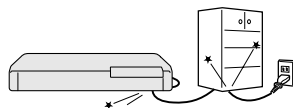
- 本機を分解したり改造したりしないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。またレーザー光が目に当たると視力障害を起こす原因となります。

分解禁止　禁止

電源コードを破損するようなことはしない

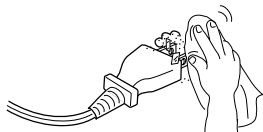
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

禁止

- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

交換を依頼する

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

禁止

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は乾いた布で取り除く

- そのままで使用すると火災・感電の原因となります。

ほこりを取る

湿気やほこりの多い場合、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス（H_2S、S_2O）が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

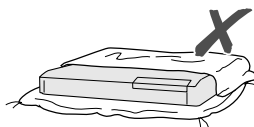
- 火災･感電の原因となることがあります。
- 大気中に含まれる硫化ガス（H_2S、S_2O）に長期間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意

本機の通風孔をふさがない

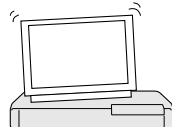
- 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  - 本機を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
  - テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置く。

禁止

  - あお向けや横倒し、逆さまにする。（動作姿勢水平）

重いものを置かない

- 本機に乗らないでください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

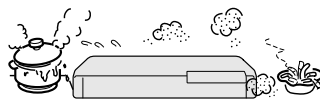
禁止

- 上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

- ディスクトレイの上にものを置かないでください。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

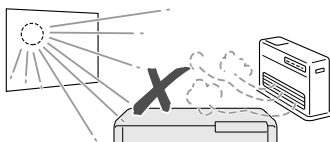
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

冷気が直接吹き付ける所や極端に寒い所には置かない

- つゆがつき、漏電、焼損、故障や事故の原因となることがあります。

注意

直射日光の当たる場所や温度の高い場所に置かない

- 内部の温度が上がり、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

⚠ 注意

電源コードを熱器具に近づけない

• コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

移動させるときは必ず接続コードを外す

• 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線や機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、行ってください。接続したまま持ち運ぶとコードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。またディスクは取り出しておいてください。

電源プラグを抜く

• 移動させるときは、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。けがや故障の原因となることがあります。

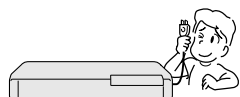
禁止

お手入れのときは電源プラグを抜く

• 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

テレビ、オーディオ機器などに接続するときは、本機の電源プラグをコンセントから抜く

• 電源を入れたまま接続すると、感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

• コードが傷つき、火災･感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

• 感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

• 差し込みが不完全なときは、発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。
• 金属の部分にふれると感電の原因となることがあります。

確実に差し込む

電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるときはコンセントに接続しない

• 発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

禁止

ディスクトレイ開閉口に手を入れない

• 小さなお子さまがディスクトレイ開閉口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。

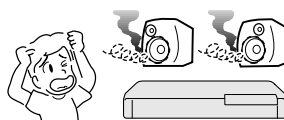
指のケガに注意

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

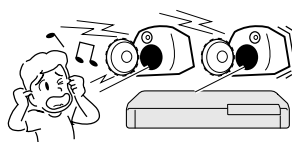
• 飛び散ってけがの原因となることがあります。

禁止

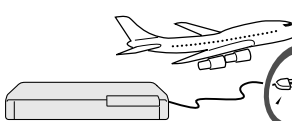
長時間、音が歪んだ状態で使わない

• スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源を入れる前にはテレビやアンプの音量を最小にする

• 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

音量を小さく

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

• 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

3年に一度くらいは本機内部の清掃を販売店に依頼する

• 本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については､販売店などにご相談ください。

注意

⚠ 注意

タコ足配線をしない
- 感電・火災の原因となることがあります。

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、電気工事店などにご相談ください
- 送配電線から離れたところに設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

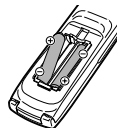
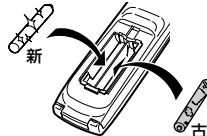
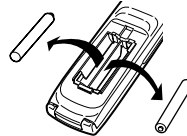
アンテナは強風の影響を受けやすいので、堅固に取り付け設置してください。

電池についての安全上のご注意
液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

電池は幼児の手の届く所に置かない
- 電池は飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

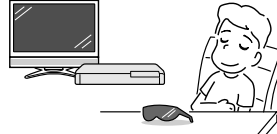
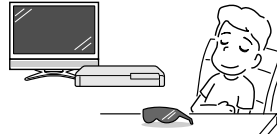
電池の液が漏れたときは素手でさわらない
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に障害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など障害の症状があるときは、医師に相談してください。

電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない。乾電池は充電しない
- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる
- 間違えると電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない
- 電池の破れつ・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す
- 電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ故障、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない
- 病状が悪化する原因となることがあります。

3D 映像の視聴年齢は、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする
- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め適度な休憩をとる
- 視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる
- 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

使用上のご注意

重要　必ずお読みください

■ **大切な録画の場合は** ………… 事前に試し録りをするなど、機器が正常に働くことを確認してから行ってください。大切な映像は BD（BD-RE/-R）や DVD（DVD-RW/-R）ディスクにダビング保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

■ **録画（録音）内容の補償はできません** ………… 万一何らかの原因で本機が故障し、データが消失した場合、または不具合により録画・録音されなかった場合の録画・録音内容の補償はできません。ご容赦ください。

■ **著作権について** ………………… 本機で録画・録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。私的目的で録画したものでも、著作権者等に無断で販売したり、インターネット上で公衆に送信したり、営利目的で放映すると著作権侵害となります。

■ **録画防止機能について** ……… 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画・録音することができません。

■ **保証について** …………………… 本機を分解しますと、保証が無効になります。

■ **再生の制限について** ………… 本機は、無許諾のディスク（海賊版など）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

免責事項

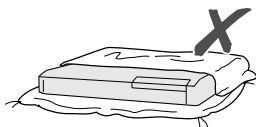
・お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用前に必ず接続・設定をしてください

・接続（→ **149**～**164** ページ）と準備（→ **165**～**166** ページ）が終わったら、必ず初期設定（→ **167**～**170** ページ）を行ってください。設定を行わないと、本機の操作が行えません。

設置時のお願い

本体後面のファンや通風孔をふさがないでください

・本体を設置する際は、本体後面のファンや通風孔をふさがないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。特にテレビ台や AV ラック等に収納して設置するときはご注意ください。
・毛足の長い敷物やベッド、ソファーの上などで使用したり本機を布などでくるんで使用しないでください。放熱を妨げ、故障の原因となります。

設置するときは水平に置いてください

・立てて置いたり、逆さまにする、不安定な場所や振動の多い場所などに設置したときは故障の原因となります。

本機の上には物を乗せないでください

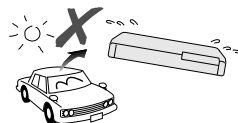
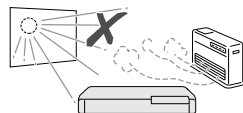
・本機の上に十分なスペースがとれる場所に、設置してください。
・本機の上やディスクトレイの上に、物を置かないでください。画面にノイズが出たり、キャビネットに傷がつく、キャビネットが変形するなど故障の原因となります。

ほこりや煙を避けてください

・ほこり・タバコの煙の多い場所には置かないでください。故障や事故の原因になります。

使用時のお願い

高温の場所で使用しないでください

・窓を閉めきった自動車の中など異常に温度が高くなる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、故障の原因となることがあります。本機およびディスクの周囲が高温状態にならないよう十分ご注意ください。

・発熱する機器の上には本機を置かないでください。
・直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

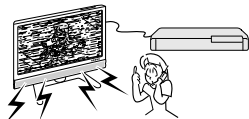
・静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画像の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

使用温度について

・室温が 5℃～ 35℃の状態でご使用ください。室温の温度変化は、1 時間あたりの温度変化を 10℃以内に保つことをおすすめします。
・湿度の高いところでは使用しない
・温度差の激しいところでは使用しない

磁気や電磁波妨害について

- 本機に磁石、電気時計、磁石を使用した機器やおもちゃなど磁気を持っているものを近づけないでください。
- 本機の近くで、携帯電話などの電子機器を使わないでください。

磁気の影響を受けたり、電磁波妨害などにより、再生時や録画時に映像が乱れたり、雑音が発生することがあります。また、画面の色が乱れたり、ゆれたり、大切な記録が損なわれたりすることがあります。

国外では使用できません

- 本機が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。

This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

長時間ご使用にならないときは

節電について

- 使い終わった後は電源を切り、節電に心掛けましょう。また旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。

長期間ご使用にならないとき

- 長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

つゆつき（結露）について

- 以下のような温度差の激しいところに設置すると、本機内部やピックアップレンズやディスクに「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。
  - ・暖房をつけた直後。
  - ・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
  - ・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

  寒冷地区でのご使用の場合は、特に**つゆつき（結露）**にご注意ください。

つゆがつくと

信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

つゆをとるには

ディスクを取り出して、電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

キャビネットについて

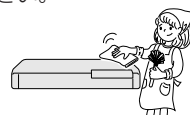
- 本機をご使用中、使用環境によっては本体（キャビネット）の温度が若干高くなりますが故障ではありません。安心してお使いください。
- 「ホーム」−「設定」−「視聴準備」−「アンテナ設定」の「BS・CS デジタル」にある「アンテナ電源設定」を「オート」または「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体やキャビネットが多少温かくなります。

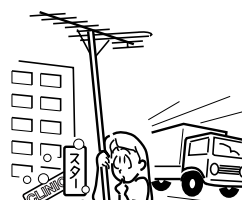
お手入れについて

キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

- 殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品・合成皮革などを長時間接触させたままにしないでください。塗料がはげるなどの原因となります。
- ステッカーやテープなどを貼らないでください。キャビネットの変色や傷の原因となることがあります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは柔らかい布（綿、ネル等）で軽くふき取ってください。化学ぞうきん（シートタイプのウェット、ドライのものを含む）を使用されますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

  強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
  万一アンテナが倒れた場合の感電事故などを防ぐためにも有効です。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりしないでください。映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- BS・CS アンテナ用のケーブルは、必ず専用品を使用してください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、電気工事店などにご相談ください。

本機の電源について

- 電源プラグをコンセントに差し込んだ直後や、停電からの復帰後は、電源を「入」にしても、システム調整のため数10秒～10分程度、動作しない場合があります。また、テレビ画面にディスク確認中を示す表示が出たときは、ディスクの状態の確認に10分以上かかる場合があります。
- 電源を入れると、冷却のため本体内部の冷却ファンが回転します。
- 電源を切っていても次のような場合は内部の電源が入っているため、本体内部の冷却ファンが回転します。電源を切った後、数分間は本体の電源が入った状態となります。
  - 地上デジタル放送の「番組表取得設定」(→**180**ページ)を「する」に設定したときは、電源「切」にしていても、番組表データが取得できていないときや番組表データ取得時刻になると、番組表データを取得するため約1時間本体内部の電源が入った状態となります。(受信できる放送局が多いほど、番組表データの取得に時間がかかります。)
  - 番組表データ取得中は、本体表示部に「PGUIDE」と表示されます。
  - 「クイック起動設定」(→**172**ページ)が「する(設定1)」または「する(設定2)」に設定されているときは、電源「切」の状態からすばやく起動できるようにするため、クイック起動待機状態となります。そのため、本体内部の冷却ファンが回転します。
  - 本機がB-CASカードの内容を確認しているときは、本体内部の電源が入った状態となります。

HDD（ハードディスク）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

取り扱い上のご注意

本機の設置場所や取り扱いに十分な配慮が不足しますと、次のような症状が発生します。

・HDD（ハードディスク）が故障する
・HDD（ハードディスク）に録画した内容が損なわれる
・動作が中断する
・ノイズが記録される

上記のようなことを避けるため、以下のことを守ってください。

次のような場所には置かないでください。

・本体後面の冷却用ファンや通風口をふさぐような狭いところ
・本体前面の扉が開けられないようなところ
・傾いたところ（水平に置いてください）
・振動の激しいところ（振動や衝撃は与えないでください）
・湿度の高いところ
・温度差の激しいところ
以下のような温度差の激しいところに設置すると、「つゆつき（結露）」が起こる場合があります。
・暖房をつけた直後。
・湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。
・冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。
本機の内部につゆつき（結露）が起こったままお使いになると、HDD（ハードディスク）に傷が付いて故障の原因になります。室内の温度変化は、毎時10℃以下に保つことをおすすめします。
つゆがつくと
信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。
つゆをとるには
電源を切り、つゆがなくなるまで放置してください。そのままご使用になると、故障の原因になります。

電源が入っているときは次の点にご注意ください。

・電源プラグをコンセントから抜かない
・本機を設置してある場所のブレーカーを落とさない
・本機を移動させない

本機を移動させるときは次の点にご注意ください。故障の原因になります。

・BD（ブルーレイディスク）やDVDディスクを取り出してください。
・「クイック起動設定」(→**172**ページ)と地上デジタル放送の「番組表取得設定」(→**180**ページ)をそれぞれ「しない」に設定し、電源を切った状態で（**本体の電源ランプが赤色点灯後、約2分程度待ってから**）、接続や電源プラグを抜いてください。
・振動や衝撃は与えないでください。

エラーメッセージが表示されたら

・「ハードディスクにエラーが発生しました。放送視聴のみ可能です。」などのエラーメッセージが表示されたときは、HDD（ハードディスク）が故障していることがあります。
HDD（ハードディスク）が故障した場合、ご自身でHDD（ハードディスク）を交換することはできません。
HDD（ハードディスク）が故障しても再生が可能であれば、録画内容をBD-RE/-RやDVD-RW/-Rディスクに保存してください。その上で、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談センター(→**233**ページ)にご連絡ください。
※ 本機をご自身で分解すると、保証が無効になります。
※ 録画した内容の修復はできません。
・エラーメッセージが表示されたとき、症状によってはHDD（ハードディスク）を「初期化」することで改善されることがあります。初期化のしかたについては**30**ページをご覧ください。
※ **初期化をすると、録画した内容は全て消去されます。大切な録画内容は、初期化をする前にBD-RE/-RやDVD-RW/-Rディスクに保存してから初期化をしてください。**

停電になったら

・録画中、または予約録画中に停電になると、録画中の内容が損なわれることがあります。
・再生中に停電になると、再生中の内容が損なわれることがあります。

アンテナ受信が弱いときは

・録画の際、アンテナが抜けたり、アンテナ受信が不良になった場合、録画を停止することがあります。その場合、録画リストには「アンテナ受信不良の可能性があります。」と表示されます。

大切な録画内容は

・パソコンと同様に、HDD（ハードディスク）は、壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。
録画（録音）内容の長期的な保管場所ではありません。大切な番組、残しておきたい映像は、BD-RE/-RやDVD-RW/-Rディスクにダビングして保存（バックアップ）しておくことをおすすめします。

本機ではHDD(ハードディスク)の容量の一部を、システム管理領域として使用しています。

HDD（ハードディスク）の故障による録画・録音内容の損失など万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は責任を負いません。あらかじめご了承ください。

登録商標

商標・登録商標など

- 本製品は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。リバースエンジニアリングまたは逆アセンブルは禁止されています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
- 米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブル D（ ）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- Manufactured under license under U.S. Patent Nos: 5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS-HD, the Symbol & DTS-HD and the Symbol together are registered trademarks &, DTS-HD Master Audio | Essential is a trademark of DTS, Inc. Product includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.
- Blu-ray Disc は商標です。
- "Blu-ray 3D™" および Blu-ray 3D™ は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- BDXL™ は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- BD LIVE™ は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- BONUSVIEW™は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- AVCHD Progressive および AVCHD ロゴは、パナソニック株式会社、ソニー株式会社の商標です。
- スカパー！および「スカパー！プレミアムサービス Link」ロゴは、スカパーＪＳＡＴ株式会社の商標です。
- マーク、 acTVila および「ａｃＴＶｉｌａ」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標です。
- HDMI と HDMI High - Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、米国およびその他国々において、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- Cinavia の通告
  この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
  Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。
  この製品は Verance Corporation（ベランス・コーポレーション）のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第 7,369,677 号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。Cinavia は Verance Corporation の商標です。
  Copyright 2004-2012 Verance Corporation.
  すべての権利は Verance が保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。

本機で使用しているソフトウェアのライセンス情報

ソフトウェア構成
本機に組み込まれているソフトウェアは、それぞれ当社または第三者の著作権が存在する、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成されています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア
本機のソフトウェアコンポーネントのうち、当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約およびその他の関連する法律によって保護されています。
また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアコンポーネントを使用しています。それらの一部には、GNU General Public License（以下、GPL）、GNU Lesser General Public License（以下、LGPL）またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアコンポーネントが含まれています。

ソースコードの入手方法
フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、そのコンポーネントのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。GPL および LGPL も、同様の条件を定めています。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびに GPL、LGPL およびその他のライセンス契約の確認方法については、以下の WEB サイトをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/source/download/index.html
（シャープ GPL 情報公開サイト）
なお、フリーソフトウェアのソースコードの内容に関するお問合わせはご遠慮ください。
また当社が所有権を持つソフトウェアコンポーネントについては、ソースコードの提供対象ではありません。

謝辞
本機には以下のフリーソフトウェアコンポーネントが組み込まれています。

- linux kernel
- uClibc
- OpenSSL
- modutils
- DirectFB
- zlib
- busybox
- bash
- freetype
- libjpeg
- libmpeg2
- libxml2
- libpng
- libsysfs
- mtd/jffs2
- ncurses
- Webkit
- cairo
- icu
- fltk
- curl
- giflib
- NanoXML (zlib/libpng licence)
- libav
- glib
- pango
- libsoup
- libiconv
- Fontconfig
- liboil
- swfdec
- Jpeg
- pixman
- org.apache.oro.text.regex (Apache licence v2.0)
- Droid Sans Japanese font (Apache licence v2.0)
- Droid Sans Fallback font (Apache licence v2.0)
- Droid Sans font (Apache licence v1.0)
- LibPThread, Libstdc++, Librt (GPL)

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務
本機に組み込まれているソフトウェアコンポーネントには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そうしたソフトウェアコンポーネントのライセンス表示を、以下に掲示します。

OpenSSL License

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

Original SSLeay License

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

BSD License

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
この製品にはカリフォルニア大学バークレイ校と、その寄与者によって開発されたソフトウェアが含まれています。

この製品では、シャープ株式会社が表示画面で見やすく、読みやすくなるように設計した LC フォント（複製禁止）が搭載されております。LC フォント、LCFONT、エルシーフォント及び LC ロゴマークはシャープ株式会社の登録商標です。なお、一部 LC フォントでないものも使用しています。

放送の種類について

地上デジタル放送
テレビ放送 データ放送

BS デジタル放送
テレビ放送 データ放送

110度CSデジタル放送
テレビ放送 データ放送

高画質・高音質な、デジタル方式の放送です。
ただし、録画やダビングに制限がある放送もあります。

デジタル放送の特徴

テレビ放送	従来のアナログ放送にくらべて、高画質・高音質なテレビ放送が楽しめます。
データ放送	静止画や文字によって、さまざまな情報を提供する放送です。
電子番組表(Gガイド)	デジタル放送から送られてくる番組表データを表示させて、選局や録画予約などができます。
HD／SD放送	デジタル放送にはハイビジョン放送（HD 放送）と、スタンダード放送（SD 放送…従来画質の放送）があります。
字 幕	映画などの番組では、字幕が放送されます。
双方向サービス	クイズ番組に参加したり、アンケートに答えたりすることができます。

衛星デジタル放送の専用サービス

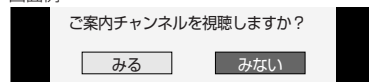
自動仮視聴サービスについて

- 有料で提供される BS デジタル放送または 110 度 CS デジタル放送をご覧になる場合は、受信契約が必要です。
  ただし､放送事業者（チャンネル）によっては B-CAS カードを使い始めてから一定の期間は視聴できる場合があります。（仮視聴期間といいます。）これは、契約促進を目的としたサービスです。
  お客様が別途に契約を行わない場合は、放送事業者の決めた仮視聴期間を過ぎますと、番組が視聴できなくなります。（録画もできません。）
- 有料放送を本機で視聴・録画するには、契約済みの B-CAS カードを本機に挿入しておく必要があります。
  （有料放送は、未契約の B-CAS カードでは視聴・録画が行えません。）（→ **165** ページ）

ご案内チャンネルの表示

- お客様が未契約の有料放送を選局したとき、「視聴するには契約登録が必要」である旨の案内表示と共に、契約をご案内する番組への切換えを促す画面が表示されることがあります。

画面例

ご案内チャンネルを視聴しますか？
みる　みない

デジタル放送のその他の特徴

臨時放送（臨時編成サービス）
- スポーツ中継などで、臨時に行うマルチチャンネル放送です。

イベントリレーサービス
- スポーツ中継の延長時などに、別チャンネルで続きを放送するサービスです。本機は BS デジタル放送を予約録画していた場合、延長された番組を自動的に追従します。（地上デジタル放送は、マルチチャンネル内でイベントリレー放送された場合のみ自動的に追従します。）

緊急警報放送
- 地震などの際の緊急警報放送です。

マルチビューサービス
- 一つの番組の中で、カメラアングルを変えて最大３つの映像が放送されるサービスです。視聴設定画面で切り換えます。

ブックマーク
- コンテンツ画面にブックマークが表示されているときは、その情報を登録しておき、後でブックマークを一覧表示、選択して、関連チャンネルを呼び出したりすることができます。

ボード（掲示板）
- プラットフォーム（スカパー！）単位でいろいろなサービス情報の案内がボード（掲示板）に表示されます。詳しくは **189** ページをご覧ください。

デジタル放送のコピー制御について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。
コピー制御信号の種類やデジタル放送を録画できるディスクについては、**45**、**203** ～ **208** ページをご覧ください。

■コピー制御信号について

デジタル放送で視聴・録画できる番組には、コピー制御信号が含まれています。

録画可能	：	制限なしに録画・ダビングが可能です
録画禁止	：	録画できません（視聴のみ）
１回だけ録画可能	：	録画できますが、HDD（ハードディスク）からBD（ブルーレイディスク）またはDVD、携帯電話などへダビングするとHDDのデータが消えます（ムーブ）
ダビング 10※1	：	録画できます。HDDからBDまたはDVD、携帯電話などに９回までコピーできます。10回目はコピーではなく、移動（ムーブ）となり、HDDからはデータが消えます

※１ 外部チューナーを経由してHDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組は、「ダビング 10」の番組であっても「1 回だけ録画可能」の番組となります。そのため、BDまたはDVDにダビングすると、HDD（ハードディスク）のデータが消去され、移動（ムーブ）となります。

■ B-CAS カードについて

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差しする

- 必要以外に抜き差しすると故障の原因となることがあります。
- B-CAS カードの中にはIC（集積回路）が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れないようご注意ください。
- 本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」とならないよう、方向に注意して確実に差し込んでください。
- デジタル放送の画質は常に一定で劣化することはありません。これは、デジタル方式で録画やダビングする場合も同じです。このため、放送局は数字データを暗号に置き換え、録画やダビングできる回数に制限をかけて送信しています。この暗号は本機では解読できないようになっていて、B-CAS カードが暗号を解く鍵の役割をしています。

B-CAS(ビーキャス)カード

- デジタル放送を見るには、B-CAS カードを本機に差し込んでおく必要があります。
  ※有料放送は、視聴契約しないと視聴できません。

■「ダビング 10」について

- ダビング 10 とは、従来「１回だけ録画可能」であったデジタル放送番組を、レコーダー自身に内蔵しているチューナーで受信して内蔵ハードディスクに録画したものに限り、BD（ブルーレイディスク）またはDVDディスクなどへ９回までコピーができ、10回目は移動（ムーブ）となるコピー回数を緩和した機能です。
- デジタル放送番組のすべてがダビング 10 になるわけではありません。
- テレビなど、他の機器より、映像・音声コードを用いて入力した場合は、「ダビング 10」の番組であっても「1 回だけ録画可能」の番組として録画されます。
- ダビング 10 のデジタル放送番組は、CPRM または AACS などのコンテンツ保護技術に対応した録画機器および録画用DVD、BD を使用したときに録画が行えます。本機は CPRM および AACS コンテンツ保護技術を採用しています。

※ CPRM (Content Protection for Recordable Media) とは、デジタル放送番組に対するコンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組を録画・再生する場合は、機器および DVD ディスクがこの技術に対応していることが必要です。
※ AACS (Advanced Access Content System) とは、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組を BD ディスクに録画・再生する場合は、機器および BD ディスクがこの技術に対応していることが必要です。

■用語の解説

• コピー	：	オリジナルの映像を残したまま複製が可能なことです。
• 移動（ムーブ）	：	ハードディスクに録画した番組の保存場所を変える（移動する）ことです。（移動後は、ハードディスクに録画されていた番組は自動的に消去されます。）
• １回だけ録画可能	：	放送番組から１回だけ録画できることで、コピー（複製）はできません。（ダビングすると移動（ムーブ）となります。）

各部のなまえとおもな機能

※本書内のイラストは、説明用のもので、実際のものとは多少異なります。

本体前面

HDDランプ（→ 31、34、51 ページ）
- 内蔵 HDD モードに切換時▶白点灯
- 内蔵 HDD 再生中▶青点灯
- 内蔵 HDD へ録画中▶オレンジ点灯
- 内蔵 HDD へダビング中▶オレンジ点灯

+HDD ランプ（→ 31、34、51 ページ）
- 外付け HDD モードに切換時▶白点灯
- 外付け HDD 再生中▶青点灯
- 外付け HDD へ録画中▶オレンジ点灯
- 外付け HDD へダビング中▶オレンジ点灯

電源ボタン(→ 34ページ)
- 電源ボタンを 5 秒以上押しつづけるとエコモードが「入」になります。

本体表示部
(→ 20ページ)

BD/DVD ランプ（→ 31、34、51 ページ）
- BD/DVD モードに切換時▶白点灯
- BD/DVD ディスク再生中▶青点灯
- BD ディスクへ録画中▶オレンジ点灯
- BD/DVD ディスクへダビング中▶オレンジ点灯

電源ランプ(→ 33、34ページ)
- 電源切のときはランプが赤点灯、電源入のときは緑点灯します。

リモコン受光部
(→ 23 ページ)

録画 1ランプ(赤)（→ 51、54ページ）
-「録画 1」での録画中に点灯します。

録画 2ランプ(赤)（→ 51、54ページ）
-「録画 2」での録画中に点灯します。

本体前面（扉内）

データ送受信端子
(→ 112、127、135、201 ページ)
- デジタルスチルカメラや携帯電話、AVCHD 方式のデジタルビデオカメラなどと USB ケーブルで接続します。
- シャープホームページ内のサポートステーションから更新用ソフトウェアをパソコンにダウンロードし、USB メモリーに書き込んでソフトウェアの更新を行うことができます。

トレイ開／閉ボタン（→ 28 ページ）

扉の開けかた
扉端に指をかけて、手前に引いて開けます。

ディスクトレイ
(→28ページ)

B-CAS（ビーキャス）カード（付属品）
(→ 33、165 ページ)

B-CAS（ビーキャス）カードスロット
(→ 33、165 ページ)

リセットボタン（→ 211 ページ）
- 操作を受け付けなくなったときは、先の細いもので押します。システムがリセットされます。
- シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。

確認・基本
視聴
録画・予約録画
再生・消去・編集
ダビング・管理
ファミリンク
携帯電話・カメラ
ホームネットワーク
接続
基本設定
各種設定
困ったときは

本体表示部の動作表示例

選局時（停止時）

地上デジタル放送選局中

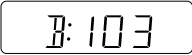
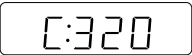
D:052

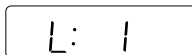
例：地上デジタル放送 52 チャンネル選局時

BS デジタル放送選局中

B: 103

110 度 CS デジタル放送選局中

C:320

外部入力選択中（L1）

L: 1

ソフトウェア更新（ダウンロード）中

「DL」表示

DL

・ソフトウェアの更新データや放送局の周波数変更などのデータを取得中に表示されます。

再生時

カウンター表示

0 1:23:45

チャプター表示

C00 12

CD 再生時トラック表示

T 03

エコモード「入」時

ECO

時計表示について

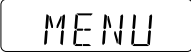
時計表示

AM 8:27

・時計が設定されていないときは「- -:- -:- -」表示となります。

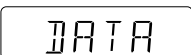
メニュー画面の操作時

「MENU」表示

MENU

・画面操作を行うホーム画面、番組表、録画リスト、視聴設定画面などを表示しているときに表示されます。

放送局との通信中

「DATA」表示

DATA

番組表のデータ取得中

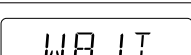
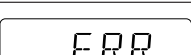
電子番組表データ取得中表示

PGUIDE

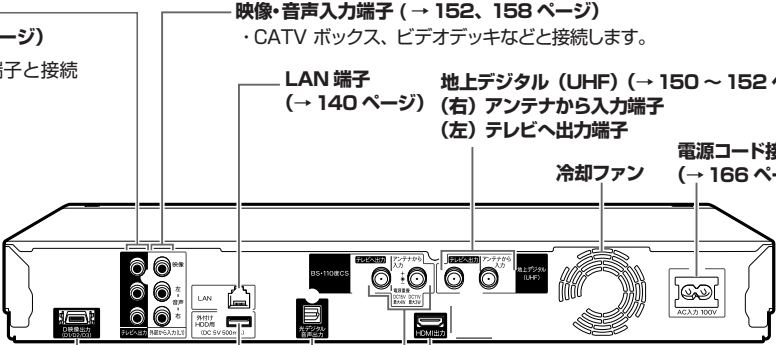
準備中（コンセント差込後）

WAIT

エラー表示について

ERR

・エラー表示については**224**ページをご覧ください。

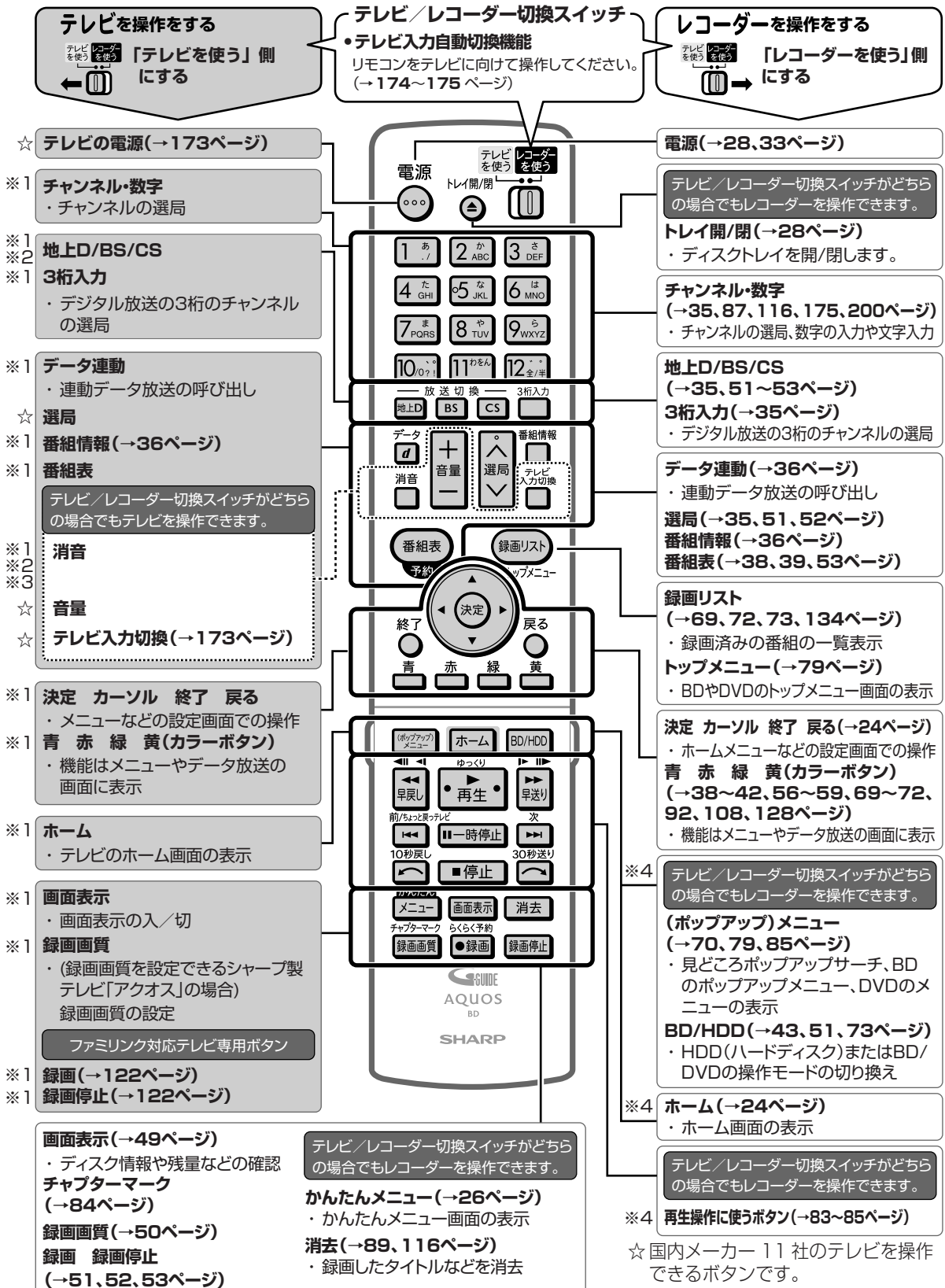
本体後面

・接続について詳しくは ▶**149** ～ **164** ページ

リモコン

本機のリモコンは、本機と国内メーカー 11 社のテレビを操作することができます。

工場出荷時は、シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」が操作できます。それ以外のテレビを操作するときは、「テレビメーカー指定」（→ **173** ページ）を行ってください。

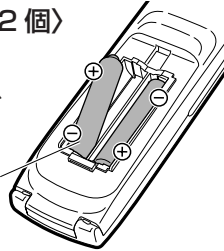
☆ 国内メーカー 11 社のテレビを操作できるボタンです。

次ページへつづく

※１　シャープ製デジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」（テレビメーカー指定「シャープ C1 ／シャープ C2」）で操作できるボタンです。
※２　テレビメーカー指定をパナソニック 1、東芝、ソニーに設定したときに操作できるボタンです。
※３　テレビメーカー指定をシャープ A に設定したときに操作できるボタンです。
※４　暗いところでも見やすい蓄光ラバーを採用しています。（蓄光ラバーの発光の強さは、時間の経過とともに低減します。）
※５　ポータル画面は光テレビで切り換えられる画面です。本機では、ポータル画面は切り換えられません。

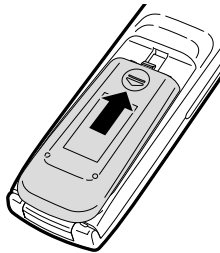
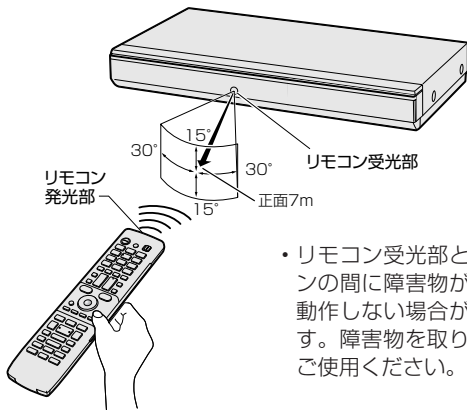
電池の入れかたと操作範囲

①裏ぶたを開ける

②付属の乾電池〈単 3 形× 2 個〉を入れる

・収納部の⊕の向きに注意し、表示どおりに正しく入れてください。

・新しい乾電池に交換する際は、アルカリ乾電池をご使用ください。

③裏ぶたを閉める

・カチッと音がするまで確実に閉めてください。

リモコンの操作範囲

・リモコン受光部とリモコンの間に障害物があると動作しない場合があります。障害物を取り除いてご使用ください。

⚠注意 乾電池使用上のご注意

乾電池は誤った使いかたをすると、液もれや破れつを起こすことがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおりに正しく入れてください。
- 乾電池はショートさせたり、充電したり、分解したりしないでください。
- 乾電池は種類によって特性が異なります。
  種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- 乾電池が使えなくなったら…
  液がもれて故障の原因となるおそれもありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 不要となった乾電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（条例）に従って処理してください。

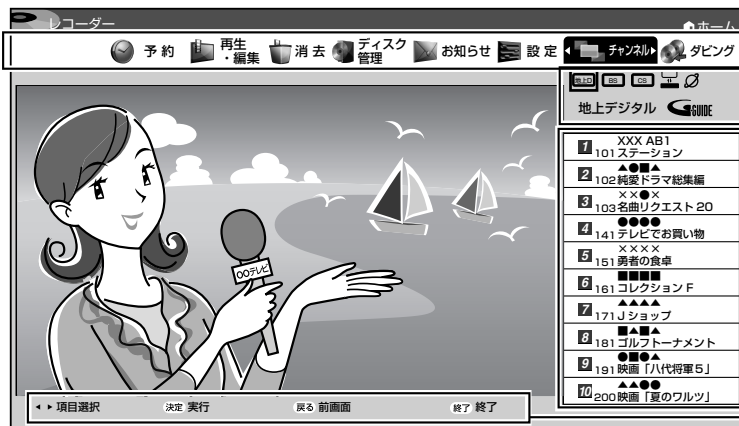
重 要

- リモコンには衝撃を与えないでください。
- リモコンのふたに強い力を加えないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- リモコンを、水に濡らしたり湿度の高いところに置いたりしないでください。
- 乾電池を入れ換えたとき、リモコンが正しく動作しないことがあります。このようなときは、乾電池をいったんリモコンから取り外し、5 分以上たってから入れ直してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっていると、リモコンが正しく動作しないことがあります。照明または本体の向きにご注意ください。
- **付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがあります。**早めに新しい乾電池と交換してください。
  （寿命は通常 6 カ月〜 1 年が目安です。）
- 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出してください。
- 長時間（約 1 日）電池のない状態が続いたときは、「リモコン番号」(→ **176**ページ)や「テレビメーカー指定」(→ **173** ページ)がリセットされますので、設定し直してください。
- リモコンの「テレビ自動入力切換」は、電池がなくなるとリセットされますので、設定し直してください。
  (→ **174** ページ)

ホーム画面の使いかた

ホーム画面のあらまし

ホームとは、本機の操作や設定を行うことができるメニュー画面です。

ホーム画面表示例

ホームメニュー項目

機能選択メニュー
- ●ホームメニュー項目により変わります。機能選択メニューのない項目もあります。

機能別選択・設定項目
- ●機能選択メニュー項目により変わります。

操作ガイド
- ●ガイド表示はリモコンで操作するときのボタンと操作のしかたをお知らせします。
- ●画面によっては、このほかに「青」や「赤」などのカラーボタンで選べる機能が表示されます。

・［文字サイズ］（ふた内）で、文字の大きさを変えることができます。

ホーム画面表示時の操作方法

お知らせ
- ホーム画面を表示後約 1 分間何も操作をしないと、画面は自動的に消えます。
- ホーム画面が表示されない場合は、「故障かな？と思ったら」（→**222** ページ）をお読みください。

1 ホーム画面を表示させます

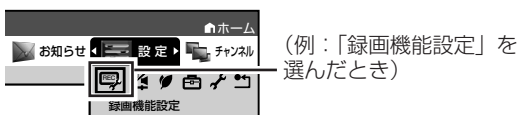
［ホーム］を押す

2 「ホームメニュー項目」を選んで決定します

で選び（決定）を押す

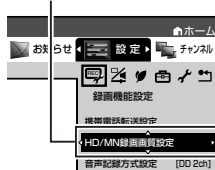
（例：「設定」を選んだとき）

3 「機能選択メニュー」を選んで決定します

で選び（決定）を押す

（例：「録画機能設定」を選んだとき）

4 「機能別選択・設定項目」を選んで決定します

で選び（決定）を押す

（例：「HD/MN 録画画質設定」を選んだとき）

- ホームメニューで別の項目を選択したいときは（戻る）を押します。

5 設定します

- 設定方法は項目により異なります。操作ガイドに従って設定してください。

ヒント
- （戻る）を押すと、前に戻ります。

6 設定を終了します

（終了）を押す

ホームメニュー項目一覧

ホームメニュー項目	機能選択メニュー	機能別選択・設定項目	ページ
再生・編集 「録画リスト」で録画済みの番組（「放送番組」、「動画アルバム」、「写真アルバム」または「BD/DVD」）を一覧表示します。録画した番組を選んで 再生できます。録画リストから「機能メニュー」で編集なども行えます。	—	HDD（放送番組） HDD（動画アルバム） HDD（写真アルバム） BD/DVD 外付け HDD※	69 ～ 98、 128 ～ 134
予約 録画予約の設定や、予約内容の確認ができます。	予約設定 地上デジタル BS デジタル CS デジタル 外部入力	予約リスト 自動録画設定 番組表予約 日時検索 キーワード／ジャンル検索 日時指定予約	64 56 53 40 40 58
ダビング 録画ダビング元とダビング先を指定してダビングを行います。	—	HDD BD/DVD デジタルカメラ（USB 接続） DVD（AVCHD 記録） 外付け HDD※	107、113 109 112、127 111 109
チャンネル 録画（視聴）したい放送、チャンネルを選局したり、外部入力、インターネット（アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube）に切り換えられます。	地上デジタル BS デジタル CS デジタル 外部入力 インターネット	各チャンネル（放送局） 外部入力（L1） アクトビラ TSUTAYA TV YouTube	35 35 141 141 142
設定 放送視聴や録画、その他本機を使うための各種設定ができます。	録画機能設定 映像・音声調整 安心・省エネ 機能切換 視聴準備 初期化・更新	各項目は各種設定ページをご覧ください。	190 192 194 194 196 197
お知らせ 放送局から送られてくるメッセージや、B-CAS カードに関する情報などが見られます。	—	受信メッセージ一覧 ボード 受信機レポート B-CAS カード番号表示	188 189 189 189
ディスク管理 録画済みのBD･DVD ディスクの保護やDVD のファイナライズ、BD･DVD ディスクの初期化ができます。	—	ディスク保護 ファイナライズ ディスク初期化	88 119 32
消去 録画した番組の中から 選んで消去したり、録画した番組を すべて消去することができます。	タイトル選択消去 タイトル全消去	HDD：放送番組 HDD：動画アルバム BD/DVD 外付け HDD※	89 90

※ 外付け HDD が接続されていて使用可能な場合のみ表示されます。

お知らせ

- 「機能別選択・設定項目」は「機能選択メニュー」により表示される内容が変わります。
- ホームメニューの表示内容は変更される場合があります。

かんたんメニューの使いかた

かんたんメニューとは

本機の再生や録音など基本的な操作を画面を見ながら操作することができます。

かんたんメニュー画面表示例

お知らせ

- 再生中、ダビング中、番組表表示中、ホーム画面表示中、録画リスト表示中は、かんたんメニューが表示されません。
  - ☞ 再生を停止するには ■停止 を押してください。
  - ☞ ダビングを停止するには ■停止 を2回押してください。
  - ☞ 番組表やホーム画面表示中は、終了 を押し、画面を終了してから、かんたんメニュー画面を表示させます。

かんたんメニュー画面表示時の操作方法

1 かんたんメニュー画面を表示させます

かんたん メニュー を押す

2 操作したいメニュー項目を選んで決定します

（メニュー表示）

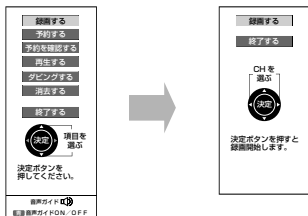
3 さらに項目を選んで決定します

で選び 決定 を押す

- 「終了する」を選んで終了します。
- 別の項目を選択したいときは 戻る を押します。前の画面に戻ります。

録画する HDDのみ

1 番組を選んで決定します

（メニュー表示）

- 番組終了まで自動的に録画します。
- 録画を止めるときは、録画停止 を 2 回押します。

予約する HDDのみ

1 番組表から予約する CH と時間帯を選びます

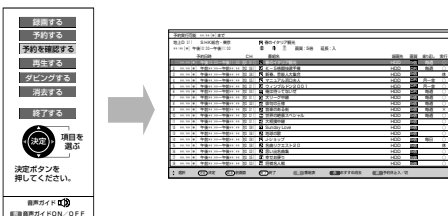
2 予約内容を選んで決定します

（メニュー表示）

- かんたんメニューでは、延長予約は自動的に「入」となります。
- 予約が完了すると放送画面になります。

予約を確認する

1 予約リストから確認する予約を選んで決定します

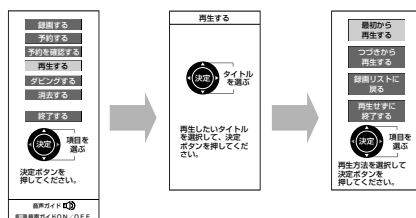
（メニュー表示）

- 変更したい予約を選択すると、「予約取り消し / 変更」画面が表示されます。
- 終了するときは、終了 を押します。

再生する

1 再生するメディアを選んで決定します

2 録画リストから再生する番組を選んで決定します

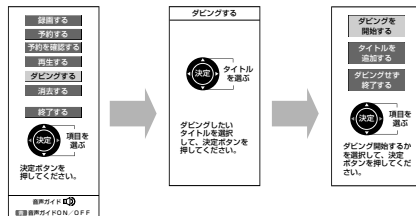
3 再生方法を選んで決定します

（メニュー表示）

- 再生を止めるときは、■停止 を押します。

ダビングする BDのみ

1 録画リストからダビングするタイトルを選んで決定します

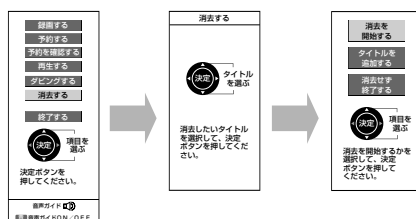
2 ダビング方法を選んで決定します

（メニュー表示）

- ダビングを途中で止めるときは、■停止 を 2 回押します。

消去する HDDのみ

1 録画リストから消去するタイトルを選んで決定します

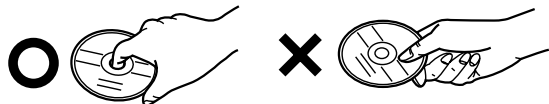
2 消去方法を選んで決定します。

（メニュー表示）

- 消去が完了すると放送画面に戻ります。

ディスクの入れかた・出しかた

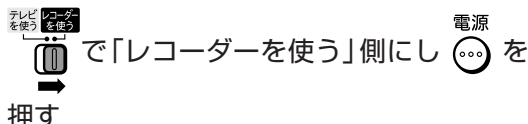
BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクの入れかたと取り出しかたです。

ディスクの持ちかた

- 光っている面に手を触れないように持ってください。指紋などがつくと、ダビングや再生ができなくなる場合があります。

- ディスクに紙やラベル、シールなどを貼らないでください。

ディスクの入れかた

1 本機の電源を入れます

テレビを使う/レコーダーを使う で「レコーダーを使う」側にし 電源 を押す

2 ディスクトレイを開けます

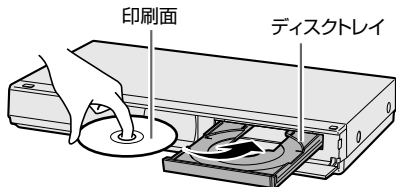
トレイ開/閉 または本体のトレイ開／閉ボタンを押す

⇒ ディスクトレイが開きます。

- トレイが開くまでに時間がかかる場合があります。

ヒント

- 電源が切れているときにトレイ開／閉ボタンを押した場合、電源が入り、ディスクトレイが開きます。

3 ディスクトレイにディスクを置きます

- 印刷面を上にして置きます。
- 両面記録のディスクは、ダビングまたは再生したい面を下にして置きます。

4 ディスクトレイを閉めます

トレイ開/閉 または本体のトレイ開／閉ボタンを押す

⇒ ディスクトレイが閉まります。

- ディスクの読み込みを行いますので、しばらくお待ちください。
- 新品の BD-RE/-R、DVD-RW/-R ディスクを挿入したときは、録画するための準備「初期化」が自動で始まります。

ヒント

- 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。
- BD ビデオや DVD ビデオ、音楽用 CD など再生専用ディスクを挿入したときは、自動的に再生が始まります。

ディスクの出しかた

お知らせ

- ダビング中は、ディスクトレイが開きません。停止させてから操作してください。

1 ディスクトレイを開けます

トレイ開/閉 または本体のトレイ開／閉ボタンを押す

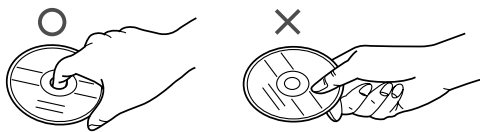
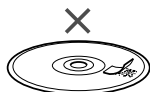
⇒ ディスクを取り出す

お知らせ

- 本機にディスクを入れる前に、「本機で使えるディスクについて」（→ **204** ページ）をご覧ください。
- 新品の BD-RE/-R ディスクを挿入したときは、自動的に初期化が始まります。
  詳しくは「ディスクを初期化する」(→ **30** ページ) をご覧ください。
- DVD ディスクにダビングする前に、録画フォーマットや初期化についてご確認ください。(→ **30、32、191、203、205、206** ページ)
- 新品の DVD-RW ディスクを挿入したときは、自動的に VR フォーマットで初期化が始まります。初期化が完了したら、録画可能になります。DVD-R ディスクを VR フォーマットで初期化したあとは、ビデオフォーマットで初期化し直すことはできません。
- ディスクトレイにセットできるディスクは 1 枚です。2 枚以上セットすると、故障の原因となります。

ディスク（BD・DVD・CD）の取り扱いに関するご注意とお知らせ

ディスク（BD・DVD·CD）の取り扱いはていねいに

- 記録面（再生面）には手を触れないでください。

- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスク（BD・DVD·CD）のお手入れについて

- ディスクについた指紋や汚れを落とすときは、柔らかい布でディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取るようにしてください。汚れがあるとディスクの再生時に音飛びしたり、画像が乱れる場合があります。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布でからぶきしてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れるときは

- ディスクの記録面に、傷や汚れが無いかお確かめください。
- ディスク読み取り部にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。ディスク読み取り部にたまったゴミやほこりが原因の場合、推奨のレンズクリーナーを使用することで症状が改善される場合があります。
  ただし改善効果は必ずあるというわけではありません。レンズクリーナーを使用しても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売店またはシャープお客様相談センター（→ **233** ページ）にご相談ください。

推奨レンズクリーナーについては、シャープホームページの DVD/BD サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）「ディスクの取り扱いなどについて」からご覧いただけます。

※ 推奨以外のレンズクリーナーは、故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

ディスク（BD・DVD·CD）の保管のしかた

- ディスクのケースに入れ、立てて保管してください。

- 直射日光の当たるところや熱器具などのそば、湿気の多いところは避けて保管してください。

- 落としたり、強い振動やショックを与えないでください。

- ほこりの多いところやカビの発生しやすいところは避けてください。

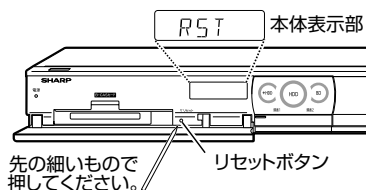
ディスクが取り出せないときは

- ディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは次のことを確認してください。
  – 本機が動作中の場合は、動作を停止できるか確認する。（録画中、予約録画中、ダビング中は動作が終了するまで待つ）
  – 本機の動作が停止している場合は、電源が切れるか確認する。
  上記を確認のうえトレイ開／閉ボタンを押しディスクが取り出せるか確認してください。

▼

- それでもディスクトレイが開かず、ディスクが取り出せないときは、次の操作を行ってください。

1 本体前面の扉を開き、先の細いものでリセットボタンを押します

ご注意

- シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。
- 録画中、予約録画中、ダビング中に、リセットボタンを押したときは、電源が切れ動作が停止します。

2 電源が切れ、電源ランプが赤点灯するまでお待ちください

3 電源が切れた状態でトレイ開／閉ボタンを押します

- 電源が入りディスクトレイが開きますので、ディスクを取り出します。

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

ディスクを初期化する

- 新品（未初期化）の BD（ブルーレイディスク）に録画（ダビング）するときや、DVD ディスクにダビングするときは、ディスクの初期化が必要です。
- 新品（未初期化）の BD-RE/-R や DVD-RW を挿入したときは、自動的に初期化が始まります。
- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- 使用済みの BD-RE や DVD-RW ディスクを未使用の状態に戻したい場合は、**32** ページの手順で初期化をします。

ご注意

- 初期化をすると、「タイトル保護設定」（→ **88** ページ）されたものも含めてそれまでに記録された番組がすべて消去されます。内容をよくご確認のうえ、初期化してください。
- 他社のレコーダーで録画した BD-RE を挿入したときも、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。「初期化する」を選ぶとディスクの内容が全て消去されます。消去したくない場合は、「ディスク取り出し」を選んで決定してください。
- 「ディスク保護」されたディスクは初期化できません。（ディスク保護設定を解除してから初期化してください。）（→ **88** ページ）
- DVD-RW Ver.1.0 ディスクはビデオフォーマットおよび写真用フォーマットでの初期化はできません。
- BD-R/DVD-R は記録後の初期化はできません。
- デジタル放送を DVD にダビングするには、「VR フォーマット」で初期化した CPRM 対応の DVD デスクが必要です。

お知らせ

- ダビングした DVD ディスクを VR フォーマットに対応していない機器で再生したい場合は、ダビングをする前に DVD-RW/-R を「ビデオフォーマット」で初期化することをおすすめします。
  ただし、ダビング（録画）制限のあるデジタル放送は、「ビデオフォーマット」で初期化した DVD ディスクにはダビングできません。
- 工場出荷時設定では、新品の DVD-RW ディスクを挿入すると自動的に「VR フォーマット」で初期化されます。新品の DVD-RW をビデオフォーマットで初期化、あるいは新品の DVD-R を VR フォーマットで使いたい場合にのみ初期化操作を行ってください。

DVD ディスクの録画フォーマットについて

フォーマット	特長
VRフォーマット	・デジタル放送を記録できる（CPRM 対応の場合）
ビデオフォーマット	・市販のDVDプレーヤー などで再生できる
写真用フォーマット	・デジタルスチルカメラから内蔵HDD(ハードディスク)に取り込んだ写真をコピーするためのフォーマットです。

- 写真をコピーした DVD ディスクをパソコンで確認するときはファイナライズ処理が必要です。（→ **119** ページ）

新しいBDの初期化について

- 新品（未初期化）の BD-RE/-R でもディスクによっては、「初期化する」「ディスク取り出し」と表示されることがあります。このときは「初期化する」を選び決定してください。
- あらかじめ初期化されているディスクは、初期化の必要はありません。

新しいDVD ディスクの初期化について

ディスクの種類	新品のディスクへの初期化（フォーマット）
DVD-RW CPRM 対応 DVD-RW	**VR フォーマットで使いたい** → 自動的にVRフォーマットで初期化されます。（工場出荷時）（→**32**、**191**ページ） **ビデオフォーマットで使いたい** → 初期化が必要です。（DVDビデオフォーマット）（→**32**、**191**ページ） **内蔵HDD（ハードディスク）に取り込んだ写真を保存したい** → 初期化が必要です。（写真用フォーマット）（→**32**ページ）
DVD-R CPRM 対応 DVD-R	**VRフォーマットで使いたい** → CPRM対応の場合は、「初期化する」で決定すると、VRフォーマットで初期化されます。 → CPRM非対応の場合は、初期化が必要です。（DVD VRフォーマット）（→**32**ページ） **ビデオフォーマットで使いたい** → 初期化の必要はありません。そのままお使いいただけます。

内蔵 HDD の初期化について

- お買い上げ時、ハードディスクは初期化された状態ですので初期化の必要はありません。

こんなときに初期化をします

- ハードディスク内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
- 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
- ハードディスク内のタイトル（録画した番組）をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。

ご注意

- 初期化するとすべてのタイトルが消去されます。消去されたタイトルは復元できません。大切なタイトルは、BD または DVD ディスクにダビングしてから初期化を行ってください。

初期化のしかたは

- 「ホーム」－「設定」－「初期化･更新」－「ハードディスク初期化」で初期化の操作をします。（→ **198** ページ）

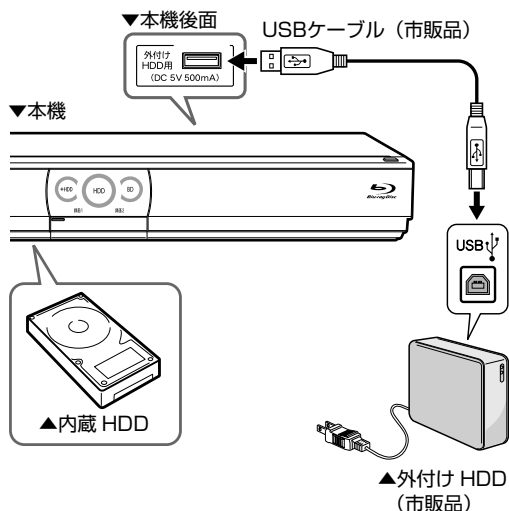
- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

外付け HDD について

本機で使用できる外付け HDD について

本機は内蔵の HDD（ハードディスク）以外にも市販の外付け HDD を接続して録画容量を増やすことができます。

重 要

- **外付け HDD（ハードディスク）を本機に接続するときは、必ず本機の電源が切れた状態で行ってください。接続した後は、「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」－「外付け HDD 設定」の「登録」を行ってください。（→ 32 ページ）**
- **外付け HDD（ハードディスク）を取り外す場合は、必ず外付け HDD の取り外しの作業を行ってください。外付け HDD の取り外しについては、32 ページをご覧ください。**

ご注意

- 本機に接続できる外付け HDD（ハードディスク）は、セルフパワータイプの HDD です。バスパワータイプの HDD には対応していません。誤って接続した場合は、故障の原因となります。
- 本機に接続できる外付け HDD（ハードディスク）は、1 台だけです。USB ハブなどを使用して、複数の外付け HDD を同時に接続した場合、本機は外付け HDD を認識できません。

お知らせ

- 動作確認済みの外付け HDD（ハードディスク）の機種については、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/usb_hdd.html）でご確認ください。

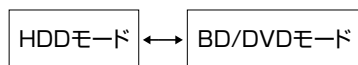
●増設できる HDD

項目	外付け HDD
本機に登録できる台数	8 台
同時に録画できる番組数	1

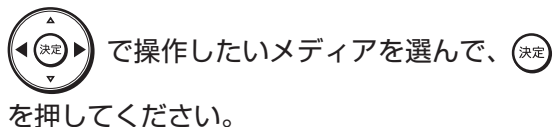
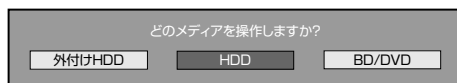
モードの切り換え

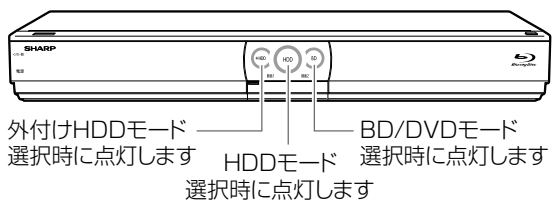
電源を入れた時点では HDD モードです。BD/HDD を押すごとにモードが切り換わりますが、本機に HDD を増設している場合は切り換わり方が異なります。

●HDD を増設していない場合

BD/HDD を押すごとに次のようにモードが切り換わります。

●外付け HDD を増設している場合

BD/HDD を押すと、次の画面が表示されます。

 で操作したいメディアを選んで、 を押してください。

画面例

「外付け HDD」: 外付け HDD モードになります。
「BD/DVD」: BD/DVD モードになります。

確認・基本 視聴 録画・予約録画 再生・消去・編集 ダビング・管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ ホームネットワーク 接続 基本設定 各種設定 困ったときは

BD（ブルーレイディスク）、DVD ディスクの初期化

基本操作

1 テレビと本機の準備をします

▶33 ページ

2 ディスクを挿入します

▶28 ページ

3 ホームメニューを表示させます

ホーム を押す

4 「ディスク管理」－「ディスク初期化」を選んで決定します

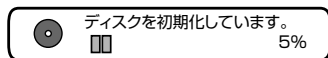
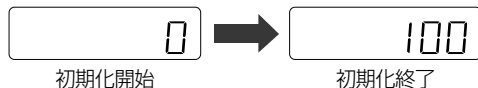
- ホームメニューの操作について詳しくは**24**ページをご覧ください。

5 ①初期化の種類を選んで決定します
②「する」を選んで決定します

6 「はい」を選んで決定します

- 初期化が始まります。

本体表示部

初期化開始　　初期化終了

外付け HDD の設定をする

重 要

- 外付け HDD（ハードディスク）の登録を行うと、外付け HDD が初期化されます。
- 外付け HDD（ハードディスク）を取り外す場合は、必ず外付け HDD の取り外しの作業を行ってください。取り外し操作をせずに取り外した場合はタイトルが消失することがあります。
- 登録を解除した外付け HDD（ハードディスク）は、本機からの録画、再生の操作ができなくなります。
- 登録を解除した外付け HDD（ハードディスク）は、再度登録をすれば使用できます。ただし、再登録時に HDD が初期化され、すべてのタイトルが消去されます。

お知らせ

- 外付け HDD（ハードディスク）の登録解除は、本機に外付け HDD が接続されていない状態でも行うことができます。

ご注意

- 初期化するとすべてのタイトルが消去されます。消去されたタイトルは復元できません。大切なタイトルは、HDD または BD にダビング（ムーブ）してから初期化を行ってください。

基本操作

で選択、決定 で決定

1 ホームメニューを表示させます

ホーム を押す

2 「設定」－「初期化・更新」－「外付け HDD 設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 実行したい項目を選んで決定します。

項目	説明
登録	外付け HDD の登録を行います。
名称変更	本機に登録した外付け HDD の登録名称を変更できます。最大で全角 8 文字、半角 16 文字の登録名称が入力できます。（「文字を入力する」→ **116** ページ）
取り外し	別の外付け HDD を登録する場合に、現在接続している外付け HDD を取り外します。
登録解除	本機に登録されている外付け HDD の登録解除を行います。
初期化	外付け HDD の初期化を行います。

4 終了 を押して設定を終了します

テレビと本機の準備をする

テレビで本機を楽しむための準備をします。

準備 B-CAS（ビーキャス）カードを差し込みます（→ **165** ページ）

1 テレビのリモコンでテレビの電源を入れます

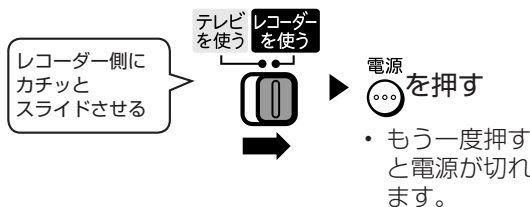
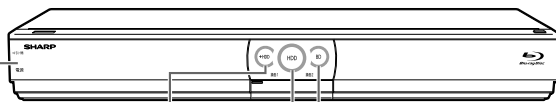
・ テレビの主電源が切れているときは、主電源を入れてください。

■本機のリモコンでテレビを操作するときは

・ 本機のリモコンは国内 11 社のテレビが操作できます。
・ 工場出荷時はシャープ製デジタルチューナー内蔵の液晶テレビ「アクオス」が操作できます。それ以外のテレビを本機のリモコンで操作したいときは、あらかじめ「テレビメーカー指定」(→**173**ページ)を行ってください。

ご注意

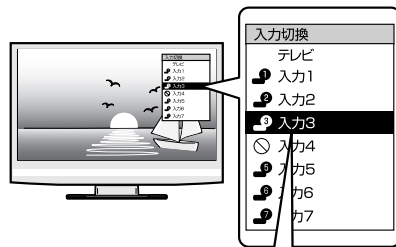
・ リモコン操作をすると他のシャープ製 BD・DVD 機器も動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（→ **176** ページ）

2 本機の電源を入れます

電源 を押す

・ もう一度押すと電源が切れます。

電源が入ると…

・ 電源を入れると、本体の +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまで 1 分～2 分お待ちください。（ディスクが挿入されているときには、さらに時間がかかる場合があります。）

3 テレビのリモコンで、テレビの入力を本機を接続した入力（「入力 3」など）に切り換えます

例：本機をテレビの外部入力 3 に接続したとき

・ シャープ製のファミリンク対応テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、本機の製品名が表示されます。製品名が表示されている外部入力を選びます。

⇒ 本機の映像がテレビに映れば準備完了です。
・ 接続後、初めて電源を入れたときは「初期設定」画面になります。
・ 初期設定を行ってください。（→ **167** ページ）

本機の映像が映っているか確認したいときは

リモコンの 録画リスト（トップメニュー）を押します（→ 69 ページ）

⇒ 録画リストが表示されます。

終了 を押すと録画リストが消えます。

●録画リストが表示されないときは

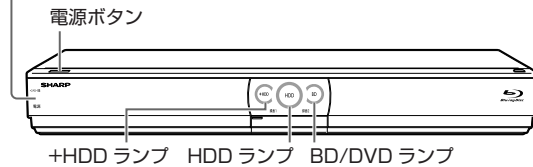
・ 手順 **3** を繰り返し操作し、録画リストが表示される入力を選びます。

●手順 3 を繰り返し操作しても、録画リストが表示されないときは

・ 本機の電源が入っているか確認します。
・ HDMI ケーブルなど映像ケーブルが確実に接続されているか（抜けかかっていないか）確認します。

お知らせ

・ 初めて電源を入れたときは、録画リストの番組はありません。

本体ボタンで本機の電源を入／切するとき

■ 本体の電源ボタンを押して電源を入れる

- 電源ランプが赤から緑点灯になります。
- 電源を入れると、本体の +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプが点滅します。点滅中は操作のための準備を行っていますので、点滅が終了するまでお待ちください。

■ 本体の電源ボタンを押して電源を切る

- 電源ランプが緑から赤点灯になります。
- 電源を切った直後は、再度電源ボタンを押しても電源が入らない場合があります。そのようなときは少し待ってから再度電源を入れてください。

お知らせ

- 電源を切ったときに電子番組表データが取得できていないときは、電子番組表データを取得するため本体表示部に「PGUIDE」と表示され、本体内部の電源が入った状態となります。電子番組表を取得後は、電源が自動で切れます。
- シャープ製ファミリンク対応テレビと HDMI ケーブルで接続しているとき、「ファミリンク設定」の「連動設定」(→ **194** ページ)が「する」に設定されていると、テレビの電源を切ると自動的に本機の電源も切れます。

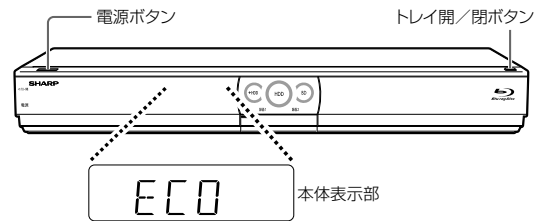
エコモードを動作させる

電源「切」のときに、待機電力を抑えるエコモードに設定する方法です。就寝時など本機を長時間使用しないときに、テレビの主電源を切るような感覚でお使いいただくことをおすすめします。

お知らせ

- テレビで放送を視聴中にエコモードを入／切すると、テレビ画面に一瞬ノイズが入りますが、エコモードを切り換えているためで故障ではありません。
- エコモード中は待機時の消費電力を抑えることができますが、ファミリンクによる本機の操作ができなくなりますのでご注意ください。クイック起動(→ **172** ページ)も働きません。
- エコモード中は、電源ボタン、トレイ開／閉ボタン以外のボタンは働きません。
- エコモード中は、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は働きません。エコモード「入」状態での予約録画は本機で行ってください。
- 本機を経由してテレビへアンテナ接続をしている場合、エコモード中はテレビの映りが悪くなることがあります。この場合、アンテナ分配器を使って本機とテレビの両方にアンテナを接続することをおすすめします。
- エコモード中でも、以下の機能は働きます。
  - 予約録画(テレビに、予約録画中は「予約録画中です。」、ダビング予約中は「ダビング予約中です。」と表示されます。)
  - デジタル放送のダウンロード
  - 電子番組表のデータ取得
- エコモードになった直後など、電源ボタンを押しても本機の電源が入らない場合があります。このような場合は、しばらく待ってから、電源ボタンを押して電源を入れてください。

エコモードを「入」にする

本体の電源ボタンを 5 秒以上押しつづけます

⇒**エコモードについてのメッセージが約 20 秒間テレビ画面に表示された後、本機の電源が切れてエコモードになります。**

ヒント

- 本機での予約録画やダビング中にエコモードを「入」にしたときは、その動作終了後にエコモードが「入」となります。
- ファミリンクによるワンタッチ録画中にエコモードを「入」にしたときは、録画を停止するとエコモードが「入」となります。
- エコモードにすると、電源ランプを除く、本体の表示・ランプが消えます。

エコモードを「切」にする

本体またはリモコンの電源ボタンを押します

- トレイ開／閉ボタンを押したときは電源が入り、トレイが開きます。(エコモードは「切」となります。)

チャンネルを選ぶ

本機のチューナーでテレビ番組を選びます。

重 要

- WOWOW や、スターチャンネルは有料放送、110 度 CS デジタル放送は有料放送サービスです。
  BS デジタル放送でも WOWOW やスターチャンネル以外の有料放送があります。
  110 度 CS デジタル放送で運用されているスカパー！は「有料放送サービス」です。事業者との受信契約が必要です。
- 放送局との契約については、**165** ページをご覧ください。
- CS 放送を選局したとき、テレビ画面が暗く放送が映らない場合があります。「現在放送されていません。番組表などで放送時間を確認してください。」のメッセージが表示される場合もあります。この場合は手順**3** で［選局］を押し、放送のあるチャンネルを選局してください。

ご注意

- 2 番組録画中は、録画中の番組のみの選局操作となります。
- 放送番組によっては、上下または上下左右に黒い帯が付いて見える場合があります。（放送局の送信方式によるもので、本機の故障ではありません。）

お知らせ

- 視聴年齢制限を設定（→ **196** ページ）しているとき、設定した年齢制限に該当する番組を選局したときは、年齢制限を解除するためのパスワード入力画面が表示されます。パスワードは本機に設定されているパスワードです。

基本操作

レコーダー側に

1 放送を選びます

［地上D］［BS］［CS］を選ぶ

2 データ放送を選ぶ場合

［テレビ/ラジオ/データ/ポータル］（ふた内） を押すたびに

テレビ放送 →（ラジオ放送）→ データ放送

ヒント

- デジタル放送を 3 桁入力で選ぶ場合はこの操作は必要ありません。

3 選局します

［選局］ または ［1］～［12］ を押す

ケーブルテレビや外部チューナーなど外部機器の映像を見るときは（入力切換）

［入力切換］（ふた内） を押す

- 押すたびに、次のように切り換わります。

  外部入力（L1）←→ 放送（現在のチャンネル）

- 本機で外部機器の映像を録画するときは、外部入力に切り換えます。

デジタル放送のチャンネルを入力するには（3 桁入力）

選局時に

［3桁入力］ を押す→ チャンネルボタン（［1］～［9］、［10］）で「3 桁入力」

- 番号を間違えたときは、もう一度 ［3桁入力］ を押してから、チャンネル番号を入力し直してください。

地上デジタル放送の「4 桁目（枝番選択）」について

- チャンネル番号が重複している放送局がある場合は、3 桁目を入力すると、4 桁目を入力する画面が表示されます。チャンネルボタンで 4 桁目の番号を入力して選局してください。（枝番選択）

メモ

- データ放送の画面操作方法は、各放送局によって異なります。
- 選局ボタンで選ぶ場合、スキップ設定（→ **181** ページ）したチャンネルは飛び越します。
- リモコンの数字ボタンに登録されているチャンネルの確認や変更については、**181**、**183** ページをご覧ください。

メッセージが表示されて放送が受信できないときは

> 現在放送されていません。【E203】
> 番組表などで放送時間を確認してください。
> ［決定］で受信状態一覧へ

- メッセージ表示中に［決定］を押すと受信状態一覧画面が表示されます。
- 受信状態を診断し、結果を表示します。表示された内容にしたがって確認してください。
- ［終了］で終了します。

番組を見ながら使えるボタン

番組情報や連動データ放送を見たり、音声、字幕、映像を切り換えます。

ご注意

マルチビューサービス放送などを HDD（ハードディスク）または BD（ブルーレイディスク）に録画して再生する場合は

- 主映像以外の映像を再生した場合、データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

お知らせ

- 電源を入れた直後やチャンネル切換えをした直後は、データ d を押しても連動データ放送画面が表示されないことがあります。この場合は、テレビ放送受信後しばらく（約 20 秒）待ってから操作してください。（表示されるまでの時間は、放送内容によって異なります。）
- 連動データ放送を終了させるには再度 データ d を押します。
- 連動データ放送に切り換えたとき、確認音が出ない場合があります。
  - 本機から出力される音声が、ビットストリーム音声のとき。
  - 本機の「デジタル音声出力設定」-「光デジタル音声出力」を「ビットストリーム」に設定しているとき。

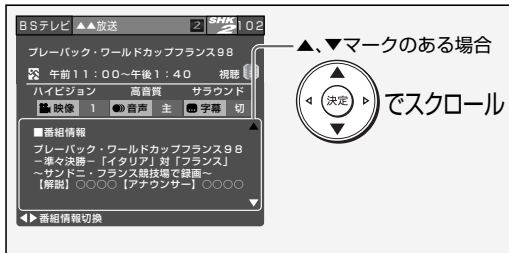
基本操作

レコーダー側に

番組情報・連動データ放送を見るには

1 視聴中に番組情報を表示させます

番組情報 を押す

- もう一度押すと番組情報が消えます。

2 連動データ放送を表示させます

データ d を押す

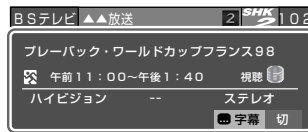
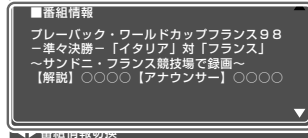
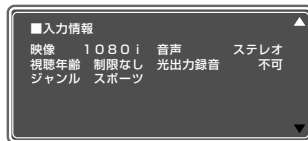
- 画面の指示に従って操作できます。

メモ

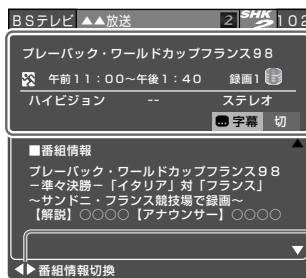
- 連動データ放送の録画について詳しくは **191** ページをご覧ください。

再生時の番組情報について

- HDD（ハードディスク）に「DR」、「2 倍」〜「12 倍」、「HD ○○」で録画した番組を再生したときも、番組情報 を押すと録画した番組の番組情報を表示して確認することができます。
  ※ HDD（ハードディスク）に「DR」、「2 倍」〜「12 倍」、「HD ○○」以外の録画画質で録画したタイトル（録画した番組）や、LAN 接続で記録されたスカパー！プレミアムサービスのタイトル（記録された番組）、DVD ディスクに記録されたタイトル（記録された番組）の場合、番組情報画面は表示されません。

番組情報画面

録画時の番組情報について

- 「録画 1」、「録画 2」で番組を録画中の場合は、決定 を押すと録画中の番組の番組情報へ切り換えることができます。

番組情報画面

主音声・副音声を切り換えるには

■ 番組情報に「◉音声」表示がある場合

音声（ふた内）を押す

- 音声は 視聴設定（ふた内）を押して、視聴設定画面からも切り換えられます。（→ **87** ページ）
- ボタンを押すたびに音声が切り換わります。
- マルチ音声（ステレオ二重音声）番組は、録画画質を「7 倍」「10 倍」「12 倍」にした場合､「ホーム」－「設定」－「録画機能設定」－「長時間モード設定」の「マルチ音声設定」で設定した音声のみ記録されます。

● **二重音声番組のとき**

・主 → 副 → 主／副 → 主

● **デジタル放送のマルチ音声（ステレオ二重音声）番組のとき**

・音声 1 →音声 2 →音声 1

※番組により音声の数は異なります

- モノラル放送やステレオ放送の音声は切り換わりません。
- 放送やディスクの種類により、表示される内容が異なります。

お知らせ

音声切り換えについて

- マルチ音声（ステレオ二重音声）番組を受信したときは、前回の選択に関わらず「音声 1」が選択されます。
- 二重音声番組を受信したときは、前回選択されていた音声が選択されます。
- 本機から出力される音声がビットストリーム音声の場合、モノラル二重音声放送の音声切換はテレビ側で行ってください。
- 二重音声やマルチ音声（ステレオ二重音声）のときの言語表記は、放送からの情報による表示であり、必ずしも表記どおりでないことがあります。
- 二重音声放送を録画する場合については、**191** ページをご覧ください。

字幕を切り換えるには

■ 番組情報に「字幕」表示がある場合

字幕（ふた内）を押す

- 字幕は 視聴設定（ふた内）を押して、視聴設定画面からも切り換えられます。（→ **87** ページ）
- ボタンを押すたびに字幕が切り換わります。

お知らせ

字幕を消したいときは

- 視聴設定で「切」を選んでください。
- 「字幕表示設定」(→ **195**ページ)が「する」に設定されているときは、字幕は消せません。「しない」に設定してください。

主映像と副映像を切り換えるには

■ 番組情報に「映像」表示がある場合

映像（ふた内）を押す

- 映像は 視聴設定（ふた内）を押して、視聴設定画面からも切り換えられます。（→ **87** ページ）
- ボタンを押すたびに映像が切り換わります。

裏番組を確認するには

1 **視聴中に裏番組一覧を表示させます**

裏番組（ふた内）を押す

- 番組を ◎ で選んで 決定 を押すと、チャンネルを切り換えることができます。

ヒント

- リモコンの 文字サイズ（ふた内）で表示文字の大きさを変えることができます。

デジタル放送を電子番組表（Gガイド）で選ぶ

電子番組表（Gガイド）でデジタル放送の番組を番組表から選ぶことができます。

電子番組表（Gガイド）の表示について

• 番組表が表示されない、空欄になるときは、**39** ページを確認してください。

■ 予約リストと番組表を並べて表示

番組表の設定について

電子番組表（Gガイド）の表示設定などは、以下のように設定します。

● ジャンル色設定

- 番組表の色をジャンルごとに、お好みの色に設定することができます。
- 「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「番組表設定」－「ジャンル色設定」で設定を変更することができます。（→ **194** ページ）

● サブチャンネル設定

- デジタル放送は 1 つの放送局で 2 つ以上の番組が放送される場合があります。2 つ目や 3 つ目の番組をサブチャンネルといいます。サブチャンネルを表示するか設定できます。
- 「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「番組表設定」－「サブチャンネル設定」で設定を変更することができます。（→ **194** ページ）

● 文字サイズ切換

- 番組表内の文字を拡大し、見やすくすることができます。
- リモコンの 文字サイズ（ふた内）で文字の大きさを変えることができます。

お知らせ

- 電子番組表（Gガイド）が表示されない場合については「故障かな？と思ったら」（→ **214** ページ）をお読みください。

ご注意

- 各放送局が随時最新のデータを送信しています。
- 地上デジタル放送は、電源を切っていれば決められた時間(→**180**ページ)に番組表データを自動で取得します。
- 電源を入れてすぐに電子番組表（Gガイド）を表示させたときや、本機が番組予約の情報を取得する動作をしているときは、電子番組表（Gガイド）は表示されません。（空白となります。）

電子番組表（Gガイド）が表示されないチャンネルがあるとき

- 番組表データが受信できていない、またはリセットされることから番組表が表示されない場合があります。その場合は次の操作を行ってください。

Ⓐ番組表が表示されない

Ⓑ番組表が一部表示されない

Ⓐ メッセージが出て番組表欄が空欄となっているときは

⇒メッセージのある番組表の欄を

- 「番組データ取得中」のメッセージに切り換わり、番組表を更新します。更新には2分程度時間がかかります。

Ⓑ 番組表の一部が空欄となっているときは

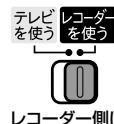
⇒空欄となっているチャンネルを選局し放送画面のまま2分程度待ちます。

- 番組表データを受信し番組表を更新します。

ヒント

- 番組表データが受信できていない状態で電源を切ったときは、番組表データを自動受信します。
- 番組表データ受信中は本体内部の電源が入った状態となり、本体表示部に「PGU IDE」が表示されます。

番組を選ぶには

基本操作

で選択、決定 で決定

1 デジタル放送を選びます

地上D BS CS を選ぶ

2 電子番組表（Gガイド）を表示させます

を押す

3 番組を選びます

- 次の時間帯を表示させたいときは、次 ▶▶| を押す。
- 前の時間帯を表示させたいときは、前/ちょっと戻ってテレビ |◀◀ を押す

● 放送中の番組を選んだときは

らくらく予約 ●録画 を押す⇒録画されます

決定 を押す⇒選局されます

● 未放送の番組を選んだときは

- 予約録画の設定をします。予約録画の方法は 2 種類あります。（→ **53** ページ）

らくらく予約 ●録画 を押す⇒自動で予約内容が設定されます

決定 を押す⇒手動で予約内容の設定をします

- 番組表を消すには、終了 または 番組表予約 を押す

お知らせ

- BS デジタル放送の番組表に表示される地上デジタル放送の番組表は、難視対策のために衛星から再送信されている放送の番組表です。一般の方はご利用できません。そのため、予約を設定しても放送は録画されません。番組表に表示する場合は「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「チャンネル設定」の「地デジ難視対策放送」で「しない」に設定してください。詳しくは **183** ページをご覧ください。

番組の情報を見るには

1 番組情報を表示させます

青（番組情報）を押す

番組情報が表示されます。

2 番組情報を見たい番組を選びます

- 番組情報が 2 ページ以上あるときは、黄（次ページ）や 緑（前ページ）を押してページを切り換えられます。
- 番組表に戻したいときは青を押してください。

ヒント

- 番組情報の文字をコピーしてキーワードとして使用することができます。キーワードを使用すると、番組表や録画リストの番組を検索したり、自動予約録画の設定をすることができます。(→**41** ページ)
- リモコンの 文字サイズ（ふた内）で表示文字の大きさを変えることができます。

番組表を表示する日時を選ぶ

1 日時移動画面を表示させます

緑 を押す

2 ①日付を選びます

黄 を押して選ぶ

- 黄を押すたびに日付が進みます。
- 日付を戻したいときは緑を押します。

②表示する時間帯とチャンネルを選んで 決定 を押します

② 時間帯とチャンネルを選びます。
① 日付が変わります。

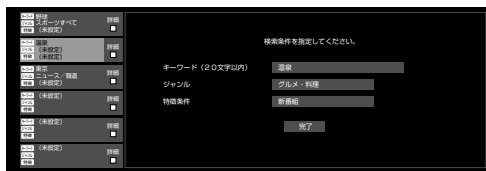
条件を指定して番組をさがす（キーワード／ジャンル検索）

- よく見る放送番組のキーワードやジャンルを 6 番組まで登録できます。「映画」や「ドラマ」などを設定しておくと番組の検索に便利な機能です。
- 「お好みの番組名」、「人名」などをキーワードとして設定できます。番組表の番組情報からキーワードに該当する番組を検索する機能です。
- 設定したキーワードやジャンルに該当する番組を自動録画することもできます。(→ **56** ページ)
- ご自分でキーワードを入力する方法と、番組情報の文字をコピーしてキーワードにする方法があります。

1 検索方法選択画面を表示させます

赤（番組検索）を押す

2 「キーワード／ジャンル検索」を選んで決定します

3 検索条件が「(未設定)」の欄を選んで決定します

● **検索条件を変更するときは**

(1) 変更したい検索条件を選んで 緑（検索条件変更）を押します。(→手順 **4** へ)
- 検索条件を選んだ状態で 青（自動録画設定）を押すと、自動録画設定画面が表示され、その検索条件に対する自動録画を設定することができます。(→**56** ページ手順 **4** へ)

● **人名などさらに詳細な検索をしたいときは**

(1) 詳細検索したい検索条件を選んで ▶ を押し、「□詳細」を選びます。

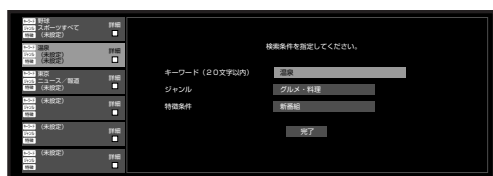
(2) 決定 を押します。
- 検索された番組が表示されます。
- 検索には多少（10 秒程度）の時間がかかります。

(3) 決定 を押します。
- カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。(→**41** ページ手順 **6** へ)

● **検索条件を削除するときは**

(1) 削除したい検索条件を選んで 黄（検索条件削除）を押します。

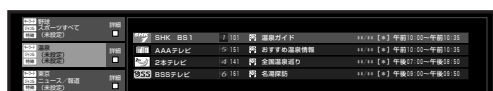
(2) 「する」を選び、決定 を押します。

4 設定／変更したい検索条件を選んで決定します

項目	説明
キーワード（２０文字以内）	ソフトウェアキーボードからキーワードを入力します。ソフトウェアキーボードの使いかたは **116** ページをご覧ください。
ジャンル	①「メインジャンル」を（決定）で選んで（決定）を押します。 ②「サブジャンル」を（決定）で選んで（決定）を押します。
特徴条件	「特徴条件」を（決定）で選んで（決定）を押します。

5 設定内容を確認して検索を開始します

(1)「完了」を選び（決定）を押します。

・検索された番組が表示されます。

(2)（決定）を押します。

・カーソルが番組に移動し、番組を選べるようになります。

・番組情報を見たい場合は、番組を選らんで（番組情報）を押します。

6 番組を選びます

● **放送中の番組を選んだときは**

（らくらく予約 ●録画）を押す⇒録画されます

（決定）を押す⇒選局されます

● **未放送の番組を選んだときは**

・予約録画の設定をします。予約録画の方法は 2 種類あります。（→ **53** ページ）

（らくらく予約 ●録画）を押す⇒自動で予約内容が設定されます

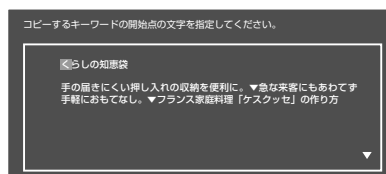
（決定）を押す⇒手動で予約内容の設定をします

・（終了）で検索を終了します。

番組情報からキーワードをコピーする

1 電子番組表（Gガイド）で番組を選びます

2 キーワードコピー画面を表示させます

（青）（番組情報）で選び、（■停止）（キーワードコピー）を押す

3 キーワードをコピーします

開始点と終了点を決めます

・キーワードが設定されます。すでに設定済みのキーワードと同じものをコピーした場合、同じキーワードが設定されます。
・コピーできるのは 20 文字までです。

4「番組表のキーワード検索を行う」を選んで決定します

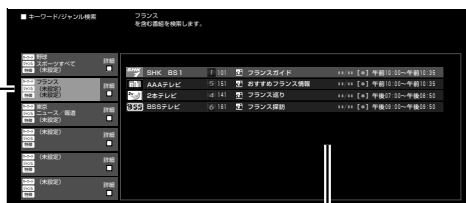
・「自動録画の設定を行う」を選んで決定すると、コピーしたキーワードにより自動録画を設定することができます。（→ **57** ページ「自動録画の条件を設定する」の手順 **5** へ）
・「録画リストのキーワード検索を行う」を選んで決定すると、録画リストを検索します。（→ **77** ページ）
・「本体に一時的に記憶させる」を選んで決定すると、キーワードを文字入力時の予測変換候補に登録できます。

お知らせ

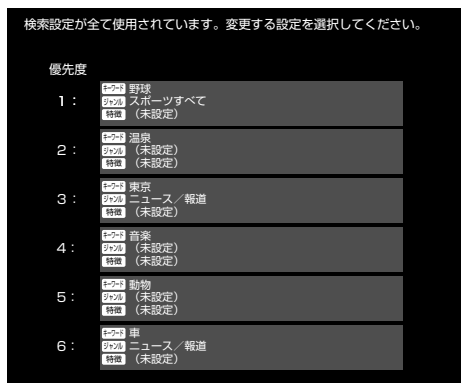
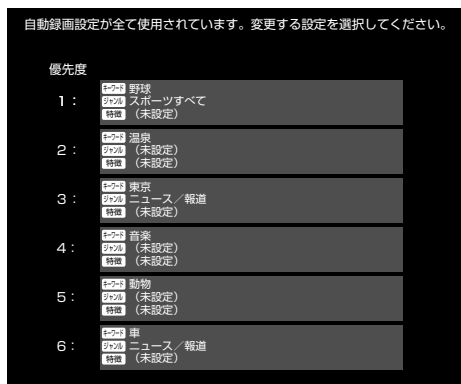
・番組表からキーワードをコピーしたとき、特殊文字（①～⑩や㊙や㊫など）はキーワードとして登録できません。

確認・基本 視聴 録画・予約録画 再生・消去・編集 ダビング・管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ ホームネットワーク 接続 基本設定 各種設定 困ったときは

5 検索結果が表示されます

番組表検索例

「（未設定）」のところに、コピーしたキーワードが設定されます。　検索結果

■ キーワードが登録できないとき

すでに6つのキーワードが設定されている場合、**41** ページ手順 **4** の後、次の画面が表示されます。

- **41** ページ手順 **4** で「自動録画の設定を行う」を選んだとき、すでに 6 つのキーワードが設定されている場合は、次の画面が表示されます。

● **コピーしたキーワードを登録するときは**

変更する「キーワード」選んで （決定） を押す⇒キーワードが登録されます。

● **設定済みのキーワードを変更しないときは**

（終了） または （戻る） で画面を終了する。

番組名が似ている番組をさがす（類似番組検索）

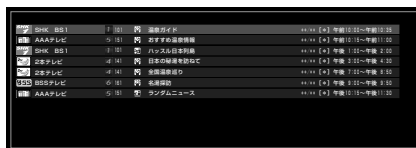
- 番組表で選んでいる番組と、番組名が似ている番組を探すことができます。

1 電子番組表（Gガイド）で検索したい番組を選びます

2 検索方法選択画面を表示させせます

を押す

3 「類似番組検索」を選んで決定します

4 類似番組の一覧が表示されます

5 番組を選びます

（▲▼◀▶ 決定） で選ぶ

● **放送中の番組を選んだときは**

（らくらく予約 ●録画） を押す⇒録画されます

（決定） を押す⇒選局されます

● **未放送の番組を選んだときは**

- 予約録画の設定をします。予約録画の方法は 2 種類あります。（→ **53** ページ）

（らくらく予約 ●録画） を押す⇒自動で予約内容が設定されます

（決定） を押す⇒手動で予約内容の設定をします

本機のチューナーで見ている番組を一時停止・早戻しする（タイムシフト視聴）

放送中のデジタル放送番組を一時停止して、つづきから再生して見ることができます。
タイムシフト視聴をするためには、「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「タイムシフト視聴設定」で 30 分、60 分、90 分のいずれかを選びます。（選んだ時間分、さかのぼって視聴できます。）

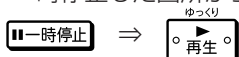
タイムシフト操作

1 BD/HDD で内蔵 HDD モードを選びます

- 詳しくは「モードの切り換え」（→ **31** ページ）をご覧ください。
- 本体前面のHDDランプが点灯している状態（内蔵HDDモード）で操作します。

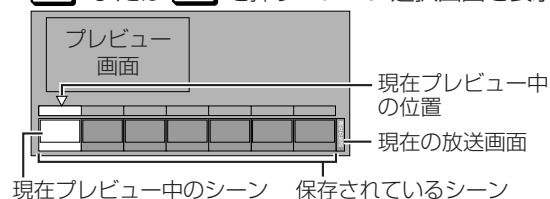
「ちょっと待って」視聴

来客などでテレビの前を離れるとき「一時停止」
用事が終わってテレビの前に戻ってきて「再生」
⇒ 一時停止した箇所から「タイムシフト視聴」開始

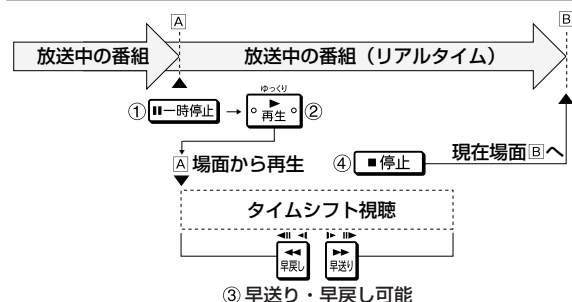
一時停止 ⇒ ゆっくり 再生

「今のシーンをもう一度」視聴

見逃したシーンを見たいとき
⇒ 戻した箇所から「タイムシフト視聴」開始

「ちょっと戻っテレビ」視聴

見逃したシーンを選んで見たいとき
⇒ 見たいシーンを選んで「タイムシフト視聴」開始

決定 でシーンを選び 決定 または ゆっくり 再生 を押す

- 保存されているシーンは 前/ちょっと戻っテレビ または 次 でも選択できます。
- 左端のシーンが「ちょっと戻っテレビ」の先頭です。シーンが 7 つになったときは、左端のシーンと再生される画面が異なる場合があります。
- タイムシフト視聴中に 前/ちょっと戻っテレビ ／ 次 を押すと、シーン選択画面に戻ります。
- シーン選択画面で 終了、■停止、戻る を押した場合と、「現在の放送」を選んだときは、現在時刻の放送に戻ります。

タイムシフト視聴例

タイムシフト視聴中に

- 早送りや早戻ししたいとき ⇒ 早送り 早戻し

- タイムシフト視聴中に早送りをして放送に追いついたときは、現在の放送に戻ります。
- 不要な箇所（CM など）を 30 秒単位で飛ばしたいとき ⇒ 30秒送り
- 現在時刻の放送に戻りたいとき ⇒ ■停止

ご注意

- タイムシフトを設定したときは、本機が自動的に、タイムシフトのための一時的な録画をします。

次の場合はタイムシフト視聴はできません。

- データ放送、外部入力の場合
- 録画禁止の番組や著作権保護による場合
- 内蔵 HDD モード以外のとき（内蔵 HDD モードに切り換えてから操作してください。）
- 「ファミリンク録画」で録画中
- 録画などが複数動作している場合

タイムシフト視聴をするときの画質について

- 録画画質「DR」（放送画質）となります。

シーンの時間間隔について

- シーンの時間間隔は「タイムシフト視聴設定」（→ **195** ページ）の設定や、タイムシフトしている時間によって変わります。

お知らせ

- 一時停止状態が 15 分以上続いたときは、一時停止状態は解除され再生となります。
- タイムシフト視聴中に外部入力の録画予約が始まると、タイムシフト視聴が停止されます。
- 早見･早聞き視聴したとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されない、映像と音声が合わない場合があります。

録画をする前に

HDD（ハードディスク）または BD（ブルーレイディスク）で録画・予約録画をする前にお読みください。
• DVD に放送を直接録画することはできません。（内蔵 HDD に録画してからダビングしてください。）

録画できる組み合わせと録画中にできること

本機では、地上デジタル／ BS デジタル／ 110 度 CS デジタル放送の「録画 1」、「録画 2」での２番組同時録画が可能です。

録画できる組み合わせ							できること					
										ダビング		
										高速ダビング		録画画質変換ダビング（内蔵HDD⇕内蔵HDD／内蔵HDD⇕外付けHDD※4／内蔵HDD⇓BD／内蔵HDD⇕DVD）・携帯電話用動画転送
1番組録画（地デジ・BS・CS）	2番組録画（地デジ・BS・CS）	外部入力録画※1	ファミリンク録画（地デジ・BS・CS）	ホームネットワーク録画／再生※2	携帯電話用動画を録画	現在の録画番組数	別番組の選局（視聴）※2 ※3	別番組の録画ボタンによるらくらく一発録画	同時再生／追いかけ再生※4	内蔵HDD⇕外付けHDD※4	内蔵HDD⇕内蔵HDD	
●	−	−	−	−	−	1	○	○	○	○	○	○
●	−	−	−	−	●	1	○	○	○	○	○	×※6
−	−	●	−	−	−	1	×	×	○	○	○	×※6
−	−	−	●	−	−	1	○	○	○	○	○	○
−	−	−	●	−	●	1	○	○	○	○	○	×※6
●	−	−	●	−	−	2	×	×	○	○	○	×
●	−	−	●	−	●	2	×	×	○	○	○	×
●	−	−	−	●	−	2	○	○	○	○	○	○
−	●	−	−	−	−	2	×	×	○	○	○	×
−	●	−	−	−	●	2	×	×	○	○	○	×
−	−	●	●	−	−	2	×	×	○	○	○	×
●	−	●	−	●	−	3	×	×	○	○	○※5	×
●	−	−	●	●	●	3	×	×	○	○	○※5	×
−	●	−	−	●	●	3	×	×	○	○	○※5	×

※ 1　外部機器から録画中はファミリンク録画、別番組録画は行えません。ファミリンク録画中、 1 番組録画中は外部機器からの録画が行えます。
※ 2　２番組録画中は録画中の番組のみの選局となります。（ホームネットワークで録画している番組は視聴できません）
※ 3　外部入力録画中は選局が行えません。
※ 4　外付け HDD への録画中は、外付け HDD の同時再生、ダビングはできません。
※ 5　２番組以上の録画画質が「DR」以外で録画中の場合のみ同時動作できます。
※ 6　「2 倍」〜「12 倍」「HD ○○」の録画画質変換ダビングは行えます。

録画中のチャプターマークについて

• 録画中の番組にチャプターマークボタンでチャプターマークをつけることはできません。
• ホームネットワークの録画には、オートチャプターは付きません。
• 携帯電話用動画には、オートチャプターは付きません。

録画画質と録画時間について

録画画質によって録画できる時間が異なりますので、目的によって録画画質を設定してください。
画質がきれいになるほどデータ量が多くなるため、録画できる時間が短くなります。

- 録画画質の変更方法→ **50** ページ

お知らせ

- 録画（ダビング）した時間と空き時間の合計は、録画時間と一致しない場合があります。
- タイムシフト（→ **195** ページ）を設定している場合は **46** ページの表より録画時間が短くなります。
- 録画画質を「DR」、「2 倍」～「12 倍」、「HD ○○」にしているとき、デジタル放送受信中に表示される残量時間は、受信中のデジタル放送（HD：ハイビジョン放送／ SD：標準テレビ放送）が録画できる残量時間です。（残量表示は、目安です。録画できる時間の表示ではありません。）
- 「DR」は、連動データを記録した場合の録画時間の目安です。録画時間は、その性能を保証するものではなく、実際の録画では、入力映像やその他の条件により表記の時間を下回る場合があります。
- 連動データを記録した場合、「2 倍」～「12 倍」「HD ○○」の録画時間は、連動データ放送のデータ量により、実際に録画できる時間は記載値よりも短くなります。
- スポーツや歌番組などの動きの激しい番組を「7 倍」「10 倍」「12 倍」などの長時間録画画質で録画した場合、ブロックノイズなどが目立つ場合があります。
  また **46** ページに記載の録画時間まで録画できない場合が多くなりますので、動きの激しい番組を録画する場合は、なるべく 5 倍以上の録画画質で録画していただくことをおすすめします。

デジタル放送の録画について

ハイビジョン放送をそのままの画質で録画するには録画画質「DR」で録画してください。

- 放送内容に合わせて HD（ハイビジョン画質）や SD（標準画質）で録画されます。
- HDD に録画画質「DR」で録画した番組は、画質を劣化させることなく BD に高速ダビングできます。

ハイビジョン画質で長時間録画するには録画画質「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「10 倍」「12 倍」「HD ○○」で録画してください。

- 圧縮したハイビジョン画質で長時間録画できます。
- 4:3 の放送の場合、再生時に放送と見え方が異なる場合があります。

録画画質と録画される内容・楽しめる機能

録画画質※2 / 放送の種類	DR 画質	2 倍／3 倍／HD ○○／5 倍	7 倍／10 倍／12 倍
マルチビューサービス放送（ステレオ二重音声）※1	○	視聴中の映像（音声は主・副両方記録されます）	視聴中の映像（音声は、マルチ音声設定で設定されている音声）
連動データ放送※3	○	○	○
二重音声放送	○	○	○
字幕	○	○	○
番組情報	○	○	○
追いかけ再生	○	○	○
同時録画再生	○	○	○

※ 1 マルチビューサービス（マルチ音声／ステレオ二重音声）放送を録画した番組を DVD ディスクにダビングする際に、副音声（音声2）などをダビングして残したいときは、一度再生し、記録したい音声を選んでからダビングしてください。

※ 2 デジタル放送録画時は SXP 以下の録画画質は選べません。（外部入力録画時は、SXP 以下の録画画質のみ選択できます。）

※ 3「ホーム」－「設定」－「録画機能設定」－「長時間モード設定」の「連動データ設定」で、「記録する」に設定したときに録画されます。
録画予約をする際に、連動データ放送を記録するかどうか、番組ごとに個別に設定することもできます。（→ **62** ページ）

HDD（ハードディスク）での録画画質と録画時間

内蔵 HDD（ハードディスク）に録画する場合です。

	録画画質		マニュアル録画画質	録画時間
デジタル放送録画時	DR（放送画質）	デジタルハイビジョン（HD）放送（BS/110 度 CS デジタル）		約　44 時間
		デジタルハイビジョン（HD）放送（地上デジタル）		約　62 時間
		デジタル標準（SD）放送		約　89 時間
			HD10	約　66 時間
			HD09	約　71 時間
			HD08	約　76 時間
			HD07	約　82 時間
	2倍		HD06	約　89 時間
			HD05	約　97 時間
			HD04	約　106 時間
			HD03	約　118 時間
	3倍		HD02	約　133 時間
			HD01	約　152 時間
	5倍			約　222 時間
	7倍			約　312 時間
	10 倍			約　445 時間
	12 倍			約　535 時間

デジタルハイビジョン（HD）放送
（地上デジタル／ BS デジタル／ 110 度 CS デジタル）

- 録画画質「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD ○○」では、デジタル標準（SD）放送時に7倍の録画時間となります。
- 録画画質「10 倍」「12 倍」では、デジタル標準（SD）放送時に表記の録画時間になります。

	録画画質	マニュアル録画画質	録画時間
ダビング・外部入力録画時	SXP	MN68	約　73 時間
		MN67	約　78 時間
		MN66	約　88 時間
	XP	MN65	約　98 時間
		MN53	約　131 時間
	SP	MN37	約　174 時間
		MN26	約　231 時間

BD（ブルーレイディスク）での録画画質と録画時間

「for VIDEO」「for GENERAL」「録画用」表記があるディスクをお使いください。

録画画質※1			マニュアル録画画質	録画時間 BD-RE/BD-R（片面１層 25GB）	録画時間 BD-RE/BD-R（片面２層 50GB）	録画時間 BD-RE XL/BD-R XL（片面３層 100GB）
デジタル放送録画時	DR（放送画質）	デジタルハイビジョン（HD）放送（BS/110度CSデジタル）		約 2時間 10分	約 4時間 20分	約 8時間 40分
デジタル放送録画時	DR（放送画質）	デジタルハイビジョン（HD）放送（地上デジタル）		約 3時間 00分	約 6時間 10分	約 12時間 10分
デジタル放送録画時	DR（放送画質）	デジタル標準（SD）放送		約 4時間 20分	約 8時間 40分	約 17時間 20分
デジタル放送録画時		デジタルハイビジョン（HD）放送（地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタル）	HD10	約 3時間 10分	約 6時間 30分	約 13時間
デジタル放送録画時			HD09	約 3時間 20分	約 6時間 50分	約 13時間 50分
デジタル放送録画時			HD08	約 3時間 40分	約 7時間 20分	約 14時間 50分
デジタル放送録画時			HD07	約 4時間	約 8時間	約 16時間
デジタル放送録画時	2倍		HD06	約 4時間 20分	約 8時間 40分	約 17時間 20分
デジタル放送録画時			HD05	約 4時間 40分	約 9時間 30分	約 19時間
デジタル放送録画時			HD04	約 5時間 10分	約 10時間 20分	約 20時間 50分
デジタル放送録画時			HD03	約 5時間 40分	約 11時間 30分	約 23時間 10分
デジタル放送録画時	3倍		HD02	約 6時間 30分	約 13時間	約 26時間 10分
デジタル放送録画時			HD01	約 7時間 20分	約 14時間 50分	約 29時間 50分
デジタル放送録画時	5倍			約 10時間 50分	約 21時間 50分	約 43時間 30分
デジタル放送録画時	7倍			約 15時間 10分	約 30時間 40分	約 61時間 10分
デジタル放送録画時	10倍			約 21時間 40分	約 43時間 40分	約 87時間 20分
デジタル放送録画時	12倍			約 26時間	約 49時間 50分	約104時間※1
ダビング・外部入力録画時	SXP		MN68	約 3時間 30分	約 7時間 10分	約 14時間 20分
ダビング・外部入力録画時			MN67	約 3時間 50分	約 7時間 40分	約 15時間 20分
ダビング・外部入力録画時			MN66	約 4時間 10分	約 8時間 40分	約 17時間 10分
ダビング・外部入力録画時	XP		MN65	約 4時間 40分	約 9時間 30分	約 19時間 10分
ダビング・外部入力録画時			MN53	約 6時間 20分	約 12時間 50分	約 25時間 50分
ダビング・外部入力録画時	SP		MN37	約 8時間 30分	約 17時間	約 34時間 10分
ダビング・外部入力録画時			MN26	約 11時間 10分	約 22時間 40分	約 45時間 10分

- 録画画質「2倍」「3倍」「5倍」「7倍」「HD○○」では、デジタル標準（SD）放送時に7倍の録画時間となります。
- 録画画質「10倍」「12倍」では、デジタル標準（SD）放送時に表記の録画時間になります。

2層BDへの録画可能時間は、最大49時間50分です。

※1 BDの残時間が100時間以上あるときは、「分」表示はされません。

DVD での録画画質と録画時間

内蔵 HDD からのダビングのみ行えます。「for VIDEO」「for GENERAL」「録画用」表記があるディスクをお使いください。

録画画質	マニュアル録画画質	DVD-RW（片面 1 層 4.7GB） DVD-R（片面 1 層 4.7GB） の録画時間		DVD-R DL （片面 2 層 8.5GB） の録画時間
		VR フォーマット	ビデオ フォーマット	
XP	MN65	約　60 分	←	約　111 分
	MN53	約　90 分	←	約　164 分
SP	MN37	約　120 分	←	約　215 分
	MN27	約　150 分	←	約　274 分
	MN20	約　180 分	←	約　329 分
	MN16	約　210 分	←	約　384 分
LP	MN13	約　240 分	←	約　431 分

ディスクの残量や情報を確認する

録画やダビングをする前に HDD（内蔵／外付け）、挿入されている BD/DVD の残時間（どれだけの時間録画できるか）などの情報を確認できます。

ご注意

- ディスク残量表示は、その時点で受信中の放送のきめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像が録画できる時間の目安です。録画中の残量表示と停止時点での表示が一致しないことがあります。
- 一部の市販の BD ビデオではチャプターやカウンターの総時間が表示されないことがあります。
- 残量が足りないときは録画や予約ができないことがあります。

お知らせ

- 複数番組の録画が実行されているときは、残量表示が通常よりも早く減ります。
- 選択している録画画質で HDD の残時間が 5 時間を切ると、画面左下に「 」マークが表示されます。
- 録画・ダビングできない BD/DVD が挿入された場合は「残　0 時間 00 分」あるいは空欄が表示されます。
- 約 1 分間何も操作しないと、ディスク情報表示は自動的に消えます。

ディスク情報の確認

1 ディスク情報を表示させます

画面表示 を押す

2 表示を切り換えます

画面表示 を押す⇒ 押すごとに、以下のように表示が切り換わります

①「内蔵 HDD 残量表示」
- 残量時間が 100 時間以上あるときは、「分」表示されません。

内蔵 HDD の画面例

LIVE HDD 放送番組
5倍 HD 80時間10分
T 5/5

②「外付け HDD 残量表示※1」

外付け HDD の画面例

LIVE 外付けHDD 外付けHDD1
5倍 HD 残 80時間10分
T 5/5

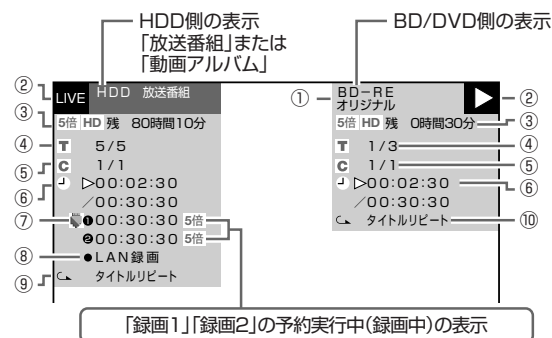
③「カウンター表示／タイムバー表示※2」
- 録画のときにカウンター表示します。
- 再生・タイムシフト視聴のときにタイムバー表示します。

④「消える」

※ 1 外付け HDD が使用可能な場合のみ表示されます。

※ 2「カウンター表示／タイムバー表示」について（→ **85** ページ）

■ ディスク情報表示例

※画面は表示例です。

① ディスクの種類／録画フォーマットを表示
- 挿入したディスクの種類を表示
- オリジナルタイトルを再生しているかプレイリストを再生しているかを表示（他機でプレイリストを作ったディスクの場合）
- DVD ディスクを再生するときは、録画フォーマットを表示

② 動作表示

▶ 再生中（青いマーク）	■ 録画停止時（赤いマーク）
■ 再生停止時（青いマーク）	LIVE 録画中（赤いマーク）（視聴している番組の録画時）
REC 録画開始時（赤いマーク）	LIVE 停止中（青いマーク）

③ 現在受信している放送を録画する場合に、選択されている録画画質で録画するときの残量時間（録画可能時間）を表示
- 残時間が 100 時間以上あるときは、「分」表示は表示されません。
- ファイナライズしたビデオフォーマットのディスクを挿入したとき、および、ファイナライズした VR フォーマットの DVD-RW/-R を挿入したときは「ファイナライズ済」の表示になります。
- 録画画質を「DR」に設定しているときは、放送に応じた表示となります。

デジタル放送

④ 再生中または録画中のタイトル番号／そのタイトル数を表示（停止中はディスク内の総タイトル数を表示）

⑤ 再生中または録画中のチャプター番号／そのタイトルの総チャプター数を表示（停止中はディスク内の総チャプター数を表示）

⑥ 再生中は、カウンター／再生中のタイトルの総時間を表示
録画中は、録画開始からの経過時間を表示

⑦ 外付け HDD（ハードディスク）に録画をしているときに表示

⑧ LAN 録画（LAN 経由でスカパー！プレミアムサービス Link または CATV を録画）をしているときに表示
- スカパー！プレミアムサービス Link（→ **147** ページ）
- LAN 経由でケーブルテレビ（CATV）を録画（→ **148** ページ）

⑨ リピート再生をしているときに表示

マニュアル録画画質を設定する

HD/MN 録画画質設定「HD ○○」、「MN ○○」の画質を細かく設定できます。

- マニュアル録画画質、他の録画画質と録画時間の関係については **46** ～ **48** ページの表をご覧ください。

ご注意

- 「HD ○○」、「MN ○○」の数字が大きいほど高画質で録画できますが、録画時間は減ります。

お知らせ

- **46** ～ **47** ページの表の内蔵 HDD（ハードディスク）と BD（ブルーレイディスク）の録画時間は目安です。録画時間はその性能を保証するものではなく、実際の録画では入力映像の画質などの条件により表記時間を下回る場合があります。

メモ

- ダビング時の録画画質設定はダビング時に行います。

基本操作

「HD ○○」、「MN ○○」を設定する

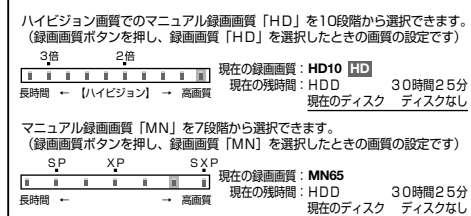
1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」－「録画機能設定」－「HD/MN 録画画質設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 録画画質を設定します

- 録画画質（HD ○○）または録画画質（MN ○○）を設定します。

選択した録画画質での録画可能時間表示

4 設定画面を消すには

終了 を押す

録画画質を選ぶ

1 録画画質画面を表示させます

チャプターマーク 録画画質 を押す

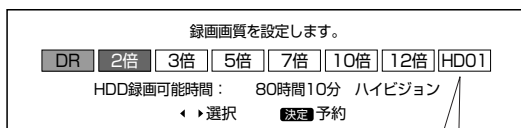
2 録画画質を選んで決定します

デジタル放送選局時

録画画質を設定します。

DR	2倍	3倍	5倍	7倍	10倍	12倍	HD01

HDD録画可能時間：　80時間10分　ハイビジョン

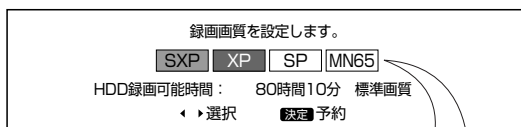
◀ ▶選択　決定 予約

「HD/MN録画画質設定」で設定した画質→**左記**

外部入力選局時

録画画質を設定します。

SXP	XP	SP	MN65

HDD録画可能時間：　80時間10分　標準画質

◀ ▶選択　決定 予約

「HD/MN録画画質設定」で設定した画質→**左記**

- 設定したマニュアル録画画質を選ぶ場合は、「HD ○○」あるいは「MN ○○」を選んでください。
- 工場出荷時の録画画質はデジタル放送は「DR」、外部入力は「SXP」に設定されています。
- 「らくらく一発録画」（→ **51** ページ）や電子番組表から「らくらく予約」（→ **53** ページ）したとき、日時指定予約（→ **58** ページ）したときはここで設定した録画画質で録画されます。
- 選択されている録画画質で録画するときのディスク残量（録画可能時間）を確認したいときは、**49** ページをご覧ください。

放送中の番組を録画する（らくらく一発録画）

今見ている番組をその場で HDD（内蔵／外付け）、BD（ブルーレイディスク）に録画します。
(外部入力からの録画は内蔵 HDD への録画となります。)
- 録画中にできること・できないことは **44** ページでご確認ください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーからの録画→ **147** ページ
- ケーブルテレビ（CATV) を LAN から録画→ **148** ページ

ご注意
- HDD（内蔵／外付け）の 1 回の録画の最長時間は 12 時間です。
- 録画できる番組数(放送番組と動画アルバムの合計)(→**236**ページ)
  HDD（内蔵／外付け※）: 999 タイトル
  BD : 200 タイトル
  ※ 外付け HDD は放送番組の合計数です。
- 使いかたによっては、録画できる番組数が少なくなる場合があります。
- 録画ボタンでの録画中に同じチューナー(「録画 1」用、「録画 2」用)での予約録画が始まると、はじめの録画が停止します。（予約録画優先）
- 録画が禁止されている番組（→ **18** ページ）や独立データ放送（→ **239** ページ）は録画できません。
- 録画禁止の番組が始まったりデジタル放送の電波状況が悪くなると録画が停止・一時停止する場合があります。
- 外部チューナーなどから録画したデジタル放送番組は、「ダビング 10」番組でも「1 回だけ録画可能」番組として保存されます。
- 外部入力（L1）から録画した場合、ハイビジョン画質にはなりません。連動データ放送や字幕などは録画されません。
- 外部入力（L1）での録画中は、別番組の選局（視聴）ができません。

お知らせ
- 録画画質と録画される内容について詳しくは**45**ページをご覧ください。
- 外部入力から録画するとき、あらかじめ録画したい音声を「外部入力音声設定」で選択してください。(→ **190** ページ)
- ライブ中に かんたん メニュー を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単に録画することができます。→ **27** ページ

ヒント
- オートチャプター機能を「おまかせ」にしておくと、再生時に CM の飛ばし見ができるなど便利です。→ **190** ページ

基本操作

で選択、決定 で決定

1 録画先を選びます

BD/HDD を押す

- 電源を入れた時点では HDD モードです。押すごとにモードが切り換わります。
  詳しくは「モードの切り換え」(→ **31** ページ) をご覧ください。

2 録画したい番組を選びます

地上D BS CS で切り換え、

で選ぶ

- リモコンの数字ボタンでも選局できます。

● 外部機器（ケーブルテレビなど）を録画するとき

(1) 入力切換 を押します。
（ふた内）
- 外部入力（L1）←→ 放送の順番で切り換わります。

(2) 外部機器側で録画したい番組を選びます。

● 録画画質を変更したいとき(→50ページ)

3 録画を始めます

らくらく予約 ●録画 を押す

● BD/DVD モード、外付け HDD モードのとき

⇒ **録画先の選択画面が表示されます。**
- 録画先を選んで 決定 を押します。

- 内蔵 HDD への録画の場合、HDD ランプがオレンジ色に点灯します。
- BD（ブルーレイディスク）への録画の場合、BD/DVD ランプがオレンジ色に点灯します。
- 外付け HDD への録画の場合、+HDD ランプがオレンジ色に点灯します。
- 録画中のランプ（録画 1、録画 2）が赤色に点灯します。
- テレビ画面左上に REC マークが表示されます。

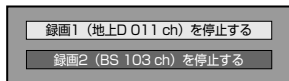
次ページへつづく

4 デジタル放送の録画の場合、録画終了時刻を確認します

HDDにこの番組を最後まで録画します。
終了予定時刻　午後　9:00

⇒ 終了時刻になると、録画が自動停止します。
- 番組が延長しても番組の最後まで録画します。ただし、予約録画がある場合はそちらが優先されます。
- 以下の場合は番組終了時刻が設定されず、メッセージが表示されません。録画停止 を 2 回続けて押して録画を止めてください。
  - 外部入力で録画したとき
  - 録画開始時に番組の終わりまでが 12 時間を超える番組
  - 録画終了時刻と重複する予約があるとき
  - ディスク残量が不足するとき

● **終了時刻より前に録画を終わりたいとき**
⇒ **録画停止 を 2 回続けて押してください。**
- 複数番組同時録画（→**61** ページ）やダビングを同時に行っているときは停止の選択画面が表示されますので、停止したい録画を選んで決定します。

録画1（地上D 011 ch）を停止する
録画2（BS 103 ch）を停止する

● **終了時間を変更したいとき→右記**

録画中に別番組を見る

- 録画中に別の番組を視聴したいときは、テレビのチャンネルを切り換えます。
- 1 番組録画中は本機のチャンネルを切り換えて別番組を視聴することもできます。
- 本機のリモコンでテレビのチャンネルを切り換えたいときは、あらかじめテレビメーカー設定を行ってください。

本機のリモコンで操作する

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にします

テレビ側に

2 視聴したい番組を選びます

地上D BS CS で切り換え、 で選ぶ

- リモコンの数字ボタンでも選局できます。
- 録画はそのまま継続されています。

録画中に別番組を録画（視聴）する

本機は、2 番組を同時に録画することができます。
- 1 番組録画中は本機のチャンネルを切り換えて別番組を録画（視聴）できます。
- 2 番組録画中は録画中のチャンネルのみの切り換え操作となります。

1 録画中に、同時に録画（視聴）したい番組を選びます

▶**39** ページ

2 録画を始めます

らくらく予約 ●録画 を押す

- 「この番組の録画を行う」を選んで決定します。

⇒ 同時録画が始まります。
- デジタル放送の録画の場合、録画終了時刻を確認します。

録画終了時刻を変更するには

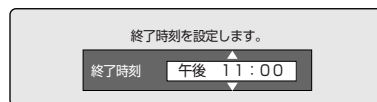
1 終了時刻設定画面を表示させます

録画中に

らくらく予約 ●録画 を押す

- 終了時刻を変更したい録画を選んで決定します。
- 複数番組を同時録画中は、終了時刻を設定する選択画面が表示されますので、そこから選んでください。

2 終了時刻を選んで決定します（15 分単位）

終了時刻を設定します。
終了時刻　午後　11：00

⇒ 終了時刻になると、録画が自動停止します。
- 番組が延長しても番組の最後まで録画したいときは「この番組の最後まで」を選んでください。（電子番組表で番組情報が取得できていない場合は設定できません。）
- 設定した終了時刻を解除したいときは「設定しない（解除）」を選んでください。

● **録画停止後に電源が切れるようにしたいとき**
⇒ **終了時刻設定後に 電源 を押してください。**

● **終了時刻より前に録画を終わりたいとき**
⇒ **録画停止 を 2 回続けて押してください。**

デジタル放送を電子番組表(Gガイド)で予約する(らくらく予約)

電子番組表（Gガイド）から選ぶだけで、7 日先までのデジタル放送の予約録画ができます。
• 日時指定予約については **58** ページをご覧ください。

ご注意
• 2 番組同時録画中、携帯電話用動画は 1 番組のみ録画されます。

メモ
• HDD（ハードディスク）の残量が少なく録画しきれないときはタイトル消去（→ **89** ～ **90** ページ）を行い、録画可能時間を増やしてください。
• 予約録画をする前に予約したい放送局が映っていることを確認してください。

ヒント
• 電子番組表（Gガイド）予約では予約した放送が延長されると録画も延長されます。（→ **55** ページ）
• 予約後にお出かけになるときや、就寝中に予約録画が行われる場合は、本機とテレビの電源を切ってください。電源を切っても予約録画は働きます。（本機のコンセントは抜かないでください。）

基本操作

で選択、決定 で決定

らくらく予約をする

準備 BD（ブルーレイディスク）に直接予約録画したいときは、録画用の BD を挿入します (→ **28** ページ)

1 予約したいデジタル放送を選びます

地上D BS CS で選ぶ

2 番組表を表示させます

を押す

3 予約する番組を選びます

選んでいる番組
(黄色で表示されます)

予約している番組

決定 7 日先までの続きがあります

• 録画画質は本機で設定した画質になります。変更したいときは、チャプターマーク 録画画質 を押します。→**50**ページ
• 電子番組表（Gガイド）の使い方について詳しくは **38** ～ **42** ページをご覧ください。

4 予約内容を設定します

● **予約内容を自動で設定するとき**

らくらく予約 ●録画 を押す ⇒ 手順 **7** へ

• 予約内容は以下の設定となります。
  • 録画先：「HDD」
  • 連動データ：「連動データ設定」に従い記録されます。→ **191** ページ
  • グループ設定：「設定しない」
  • 保存設定：「設定しない」
  • 携帯電話動画記録設定：「しない」
  • 繰り返し予約：「今回のみ予約」

● **予約内容を手動で設定するとき**

決定 を押す ⇒ 手順 **5** へ

5 外付け HDD または BD（ブルーレイディスク）が使用可能な時は、録画先を選びます

⇒ **予約録画先選択画面が表示されます。**
•「外付け HDD」は、外付け HDD が使用可能な場合のみ表示されます。
•「BD」は BD 挿入時のみ表示されます。

6 「今回のみ予約」、「毎回予約」、「設定変更」のいずれかを選んで決定します

● **「今回のみ予約」を選んだとき⇒予約完了。**
  • 選択した番組だけが予約されます。

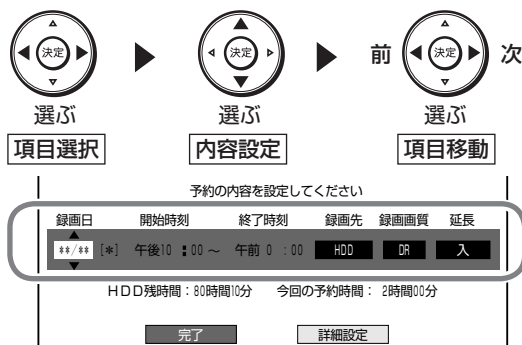
● **「毎回予約」を選んだとき**
  ⇒ **番組表の情報から毎日または毎週予約が自動設定されます。**

• 他の予約と予約録画時間が重なる場合は、予約重複画面が表示されます。

次ページへつづく

● 「設定変更」を選んだとき

(1) 予約内容変更画面が表示されます。

(2) 変更したい項目を選び設定します。

- 「録画日」、「録画先」、「録画画質」について詳しくは **59** ページ手順 **3** をご覧ください。
- 「延長」について詳しくは**55**ページをご覧ください。
- 変更が済んだら「完了」を選び「決定」します。予約確認画面で「予約設定終了」を選び「決定」します。
- 「詳細設定」については、**62** ページをご覧ください。

● **「携帯電話動画記録」を選んだとき**

⇒ **携帯電話転送用動画の予約が設定されます。（内容について詳しくは 137 ページをご覧ください。）**

ご注意

・日時を変更した予約番組は、「マイディスク予約する」は選択できません。

7 別の番組を予約するときは、手順 3 〜 6 を繰り返します

- 65 番組まで予約できます。

● **予約録画時間が重なる番組または予約時間の連続する番組を選んだときは**

⇒ **予約重複画面が表示されます。**

- 予約の重複について詳しくは、**66**ページをご覧ください。

8 番組表を消します

終了 ○ を押す

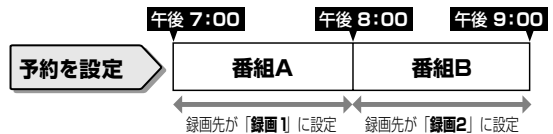
⇒ 開始時刻になると録画が始まり、+HDD ランプ、HDD ランプあるいは BD/DVD ランプが点灯します。また、録画中のランプ（録画 1、録画 2）が点灯します。
（エコモードが「入」のときは点灯しません。）

● **予約録画終了後に電源が切れるようにしたいとき**

⇒ **録画予約をした後、電源を切ります。**

- 予約時刻に録画が始まり、終了後自動で電源が切れます。
- 録画中に電源ボタンを押しても録画が続行し、終了後自動で電源が切れます。

■ 連続した番組を予約録画するとき

連続した番組や重複している番組を予約したとき、本機は「録画 1」または「録画 2」に自動的に予約設定されます。

お知らせ

・連続した番組が同じ録画先として予約録画されたときは、次の予約に切り換える準備のために、前の番組の最後の数十秒が録画されません。

■ 設定した予約を取り消したいとき

■ 予約の設定内容を変更したいとき

⇒ 番組表から取り消し／変更したい番組を選んで決定します。

取り消す	予約が取り消されます。
変更する	予約内容の変更･確認ができます。→**左記**
予約を追加する	同じ番組が追加予約されます。
マイディスク予約する	BDディスクに予約の書き込みができます。→**67**ページ

ご注意

・録画開始時刻の 2 分前を過ぎると、番組表から予約の取り消し / 変更はできません。予約リストから取り消し / 変更をしてください。

■ 次回の録画予約状態を確認したいとき

予約リストで確認できます。→ **64** ページ

- 次回の予約が正しく設定されていないときは「（次回該当番組なし）」と表示されます。予約名を次回予約の番組名などに変更してください。→ **62** ページ

■ 予約録画が中断したとき（最後まで録画されないとき）

放送電波の受信感度が落ちた場合、録画が中断されることがあります。
本機の受信機レポートでご確認ください。本機に関連したレポートを読むことができます。

- 詳しくは **189** ページをご覧ください。

HDD（ハードディスク）の残量が不足している場合

おすすめ消去リストでタイトルを消去する

53 ページの手順 **4** で以下のような画面になる場合は HDD の残量が足りません。不要なタイトルを消して HDD の残量を増やしてください。

現在のＨＤＤ残時間ではこの予約は最後まで実行できません。
予約実行可能目安：＊＊月＊＊日［＊］まで
ＨＤＤ残時間を増やすにはタイトル消去を行ってください。

予約設定終了　おすすめ消去リスト

1 「おすすめ消去リスト」を選んで決定します

⇒ タイトル消去画面が表示されます。（タイトル消去について詳しくは**89**ページをご覧ください。）

デジタル放送の延長予約について

スポーツ中継など終了時刻が延長される可能性のある番組の場合、予約録画の終了時刻を延長できます。

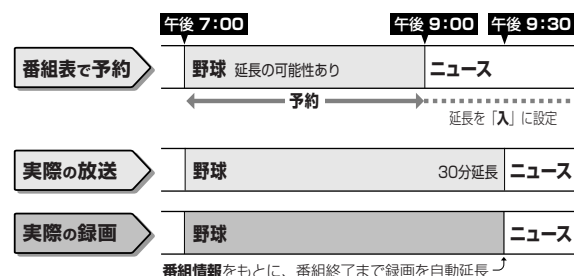
- 電子番組表（Gガイド）で予約した場合は「延長」が自動的に「入」に設定されます。

- 放送時刻が延長されて他の予約と重なった場合は、録画開始時刻の早い予約が優先されます。重なった予約が実行されない、または番組途中から予約が実行されます。
- 開始時刻、終了時刻を変更したときは延長に対応できません。
- 繰り返し予約の場合、番組表の内容によっては延長に対応できない場合があります。
- 録画している番組の放送時刻が延長になり直後の予約と重複する場合、2 番組録画中でなくても延長した番組が終了するまで予約が開始されない場合があります。

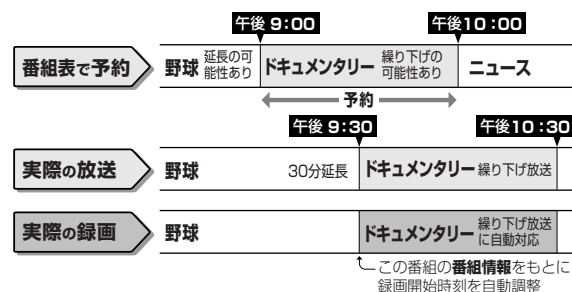
延長を「入」にした場合

番組が延長されても番組の最後まで録画を行います。

- イベントリレーサービスの場合にも自動的に追従しますが、別タイトルとして録画されます。

スポーツ番組を延長「入」で予約録画したとき

前の番組が延長された場合

前の番組が延長されて予約録画した番組が繰り下げられたときでも、番組の最後まで録画できます。

繰り下げの可能性がある番組を予約録画したとき

繰り返し予約

電子番組表（Gガイド）から連続ドラマなどを毎週（毎日）予約すると、放送開始時刻が変わったり番組放送時間が拡大されたときでも自動的に対応します。（初回予約時の開始時刻の前後 3 時間以内で類似した番組名を検索します。）

- 他の予約との重複条件により繰り返し予約が行われない場合があります。（予約リストに「他の予約と重なるため休止しました」と表示されます。）

ヒント

次回の予約が正しく設定されないときは、番組名（予約名）を変更してください。

- デジタル放送の繰り返し予約は番組名をキーワードとして予約設定します。予約が正しく設定されていないときは「(次回該当番組なし)」と表示されます。予約名を次回予約の番組名などに変更してください。
- 予約名の変更は、「詳細設定」の「予約名設定・変更」で行ってください。（→ **62** ページ）

ご注意

- 他の予約との重複条件については、**61** ページをご覧ください。

条件を指定して自動で録画する

キーワード／ジャンル／特徴条件などを登録しておくだけで、指定した条件を番組情報に含む番組を自動でHDD（内蔵／外付け）に録画することができます。
・確実に録画したいときは電子番組表（Gガイド）からの録画予約または日時指定予約を行って下さい。
・予約が重なった条件により、録画されない場合があります。

予約録画が重なった場合、優先度が高い方が録画されます。

優先度

高	電子番組表（Gガイド）からの録画予約／日時指定予約
	ファミリンク予約録画／らくらく一発録画
低	自動録画（優先度 1 ～ 6） 6つまで設定できます。

ご注意

- 視聴年齢制限にふれる番組は、自動録画はできません。

お知らせ

- 自動録画実行中に、他の予約が重なったときは、自動録画が途中で中止になる場合があります。
- 録画終了時にHDDの残時間が2時間以下になる場合、自動録画は開始されません。
- 自動録画時は携帯電話用動画は同時録画されません。

基本操作

で選択、(決定)で決定

自動録画の条件を設定する

1 「予約」画面を表示させます

[予約] を押す
（ふた内）

- ホームメニューの「予約」を選んで (決定) を押しても「予約」画面を表示させることができます。

2 「予約設定」－「自動録画設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 設定／変更したい録画条件を選びます

(1) (上下左右) で選びます。

自動録画設定画面

- 録画条件が入力されていない場合は「(未設定)」と表示されます。
- 録画条件は6つまで設定することができます。
- 登録した録画条件の番組が同じ時間帯に複数ある場合、優先度の高い1番組が自動録画されます。
- 録画条件を選んでからカラーボタンを押すと、
  - 青 ・・・優先度が上がります。
  - 赤 ・・・優先度が下がります。
  - 緑 ・・・自動録画の有効／無効を切り換えます。無効の場合、「現在は無効です」と表示されます。

(2) (決定) を押します。
- 自動録画詳細設定画面が表示されます。

4 ①録画先を設定します

「録画先」を選び (決定) を押す
- 内蔵HDDまたは外付けHDDから録画先を選択します。

②キーワードを入力します

「キーワード（20文字以内)」を選び (決定) を押す
- ソフトウェアキーボードからキーワードを入力します。ソフトウェアキーボードの使いかたは「文字を入力する（ソフトウェアキーボード)」(→**116**ページ)をご覧ください。
- 全角20文字以内（半角カナ文字は入力できません)。

ヒント

- 電子番組表（Gガイド）のキーワード／ジャンル検索（→ **40** ページ）からも、自動録画の設定を行えます。

③ジャンルを設定します

「ジャンル」を選び (決定) を押す

- 表示される画面からジャンル（メインジャンル・サブジャンル）を選択します。

④特徴条件を選択します

「特徴条件」を選び (決定) を押す

- 表示される画面から特徴条件を選択します。

⑤自動録画の詳細を設定します

⇒ 各項目を設定していきます。

自動録画詳細設定画面例

自動録画の検索条件を設定してください。

キーワード（２０文字以内） 大リーグ ①
ジャンル 野球 ②
特徴検索 副音声番組 ③
録画対象とする放送局 ☑地上D □BS □CS ④
有料ｃｈの選択 有料ｃｈを含まない 有料ｃｈを含む ⑤
同一名番組の再録画 する しない ⑥
録画画質 DR ⑦
録画先 HDD 外付けHDD ⑧

設定項目について

項目	説明	工場出荷時の値
①キーワード	番組情報から検索するキーワード（全角 20 字以内）	未設定
②ジャンル	検索したい番組のジャンル	設定しない
③特徴検索	検索したい番組の特徴条件	設定しない
④録画対象とする放送局	検索対象ネットワーク：地上 D ／ BS ／ CS	地上 D
⑤有料 ch の選択	有料チャンネルを検索対象に含むか：有料 ch を含む／有料 ch を含まない	有料 ch を含まない
⑥同一名番組の再録画	同一名番組の再放送を録画するか：する／しない	する
⑦録画画質	録画画質：DR ／ 2 倍／ 3 倍／ 5 倍／ 7 倍／ 10 倍／ 12 倍／ HD ○○	DR
⑧録画先	録画先として内蔵 HDD または外付け HDD を選びます。	HDD

5 設定内容を確認して「完了」を選んで決定します

[完了] で (決定) を押す

- 設定した条件に該当した番組を検索し、「録画候補」として自動録画設定画面に表示されます。
- 番組を検索するのに時間がかかる場合があります。

ヒント

- 検索の途中でも 終了 で放送中のテレビ番組映像に戻ります。

6 自動録画設定を終了します

終了 を押す

⇒ 開始時刻になると録画が始まります。

- 自動録画の予約状況は電子番組表（Gガイド）で確認できます。（→ **38** ページ）

自動録画されたタイトルを確認する

1 録画リストを表示させます

録画リスト トップメニュー を押す

- ホームメニューの「再生･編集」―「HDD（放送番組）」または「外付け HDD」から録画リストを表示させることもできます。
- 自動録画されたタイトルは、録画リストを表示させたとき、「 AUTO 」マークがつきます。

2 グループ表示切換画面を表示させます

緑 を押す

3 「自動録画」を選んで決定します

録画リストグループ表示切換画面

HDD残時間： HDBS ２０時間１０分

グループ別		ジャンル別		予約別		キーワード検索
1 グループ１	[0]	NEW ニュース/報道	[3]	NEW AUTO 自動録画	[12]	フランス
2 グループ2	[0]	スポーツ	[1]	ニュースの林	[1]	（未設定）
3 グループ3	[0]	NEW 情報/ワイドショー	[6]			車

⇒ 自動録画されたタイトルが表示されます。

- 録画リストを消すには

録画リスト トップメニュー または 終了 を押す

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

日時を指定して予約する

電子番組表（Gガイド）を使わず、放送日時とチャンネルを指定してデジタル放送、ケーブルテレビ（CATV）や外部入力（L1）に接続したチューナーからの映像を予約録画します。

ご注意

- 番組が始まる3分前までに予約を完了してください。
- 外部機器からの映像を録画するときは外部機器の電源を入れてください。
- CS放送やWOWOWなどの二重音声番組を録画するときは「外部入力音声設定」を「二ヶ国語」に設定してください。→ **190** ページ
- 外部入力（L1）から録画した場合、連動データ放送や字幕などは録画されません。

お知らせ

- HDD（内蔵／外付け）、BD（ブルーレイディスク）に最大12時間まで連続録画できます。
- 予約録画に関する注意事項→ **44**、**216**～**217** ページ

メモ

- ケーブルテレビ（CATV）ボックスの接続や操作について詳しくは、ケーブルテレビ（CATV）会社にお問い合わせください。
- スカパー！プレミアムサービスチューナーの接続や操作について詳しくは、製造業者にお問い合わせください。

基本操作

で選択、(決定) で決定

1 「予約」画面を表示させます

予約 (ふた内) を押す

- ホームメニューの「予約」を選んで (決定) を押しても「予約」画面を表示させることができます。

2 「地上D 地上デジタル」－「日時指定予約」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。
- 65件を超える録画予約をしようとするとメッセージが表示されます。不要な予約を取り消してください。→ **64** ページ
- BSデジタル放送の場合は「BS」、110度CSデジタル放送の場合は「CS」から「日時指定予約」を選んでください。
- 外部入力（L1）に接続したケーブルテレビ（CATV）ボックスなど外部機器の場合は「外部入力」から「日時指定予約」を選んでください。

3 予約内容を設定していきます

■ 予約内容の設定項目

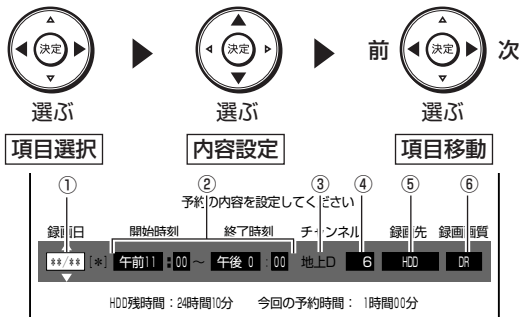
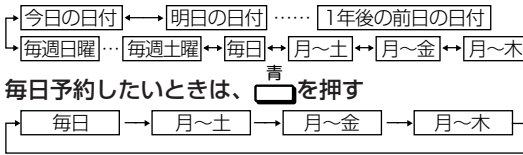
① 録画日

今日の日付 ↔ 明日の日付 …… 1年後の前日の日付
毎週日曜 … 毎週土曜 ↔ 毎日 ↔ 月〜土 ↔ 月〜金 ↔ 月〜木

毎日予約したいときは、青を押す

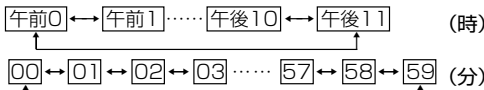
毎日 → 月〜土 → 月〜金 → 月〜木

毎週予約したいときは、赤を押す

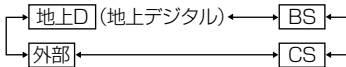
毎週日曜 → 毎週月曜 …… 毎週金曜 → 毎週土曜

- 日付を入力し直すときは、緑を押す
- 番組表から予約したとき、緑（日時変更）を押すまでは、日付は番組表で選択した日付、毎週予約は番組表で選択した曜日のみとなります。

②録画開始時刻・終了時刻

午前0 ↔ 午前1 …… 午後10 ↔ 午後11　（時）

00 ↔ 01 ↔ 02 ↔ 03 …… 57 ↔ 58 ↔ 59　（分）

- 録画開始時刻の 2 分前をきったときは、「予約可能時間を超過しました。予約できません。」の表示が出ます。予約開始時刻を現在時刻より 3 分以上あけて設定し直してください。

③放送の種類

- 番組表から予約した番組は、放送の種類は表示されません。

- 手順 **2** で「外部入力」を選んだ場合は、「外部」に自動設定されます。
- ケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーなど、本機の「外部から入力（L1）」端子から入力する予約の場合は、手順 **2** で「外部入力」－「日時指定予約」を選びます。（→ **60** ページ）

④チャンネル

- 選んだ放送によって異なります。
- 番組表から予約した番組は、チャンネルは表示されません。

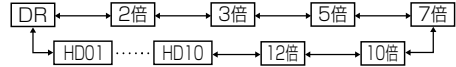
ケーブルテレビ（CATV）など、外部機器を予約するときは→ 60 ページ

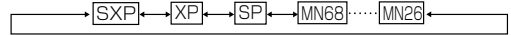
⑤録画先

- 「外付け HDD」は外付け HDD が使用可能な場合のみ選択できます。

⑥録画画質

デジタル放送を予約したとき

DR ↔ 2倍 ↔ 3倍 ↔ 5倍 ↔ 7倍
HD01 …… HD10 ↔ 12倍 ↔ 10倍

外部チューナー（外部入力（L1））を予約したとき

SXP ↔ XP ↔ SP ↔ MN68 …… MN26

※「録画画質を選ぶ」（→ **50** ページ）で選んだ録画画質が初期値となります。

4 設定内容を確認して「完了」を選んで決定します

- 各設定項目を選択している状態で 決定 を押しても、「完了」を選ぶことができます。
- 「詳細設定」を選ぶと、さらに詳細な設定ができます。→ **62** ページ
- 予約の重複について→ **61** ページ
- HDD の残量が足りないとき→ **55** ページ

5 「予約設定終了」を選んで終了します

- 設定画面を消すには 終了 を押してください。

⇒ 開始時刻になると録画が始まります。

外部入力に接続したケーブルテレビ（CATV）や外部チューナーの番組を予約する

ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパー！プレミアムサービスチューナーを本機の「外部から入力（L1）」端子に接続している場合の予約方法です。

1 58 ページの「日時を指定して予約する」の手順 2 で「外部入力」−「日時指定予約」を選んで決定します

- 「チャンネル」が「L1」になります。

2 画面にしたがって予約操作をします

- 外付け HDD に録画したいときは「録画先」を「外付け HDD」に設定します。
- BD に録画したいときは「録画先」を「BD」に設定します。

3 設定内容を確認して「完了」を選びます

4 「予約設定終了」を選んで終了します

- 設定画面を消すには（終了）を押してください。

⇒ 開始時刻になると録画が始まります。

5 外部機器の準備をします

(1) ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパー！プレミアムサービスチューナーの電源を入れます。

(2) 録画したい番組を選局します。

- ケーブルテレビ（CATV）ボックスやスカパー！プレミアムサービスチューナーに番組予約機能がある場合は、番組を予約してください。

■ スカパー！プレミアムサービスチューナーやケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスを LAN 接続しているとき

- LAN 接続時のスカパー！プレミアムサービスチューナーについては **147** ページ、CATV デジタルセットトップボックスについては **148** ページをご覧ください。

複数番組を同時に録画予約する

本機は、2 番組録画用の地上デジタル／ BS デジタル／ 110 度 CS デジタル放送チューナーを搭載していますので、それぞれに録画予約すれば 2 番組を同時に録画することができます。また、LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナー（またはスカパー！プレミアムサービス光チューナー）や DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスを使用することにより、最大３番組の同時録画が可能となります。

録画できる番組		外部機器
1 ※1	2 ※1	3
地上デジタル BS 110CS ※2	地上デジタル BS 110CS ※2	スカパー！プレミアムサービス または CATV（LAN 接続）※3

※ 1 携帯電話用動画、外部入力は 2 番組同時に録画できません。
※ 2 地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送のうち、1 つを録画。外部入力は 1 または 2 のどちらかに録画。
※ 3 LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナー（またはスカパー！プレミアムサービス光チューナー）や DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスによる LAN 録画。（→ **147**、**148** ページ）

ご注意

・複数番組同時録画中は残量表示が通常より早く減ります。

同じ時間帯に 2 番組とも予約済みの場合

同じ時間帯に 2 番組が予約済みのときに、重複する新たな録画予約を設定した場合は、重複条件によりいずれかの予約が休止になります。

予約の重複について詳しくは、**66** ページをご覧ください。

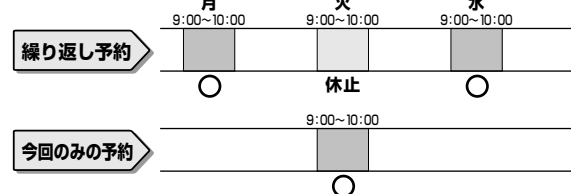
すでに予約済みの 2 番組と重なる番組を予約したとき

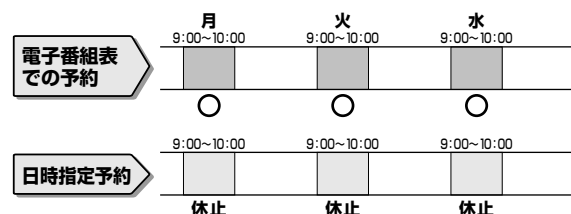
画面例：今回のみ予約と繰り返し予約が重複したとき

画面例：当日予約どうしが重複したとき

・詳しくは画面の表示に従って操作してください。
・優先して予約録画される重複予約の条件は次のとおりです。

■「今回のみの予約」と「繰り返し予約」

「今回のみの予約」と「繰り返し予約」が重複した場合は、「今回のみの予約」が優先されます。

■「電子番組表（Gガイド）での予約」と「日時指定予約」

「電子番組表（Gガイド）での予約」と「日時指定予約」が重複した場合は、「電子番組表（Gガイド）での予約」が優先されます。

■「繰り返し予約」と「繰り返し予約」

「繰り返し予約」と「繰り返し予約」が重複した場合は、先の予約が優先されます。

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

予約に関する詳細設定をする

録画予約時、以下のような便利な詳細設定ができます。

設定できる項目

予約名設定・変更

番組の予約名を変更／入力することができます。繰り返し予約ではこれが番組検索のキーワードになります。

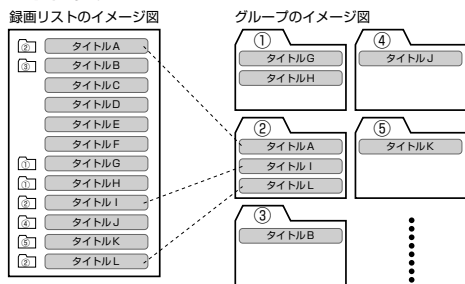
- 録画した番組のタイトル名は変更されません。ただし、外部入力の場合は変更した予約名が番組名となります。

(1) 詳細設定画面(→**63**ページ)で「予約名設定・変更」を選んで決定します。

(2)「変更する」を選んで決定します。

(3) 文字を入力・確定します。(入力のしかた → **116** ページ)

グループ設定

録画予約する番組を 20 のグループに分けて分類・整理できます。

(1) 詳細設定画面(→**63** ページ)で「グループ設定」を選んで決定します。

(2)「グループ 1 〜 20」のいずれかまたは「設定しない」を選んで決定します。

携帯電話動画記録設定

予約録画した番組を携帯電話に転送・再生することができます。

- 予約録画と同時に携帯電話用の動画が内蔵 HDD に記録されます。転送のしかたは **135**ページをご覧ください。

(1) 詳細設定画面(→**63** ページ)で「携帯電話動画記録設定」を選んで決定します。

(2)「する」を選んで決定します。

- 携帯電話用動画は、1 番組のみ録画されます。
- 外部入力録画中、外部入力録画の番組には携帯電話用動画は録画されません。

連動データ設定

デジタル放送を録画する場合、テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送を録画（記録）するかどうかを、予約番組ごとに個別設定することができます。

(1) 詳細設定画面(→**63** ページ)で「連動データ設定」を選んで決定します。

(2)「記録する」あるいは「記録しない」を選んで決定します。

- 通常は「ホーム」−「設定」−「録画機能設定」−「長時間モード設定」−「連動データ設定」で設定されている内容で録画されます。(→ **191** ページ)
- マイディスク予約では設定できません。

入力音声設定

外部機器から予約録画する際の音声が選べます。

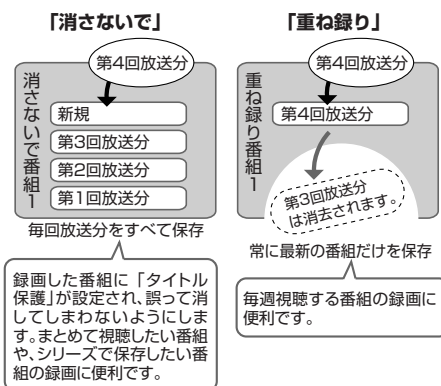
- チャンネルが「外部」のときに設定できる項目です。

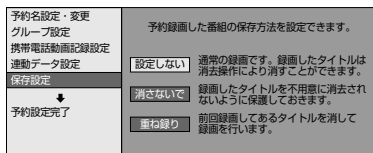
(1) 詳細設定画面(→**63** ページ)で「入力音声設定」を選んで決定します。

(2)「ステレオ」あるいは「二ヶ国語」を選んで決定します。

- ステレオ／モノラル音声の場合は「ステレオ」、二重音声の場合は「二ヶ国語」を選んでください。

保存設定

録画した番組の保存方法を設定できます。

(1) 詳細設定画面で「保存設定」を選んで決定します。

(2)「消さないで」あるいは「重ね録り」を選んで決定します。

- 録画後に「消さないで」を解除したい場合は、「タイトル保護設定」(→ **88** ページ) で「保護解除」します。
- 「重ね録り」は毎日・毎週予約録画をするタイトルを選んだときだけ設定できます。
- 「重ね録り」で録画した番組を再生中に「重ね録り」設定されている予約が始まったときは再生が停止し、その番組は重ね録りされます。

条件別の設定可能項目一覧

■ デジタル放送を予約録画する場合

- 予約名設定・変更
- グループ設定
- 携帯電話動画記録設定
- 連動データ設定
- 保存設定

■ 外付け HDD に予約録画する場合

- 予約名設定・変更
- グループ設定
- 連動データ設定
- 保存設定

■ 外部入力を予約録画する場合

- 予約名設定・変更
- グループ設定
- 入力音声設定
- 保存設定

※入力音声設定は、外部入力を予約録画したときに設定できる項目です。

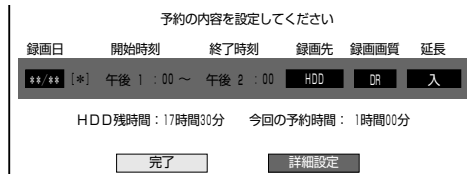
■ BD（ブルーレイディスク）に予約録画する場合

- 予約名設定・変更
- 連動データ設定

※マイディスク予約したときは、詳細設定はできません。

詳細設定のながれ

1 各録画予約画面で「詳細設定」を選んで決定します

 で選び 決定 を押す

- 予約完了後や番組表から設定したい場合は、予約リスト画面から「変更する」を選んでください。（→ **65** ページ）

2 設定項目を選んで決定します

- 予約録画の条件によって選べる項目が異なります。（→**左記**）

3 各項目を設定します ▶**59** ページ

4 設定が終わったら「予約設定完了」を選んで決定します

5 「予約設定終了」で決定します

決定 を押す

⇒ 電子番組表（Gガイド）などが表示されます。

6 詳細設定を終了します

終了 を押す

予約内容を確認／変更／取り消す

予約している録画内容を確認したり変更、取り消すことができます。

基本操作

で選択、決定で決定

予約リストで内容を確認・変更する

1 「予約」画面を表示させます

予約（ふた内）を押す

- ホームメニューの「予約」を選んで決定を押しても「予約」画面を表示させることができます。

2 「予約設定」－「予約リスト」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 予約リストが表示されます

- 確認のみの場合は終了を押して操作を終えます。
- 予約リストに表示されるマークについては **242** ページをご覧ください。

予約リストの画面例

予約実行可能　**/**［*］まで

地上D 011　SHK総合・東京　春のイタリア観光
/［*］午後10:00～午後11:00　画質：5倍　延長：入

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**［*］午後10:00～午後11:00	［地D 011］	春のイタリア観光	HDD	5倍	毎週	○
2	**/**［*］午前**:**～午前**:**	［地D 061］	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 081］	新春、芸能人大集合	HDD	5倍		休
4	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 051］	マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**［*］午後**:**～午前**:**	［地D 011］	ウィンブルドン2001	HDD	DR	月～金	○
6	**/**［*］午前**:**～午前**:**	［地D 041］	俺は待ってないぜ	HDD	DR	毎週	○
7	**/**［*］午前**:**～午後**:**	［地D 011］	大リーグ中継	HDD	5倍	毎週	○
8	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 021］	俳句の王様	HDD	5倍	毎週	○
9	**/**［*］午前**:**～午前**:**	［地D 011］	音楽のある街	HDD	5倍	毎週	×
10	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 011］	世界の絶景スペシャル	HDD	5倍	毎週	○
11	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 011］	大相撲中継	HDD	5倍		○
12	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 081］	Sunday Love	HDD	5倍		○
13	**/**［*］午前**:**～午前**:**	［地D 061］	地球の歌	HDD	5倍		○
14	**/**［*］午前**:**～午前**:**	［地D 081］	J-ショップ	HDD	5倍	毎日	○
15	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 081］	名曲リクエスト20	外付けHDD	5倍		休
16	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 021］	思い出名曲集		5倍		○
17	**/**［*］午後**:**～午後**:**	［地D 051］	幸せお便り	外付けHDD	5倍		○
18	**/**［*］午前**:**～午前**:**	［地D 031］	将棋名人戦	外付けHDD	5倍		○

選択　決定 決定　戻る 前画面　終了 終了　青 番組表　赤 おすすめ消去　緑 予約休止入／切　黄 ディスク予約

① HDD（ハードディスク）に予約録画ができる日付けの目安

② 予約した番組がコピー制限のある番組（「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」）であることを表します。

③ 録画先として指定されたグループ

④ 保存設定表示
- ：消さないで予約
- ：重ね録り予約

⑤ 設定されている録画画質

⑥ 予約録画延長設定表示

⑦ 予約登録時の予約内容が表示されます。

⑧ 録画先
- HDD：内蔵 HDD への予約
- BD：BD への予約
- 外付け HDD：外付け HDD への予約
- ：マイディスク予約専用ディスク

⑨ 毎日・毎週予約など繰り返し予約をした場合は、設定内容が表示されます。

⑩ 予約実行可能表示
- ○：HDD（ハードディスク）または BD（ブルーレイディスク）の残時間を判定し、録画可能であることを表します。
- ×：HDD（ハードディスク）または BD（ブルーレイディスク）の残時間の不足、または記録できるタイトル数の制限を超えているため予約録画が実行できないことを表します。
- 休：予約休止状態になっていることを表します。
- 空白（表示なし）：録画先が「ダビング予約」のときは何も表示されません。残時間の判定は行いません。
- ⃠：予約実行されなかったマイディスク予約
- ※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。
- ❶：「録画 1」での録画中
- ❷：「録画 2」での録画中

⑪ 番組表を表示します。（青）

⑫ おすすめ消去リストを表示して、不要なタイトル（録画した番組）を消せます。（赤）

⑬ 録画予約を休止状態にしたり、休止状態になっている予約を、予約実行可能状態にします。（緑）
※休止した予約は録画開始時刻を過ぎると取り消されます。

⑭ マイディスク予約の入った BD-RE ディスクが本機に入っているときだけ、表示されます。
マイディスク予約の確認・取り消しができます。（黄）

ヒント

- 文字サイズ（ふた内）で、文字の大きさを変えることができます。

休止解除したデジタル放送と重なる予約があるときは

- 休止状態になっているデジタル放送の予約を実行可能状態にしたときに、重複した予約があると、予約重複画面が表示されます。予約の重複について詳しくは、**66** ページをご覧ください。

4 変更・取り消したい番組を選びます

● **予約内容を変更したいとき**

変更したい番組を選び （決定） を押す

⇒ 手順 **5** へ

● **予約内容を取り消したいとき**

取り消したい番組を選び ［消去］ を押す

⇒ **確認画面が表示されます。**

- 「する」を選んで決定すると、選択した予約が取り消されます。
- 「しない」を選んで決定すると、予約リストに戻ります。

5 実行したい項目を選んで決定します

予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか？

取り消す　変更する　変更しない　マイディスク予約する

● **予約を取り消す場合**

⇒ **「取り消す」を選び、確認画面で「する」を選びます**

● **予約を変更する場合**

⇒ **「変更する」を選び、予約設定画面で変更してください。内容について詳しくは→ 59 ページ**

- 番組表から予約した番組の日時を変更するときは 緑（日時変更）を押してください。

ご注意

- 日時変更した予約、日時指定の予約の場合、「マイディスク予約する」は選べません。
- 番組開始まで 2 分を切ると予約はできません。リモコンの録画ボタンで録画してください。
- 放送局で番組の開始時刻が変更されると予約録画が行われない場合があります。「受信機レポート」にメッセージが残ります。 → **189** ページ

お知らせ

- 電源を切っても予約録画は行われます。予約後に電源を切った場合、あるいは録画予約中にリモコンの電源ボタンを押した場合は、予約録画終了後に自動的に電源が切れます。

メモ

- 予約録画に関する注意事項について→ **44**、**216** ～ **217** ページ
- LAN 接続によるスカパー！プレミアムサービス Link や CATV のデジタルセットトップボックスからの録画（LAN 録画）の予約内容の変更はそれぞれのチューナーから行ってください。

電子番組表（Gガイド）の予約リストで確認する

1 電子番組表（Gガイド）で番組を予約します

▶**53** ページ

2 予約リストの予約情報を確認します

- 青 を押すと電子番組表（Gガイド）の操作に戻ります。
- 予約した番組を選んで決定すると、予約内容の変更ができます。（→ **65** ページ）

● **予約内容を取り消したいとき**

取り消したい番組を選び ［消去］ を押す

⇒ **確認画面が表示されます。**

- 「する」を選んで決定すると、選択した予約が取り消されます。
- 「しない」を選んで決定すると、電子番組表（Gガイド）の予約リストに戻ります。

予約リストの予約情報

① **録画先**
HDD：内蔵 HDD への予約
BD：BD への予約
外付け HDD：外付け HDD への予約
（ディスク）：マイディスク予約

② **毎日・毎週予約など繰り返し予約をした場合は、予約の種類が表示されます。**

③ **設定されている録画画質**

④ **予約実行可能表示**
○：録画残時間を判定し、録画可能であることを表します。
×：録画残時間が不足、または記録できるタイトル数の制限を超えているため予約録画が実行できないことを表します。
休：予約休止状態になっていることを表します。
空白（表示なし）：録画先が「ダビング予約」のときは何も表示されません。残時間の判定は行いません。
⊘：予約実行されなかったマイディスク予約
※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の録画が実行可能かどうかを表示します。
❶：「録画 1」での録画中
❷：「録画 2」での録画中

⑤ **毎日・毎週予約など繰り返し予約をした場合は、次回の予約内容が表示されます。**

ヒント

- 電子番組表（Gガイド）で 予約（ふた内）を押すと、予約リストの表示／非表示を切り換えることができます。

予約設定時に表示されるメッセージについて

電子番組表（Gガイド）でのデジタル放送番組予約時に、取得された番組情報に基づいてメッセージが表示されることがあります。以下の対応をしてください。

• 予約した番組によっては、番組情報の取得に時間がかかることがあります。

■ デジタル録画禁止の番組を予約したとき

> この番組は録画不可の番組のため
> 録画できません。

•「確認」で 決定 を押してください。

■ 有料番組を予約したとき

> 予約しました。契約済みのＢ－ＣＡＳカードを
> レコーダーに入れておいてください。

■ 設定した予約が他の予約と重複しているとき

設定した予約が他の予約と重なっているときは、予約重複画面が表示されます。

予約重複画面例

同じ時間帯に予約されている番組があるため、これ以上予約できません。
いずれかの予約を休止して、この番組を予約しますか？

•「下の予約を休止（重複グループ１）」または「下の予約を休止（重複グループ 2)」を選ぶと、録画予約されていた番組を休止して今回設定した予約が実行されます。（録画予約されていた番組の予約は残ります。）

•「下の予約と重複を許可して予約する」を選ぶと、重複を許可して予約を追加することができます。ただし、いずれかの番組が重複条件により休止になります。（繰り返し予約の場合、その予約は残ります。）
（重複条件については、**61** ページをご覧ください。）

•「下の予約を休止し予約する」を選ぶと、録画予約されていた番組を休止して今回設定した予約が実行されます。（録画予約されていた番組の予約は残ります。）

•「予約しない」を選ぶと予約が取り消されます。

詳しくは画面の表示に従って操作してください。

■ 記録できるタイトル数、チャプター数および管理情報の制限を超えていて設定した予約が録画できないとき

> この番組を予約しました。
>
> ＨＤＤに記録できるタイトル数、チャプター数および
> 管理情報数の制限により、実行できない予約があります。
> 予約実行可能目安：**/**［*］まで
> タイトル消去を行ってください。
>
> 予約設定完了　おすすめ消去リスト

• 詳しくは **215** ページをご覧ください。

■ HDD（ハードディスク）残時間がなく設定した予約が録画できないとき

> この番組を予約しました。
>
> 現在のＨＤＤ残時間ではこの予約は最後まで実行できません。
> 予約実行可能目安：**/**［*］まで
> ＨＤＤ残時間を増やすにはタイトル消去を行ってください。
>
> 予約設定完了　おすすめ消去リスト

• 詳しくは **55**、**64** ページをご覧ください。

お気に入り番組専用のディスクを作る（マイディスク予約）

マイディスク予約とは、予約情報を書き込んだBD-REを本機に挿入するだけで予約録画が行える機能です。
• 予約情報を書き込めるディスクは BD-RE のみです。

ご注意

・番組表からの予約のみ、マイディスク予約が行えます。

お知らせ

・1 枚のディスクに予約できるマイディスク予約は最大 8 件です。
・マイディスク予約機能を搭載していない機器で初期化や録画をした BD-RE にはマイディスク予約情報を書き込めない場合があります。本機で初期化を行ってください。→ **30** ページ
・マイディスク予約情報を書き込んだディスクを他の予約書き込み機能に対応した機器に挿入した場合、直近の予約のみが実行されます。他機が対応していない録画画質を設定していたときは他機が設定している録画画質で録画されます。
・マイディスク予約機能に対応した機器にマイディスク予約を書き込んだディスクを挿入したときは実行されます。
・マイディスク予約が登録されていないマイディスクをシャープ製の予約書き込み機能対応機器に挿入した場合は、通常の BD-RE として扱われます。
・予約の登録されたマイディスクをシャープ製の予約書き込み機能対応機器に挿入し、予約を削除した場合は、通常の BD-RE として扱われます。

ヒント

・予約録画の操作に慣れている方にマイディスクを作っていただけば、あとは本機あるいはマイディスク予約機能に対応した機器にそのディスクを挿入するだけで、予約録画が自動で行えます。
・予約情報を書き込んだディスクはマイディスク予約専用ディスクとなるため、誤って他の番組のダビングに使われる心配がありません。お気に入りの番組だけをディスクごとに管理できるので便利です。

基本操作

で選択、決定 で決定

マイディスク予約専用ディスクを作る

1 マイディスク予約専用にする BD-RE を挿入します

▶**28** ページ

• 新品のディスクを挿入したときは「初期化」（→ **30** ページ）が始まります。しばらくお待ちください。終了したら「ダビングしない」を選んでください。

2 デジタル放送を選びます

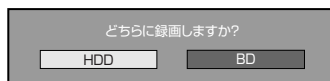
地上D BS CS を選ぶ

3 番組表を表示させます

を押す

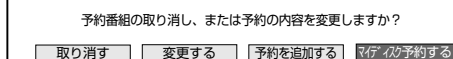
4 マイディスク予約する番組を選んで決定します

5 「BD」を選んで決定します

どちらに録画しますか?
HDD | BD

⇒ 予約リストに予約が表示されます。
⇒ 挿入されているのがマイディスク予約専用ディスクの場合は手順 **8** に進みます。

6 予約した番組を再度選んで決定します

7 「マイディスク予約する」を選んで決定します

予約番組の取り消し、または予約の内容を変更しますか？
取り消す | 変更する | 予約を追加する | マイディスク予約する

• 緑（日時変更）を行った予約はマイディスク予約の情報を書き込めません。

8 「了解」を選んで決定します

• 本体予約とマイディスク予約が重なっている場合は予約重複メッセージが表示されますので、画面の指示に従ってどちらの予約を行うか設定してください。

9 「戻る」で決定します

決定 を押す

• マイディスク予約専用ディスクを本機からいったん取り出した場合は、予約開始時刻の 5 分前までに挿入してください。
• ディスクのラベル面に名前や番組名を書いておくと便利です。

マイディスク予約内容を確認・変更したいとき

1 「予約」画面を表示させます

予約 を押す
（ふた内）

- ホームメニューの「予約」を選んで 決定 を押しても「予約」画面を表示させることができます。

2 「予約設定」－「予約リスト」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 マイディスク予約登録確認画面を表示します

黄（ディスク予約）を押す

■ マイディスク予約登録確認　このディスクには以下の予約が設定されています

春のイタリア観光　画質：5倍　延長：入

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	実行
1	**／** [*] 午後**：**－**：**	[地D 013]	春のイタリア観光		5倍	○
2	月~金 午後**：**－**：**	[CS 050]	K－5格闘技選手権		5倍	○
3						

- 確認のみの場合は 終了 を押して終わります。

4 取り消したい、または変更したい予約を選んで決定します

5 実行したい項目を選んで決定します

● 予約を削除する場合

⇒「予約を削除する」を選んで決定した後、「戻る」を選んで決定してください。

● 予約を変更する場合

⇒「予約を変更する」を選んで決定した後、予約設定画面で変更してから「完了」を選んで決定してください。内容について詳しくは→ **59** ページ

6 終了します

終了 を押す

マイディスク予約専用ディスクを取り出したとき

1 予約録画の開始時刻５分前までに、マイディスク予約専用ディスクを挿入します

- すでに挿入している場合は確認画面が表示されます。
- マイディスク予約と本体予約の合計が 65 番組を超えたときはマイディスク予約が登録されず、再生専用ディスクとして扱われます。マイディスク予約を登録したい場合は、マイディスク予約分、本体予約を取り消してから、マイディスク予約登録を行ってください。

2 「確認」で決定します

決定 を押す

⇒ マイディスク予約が予約リストに加わり、予約を完了します。

- マイディスク予約と本体予約が重なった場合は予約重複メッセージが表示されます。どちらの予約を行うか選びます。
- そのほかメッセージが表示される場合は **226** ～ **227** ページをご覧ください。

マイディスク予約専用ディスクを通常のディスクに戻すには

1 左記の「マイディスク予約内容を確認・変更したいとき」の手順 **1** ～ **3** を行います

■ マイディスク予約登録確認　このディスクには以下の予約が設定されています

春のイタリア観光　画質：5倍　延長：入

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	実行
1	**／** [*] 午後**：**－**：**	[地D 013]	春のイタリア観光		5倍	○
2	月~金 午後**：**－**：**	[CS 050]	K－5格闘技選手権		5倍	○
3						

2 ① 赤（マイディスク解除）を押します
②「する」を選んで決定します

マイディスクとして設定したディスクを通常のディスクに戻します。ディスクに予約が設定されている場合、その予約は全て消去されます。
このディスクを通常のディスクに戻しますか？

する　しない

3 「確認」で決定します

決定 を押す

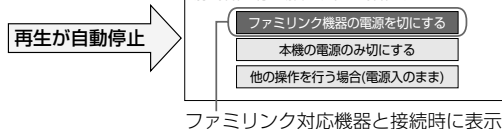
⇒ 設定されているマイディスク予約情報が全て消去され、通常の BD-RE として使用できます。

- 録画されている番組は消去されません。

再生をする前に

録画した番組や BD（ブルーレイディスク）、DVD ディスクなどを再生する前にお読みください。

電源自動「切」機能

- 本機は録画した番組の再生時、ディスクの再生時に最後まで再生し、自動停止したときは自動的に電源を「切」にする省エネ機能を搭載しています。シャープ製ファミリンク対応機器と接続しているときは、本機とファミリンク対応機器の電源を自動的に切ります。（「早送り」や「頭出し（チャプター送り）」などの操作を行い、タイトルの最後となり自動停止したときは働きません。）電源自動「切」メッセージを表示させたくないときは、「ホーム」－「設定」－「安心·省エネ」の「再生後自動オフ設定」で設定します（→ **194** ページ）。

- 電源「切」設定画面は約 5 分間表示されます。何も操作されないときは 5 分後に電源が切れます。
- 電源「切」設定画面表示中は、つぎのボタン以外は働きません。（決定）（終了）（戻る）（電源）（トレイ開/閉）
- （終了）または（戻る）で画面を消したときは、自動電源「切」機能は働きません。

録画リスト表示について

内蔵 HDD の画面リスト表示例

ご注意

- 上記は内蔵 HDD の画面リストの例です。外付け HDD、BD（ブルーレイディスク）、DVD ディスクの画面リストの場合は、表示される内容が異なります。

お知らせ

- 視聴年齢制限を設定（→ **196** ページ）しているとき、年齢制限されている番組は、録画リストが黒画面となります。タイトル名は「＊＊＊」表示となります。

録画リストの文字の大きさ

- リモコンの（文字サイズ）（ふた内）を押して、文字の大きさを変えることができます。

録画リストの表示を切り換える

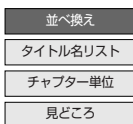
録画リスト表示を「画面リスト」や「タイトル名リスト」、「チャプター単位」、「見どころ」、放送番組や動画アルバムなどの表示に切り換えることができます。

1 録画リストを表示させます。

（録画リスト／トップメニュー）を押す

■ 画面リスト

2 表示方法を選んで決定します

(1) （赤）（表示方法）を押します。

(2) （▲▼）で選び（決定）を押します。

■ タイトル名リスト

内蔵 HDD の表示例

SHK h　　新春、芸能人大集合
／ [*] 午後11：00　60分 DR 1➡
[新しい順] ****/全****タイトル　前ページ　次ページ

	No.	タイトル	日付	時間	モード
NEW	1	春のイタリア観光	**／** [*]	60分	DR
	2	K－5格闘技選手権	**／** [*]	60分	5倍
	3	新春、芸能人大集合	**／** [*]	60分	DR
	4	マニュアル浜口夫人	**／** [*]	120分	5倍
	5	ウィンブルドン2001	**／** [*]	60分	5倍
	6	俺は待ってないぜ	**／** [*]	60分	5倍
	7	大リーグ中継	**／** [*]	120分	DR
	8	俳句の王様	**／** [*]	15分	DR
	9	音楽のある街	**／** [*]	30分	DR

- 画面リストに戻すときは、赤 を押して「画面リスト」を選んで決定します。

●見どころポップアップサーチ

- 見たいシーンから再生するときは

(1) で再生したいタイトルを選んで （ポップアップ）メニュー を押します。

- 決定 を押しても見どころ一覧を表示することができます。
- 見どころポップアップシーンは、再生中にも表示できます。

(2) 選んだタイトルの見どころ一覧が表示されます。

- 黄 を押すごとに表示されるシーンの間隔が「標準」と「詳細」で切り換わります。

(3) で見たいシーンを選んで を押します。

- 選んだシーンからの再生が始まります。
- 見どころポップアップサーチの表示中に 決定 を押すと前または後ろのタイトルの見どころポップアップサーチが表示されます。
- 見どころポップアップサーチの表示を消したいときは、戻る または （ポップアップ）メニュー を押します。
- 見どころ一覧の左端のシーンを選んで 決定 を押しても、表示を消すことができます。

お知らせ

- 外付け HDD、BD、DVD ディスクの再生では見どころポップアップサーチは表示できません。
- 見どころポップアップサーチのシーン一覧は、録画時に約 2 分 30 秒間隔で自動で作成されます。
- 見どころポップアップサーチに表示されるシーンは、最大 256 場面です。
- タイトルを編集した場合、見どころポップアップサーチのシーンが変更となる場合があります。

■ チャプター単位

- タイトル単位に戻すときは、赤 を押して「タイトル単位」を選んで決定します。
- チャプターについて➞ **84**、**93** ページ

お知らせ

- DVD ディスクの再生では、チャプター単位の表示はできません。
- 携帯電話用動画を同時録画中は、チャプター単位の表示はできません。

■ 見どころ

- HDD（ハードディスク）に録画したタイトルから、見たい場面をすぐに探すことができます。
- 録画したタイトルを 28 の場面に分けて表示します。

- タイトル単位に戻すときは、赤 を押ます。

お知らせ

- 外付け HDD、BD、DVD ディスクの再生では、見どころ画面表示はできません。
- 携帯電話用動画を同時録画中は、見どころ画面表示はできません。
- 28 分以下のタイトルの場合は、1 分単位で分割されたシーンが表示されます。たとえば 17 分 20 秒のタイトルの場合は、18 シーンとなります。(0 分、1 分、…、17 分の静止画が表示されます。

■ 並べ換え

HDD（ハードディスク）の表示例

- BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクの場合は、「新しい順」「古い順」「タイトル名順」「ディスクへの録画順」の並べ換えが行えます。BD と DVD(VR フォーマット)のディスクは、並べ換えた順番で再生できます。

⇒ **並び換えられた録画リストが表示されます。**

録画リストのグループ表示切換

・グループ表示はハードディスク内に録画した「放送番組」または「動画アルバム」の切り換えと、「グループ別」、「ジャンル別」、「予約別」、「キーワード検索」などのグループ単位表示に切り換えることができます。

放送番組

・放送や外部入力を録画した映像は、放送番組として分類されます。

動画アルバム（内蔵 HDD）

・AVCHD 方式のデジタルビデオカメラから取り込んだ動画と AVCHD 記録の DVD からダビングした動画は、動画アルバムとして分類されます。

動画アルバム

グループの種類について HDD（内蔵／外付け）

・録画リスト表示を「放送番組」または「動画アルバム」に切り換えると、切り換えた「放送番組」または「動画アルバム」に応じた「グループ別」、「ジャンル別」、「予約別」、「キーワード検索」※などのグループ単位表示になります。
※外付け HDD では「キーワード検索」グループは表示されません。

グループ表示切換画面

で選び 決定 を押す

選択したグループの表示になります。

■「放送番組」を表示させたときのグループの種類

・**グループ別** ⇒ 予約録画時など、グループに設定した番組を表示。（→ **75** ページ）
・**ジャンル別** ⇒ スポーツやドラマなど選択したジャンルの番組を表示。（→ **76** ページ）
・**予約別** ⇒ 条件を指定して自動録画した番組や毎日・毎週予約録画した番組を表示。（→ **76** ページ）
・**キーワード検索** ⇒ 設定したキーワードに該当する番組を検索して表示。（→ **77** ページ）

各グループ表示と全番組表示の切り換えは、戻る を押します。

緑（グループ／検索）⇔ 戻る（全一覧）

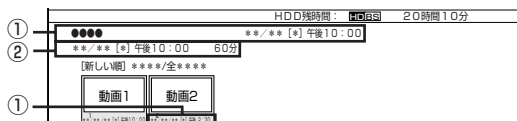
■「動画アルバム」を表示させたときのグループの種類

・**グループ別** ⇒ グループに設定した動画アルバムを表示。（→ **75** ページ）

グループ表示と全動画表示の切り換えは、戻る を押します。

緑（グループ）⇔ 戻る（全一覧）

■ 動画アルバムの表示について

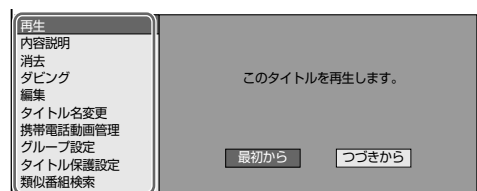
・AVCHD 方式のカメラで撮影した日時はタイトル名として①に表示されます。
（タイトル名を変更したいときは「タイトル名変更」（→ **98** ページ）で行えます。）

①：撮影日時がタイトル名として表示されます。
②：撮影日時が表示されます。

録画リストから各機能を設定する（機能メニュー）

先にタイトル（録画した番組）を選んでから編集などを行うには、録画リストでタイトルやチャプターを選んでから「機能メニュー」によって各種機能を呼び出す方法が便利です。

1 録画リストで「機能メニュー」を表示させます

録画リスト（トップメニュー）を押す ⇒ 青 を押す

- 録画リストでの切り換え（タイトル名リスト／チャプターリスト、オリジナル／プレイリスト※）によって、表示される機能は異なります。
  ※他機でプレイリストを作成したディスクを挿入した場合

機能メニュー

2 それぞれの設定をします

- 操作については、それぞれの参照ページをご覧ください。

「機能メニュー」では、次のような機能を呼び出すことができます。操作について詳しくは、それぞれの参照ページをご覧ください。

■再生（→ 73、81 ページ）
HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR
録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を再生します。一度再生し、途中で停止したタイトルをはじめから見たいときに選択します。
※ DVD-RW/-R ビデオフォーマットをファイナライズすると録画リストはご覧いただけません。タイトルメニュー画面になります。

■内容説明 HDD※1 外付けHDD
録画画質「DR」、「2倍」、「3倍」、「5倍」、「7倍」、「10 倍」、「12 倍」、「HD ○○」で録画したデジタル放送番組の内容を表示します。
（BD・DVD は表示されません。）
- 内容説明の文字をキーワードにして、録画リストの番組や番組表を検索することができます（→ **77** ページ）。

■消去※2（→ 89 ページ）
HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR
録画リストで選んだタイトル（またはチャプター）を消去できます。DVD ディスクのタイトルは、チャプター単位の消去はできません。

■ダビング（→ 99 ページ）
HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR
HDD（ハードディスク）に録画した番組を BD にダビングしたり、さまざまなダビングができます。

■編集（→ 91 ページ）
HDD 外付けHDD BD
HDD（ハードディスク）、BD に録画した番組は、編集の操作でコマーシャルなどをカットしたりすることができます。

■タイトル名変更※2（→ 98 ページ）
HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R ビデオ DVD-RW/-R VR
タイトル名を変更することができます。番組名など、わかりやすいタイトル名に変更しておくと見たい番組を探すときに便利です。

■携帯電話動画管理※1 HDD
携帯電話転送用動画の消去ができます。

■グループ設定（→ 75 ページ） HDD 外付けHDD
録画リストで選んだタイトルを、グループに分けて分類・整理できます。

■タイトル保護設定※2（→ 88 ページ）
HDD 外付けHDD BD DVD-RW/-R VR
タイトルを保護します。
誤って編集や消去をしないようにするときに設定します。

■類似番組検索 HDD（→ 74 ページ）
録画したタイトルの番組名と似ているタイトルの番組を番組表から検索し予約することができます。

※1 動画アルバムの場合は、「内容説明」と「携帯電話動画管理」は表示されません。
（携帯電話転送用動画が記録されていない番組では、「携帯電話動画管理」は表示されません。）
※2 DVD-RW（ビデオフォーマット）、DVD-R ディスクは、ファイナライズを行うと再生専用ディスクとなり操作できません。

HDD に録画した番組やダビングした BD・DVD を再生する

- HDD（内蔵／外付け）や BD（ブルーレイディスク)、DVD ディスクに録画された番組（タイトル）を「録画リスト」から選んで再生します。
- 他機で録画した DVD ディスクは、ファイナライズされたディスクが本機で再生できます。

ご注意

- BD-RE Ver.1.0（カートリッジ入り）は、本機で再生できません。また、本機に挿入することもできません。
- 他の BD レコーダーで録画した BD-RE/-R には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ(HDV方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できない場合があります。

お知らせ

- ビデオフォーマットで録画した DVD ディスクをファイナライズ（→ **119** ページ）すると、他の DVD プレーヤーでも再生できるメニュー画面が自動的に作成されます。そのため、ファイナライズ前とファイナライズ後ではメニュー画面が異なります。
- 他機でファイナライズされたディスクは、タイトルメニューなどの画面がそれぞれ異なりますが、再生できます。
- 本機でのファイナライズ操作については、**119** ページをご覧ください。
- 再生専用のディスクを挿入したときは、自動で BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。
- 録画リストに表示されるタイトル名は、最大で HDD（内蔵／外付け）で全角 40 文字（BD 全角 40 文字・DVD 全角 32 文字）です。本機以外で録画したディスクなどで本機で表示できない記号や文字があったときは「＊」表示となります。
- DVD では、ディスクを一度トレイから取り出すと、録画リストに「XP」や「SP」などの画質表示が出なくなります。
- 録画した番組で、まだ再生していない番組には「NEW」が表示されます。(BD/DVDは、一度ディスクを取り出すと表示されません。)
- 録画リストについてお困りの際は「故障かな？と思ったら」（→ **219** ページ）をご覧ください。
- 視聴年齢制限を設定（→ **196** ページ）しているとき、設定した年齢制限に該当する番組を再生しようとしたときは、年齢制限を解除するためのパスワード入力画面が表示されます。パスワードは本機に設定されているパスワードです。
- 録画した 3D 放送を 3D で視聴するには、3D 対応テレビの設定が必要です。詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- 長時間録画画質で録画された番組を再生するときは、お好みに応じて画質調整（→ **193** ページ）することをおすすめします。
- ライブ中に かんたん メニュー を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単に再生することができます。→ **27** ページ

基本操作

準備 BD・DVD を再生するときは再生用のディスクを挿入します

▶**28** ページ

1 HDD または BD/DVD を選びます

BD/HDD を押す

- 電源を入れた時点では HDD モードです。押すごとにモードが切り換わります。
  詳しくは「モードの切り換え」（→ **31** ページ）をご覧ください。

2 録画した複数の番組の中から選んで再生したいとき

録画リスト（トップメニュー） を押す ⇒ 録画リストが表示されます。手順 **3** に進みます。

- **動画アルバムにダビングしたビデオカメラの映像を再生したいときは、黄（動画アルバム）を押します。**

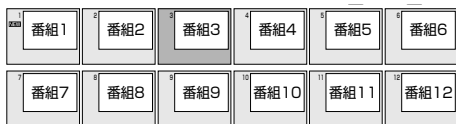
⇒ 動画アルバムが表示されます。手順 **3** に進みます。

録画した番組をすぐに再生したいとき

ゆっくり ▶ 再生 を押す ⇒ 最後に録画または再生したタイトルが再生されます。

3 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

⇒ 再生が始まります。

画面リストの画面例

- 画面リストの場合、小画面を選ぶと自動的に小画面のまま再生されて内容を確認できます。（早送り で小画面早送り、早戻し で小画面早戻し）
- ページが複数あるときは：前/ちょっと戻ってテレビ ⏮ ／次 ⏭ でページ切換

ヒント

- 再生中に 録画リスト（トップメニュー） を押すと、再生を停止して、録画リストを表示できます。
- HDD（ハードディスク）の録画リストで 青（機能メニュー（編集／ダビング））を押すと、タイトルの編集や消去ができます。

■ 再生が終わると

HDD（ハードディスク） ⇒ 放送中のテレビ番組映像
動画アルバム・BD・DVD ⇒ 次のタイトルを再生

4 再生を止めるときは

■停止 を押す

- 再生をタイトルの途中で止めたときは、つづきから再生することができます。
- つづき再生について→ **81** ページ

他機で録画した BD や DVD を再生する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP

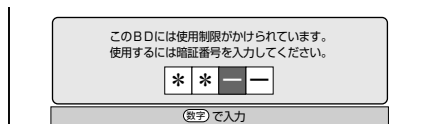
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1 ディスクを挿入します ▶**28** ページ

ヒント

BD を挿入したとき

・他機で使用制限をかけた BD を挿入すると、次のような画面になります。暗証番号を入力してください。

このBDには使用制限がかけられています。
使用するには暗証番号を入力してください。
＊ ＊ ー ー
数字 で入力

・暗証番号を3回まちがえると、ディスクトレイが開きます。ディスクトレイを閉じてから、正しい暗証番号を入力してください。

2 自動的に再生が始まらないときは、再生を始めます

ゆっくり ▶再生 を押す ⇒ 最初から再生されます。

■ 再生を止めるときは

■停止 を押す

タイトルを選んで再生するには

1 停止中に録画リストまたはタイトルメニューを表示させます

録画リスト トップメニュー を押す

2 タイトルを選んで決定します

⇒ 再生が始まります。

ヒント

・録画リスト（タイトルメニュー）が表示されない場合は、一度再生させて停止し、手順 **1** を再度行ってください。

ご注意

・他の BD レコーダーで録画した BD には、一部再生できないディスクがあります。例えば、デジタルハイビジョンカメラ（HDV 方式）で撮影した映像を録画したディスクなどは再生できない場合があります。
・他の BD レコーダーで録画された BD ディスクが H.264 画質で長時間録画されているときは、本機では再生できない場合があります。
・本機以外でダビングした DVD-R DL（2 層）ディスクは、再生できない場合があります。
・他機で録画した DVD ディスクが再生できないときは、録画に使用した機器でファイナライズを行ってください。
・他の DVD レコーダーで付けたタイトル名で本機で表示できない文字は、「＊＊＊＊‥‥」（最大で全角 32 文字分）の表示となります。
・他のレコーダーでフレーム単位の編集をしたディスクを再生したときは、開始地点、終了地点がずれたりインデックス画面が異なる場合があります。
・他機で録画した BD、DVD ディスクに著作権保護された映像が含まれているときは、再生できない場合があります。

プレイリスト表示（プレイリストのあるディスクを挿入したとき）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP

BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD ビデオ 音楽用CD

1 画面リストまたはタイトル名リストで「プレイリスト」を選びます

黄 を押す

・押すたびに「オリジナル」⟷「プレイリスト」表示となります。

2 リストを選んで決定します

⇒ 再生が始まります。

お知らせ

・デジタル放送を録画（ダビング）した DVD ディスクを再生したとき、つぎの操作はできません。
　・番組情報は表示できません。
　・連動データは表示できません。
　・字幕は表示できません。
・本機に録画した映像を再生したとき、録画されている録画画質により放送と見え方が違って見える場合があります。
・「2 倍」～「12 倍」、「HD ○○」で録画した番組を 16：9 テレビで見たとき、放送と違って見える場合はテレビの画面サイズを変更してください。

録画したタイトルと似ている番組を番組表からさがす（類似番組検索）

・録画したタイトルと似ている番組を、番組表から探すことができます。
・外付け HDD、BD の録画リストから類似番組検索はできません。

1 録画リストで「機能メニュー」を表示させます

録画リスト トップメニュー を押す ⇒ 青 を押す

2 「類似番組検索」を選んで決定します

3 「する」を選んで決定します

・類似番組の一覧が表示されます。

4 番組を選びます

● **放送中の番組を選んだときは**

らくらく予約 ●録画 を押す⇒録画されます

決定 を押す⇒選局されます

● **未放送の番組を選んだときは**

・予約録画の設定をします。予約録画の方法は 2 種類あります。（→ **53** ページ）

らくらく予約 ●録画 を押す⇒自動で予約内容が設定されます

決定 を押す⇒手動で予約内容の設定をします

グループ別／ジャンル別／予約別／キーワード検索リストから再生する

放送番組、動画アルバムリストで「グループ別リスト」「ジャンル別リスト」「予約別リスト」「キーワード検索」の録画リスト表示が行えます。
• 外付け HDD では「キーワード検索」の録画リストは表示されません。

お知らせ

グループに含まれないタイトル（録画した番組）を再生する
- 放送中の番組を録画した場合やグループ設定をしないで予約録画した場合は、どのグループにも含まれないタイトルになります。
- どのグループにも含まれていないタイトルは、グループ別リストからは選べません。リモコンの 録画リスト（トップメニュー） を押し、録画リストから選んで再生してください。
- グループ別リストから選びたい場合は、「録画リスト」－「機能メニュー」－「グループ設定」でタイトルをいずれかのグループに設定してください。

基本操作

レコーダー側に

で選択、決定 で決定

グループ別リストから再生するには

• グループ別リストは「放送番組」、「動画アルバム」の録画リストで選べるグループリストです。

1 HDD モードを選びます

BD/HDD を押す

• HDD モードを選びます。詳しくは「モードの切り換え」（→ **31** ページ）をご覧ください。

2 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

録画リスト（トップメニュー） を押す ⇒ 緑 を押す
（グループ／検索）

3 「グループ別」を選び、再生したいグループを選んで決定します

グループ別		ジャンル別		予約別		キーワード検索
NEW 1 グループ1	[1]	NEW ニュース/報道	[3]	NEW AUTO 自動録画	[12]	フランス
2 グループ2	[12]	スポーツ	[1]	ニュースの林	[1]	（未設定）
3 グループ3	[0]	NEW 情報/ワイドショー	[6]			車
4 グループ4	[0]	ドラマ	[0]			犬
5 グループ5	[0]	音楽	[2]			（未設定）
6 グループ6	[0]	バラエティ	[4]			（未設定）
7 グループ7	[0]	映画	[0]			

まだ視聴していない番組があるときに表示

4 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

⇒ 再生が始まります。
- 再生を止めるときは ■停止 を押します。
- 再生が終わると、放送中のテレビ番組映像になります。

グループ別リストのタイトルを他グループへ設定し直すには

1 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

録画リスト（トップメニュー） を押す ⇒ 緑 を押す
（グループ／検索）

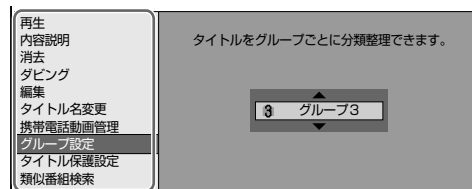
2 「グループ別」を選び、移動したいタイトルが入っているグループを選んで決定します

3 グループ別リスト画面で移動したいタイトルを選びます

4 「機能メニュー」を表示させます

青 を押す

5 「グループ設定」を選んで決定します

6 移動先のグループを選んで決定します

機能メニュー

- 選べるグループは、「グループ 1」～「グループ 20」の 20 グループです。

⇒ 選んだタイトルが移動先のグループへ

ヒント
- 「設定しない」を選ぶと、どのグループにも含まれなくなります。

7 設定を終了します

終了 を押す

グループ設定していないタイトルをグループ設定するには

1 録画リストを表示させます

録画リスト（トップメニュー）を押す

2 グループ設定したいタイトルを選びます

3 **75**ページの「グループ別リストのタイトルを他グループへ設定し直すには」の手順**4**～**7**を行います

グループの名前を変えるには

1 グループ表示切換画面で「グループ別」を選び、名前を変えたいグループを選びます

2 ソフトウェアキーボードを表示させます

黄 を押す

3 グループ名を入力します

- 最大で全角８文字のグループ名が入力できます。
- 文字を入力する→ **116** ページ

ジャンル別／予約別リストから再生するには

- ジャンル別リストは、放送番組で選べるグループリストです。
- 予約別リストは、毎日・毎週など繰り返し予約や、自動録画で録画したタイトルごとに表示させます。繰り返し予約のリスト名は、初回に録画した番組名となります。

1 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

録画リスト（トップメニュー） を押す ⇒ 緑（グループ／検索） を押す

2 リストを選びます

グループ別	ジャンル別	予約別	キーワード検索
1 グループ１ [0]	NEW ニュース/報道 [6]	AUTO 自動録画 [12]	フランス
2 グループ2 [0]	スポーツ [1]	ニュースの林 [1]	（未設定）
3 グループ3 [0]	NEW 情報/ワイドショー [6]		車

● **ジャンル別リストから再生するとき**
「ジャンル別」を選び、再生したいジャンルを選んで 決定 を押す

● **予約別リストから再生するとき**
「予約別」を選び、再生したい予約別リストを選んで 決定 を押す

3 見たいタイトル（録画した番組）を選んで決定します

⇒ 再生が始まります。

- 再生を止めるときは ■停止 を押します。

キーワードからさがす（キーワード検索）

- 録画したタイトルの内容説明からキーワードをコピーし、録画リストの番組や番組表を検索することができます。

キーワードを入力して検索する

1 録画リストでグループ表示切換画面を表示させます

録画リスト（トップメニュー）を押す ⇒ 緑 を押す
（グループ／検索）

2 「キーワード検索」を選びます

3 キーワード（検索条件）を設定／変更／削除します

- 「(未設定)」のところに新しいキーワードを設定できます。
- 設定できるキーワードは 6 つまでです。すでに 6 つ設定しているときは、設定済みのキーワードを変更して新たなキーワードを設定してください。

●キーワードを設定するときは

(1) 「キーワード検索」で「(未設定)」を選んで 決定 を押します。

●キーワードを変更するときは

(1) 「キーワード検索」で変更したい項目を選んで 緑 を押します。

(2) ソフトウェアキーボードからキーワードを入力します。（→ **116** ページ）

- 全角 20 文字以内（半角カナ文字は入力できません）。

●キーワードを削除するときは

(1) 「キーワード検索」で削除したい項目を選んで 黄 を押します。

(2) 「する」を選び、決定 を押します。

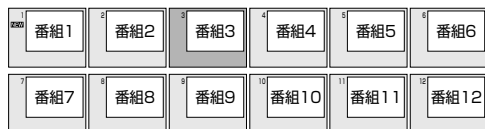
- 消去した項目は「キーワード検索」に「(未設定)」と表示されます。

4 キーワードを選んで決定します

⇒ 検索が始まります。

- 検索中は「キーワード検索中」が表示されます。
- 戻る で検索を中断できます。

5 検索結果が表示されます

1 NEW 番組1	2 番組2	3 番組3	4 番組4	5 番組5	6 番組6
7 番組7	8 番組8	9 番組9	10 番組10	11 番組11	12 番組12

内容説明からキーワードをコピーして検索する

1 録画リストでキーワードをコピーしたい番組を選びます

2 「機能メニュー」を表示させます

青 を押す

3 「内容説明」を選んで決定します

4 キーワードコピー画面を表示させます

赤（キーワードコピー）を押す

5 キーワードをコピーします

- コピーできるのは 20 文字までです。

開始点と終了点を決めます

6 「録画リストのキーワード検索を行う」を選んで決定します

⇒ グループ表示の「キーワード検索」欄にキーワードが設定されます

例：録画リストを検索したとき

	ジャンル別		予約別		キーワード検索
[0]	NEW ニュース/報道	[3]	NEW AUTO 自動録画	[12]	フランス
[0]	スポーツ	[1]	ニュースの林	[1]	(未設定)
[0]	NEW 情報/ワイドショー	[6]			車
[0]	ドラマ	[0]			犬
[0]	音楽	[2]			(未設定)
[0]	バラエティ	[4]			(未設定)
[0]	映画	[0]			
[0]	NEW アニメ/特撮	[3]			
[0]	ドキュメンタリー/教養	[7]			

「(未設定)」のところに、コピーしたキーワードが設定されます。

7 キーワードを選んで決定します

⇒ 検索が始まります。

- 検索中は「キーワード検索中」が表示されます。
- 戻る で検索を中断できます。

8 検索結果が表示されます

音楽CDや市販のBD／DVDビデオを再生する

音楽CDや映画などを収録した市販のBD／DVDビデオディスクを再生します。

基本操作

音楽CDを再生する

ご注意

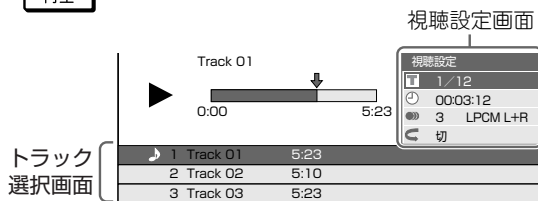
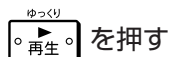
• ビデオCDは再生できません。

1 CDを挿入します

▶**28** ページ

• 読み込みが完了すると自動的に最初から（1曲目から）再生されます。

自動で再生されないときや、一時停止したときは再生ボタンを押します

を押す

2 曲を選んで再生したいときは、再生中または停止中に、再生したい曲を選んで決定します

3 再生を止めるときは

■停止 を押す

• 音楽CDの画面が消えます。

視聴設定画面で曲を選んで再生するには

1 CDを挿入して視聴設定画面を操作します

黄（視聴設定）を押す

2「T」を選んで決定します

3 曲番号を選んで決定します

ヒント

• 数字ボタンで指定して決定することもできます。
• 停止状態で 視聴設定 を押したときに表示される視聴設定画面については、**87** ページをご覧ください。

市販のBDビデオやDVDビデオを再生する

ご注意

• 新しいBDビデオの中には、最新のソフトウェアに更新をしないと再生ができないものがあります。「ホーム」－「設定」－「初期化･更新」－「ダウンロード設定」で「する」に設定（工場出荷時の設定）しておくと、デジタル放送波を利用したソフトウェアのダウンロードが自動的に行われ、常に最新のソフトウェアに更新されます。ソフトウェアの更新について詳しくは **201** ページをご覧ください。

お知らせ

• 市販のBDビデオやDVDビデオディスクには、自動的に再生が始まるものや、「トップメニュー」や「ディスクメニュー」が記録されているものがあります。（トップメニューを「タイトル」と呼んでいるものもあります。）
• 市販のBDビデオやDVDビデオを再生するときは、ディスクの取扱説明書や画面の指示にしたがって操作してください。
• 海外テレビ番組のDVDビデオなどで、吹き替えの音源がない部分がオリジナル音源（外国語）になり日本語と交互に切り換わる場合があります。
• 市販のBDビデオの再生中など、著作物によっては自動で静止画になるものもあります。このような著作物を再生し、自動で静止画になったときは II一時停止 を押して静止画を解除できます。
• BDビデオやDVDビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。
ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「音声出力レベル」で「シフト」（→ **193** ページ）にすることで音量を大きくすることができます。（DTS、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDで音声を収録したディスクでは働きません。）
• D映像ケーブルでテレビと接続している場合は、BDの再生映像は480iの信号で出力されます。（BDをハイビジョン画質で再生したいときは、HDMIケーブルでテレビと接続してください。）

メモ

• BD-JAVAを採用した複数のBDビデオを利用した場合、まれに、再生時の操作で動作が遅くなったり、正常に再生しなくなる場合があります。そのようなときは、「ホーム」－「設定」－「初期化･更新」－「個人情報初期化」－「BDビデオ用データ初期化」を行ってください。（→ **198** ページ）

1 ディスクを挿入します

▶**28** ページ

• 自動でBD/DVDモードに切り換わり、再生が始まります。
• この後HDD（ハードディスク）のタイトルを見たい場合は、再生を停止し、HDDモードに切り換えてください。
詳しくは「モードの切り換え」（→ **31** ページ）をご覧ください。

ヒント

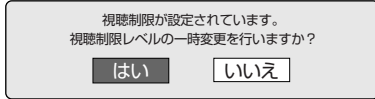
• 挿入すると自動的にメニュー画面が表示されるディスクもあります。画面の指示にしたがって操作してください。

2 自動的に再生が始まらないときは、BD/DVDモードに切り換えてから再生を始めます

BD/HDD を押す⇒ ゆっくり ▶再生 を押す ⇒ 再生

ヒント

- 視聴制限がかけられている場合

視聴制限が設定されています。
視聴制限レベルの一時変更を行いますか？
はい　いいえ

「はい」を選んだとき
暗証番号を入力して、視聴制限のかかったシーンを再生できます。暗証番号を３回まちがえると再生できません。（まちがえたときは、視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）

「いいえ」を選んだとき
視聴制限のかかったシーンを再生しません。（視聴制限のかかったシーンを飛ばして再生する、再生を停止する、ディスクトレイが開く、などディスクによって動作が異なります。）
- BD ビデオの場合も視聴制限のため再生できない場合があります。そのようなときは、再生を止めてから BD（ブルーレイディスク）の視聴制限の設定を変更してください。

- BD ビデオ視聴制限年齢について→ **196** ページ

3 再生を止めるときは

■停止 を押す

- つづき再生について→ **81** ページ

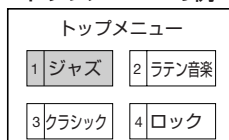
トップメニューを表示させるには

（トップメニューがある場合）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ **市販のBD/DVDビデオ** 音楽用CD

- ディスクを挿入して、録画リスト（トップメニュー）を押すと、トップメニューを表示します。
- 画面の指示にしたがって操作してください。

トップメニューの例

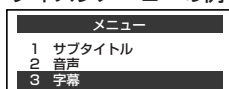
トップメニュー
1 ジャズ　2 ラテン音楽
3 クラシック　4 ロック

ディスクメニューを表示させるには

（ディスクメニューがある場合）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ **市販の　DVDビデオ** 音楽用CD

- ディスクを挿入して （ポップアップ）メニュー を押すと、ディスクメニューを表示します。
- 画面の指示にしたがって字幕や音声を選ぶなどの操作をしてください。

ディスクメニューの例

メニュー
1 サブタイトル
2 音声
3 字幕

お知らせ

- ディスクに記録されているメニュー画面などを、再生中に表示させたい場合は、録画リスト（トップメニュー） または （ポップアップ）メニュー を押します。
- トップメニューやディスクメニューの表示のさせかたはディスクによって異なる場合があります。詳しくは、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

ポップアップメニューを表示させるには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ **市販のBD　ビデオ** 音楽用CD

BD ビデオには、再生を止めることなくいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」があります。

(1) ディスク再生中に （ポップアップ）メニュー を押すと、ポップアップメニューを表示します。

(2) 項目を選んで決定します。
- ディスクによって表示される内容が異なります。ポップアップメニューの見かたや操作のしかたについては、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

(3) 操作が終わったら （ポップアップ）メニュー を押してポップアップメニューを消します。
- ポップアップメニューが自動的に消えるディスクもあります。

BONUS VIEW™、BD-LIVE について

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ **市販のBD　ビデオ** 音楽用CD

BD ビデオには、BONUS VIEW™（ボーナスビュー）や BD-LIVE（BD ライブ）という新しい再生機能に対応したものがあります。

- BD ビデオに記録されているデータやダウンロードしたデータは、内蔵 HDD（ハードディスク）に保存されます。

お知らせ

- デジタル音声入力端子付きのオーディオ機器などと光デジタル音声出力端子で接続し、ボーナスビューのクリック音などが出ないときは、「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「BD ビデオ付加音声」で、「する」を選んで決定しクリック音などの設定をしてください。（→ **193** ページ）

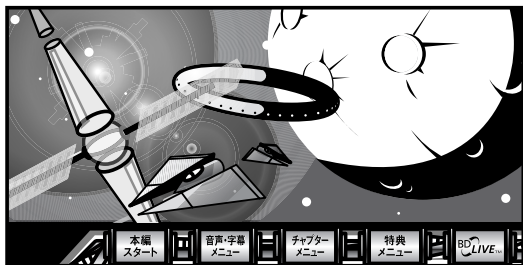
BONUS VIEW™（ボーナスビュー）：２画面に対応した副映像、副音声や、字幕が同時に楽しめます。本編再生中の画面に小画面で表示されます。

主映像／音声　副映像／音声

- ディスクによっては、副映像／音声が自動的に再生されます。また、再生可能な領域が制限されることがあります。
- 再生方法はディスクによって異なります。
- 再生するディスクに必要なメモリー容量やコピー、再生の手順は、ディスクの説明書をご覧ください。

次ページへつづく

BD-LIVE（BD ライブ）：本機をインターネットに接続して特典映像などのさまざまな情報をダウンロードすることができます。

画面例

- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードされた映像情報などは、内蔵 HDD（ハードディスク）に保存されます。HDD（ハードディスク）から再生するときは、ダウンロード時に視聴していたディスクを本機に挿入してください。別のディスクを挿入すると、HDD（ハードディスク）に保存された情報は再生できません。
- データが HDD（ハードディスク）に保存されるまで一定の時間がかかります。（データが保存されるまでの時間は、インターネット接続速度や番組のデータ量により、変わります。）

お知らせ

HDD（ハードディスク）に保存されたデータは消去できます。
- BD-LIVE（BD ライブ）でダウンロードした情報は、不要になれば消去することができます。「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」－「個人情報初期化」の、「BD ビデオ用データ初期化」で初期化をしてください。

HDD（ハードディスク）の容量が足りないときは
- データが保存されません。画面にメッセージが表示されます。不要なデータを削除してください。

BD-LIVE（BD ライブ）を楽しむためのソフトを更新できます。
- BD-LIVE（BD ライブ）機能は、専用のソフトを使用しています。BD-LIVE（BD ライブ）に接続すると、ソフトを最新のものに更新できます。

ヒント
- BD-LIVE（BD ライブ）で楽しむために、ブロードバンドサービスに接続してお使いになることをおすすめします。
- BD-LIVE（BD ライブ）で映像などの情報を HDD（ハードディスク）に保存中は、再生の操作が制限されることがあります。
- BD-LIVE（BD ライブ）は、自動的にインターネットに接続し、楽しむ機能です。BD-LIVE(BDライブ)対応のディスクが、本機やディスクの識別信号（ID）をインターネット経由でコンテンツプロバイダに送信することがあります。
- 本機は、自動的にインターネットに接続しないように設定することができます。設定のしかたについては、**185**ページをご覧ください。

市販のブルーレイ 3D™（3D 対応 BD）を再生する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ **市販のブルーレイ3D™** 音楽用CD

本機と 3D 対応テレビを HDMI ケーブルで接続すると、市販の ブルーレイ 3D™ を 再生し、臨場感ある 3D 映像を楽しむことができます。

3D 映像を視聴される場合のご注意

光過敏の既往症がある人、心臓に疾患がある人、および体調不良の人は視聴しない

- 病状が悪化する原因となることがあります。

3D 映像の視聴年齢は、およそ 5 ～ 6 歳以上を目安にする

- お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、突然体調が悪くなる場合があります。お子様がご視聴になる際は、目の疲れがないかを保護者の方が、ご注意ください。

視聴中に疲労感、および不快感など異常を感じた場合には、視聴を止め、適度な休憩をとる

- 視聴を続けると体調不良の原因となることがあります。

3D 映画などを視聴する場合は、1 時間程度を目安に適度な休憩をとる

- 長時間の視聴にともなう視聴疲労の原因になることがあります。

ご注意
- 本機と接続するテレビが 3D に対応していない場合は、3D 映像をご覧になることはできません。
- 接続する 3D 対応テレビによっては、テレビ側の 3D 視聴設定が必要になることがあります。詳しくは、テレビに付属の取扱説明書をお読みください。
- 早送り、早戻し中は 2D 再生となります。

(1) 本機と 3D 対応テレビを HDMI ケーブルで接続します（→ **154** ページ）

(2)「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「BD/DVD 再生設定」－「3D 切換設定」で「オート」に設定します。（→ **197** ページ）
- 2D で再生したいときは、「2D」を選びます。

(3) ブルーレイ 3D™ を挿入します
- 挿入すると、自動的に BD/DVD モードに切り換わり、再生が始まります。
- 自動的に再生が始まらないときは、BD/DVD モードに切り換えてから［ゆっくり ▶ 再生］を押します。

(4) ブルーレイ 3D™ の再生に関する注意文が表示されたら、「確認」を選んで決定します

ヒント
- 3D 視聴時の注意文を表示させたくないときは、「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「BD/DVD 再生設定」－「3D 通知設定」で「しない」に設定します。（→ **197** ページ）

いろいろな再生

基本操作

で選択、決定で決定

つづき再生

前回停止したところから、つづきを再生できます。

ご注意

- 市販の BD ビデオ、DVD ビデオ、BD-RE/-R、DVD-RW/-R と音楽用 CD のつづき再生は、ディスクを取り出すと働かなくなります。
- DVD ビデオ、DVD-RW/-R（ビデオフォーマット）、音楽用 CD はディスク切換操作をすると、つづき再生が働きません。
- その他、ディスクや再生状態によっては、つづき再生が働かない場合があります。
- BONUS VIEW や BD-LIVE などの BDJ（Java）に対応した BD ビデオはつづき再生が働かない場合があります。

再生ボタンでつづき再生するには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- 再生を停止した後で［ゆっくり ▶ 再生］を押したり、録画リストから選んで再生すると、つづきを再生できます。

はじめから再生するには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- ［ゆっくり ▶ 再生］を押すとつづき再生になる場合でも、「機能メニュー」を使って、はじめから再生できます。

1 録画リストで再生したいタイトルを選びます

▶**73** ページ

2「機能メニュー」を表示させます

［青］を押す ⇒ 機能メニュー表示

3「再生」を選んで決定します

4「最初から」を選んで決定します

⇒ 選んだタイトルが最初から再生されます。

BD ビデオや DVD ビデオ、音楽用 CD などの場合

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- ［■停止］を 2 回押して停止した後、［ゆっくり ▶ 再生］を押すと、はじめから再生されます。

くり返し再生する（リピート再生）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

選んだタイトルやチャプター（章）をくり返しリピート再生できます。

ご注意

- ディスクによってはリピート再生が禁止されているものもあります。
- タイトルをまたぐ部分指定リピートはできません。
- マルチアングル部分では部分指定リピートはできません。
- BD ビデオの場合、部分指定リピートは行えません。

お知らせ

- ［画面表示］を押すと、リピートの状況を確認することができます。
- くり返し再生しているタイトルやチャプターを停止させると、リピート再生は「切」になります。

1 くり返したいタイトル（トラック）またはチャプターを選んで再生します

2 視聴設定画面を表示させます

［視聴設定］（ふた内）を押す

3 ①「⟲」を選んで決定します
②「入」を選んで決定します

- リピート再生を解除するには、視聴設定で「⟲」→「切」を選んでください。

4 リピート再生の種類を選んで決定します

項目	説明
再生中のタイトル	再生中のタイトルをくり返し再生
再生中のチャプター	再生中のチャプターをくり返し再生
部分を指定	開始点と終了点を設定して、設定した範囲で繰り返し再生

ヒント

- 音楽 CD の場合は、「再生中のディスク」または「再生中のトラック」を選びます。

■ 視聴設定画面を消すには

［戻る］を押す または［視聴設定］（ふた内）を押す

確認・基本 視聴 録画・予約録画 再生・消去・編集 ダビング・管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ ホームネットワーク 接続 基本設定 各種設定 困ったときは

追いかけ再生

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

内蔵HDD に録画中の番組をはじめから再生できます。

ご注意

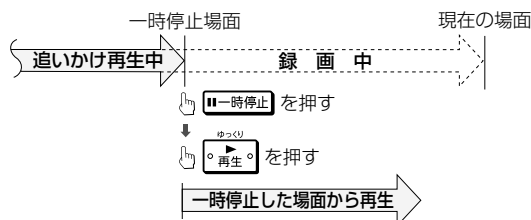
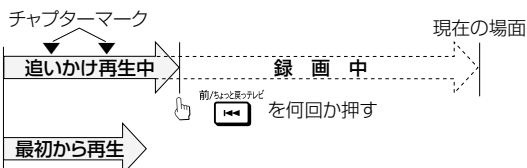
- 追いかけ再生が開始するまで、多少時間がかかることがあります。
- 番組によっては追いかけ再生ができない場合があります。

次のようなときは、追いかけ再生ができません

- 高速ダビング中に、録画画質「DR」以外の画質で2番組同時録画しているとき
- 録画画質変換ダビング中
- BD（ブルーレイディスク）へ録画中の番組
- 外付けHDDへ録画中の番組

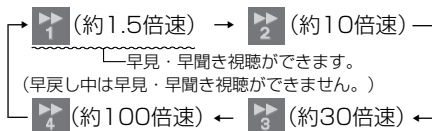
メモ

追いかけ再生中に一時停止した場合

- 現在放送中の場面を追いかけながら見られます。

- 番組の途中にチャプターマークがある場合でも、最初から見られます。

1 内蔵HDD録画中に

［再生］を押す

- 追いかけ再生したい番組を選んで決定します。
- 画面左上に緑色の再生マークが出ます。
- 追いかけ再生中に［早戻し］または［早送り］を押すたびに、次のように早戻し／早送り再生ができます。

1（約1.5倍速） → 2（約10倍速） → 3（約30倍速） → 4（約100倍速） → 1 …
└早見・早聞き視聴ができます。
（早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。）

■ 録画中の場面に戻るには

［■停止］を押す

- 録画を停止するときは［録画停止］を2回続けて押します。

お知らせ

- 追いかけ再生中に録画禁止の映像になったときや録画が12時間以上続いたときは、追いかけ再生用の録画が停止します。続きの映像を見るときは、録画リストから「つづき再生」（→ **81** ページ）をしてください。
- 追いかけ再生中に早送りサーチをしたとき、現在放送されている場面（録画中の画面）の手前になると追いかけ再生が解除され、録画中の画面に戻ります。録画中の画面に戻るタイミングは、早送りサーチのスピードや録画画質により異なります。
- 「録画1」または「録画2」の録画番組を追いかけ再生しているときに早送りサーチをし、録画中の番組の手前になったときは、視聴している番組の画面（外部入力）となります。
- 早見・早聞き視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、映像と音声が合わなかったりする場合があります。

同時録画再生

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

録画をしながらすでに録画されている別のタイトルの再生を行うことができます。

ご注意

- 6倍速メディアで高速ダビング中に別のタイトルを同時再生すると、ダビングスピードが少し遅くなります。
- 録画画質変換ダビング（SXP ～ LP※、MN ○○）中は、別タイトルを同時再生できません。
  ※BDへ録画画質変換ダビングしたときは、LPは選択できません。詳しくは **103** ページをご覧ください。
- 外付けHDDへのタイトル録画中は、外付けHDDの他のタイトルを再生することはできません。

お知らせ

- 同時録画再生を行っているとき、録画の状態によっては再生に影響が出る場合がありますが、録画は正常に行われます。
- 重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。

メモ

- 同時録画再生中に放送視聴（録画中）の画面に戻すには［■停止］を押して再生を止めます。

1 BD/DVD/CDを再生するときは、ディスクを挿入します

2 録画中に

［BD/HDD］を押す

● **HDD録画中にディスクを再生するとき**
- BD/DVDモードを選びます。

● **HDDまたはBD録画中にHDDのタイトルを再生するとき**
- HDDモードを選びます。

- 詳しくは「モードの切り換え」（→ **31** ページ）をご覧ください。

3 録画リストを表示させます

［録画リスト／トップメニュー］を押す

ヒント

- DVDビデオソフト、CDの場合は、を押します。

4 録画リストで再生します

▶ **73** ページ

再生をしながら使えるボタン（早送り／早戻し再生・頭出し・スロー再生など）

再生中に使えるいろいろな機能です。

ご注意

- 各機能は、ディスクによって操作が異なったり、禁止されている場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

マルチビューサービス放送などを HDD（ハードディスク）または BD（ブルーレイディスク）に録画して再生する場合は
- 主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

静止画にするには（静止画再生）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

静止画再生ができます。
- VR フォーマットの DVD-RW/-R 以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。
- BD ビデオや DVD ビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送り再生の操作が禁止されているものもあります。

1 再生中に

[一時停止] を押す ⇒ 静止画再生になります。
- 音楽用 CD を再生しているときは、一時停止の状態になります。
- [再生] を押すと、再生画面に戻ります。
- 静止画再生からコマ送り再生やスロー再生などの特殊再生が行えます。

スローモーションで見るには（スロー再生／逆スロー再生）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

スローモーション再生できます。
- タイトルをまたぐスロー再生はできません。

1 静止画再生中に

[早送り] または [早戻し] を 2 秒以上押し続ける
- HDD（内蔵／外付け）／BD-RE／BD-R の場合は、スロー再生中に [早送り] を押すたびに、4 段階でスロー再生の速さが切り換わります。逆スロー再生は、1 段階（約 1/16 倍速）となります。
- DVD のタイトルは約 1/8 倍速のスロー／逆スロー再生となります。
- BD ビデオのタイトルは、約 1/16 倍速のスロー再生になります。
- [再生] を押すと、再生画面に戻ります。

コマ送り／コマ戻しするには（コマ送り再生）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

コマ送り再生できます。
- BD ビデオの場合、コマ戻し再生は行えません。

1 静止画再生中に

[早送り] または [早戻し] を押す
- [再生] を押すと、再生画面に戻ります。

早送り／早戻しするには（サーチ）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

再生中の映像を早送り／早戻しして見ることができます。
- タイトルをまたぐサーチはできません。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルの最後までサーチすると、再生が停止します。
- 早送り（約 1.5 倍速時）は、早見・早聞き視聴ができます。
- 早戻し中は早見・早聞き視聴ができません。
- 早送り（約 10 倍速以上）／早戻し中は、字幕は再生されません。
- 早送り／早戻し中は、ブルーレイ 3D™ は 2D 再生となります。

1 再生中に

[早送り] または [早戻し] を押す

⇒ 押すたびにサーチの速さが変わります。（再生しているメディアによって速さは異なります。）
- [再生] を押すと、再生画面に戻ります。

お知らせ

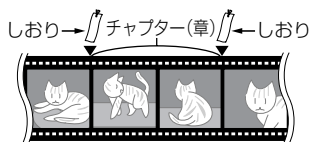
- ディスクの種類や記録状態によっては、記載のスピードにならない場合があります。
- 早見・早聞き視聴をしたとき、録画した番組によっては、映像がスムーズに再生されなかったり、映像と音声が合わなかったりする場合があります。

チャプターマーク（しおり）を付けるには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

あとで編集するときや頭出しのために、再生中にチャプターマーク（しおり）を記録できます。

■ チャプターマークとは

映像の区切りのことです。（本に例えると「しおり」のようなものです。）お好みの場所に記録させておくと、再生時の頭出しや編集するときに便利です。

HDD の再生中や BD/DVD の再生中に

マークを付けたい箇所で チャプターマーク［録画画質］ を押す

お知らせ

- 追いかけ再生中（→ **82** ページ）はチャプターマークを記録できません。
- BD または DVD の再生中にチャプターマークを記録したとき、数秒遅れて「チャプターマークを記録しました」と表示されますが、チャプターマークは、チャプターマーク［録画画質］を押した地点に記録されます。
- DVD-R（VR フォーマット）ディスクは、ファイナライズするとチャプターマークを記録できません。

チャプター（章）の頭出しをするには（スキップ）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- チャプター（章）やトラック（曲）などを飛ばして頭出しができます。
- オートチャプター機能を「おまかせ」で録画した番組は、コマーシャル部分を飛ばし見できます。（→ **190** ページ）

1 再生中または静止画再生中に

次［⏭］ または 前/ちょっと戻ってテレビ［⏮］ を押す

- 次［⏭］を押すと、次のチャプター（トラック）を頭出しします。
  前/ちょっと戻ってテレビ［⏮］を押すと、いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります。2 回続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。
- HDD（ハードディスク）の場合は、タイトルをまたぐ頭出しができません。最後のチャプター（トラック）まで進むと、画面に END が表示され、静止画になり、放送視聴の画面に戻ります。

少し先に飛ぶには（30 秒送り）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

約 30 秒先に送ることができます。
連続して押すと、さらに先へ送ることができます。

- コマーシャルを飛ばして見たいときなどに便利です。
- 連続押しは、6 回（約 3 分先）までできます。

1 再生中に

30秒送り を 1 回押す ⇒ 30秒 約 30 秒先にジャンプします。

⋮

30秒送り を 6 回押す ⇒ 180秒 約 3 分先にジャンプします。

少し前に戻すには（10 秒戻し）

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

約 10 秒前に戻すことができます。

- ちょっと見のがしたところを見直すときなどに便利です。
- 連続押しは、6 回（約 1 分前）までできます。

1 再生中に

10秒戻し を 1 回押す ⇒ 10秒 約 10 秒前に戻って再生します。

⋮

10秒戻し を 6 回押す ⇒ 60秒 約 1 分前に戻って再生します。

ゆっくり再生するには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

再生中に音声が聴きとりにくいときは、ゆっくりしたテンポで聴くことができます。

1 再生中に

ゆっくり［再生］ を 1 回押すと、ゆっくり再生モードで再生されます。

- 押すたびに、ゆっくり再生 ⇔ 通常再生となります。
- 「ゆっくり再生」モードで停止した後、再生したときは「通常再生」モードで再生されます。
- ゆっくり再生モード中にスロー再生などの特殊再生をした後、再度映像に戻したときは、ゆっくり再生モードになります。

見たいシーンから再生するには（見どころポップアップサーチ）

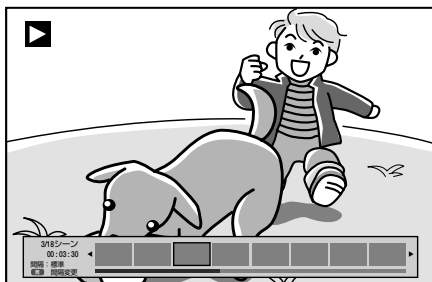
HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP

BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

再生中のタイトルのシーン一覧（見どころポップアップサーチ）を表示して、見たいシーンから再生することができます。

1 再生中に

（ポップアップ/メニュー）を押す

- 見どころポップアップサーチが表示されます。

- 黄 を押すごとに表示されるシーンの間隔が「標準」と「詳細」で切り換わります。

2 見たいシーンを選んで決定します

- 選んだシーンからの再生が始まります。
- 再生が始まると、見どころポップアップサーチ画面は消えます。

お知らせ

- 外付けHDD、BD、DVDディスクの再生では、見どころポップアップサーチは表示できません。
- 見どころポップアップサーチのシーン一覧は、録画時に約2分30秒間隔で自動で作成されます。
- 見どころポップアップサーチに表示されるシーンは、最大256場面です。
- タイトルを編集した場合、見どころポップアップサーチのシーンが変更となる場合があります。

■ タイムバー表示について

- 「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「画面表示設定」－「タイムバー表示設定」を「する」に設定すると、再生状況に応じ、タイムバーを自動表示します。（→ **195** ページ）

タイムバー表示画面例

- 以下の操作時、タイムバーが約5秒間だけ表示されます。
  - 再生を開始したとき
  - 早送り（約1.5倍速）をしたとき
  - 静止画（一時停止）にしたとき
  - チャプター（章）の頭出し（スキップ）をしたとき
- 早送り／早戻し（サーチ）をしたとき、タイムバーは表示され続けます。（早送り（約1.5倍速）を除く。）
- 再生中はリモコンの 画面表示 を押してタイムバーを表示させることもできます。

お知らせ

- BDビデオ、DVDビデオ再生時、タイムバーは自動表示されません。
- BDビデオ、DVDビデオ再生時にタイムバーを表示させたとき、チャプター（章）の区切り位置は表示されません。
- 音楽CD再生時、タイムバーは表示されません。

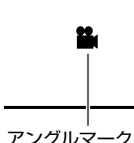
再生中に音声（二重音声など）や字幕を切り換える

再生中に音声や字幕、主音声や副音声を切り換えることができます。

メモ

各機能の切り換えについて
- 字幕、アングル（主映像／副映像）、音声は、ディスクによっては、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。ディスクの取扱説明書もご覧ください。

アングル表示を出したいとき
- アングルが記録されているシーンで、アングルマークを表示するように設定できます。
- 「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「BD/DVD 再生設定」－「アングルマーク表示」（→ **196** ページ）で設定します。

アングルマーク

主音声と副音声を切り換えるには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1 主・副音声のあるタイトル再生中に

音声（ふた内）を押す ⇒ 押すたびに音声が切り換わります。

音声表示の例

- 視聴設定画面（→ **87** ページ）でも切り換えられます。
- 音声の表示は、約 3 秒後に消えます。

押すたびに次のように切り換わります。

ニヶ国語（二重音声）放送を録画した場合：
- 「主」、「副」、または「主　副」表示となります。

「ステレオ放送」「モノラル放送」を録画した場合：
- 音声切換はできません。

BD ビデオ／ DVD ビデオ：
- 現在再生されている音声番号、音声フォーマットが表示されます。（音声フォーマットは、ソフトによっては表示されない場合もあります。）

音楽用 CD：
- 「L」→「R」→「L ＋ R」

ご注意

- 次のような場合は、ニヶ国語放送などモノラル二重音声の番組を録画しても、音声切換ができません。
  - ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスク
  - PCM 音声を記録した DVD-RW/-R ディスク
  - DVD ディスク（ビデオフォーマット）の場合、「録画機能設定」の「ニヶ国語音声設定」（→ **190** ページ）で設定されている音声のみがダビングされています。
- ビットストリーム音声が出力されているときは、モノラル二重音声の音声切換が行えません。音声切換はテレビ側で行ってください。

字幕を切り換えるには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1 字幕のあるタイトル再生中に

字幕（ふた内）を押す ⇒ 押すたびに字幕が切り換わります。

- 操作について詳しくは **37** ページをご覧ください。

主映像と副映像（アングル）を切り換えるには

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1 主・副映像のあるタイトル再生中に

映像（ふた内）を押す ⇒ 押すたびに映像が切り換わります。

- 操作について詳しくは **37** ページをご覧ください。

お知らせ

マルチビューサービス放送などを HDD（ハードディスク）または BD（ブルーレイディスク）に録画して再生する場合は
- 主映像以外の映像を再生した場合、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。このような制限が出る場合は、主映像でお楽しみください。

BD にダビングしたタイトルの再生について
- 「DR」以外の録画画質で BD へダビングしたタイトルは、映像の切り換え操作ができません。

再生中に設定をする（視聴設定）

再生しながら視聴設定画面でまとめて設定を行うことができます。

ご注意

- BD ビデオや DVD ビデオ再生中に視聴設定画面にすると、BD ビデオや DVD ビデオ側の操作ができない場合があります。このような場合は視聴設定画面を消してください。

お知らせ

- 市販のディスクによってはディスクメニューを使って機能を選択する場合や、視聴設定での機能が選択できないものがあります。ディスクの説明書をご覧ください。
- 字幕の切り換えができる番組は HDD（ハードディスク）、BD（ブルーレイディスク）に録画したデジタル放送の番組と BD へ録画画質「DR」、「2倍」～「12 倍」、「HD ○○」でダビングしたデジタル放送の番組です。（DVD へダビングした番組は字幕の切り換えはできません。）
- アングルや字幕などの表示が「－－」となる場合は、そのディスクに選択できるアングルや字幕が記録されていません。

1 再生中に

視聴設定（ふた内）を押す ⇒視聴設定画面表示

2 設定項目を選んで決定します

DVD ビデオ再生時の例

再生状態表示
動作状態やディスクの種類。

設定項目
- 再生しているディスクによって設定できる項目が異なります。
- 音楽用 CD の再生中は、**78** ページの画面になります。

操作ガイド表示

3 設定します

- 戻る または 視聴設定（ふた内）押して設定を終了します。

ヒント

- 画面の「操作ガイド」に従って操作してください。

各設定項目について

タイトル（トラック）選択

- 再生中のタイトル番号（CD 再生中はトラック番号）が表示されます。番号を選択してタイトル（トラック）の頭出しができます。

チャプター選択

- 再生中のチャプター番号が表示されます。番号を選択してチャプターの頭出しができます。
- 音楽用 CD はチャプターがありません。

再生経過時間（タイムサーチ）

- ディスクのはじめから現在までの経過時間が表示されます。時間を指定して頭出しができます。
  ①「時」「分」「秒」を選びます
  ② 時間を指定して 決定 を押します
  - 数字ボタン（1 ～ 10）で時間を指定することもできます。

字幕言語切換

- 現在選ばれている字幕の種類が表示されます。他の言語でも字幕が収録されている場合は、お好みの言語に切り換えられます。

アングル番号／映像切換

- 現在選ばれているアングルの番号が表示されます。
- 複数のアングルが収録されている映像の場合は、アングルを切り換えて楽しめます。
- 「アングルマーク表示」（→ **196** ページ）設定により、アングルが記録されているシーンで画面右下にアングルマーク「 」を表示させるように設定することができます。

音声表示切換

- 現在選ばれている音声の種類が表示されます。吹き替え音声や二重音声が収録されている場合は、音声を切り換えて楽しめます。
- BD ビデオソフトで第 1 音声（主音声、プライマリオーディオ）の他に、第 2 音声（副音声、セカンダリオーディオ）が収録されている場合、両方が表示されます。

P：1 DTS-HD MA
S： DTS-HD LBR

※ 視聴設定でセカンダリオーディオの切り換えはできません。

デジタルスーパーピクチャー入／切設定

- DVD の再生時に映像の細かな部分や輪郭を強調してくっきりとさせることができます。3 段階のレベルで設定できます。
  ①「入」を選びます
  ② レベルを設定して 決定 を押します
  - 「切」にするときは ◀ で「切」を選びます。
  - 細かい映像などで、よりくっきりした映像を楽しみたいときは、▶ を押してシャープな映像に調整します。

リピート再生

- 再生中のタイトル（チャプター）を繰り返し再生したり、部分的に繰り返し再生することができます。（→ **81** ページ）
  ※ BD ビデオの場合、部分指定リピートは行えません。

録画内容が誤って消されないようにする

基本操作

で選択、(決定) で決定

タイトル保護設定

間違って消さないよう、大切なタイトル（録画した番組）を保護できます。

ご注意

- 次のタイトルを「保護する」に設定すると、そのタイトルは HDD（ハードディスク）からダビング（ムーブ）できなくなります。
  - 「1 回だけ録画可能」のタイトル
  - 「ダビング 10」で 9 回ダビングを終えたタイトル
- 「保護する」に設定したタイトルは外付け HDD（ハードディスク）にダビング（ムーブ）できなくなります。

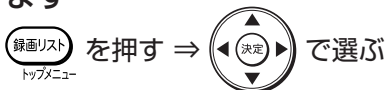
お知らせ

- 予約録画時に予約の詳細設定で「消さないで」を設定したタイトルの保護設定は、録画終了後に手順 **4** で保護解除できます。
- BD（ブルーレイディスク）に録画した録画制限のある番組をタイトル保護設定したとき、そのタイトルはダビングできません。

メモ

- タイトル保護を設定したタイトルには、録画リストを表示させたとき保護マーク「🔒」が付きます。

1 録画リストで保護したい番組を選びます

(録画リスト) を押す ⇒ で選ぶ

2 「機能メニュー」を表示させます

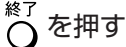
(青) を押す

3 「タイトル保護設定」を選んで決定します

4 「保護する」を選んで決定します

- 保護設定したタイトルを編集または消去したいときは、「保護解除」を選んで決定してください。

5 設定を終了します

(終了) を押す

ディスク保護設定

ディスクの録画内容を消さないよう、ディスク全体を保護できます。

ご注意

- ビデオフォーマットの DVD-RW/-R ディスクはディスク保護設定ができません。

お知らせ

- VR フォーマットの DVD-R ディスクは、ファイナライズするとディスク保護や解除ができなくなります。
- BD（ブルーレイディスク）をディスク保護設定したとき、録画制限のある番組はダビングできません。

1 BD/DVD モードを選びます

(BD/HDD) を押す

- BD/DVD モードを選びます。詳しくは「モードの切り換え」(→**31** ページ)をご覧ください。
- 本体前面の BD/DVD ランプが点灯している状態で操作します。

2 保護したいディスクを挿入します

▶**28** ページ

3 ホーム画面を表示させます

(ホーム) を押す

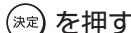
4 「ディスク管理」－「ディスク保護」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

5 「保護する」を選んで決定します

- 保護設定を解除してダビングやタイトル名変更を行いたいときは、「保護解除」を選んでください。

6 「確認」で決定します

(決定) を押す

7 設定を終了します

(終了) を押す

タイトル（録画した番組）を消去する

ご注意

- 消去したタイトルは復元できません。
- ビデオフォーマットのDVD-RWディスクでは、タイトルを消去しても残量は増えません。ただし最後にダビングしたタイトルを消去した場合だけ残量が増えます。
- BD-RやDVD-Rディスクはタイトルを消去しても残量は増えません。
- DVDディスクでは、チャプターの消去はできません。

次のディスクはタイトルの消去ができません

- ファイナライズを行ったビデオフォーマットのDVD-RW
- ファイナライズを行ったDVD-R
- ディスク保護を設定したBD（ブルーレイディスク）やDVD

お知らせ

- 保護されたタイトルは消去できません。保護されたタイトルを消去したい場合は、保護解除（→ **88** ページ）を行ってください。
- 携帯電話用動画を同時録画中は、チャプター単位の表示はできません。
- ライブ中に かんたんメニュー を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単にHDD内のタイトルを消去することができます。→ **27** ページ

基本操作

で選択、決定 で決定

録画リストから消去する

不要なタイトル（録画した番組）あるいは チャプターを録画リストから消去することができます。

1 消したいタイトルのある録画先を選びます

BD/HDD を押す

⇒ 内蔵HDD、外付けHDD、またはBD/DVDを選ぶ

- BDやDVDの場合、ディスクを挿入（→ **28** ページ）してください。

2 録画リストで消したいタイトル（チャプター）を選びます

ヒント

- チャプターを選ぶには録画リストで 赤 を押し、「チャプター単位」を選びます。

3 消去ボタンを押します

消去 を押す

4 「する」を選んで決定します

5 終了します

終了 を押す

複数のタイトル（録画した番組）を選んで消去する

複数のタイトル（録画した番組）またはチャプターを選んで一度に消去することができます。

1 消したいタイトルのある録画先を選びます

BD/HDD を押す

⇒ 内蔵HDD、外付けHDD、またはBD/DVDを選ぶ

- BDやDVDの場合、ディスクを挿入（→ **28** ページ）してください。

2 消去ボタンを押します

消去 を押す

3 タイトル選択消去画面から消したいタイトル（チャプター）を選びます

ヒント

- チャプターを選ぶにはタイトル選択消去画面で 赤 を押し、「チャプター単位」を選びます。
- 「ホーム」－「消去」－「タイトル選択消去」から消したいタイトルのある録画先を選んでも、タイトル選択消去画面を表示できます。

● 1つのタイトル（チャプター）を選んで消去する場合

● 複数のタイトル（チャプター）を一度に選んで消去する場合

(1) 決定 で選び 黄 を押す

- 上記操作をくり返し、最大50タイトル（または50チャプター）まで選べます。
- もう一度押すと、選択が解除されます。
- 選んだタイトルに「🗑」マークが付きます。

次ページへつづく

- グループ表示に切り換えたときは、青（全タイトル選択）でグループ内のタイトルを一度に全て選択することができます。グループ内のタイトル数が 50 タイトルを超えるときは全選択できません。
- もう一度押すと、全タイトル選択が解除されます。

(2) 選び終わったら 決定 を押す

4 「する」を選んで決定します

⇒ 消去を実行して録画リストへ

- 「しない」を選ぶと手順 **3** で表示される画面に戻ります。

5 終了します

終了 を押す

再生中のタイトルを消去する

1 再生中に消去ボタンを押します

消去 を押す

2 「する」を選んで決定します

3 終了します

終了 を押す

タイトル（録画した番組）をすべて消去する

HDD（ハードディスク）や BD（ブルーレイディスク）、DVD ディスク内の全タイトルを消去します。

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「消去」を選んで決定し、「タイトル全消去」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 タイトルを全消去したいディスクを選んで決定します

4 「する」を選んで決定します

- 消去したタイトルは復元できません。

5 「確認」で決定します

決定 を押す

- 消去確認が終わると、手順 **3** で表示される画面に戻ります。

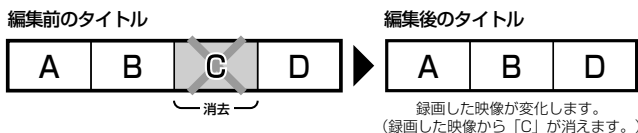
6 終了します

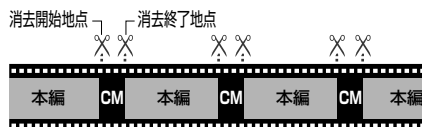
終了 を押す

編集のあらまし

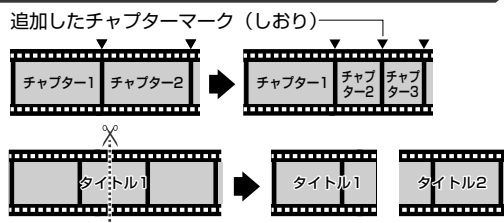
HDD（内蔵／外付け）や BD（ブルーレイディスク）に録画した番組を編集できます。

録画した番組を編集する

録画した番組を「タイトル」と呼びます。タイトルを編集すると､編集後は録画した映像そのものが変化します。

いらないシーンを消したい
（コマーシャルを消すなど）

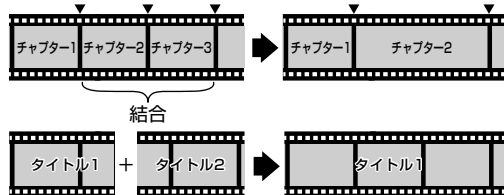
消去開始地点　消去終了地点
本編 CM 本編 CM 本編 CM 本編

→ シーン（部分）消去 ▶**92** ページ

指定の場面で区切りたい
（頭出しをしやすくするなど）

追加したチャプターマーク（しおり）
チャプター1 チャプター2 ➡ チャプター1 チャプター2 チャプター3
タイトル1 ➡ タイトル1 タイトル2

場面をつなぎたい（停電で分割されたタイトルを結合するなど）

チャプター（章）編集・消去

- チャプター（章）消去 ▶**95** ページ
  ※録画リストから選んで消去したいとき（→ **89** ページ）
- チャプター（章）分割 ▶**93** ページ
  ※ DVD をチャプター分割したいときは、再生中に チャプターマーク［録画画質］を押します。（→ **84** ページ）
- チャプター（章）結合 ▶**94** ページ

- タイトル分割 ▶**97** ページ
- タイトル結合 ▶**98** ページ

画面リストの画面を変えたい
（録画リストに一覧表示される小画面を、お好みのシーンに変更できます。）

→ インデックス画面変更 ▶**96** ページ

インデックス画面

重 要

- 録画画質変換ダビング中は、編集は行えません。

次のタイトルは、編集できません。
- タイトル保護（→ **88** ページ）を設定したタイトル
- ダビング予約を設定したタイトル

本機でプレイリストを作ることはできません。
- 本機では、お気に入りのタイトルやシーンを集めたプレイリストを作ることができません。
- 他機でプレイリストを作ったディスクであれば、プレイリストの再生を楽しむことができます。ただし、プレイリストの編集はできません。

編集したあとに、次のようなことがあります。
- チャプターマークの追加やシーン（部分）消去などの編集を行った場合、編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。

DVD ディスクの編集には、制限があります。
- DVD-RW、DVD-R ディスクは、タイトル名の変更のみ行えます。
- DVD-RW（ビデオフォーマット）、DVD-R ディスクはファイナライズを行うとタイトル名の変更ができなくなります。

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

必要のないシーン(CM など)を消去する(シーン消去)

コマーシャルなど、いらないシーンを消去します。

ご注意

- DVD ディスクのタイトルは、シーン消去ができません。
- BD-R は、シーン消去を行っても残時間は増えません。
- タイトルの先頭、最後を除き、3 秒以内のシーンは消去できません。ただしシーン消去を行った前後のシーンは 3 秒以内でもシーン消去が可能となります。
- 消したシーンは復元できませんので、消す内容を確認し十分に注意して操作してください。
- 編集した映像のつなぎ目が 1 秒程度ずれたり、静止画となる場合があります。

お知らせ

- シーン消去は、1 タイトルあたり 50 回まで行えます。
- シーン消去ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」(→ **220** ページ) をご覧ください。

ヒント

- 「オートチャプター設定」(→ **190** ページ) を「おまかせ」に設定して録画した番組は、CM の前後など音声の切り換わり部分にチャプターマークが自動で付き、チャプター分割されます。
  シーンを消去する際、CM 部分を 次 または 前/ちょっと戻って 前 で、頭出しして消去するなど便利な機能です。

基本操作

で選択、決定 で決定

1 シーンを消去したいタイトルの保存場所を選びます

BD/HDD を押す

- BD/HDD を押すと、HDD モードと BD/DVD モードが切り換わります。
  詳しくは「モードの切り換え」(→ **31** ページ) をご覧ください。

2 録画リスト画面を表示させます

録画リスト(トップメニュー) を押す

3 編集したいタイトル（録画した番組）を選びます

4 「機能メニュー」を表示させます

青 を押す

5 「編集」を選んで決定します

6 「シーン（部分）消去」を選んで決定します

7 再生を始めます

再生(ゆっくり) を押す

8 編集シーンの開始地点を決定します

一時停止 を押す ⇒ 決定 を押す

- 早送り中、早戻し中は 再生(ゆっくり) を押してから 一時停止 を押します。
  シーン消去開始地点がずれたときは、早戻し（コマ戻し）または、早送り（コマ送り）を押して設定します。

ヒント

- 戻る を押すと選び直せます。

9 手順 7、8 と同様の操作で終了地点を選んで決定します

⇒ 再生中のタイトルが一時停止します。

ヒント

- 戻る を押すと選び直せます。
- チャプターの最後付近を終了地点に指定しようとすると最後が終了地点に選ばれます。

10 事前に編集結果を確認できます

赤 を押す

11 「する」を選んで決定します

⇒ 指定範囲の消去実行

ヒント

- 「しない」を選ぶと終了地点を選び直せます。

12 「終了」を選んで決定します

⇒ 編集選択画面に戻る

ヒント

- 同じタイトル内でさらに消去を行う場合は 継続 を選んでください。

13 編集を終了します

終了 を押す

メモ

- 「 緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- フレームカウンターは、一時停止中のみ表示されます。

チャプターを分割／結合／消去する

ご注意

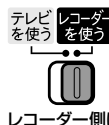
- タイトル保護（→ **88** ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- DVD ディスクのタイトルは、チャプター結合／消去できません。
- 編集画面と実際に編集された画面では、多少のズレが発生する場合があります。

お知らせ

- チャプター分割で追加されるチャプターマークは、再生・録画中に追加するチャプターマークと同じものです。
- チャプター（章）分割ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→ **220** ページ）をご覧ください。
- 携帯電話用動画を同時録画中は、チャプター分割／結合／消去はできません。

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑 を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- フレームカウンターは、一時停止中のみ表示されます。

基本操作

で選択、決定 で決定

チャプター分割

検索や編集に便利なようにチャプター（章）マークを追加して分割することができます。

ご注意

- DVD ディスクのタイトルは、編集操作でのチャプター分割ができません。再生しながら、マークを付けたい箇所で チャプターマーク 録画画質 を押してください。
- 以下の数を超えてチャプターを追加することはできません。

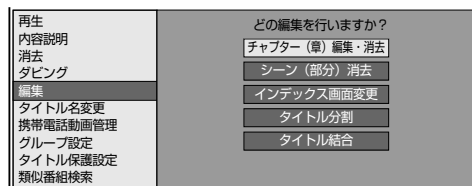
HDD（内蔵／外付け）	最大 20000 チャプター
BD-RE（1 層、2 層）	最大 1000 チャプター
BD-RE/R（3 層）	最大 19600 チャプター

メモ

- この操作で行ったチャプター分割は、**94** ページ「チャプター結合」で取り消すことができます。

1 録画リストでタイトルを選び、「機能メニュー」から「編集」を選んで決定します（→**92**ページの手順**2**～**5**）

2 「チャプター（章）編集・消去」を選んで決定します

HDD のタイトルを編集しているときの画面例

3 再生を始めます

決定 または ゆっくり 再生 を押す

● **チャプターが複数あるとき**

でチャプターを選んで再生します

- 決定では一時停止画面となります。
- 前/ちょっと戻ったテレビ で前のページへ、次 で次のページへ移動できます。

4 分割地点で一時停止させます

一時停止 を押す

- 早送り中、早戻し中は ゆっくり 再生 を押してから 一時停止 を押します。
分割地点がずれたときは、早戻し（コマ戻し）または、早送り（コマ送り）を押して設定します。

5 チャプター分割を実行します

決定 を押す

6 編集を終了します

終了 を押す

チャプター結合

検索や編集に便利なように連続したチャプター（章）をつなぐことができます。

ご注意

- シーン消去（→ **92** ページ）またはチャプター消去（→ **95** ページ）によって区切られたチャプターは結合できません。

お知らせ

- 結合できるチャプターは、再生中にリモコンボタンによって分割したチャプター、オートチャプター設定（→ **190** ページ）によって分割したチャプター、チャプター分割（→ **93** ページ）により分割したチャプターです。

前または後ろのチャプター（章）とつなぐ

1 93 ページの「チャプター分割」の手順 **1** ～ **2** を行います

2 チャプターを選びます

- 前/ちょっと戻ってテレビ ⏮ で前のページへ、次 ⏭ で次のページへ移動できます。

チャプター編集画面

3 チャプター結合を実行します

● 前のチャプターとつなぐとき

青 を押す

● 後ろのチャプターとつなぐとき

赤 を押す

ヒント

- プレビュー画面で再生中のチャプターに対しても、チャプター結合を実行できます。（実行後、プレビュー画面は一時停止します。）

4 編集を終了します

終了 を押す

複数のチャプター（章）を選んでつなぐ

1 93 ページの「チャプター分割」の手順 **1** ～ **2** を行います

2 つなぎたいチャプターの 1 つ目を選びます

で選び 黄 を押す

チャプター編集画面

選択したチャプターにアンダーラインが表示されます。

- プレビュー画面での再生中にチャプターを選択することもできます。
- 前/ちょっと戻ってテレビ ⏮ で前のページへ、次 ⏭ で次のページへ移動できます。

3 同じように 2 つ目以降を選びます（50 個まで）

チャプター編集画面

ヒント

- 選択したチャプターには、❶❷❸…と番号が付きます。
- 選択を取り消すときは、もう一度 黄 を押します。
- 連続したチャプターでなければ結合できません。

4 チャプター結合を実行します

青 を押す

ヒント

- プレビュー画面での再生中も、選択したチャプターの結合を実行できます。（実行後、プレビュー画面は一時停止します。）

5 編集を終了します

終了 を押す

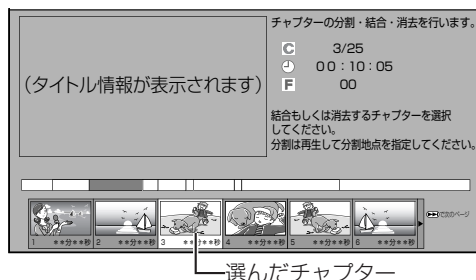
チャプター消去

いらないチャプター（章）をまとめて消すことができます。

1 つのチャプター（章）を消す

1 93 ページの「チャプター分割」の手順 **1** ～ **2** を行います

2 消したいチャプターを選びます

- 前/ちょっと戻ってテレビ で前のページへ、次 で次のページへ移動できます。

チャプター編集画面

3 チャプター消去を実行します

緑 を押す

⇒ チャプター消去実行後、チャプター編集継続確認画面が表示されます

- 消去 を押しても消去することができます。

ヒント

- プレビュー画面で再生中のチャプターに対しても、チャプター消去を実行できます。（実行後、プレビュー画面は次のチャプターの先頭で一時停止します。）

● 他のチャプターも消したいとき
⇒「継続」を選んで決定し、手順 **2**、**3** を繰り返します。

● 終了したいとき
⇒「終了」を選んで決定します。

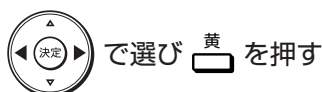
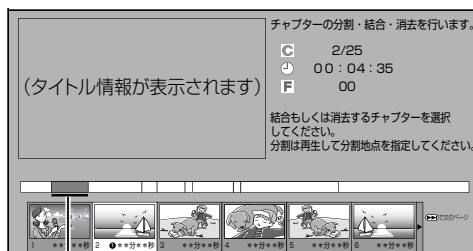
● チャプター消去を取り消したいとき
⇒ 緑（編集取消）を押し、確認画面で「する」を選んで決定します。

4 編集を終了します

終了 を押す

複数のチャプター（章）を選んで消す

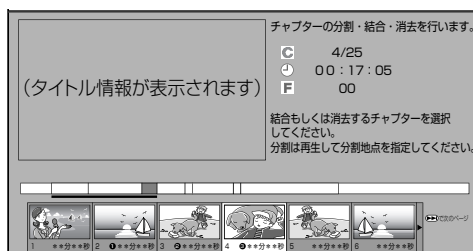
1 93 ページの「チャプター分割」の手順 **1** ～ **2** を行います

2 消したいチャプターの 1 つ目を選びます

チャプター編集画面

選択したチャプターにアンダーラインが表示されます。

- プレビュー画面での再生中にチャプターを選択することもできます。
- 前/ちょっと戻ってテレビ で前のページへ、次 で次のページへ移動できます。

3 同じように 2 つ目以降を選びます（50 個まで）

チャプター編集画面

ヒント

- 選択したチャプターには、❶❷❸…と番号が付きます。
- 選択を取り消すときは、もう一度 黄 を押します。

4 チャプター消去を実行します

緑 を押す

ヒント

- プレビュー画面での再生中も、選択したチャプターの消去を実行できます。（実行後、プレビュー画面は一時停止します。）

5 編集を終了します

終了 を押す

画面リストを好みの画像に変える（インデックス画面変更）

インデックス画面は録画リスト（画面リスト）に表示される小画面です。
タイトルの内容がわかりやすいように、インデックス画面を変更できます。

ご注意

- タイトル保護（→ **88** ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- DVD ディスクのタイトルは、インデックス画面を変更できません。
- インデックス画面を変更したタイトルをダビングしたときは、インデックス画面がズレてダビングされる場合があります。
- HDD（内蔵／外付け）や BD に録画したタイトルのインデックス画面は、タイトルの先頭から約 1 分後になっています。
- 携帯電話用動画を同時録画中は、インデックス画面の変更はできません。

メモ

- 「緑 編集取消」が表示されているときは、緑を押すと直前に行った操作が取り消せます。画面のメッセージに従って操作してください。
- 編集範囲を細かく設定したい場合は、手順**4**の「メモ」をご覧ください。

1 録画リストでタイトルを選び、「機能メニュー」から「編集」を選んで決定します（→ 92 ページの手順 2 ～ 5）

2 「インデックス画面変更」を選んで決定します

 で選び 決定 を押す

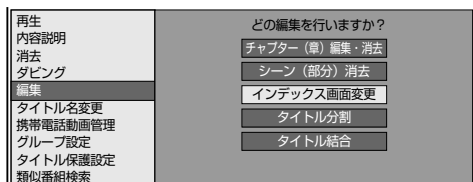
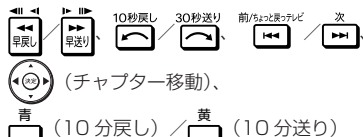
3 再生を始めます

ゆっくり 再生 を押す

ヒント

- シーンを探すときに便利なボタン

早戻し／早送り、10秒戻し／30秒送り、前/ちょっと戻ってテレビ／次、

（チャプター移動）、

青（10 分戻し）／黄（10 分送り）

4 インデックス画面にしたいシーンで一時停止させます

一時停止 を押す

- 早送り中、早戻し中は ゆっくり 再生 を押してから 一時停止 を押します。
  インデックス画面設定地点がずれたときは、早戻し（コマ戻し）または、早送り（コマ送り）を押して設定します。

メモ

■変更地点を細かく設定したい場合（コマ送り）

- 映像は 1 秒当たり 30 フレーム（コマ）で記録されています。より細かく設定したいときは、画面指定時にコマ送りによってフレーム単位で変更地点のシーンを選んでください。
  ①変更地点の手前で 一時停止 を押す

②

早送り または 早戻し を使ってコマ送り／コマ戻しでシーンを呼び出す

- 押すとコマ送りされます。
- 2 秒以上押すとスロー再生になります。

- 画面指定時、チャプターの先頭付近に変更地点を指定しようとすると、先頭が変更地点に選ばれます。あるいは最後付近を変更地点に指定しようとすると最後が変更地点に選ばれます。

5 インデックス画面を決定します

決定 を押す

タイトルを編集する

基本操作

 で選択、決定 で決定

タイトルを分割する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

1 つのタイトルを 2 つに分けたり分割することができます。
タイトル分割を行うと、タイトル名やタイトル情報は以下の内容になります。

タイトル名	分割した両方のタイトルが同じタイトル名になります。
録画情報（録画日時）	分割された箇所が録画終了時刻／録画開始時刻になります。
ダビング回数	分割前のダビング回数と同じです。
グループ設定情報	同じグループのタイトルとして分割されます。
インデックス画面	タイトルを分割すると、インデックス画面はそれぞれの先頭から 1 分後の画面になります。インデックス画面を編集したタイトルを分割すると、設定したインデックス画面を含んだタイトルには、設定したインデックス画面が表示されます。
携帯用動画	削除されます。

お知らせ

- ディスク保護を設定した BD（ブルーレイディスク）はタイトルの分割ができません。（→ **88** ページ）
- 保護されたタイトルは分割できません。保護されたタイトルを分割したい場合は、保護解除（→ **88** ページ）を行ってください。
- 10 秒以内のタイトル分割はできません。
- シャープ製以外のレコーダーで録画した BD（ブルーレイディスク）や、BD から HDD（ハードディスク）にダビングしたタイトルは、タイトル分割できない場合があります。
- 分割した後のタイトル数またはチャプター数がディスク内の上限を超える場合は、タイトル分割できません。（→ **236** ページ）

タイトル／チャプターの最大数

HDD（内蔵／外付け）	タイトル数	999 タイトル※	
	チャプター数	20000 チャプター※	
BD	タイトル数	200 タイトル	
	チャプター数	1 層、2 層	1000 チャプター
		3 層	19600 チャプター

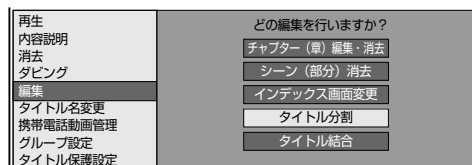
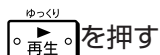
※動画アルバムと放送番組の合計

1 録画リストでタイトルを選び、「機能メニュー」から「編集」を選んで決定します（→ **92** ページの手順 **2** 〜 **5**）

2 「タイトル分割」を選んで決定します

HDD のタイトルを編集しているときの画面例

3 再生を始めます

ゆっくり 再生 を押す

4 分割地点で一時停止させます

一時停止 を押す

- 早送り中、早戻し中は ゆっくり 再生 を押してから 一時停止 を押します。
- タイトル分割地点がずれたときは、早戻し（コマ戻し）または、早送り（コマ送り）を押して設定します。

ヒント

■位置範囲を細かく設定したい場合（コマ送り）

- 映像は 1 秒当たり 30 フレーム（コマ）で記録されています。より細かく設定したいときは、分割地点指定時にコマ送りによってフレーム単位で分割したい地点のシーンを選んでください。

5 タイトル分割を実行します

決定 を押す

6 「する」を選んで決定します

ヒント

- 「しない」を選ぶと分割地点を選び直せます。

タイトルを結合する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

2つのタイトルを1つに結合することができます。
結合できるタイトルは、下表の組み合わせになります。

先頭のタイトル	結合できるタイトル
録画画質DR（放送画質）のタイトル	録画画質DR（放送画質）のタイトルのみ結合できます。
録画画質2倍〜12倍、HD ○○のタイトル	録画画質2倍〜12倍、HD ○○のタイトルのどれとでも結合できます。
録画画質がSXP以下のタイトル	録画画質がSXP以下のタイトルのどれとでも結合できます。
AVCHD方式デジタルカメラからダビングしたタイトル	AVCHD方式デジタルカメラからダビングしたタイトルのみ結合できます。
HDV方式ハイビジョンビデオカメラからダビングしたタイトル	HDV方式ハイビジョンビデオカメラからダビングしたタイトルのみ結合できます。
LAN録画したタイトル※	LAN録画したタイトルのみ結合できます。

※ LAN録画したタイトルは、ハイビジョン画質どうし、標準画質どうしのみ結合が可能です。

タイトル結合を行うと、タイトル名やタイトル情報は以下の内容になります。

タイトル名	先頭のタイトル名になります。
録画画質	録画画質2倍〜12倍、HD○○のタイトルで録画画質の異なるタイトルを結合するときは、先頭のタイトルの録画画質になります。
ダビング回数	残り回数の少ない方の回数になります。
グループ設定情報	先頭のタイトルのグループになります。
インデックス画面	先頭のタイトルのインデックス画面になります。
携帯用動画	削除されます。

お知らせ

- タイトル結合は、51タイトル（50回）まで行えます。ただしシーン消去したタイトルが含まれる場合は、これより少なくなります。
- ディスク保護を設定したBD（ブルーレイディスク）はタイトルの結合ができません。（→ **88** ページ）
- 保護されたタイトルは結合できません。保護されたタイトルを結合したい場合は、保護解除（→ **88** ページ）を行ってください。
- 結合したときのタイトル長が12時間を超える場合は、結合できません。
- シャープ製以外のレコーダーで録画したBD（ブルーレイディスク）からHDD（ハードディスク）にダビングしたタイトルは、タイトル結合できない場合があります。
- メーカーの違ったカメラからダビングしたタイトルは、方式が同じでも結合できない場合があります。
- タイトル保護（→ **88** ページ）を設定したタイトルまたはダビング予約を設定したタイトルは編集できません。
- 結合した後のチャプター数が上限を超える場合は、タイトル結合できません。

チャプターの最大数

HDD（内蔵／外付け）		1タイトルにつき99チャプター 合計20000チャプター※
BD	1層、2層	1タイトルにつき98チャプター 合計1000チャプター
	3層	1タイトルにつき98チャプター 合計19600チャプター

※動画アルバムと放送番組の合計

1 97ページの「タイトルを分割する」の手順2で「タイトル結合」を選んで決定します

2 後ろにつなぎたいタイトルを選んで決定します

3 「する」を選んでタイトル結合を実行します

ヒント

- 「しない」を選ぶと後ろに結合するタイトルを選び直せます。

タイトル名を変更する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

録画した番組のタイトル名を、ご自分がわかりやすい名前に変更できます。HDD(内蔵／外付け)、BD(ブルーレイディスク）では全角40文字まで、DVDでは全角32文字までのタイトル名を付けられます。

ご注意

次のディスクはタイトル名の変更ができません。
- 保護されたタイトルのタイトル名は変更できません。保護されたタイトルのタイトル名を変更したい場合は、保護解除（→ **88** ページ）を行ってください。
- ファイナライズを行ったDVD-R/DVD-RW（ビデオフォーマット）

お知らせ

- 電子番組表のデータが取得できているときは、その番組表の番組名が自動的に付けられています。
- 外部入力で録画したときは、「チャンネル・画質」がタイトル名として自動的に付けられています。

1 録画リストでタイトルを選び、「機能メニュー」を表示させます（→ 92ページの手順2〜4）

2 「タイトル名変更」－「変更する」を選んで決定します

⇒ ソフトウェアキーボードが表示されます

3 タイトル名を変えます

(1) 文字を入力します（→ **116** ページ）

(2) 入力が終了したら 黄（完了）を押します

- タイトルを変更したくない場合は、終了 を押してください。

4 操作を終了します

終了 を押す

本機でできるダビング

さまざまなダビングができます。操作をする前にお読みください。

タイトル（録画した番組）のダビング

ダビングできるディスクについては⇒**205〜208**ページ

内蔵 HDD（ハードディスク）⇔ BD/DVD ディスク

- 内蔵 HDD（ハードディスク）に録画した番組を BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクにダビングできます。
- タイトルの録画画質・ディスクの種類・フォーマットによって、実行できるダビングが異なります。
- 「録画可能」のタイトルは BD/DVD から HDD へのダビングが可能です。
- 「1 回だけ録画可能」のタイトルは、BD から HDD へのダビング（ムーブ）が可能です。BD-R の場合は、ムーブ後の BD-R の残量は増えません。

「録画可能」のタイトル

ダビング	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD ⇔（ダビング）BD	○	○ BD→HDD時は選択できません	107 109
内蔵HDD ⇔（ダビング）DVD（VR フォーマット／ビデオ フォーマット（未ファイナライズ））	×	○	107 109

「1回だけ録画可能」または「ダビング10」（デジタル放送）のタイトル

ダビング	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
内蔵HDD →（ダビング）BD ダビング回数が1回減ります。／「1回だけ録画可能」のタイトルになります。	○	○	107
内蔵HDD ←（1回だけ録画可能 ダビング（ムーブ））BD	○	×	109
内蔵HDD →（ダビング）CPRM対応 DVD（VR フォーマット）	×	○	107
内蔵HDD →（ダビングできません）DVD（ビデオ フォーマット）	×	×	−

ご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- シャープ製以外のレコーダーで録画したディスクはダビングできない場合があります。
- ファイナライズしたビデオフォーマットの DVD や他機で録画したビデオフォーマットの DVD は、HDD にダビングできません。

お知らせ

ダビング予約について
- 就寝中など、本機を使わない時刻にダビングを実行できます。→ **110** ページ

タイトル名の変更について
- 録画した番組のタイトル名を、わかりやすい名前に変更できます。→ **98** ページ

次ページへつづく

内蔵 HDD（ハードディスク）⇒内蔵 HDD（ハードディスク）

- 内蔵 HDD（ハードディスク）に録画した番組を内蔵 HDD にダビングできます。
- タイトルの録画画質・種類によって、実行できるダビングが異なります。
- 「1 回だけ録画可能」のタイトルは、高速ダビングできません。
- 「1 回だけ録画可能」のタイトルは、録画画質変換ダビングを行うと、ダビング後にダビング元タイトルが消去されます。

※SXP 以下の画質では録画画質変換ダビングはできません。

タイトル	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
「録画可能」のタイトル 内蔵HDD → ダビング → 内蔵HDD	○	○※	107
「ダビング10」のタイトル 内蔵HDD → ダビング → 内蔵HDD ダビング回数が1回減ります。 「1回だけ録画可能」のタイトルになります。	○	○※	107
「1回だけ録画可能」のタイトル 内蔵HDD → 1回だけ録画可能 ダビング（ムーブ） → 内蔵HDD	×	○※	107

内蔵 HDD（ハードディスク）⇔外付け HDD（ハードディスク）

- 内蔵 HDD（ハードディスク）に録画した番組を外付け HDD にダビング（ムーブ）できます。
- ダビングはすべてムーブになります。ダビング後にダビング元タイトルが消去されます。

※SXP 以下の画質では録画画質変換ダビングはできません。

タイトル	高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
「録画可能」のタイトル 内蔵HDD ⇔ ダビング（ムーブ） ⇔ 外付けHDD	○	○※	107 109
「ダビング10」のタイトル 内蔵HDD ⇔ ダビング（ムーブ） ⇔ 外付けHDD ダビング回数を維持したままムーブになります。	○	○※	107 109
「1回だけ録画可能」のタイトル 内蔵HDD ⇔ 1回だけ録画可能 ダビング（ムーブ） ⇔ 外付けHDD	○	○※	107 109

外付け HDD（ハードディスク）⇒ BD ディスク

- 外付け HDD（ハードディスク）に録画した番組を BD（ブルーレイディスク）にダビングできます。
- 「1 回だけ録画可能」のタイトルは、ダビングを行うとダビング後にダビング元タイトルが消去されます。

※ SXP 以下の画質で録画されているタイトルは、録画画質変換ダビングはできません。

「録画可能」のタイトル

外付けHDD → ダビング → BD

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	○※	109

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	○※	109

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	○※	109

内蔵 HDD（ハードディスク）⇔スマートフォン

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	×	146

外付け HDD（ハードディスク）⇒スマートフォン

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	×	146

ホームネットワーク機器の HDD ⇒内蔵 HDD（ハードディスク）

LAN 接続でダビング

ホームネットワーク機器のHDD → ダビング → 内蔵HDD

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	×	146

携帯電話／ビデオカメラとのダビング

携帯電話用の動画（番組）⇒携帯電話

- 内蔵 HDD に録画した携帯用の動画（番組）を、携帯電話にダビング（転送）できます。
- 好きなときに好きな場所で、携帯電話にダビングした動画を楽しめます。
- 携帯電話にダビングできるのは、デジタル放送の番組だけです。

USB 接続で、ダビング（転送）

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	×	138

内蔵 HDD には、録画した番組のオリジナルデータと転送用のデータが別々に保存されます。

※ 携帯電話転送機能に対応している携帯電話について詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_cellular.html）でご確認ください。

ビデオカメラ ⇒ HDD/BD

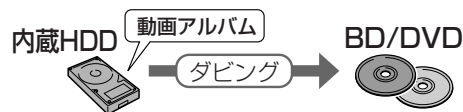
- ビデオカメラで撮影した映像を内蔵 HDD または BD（ブルーレイディスク）にダビングできます。

ビデオカメラ → ダビング → 内蔵HDD / BD

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○	×	112

ビデオカメラから HDD にダビングした映像 ⇒ BD/DVD

動画アルバムの映像を、ダビング

内蔵HDD（動画アルバム） → ダビング → BD/DVD

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
○（BD のみ）	○	113

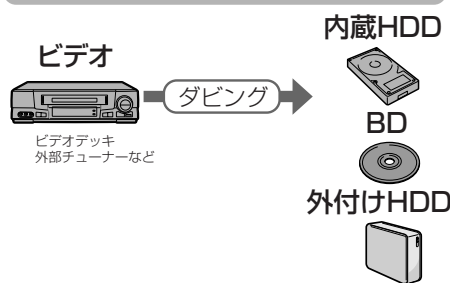
ビデオ（アナログ機器）とのダビング

アナログ方式のビデオなどとダビングができます。

ビデオ ⇒ HDD、BD

- アナログ方式の、ビデオ･外部チューナーなどの映像を HDD（内蔵／外付け）または BD（ブルーレイディスク）にダビングできます。

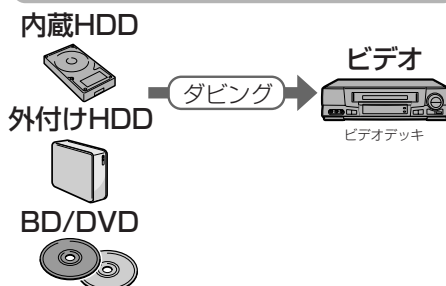
「外部から入力（L1）」に接続して、ダビング

ビデオ（ビデオデッキ 外部チューナーなど） → ダビング → 内蔵HDD / BD / 外付けHDD

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
×	○	114

HDD ⇒ビデオ

- HDD（内蔵／外付け）に録画した番組や BD/DVD にダビングした番組を、アナログ方式のビデオにダビングできます。

「テレビへ出力」に接続して、ダビング

内蔵HDD / 外付けHDD / BD/DVD → ダビング → ビデオ（ビデオデッキ）

高速ダビング	録画画質変換ダビング	操作のしかた（ページ）
×	○ アナログ機器によります。	115

ダビングの種類と所要時間

本機には以下の２種類のダビング方法があります。
• ダビング時のディスク種類・残量により自動選別されます。

高速ダビング（きれいな画質のままダビングする）

元映像より短い時間で、画質を落とさずにダビングできます。
• HDD ⇔ DVD の場合は高速ダビングは行えません。１倍速となります。
•「1 回だけ録画可能」のタイトルは内蔵 HDD から内蔵 HDD への高速ダビングは行えません。

高速ダビングにかかる時間の目安

• 右記の表は､BS デジタルハイビジョン（HD）1 時間番組を「BD-R Ver.1.3/6 倍速」に高速ダビングしたときの時間の目安です。
•「BD-R Ver.1.2/4 倍速｣､｢BD-R Ver.1.3/6 倍速」のディスク（LTH タイプ除く）は、記載されているダビングスピードより高速でダビングされます。ディスクによって、ダビング時間が異なりますので、記載されているダビングスピードより高速でダビングされない場合があります。

録画画質	２倍速（静音モード）時		６倍速（最高速モード）時	
	所要時間	倍速	所要時間	倍速
DR	約 21 分 30 秒	約３倍速	約８分	約７倍速
２倍	約 11 分	約５倍速	約４分	約 15 倍速
３倍	約７分 30 秒	約８倍速	約３分	約 20 倍速
５倍	約４分 30 秒	約 13 倍速	約２分	約 30 倍速
７倍	約３分 30 秒	約 17 倍速	約１分 30 秒	約 40 倍速
10 倍／ 12 倍	約２分 30 秒	約 24 倍速	約１分	約 60 倍速

HDD に HD 放送（BS）１時間番組を録画し､表に記載の高速記録対応ディスクに高速ダビングした場合の最速値です。

お知らせ

• BD-R Ver.1.3/6x を使い６倍速（最高速モード）ダビング中に別タイトルを再生するとダビングスピードが少し遅くなります。
• BD-R Ver.1.3/6x を使い６倍速（最高速モード）ダビングを行ったとき、ディスクや番組の記録状態によっては上記の時間よりダビングにかかる時間が遅くなる場合があります。
• 録画するときに設定した録画画質、番組の長さ、ディスクの種類によって、かかる時間が異なります。

録画画質変換ダビング（記録時間を優先してダビングする）

録画時間（録画画質）を変えてダビングできます。
• 内蔵 HDD（ハードディスク）→ BD/DVD/ 外付け HDD、外付け HDD/DVD →内蔵 HDD、外付け HDD → BD、内蔵 HDD →内蔵 HDD のダビングの場合に行えます。
• ダビングには元の映像と同じ時間がかかります。

自動調整（画質選択に迷ったときおすすめ）

長時間のタイトルを１枚のディスクに入れたいときなどに便利な機能です。→ **104** ページ
• ディスクの残量を調べて録画画質が自動設定されます。

お知らせ

• 元の映像より高画質にはできません。
• BD から内蔵 HDD への録画画質変換ダビングは行えません。高速ダビングのみ可能です。
• ハイビジョン画質で録画した番組を「SXP」以下の画質で録画画質変換ダビングすると､ハイビジョン画質にはならずに標準画質になります。
•「HD10」～「HD01」､「2 倍」～「12 倍」に録画画質変換ダビングをしたとき、ダビング中の画面は放送画面となります。
• 内蔵 HDD からビデオフォーマットの DVD-RW/-R に 16:9（ワイド）番組をダビングすると、映像が縦長に見える場合があります。テレビ側の設定を変更してください。（テレビに付属の取扱説明書を参照）

録画画質変換ダビングで選択できる録画画質

• HDD へ録画した番組の場合、録画画質により録画画質変換ダビングで選べる録画画質が異なります。（下表は一例です）

HDD 内の番組の録画画質			録画画質変換ダビングで選択できる録画画質
DR	⇒	BD / HDD へダビング	「DR」以外の録画画質を選べます。※1 ※2
2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、10 倍、12 倍、HD10 ～ HD01	⇒	BD / HDD へダビング	2 倍～ 12 倍、HD10 ～ HD01、SXP、XP、SP、MN68 ～ MN26 の録画画質が選べます。※2 ※3 （HDD 内の番組の録画画質より高い画質を選択しても、元の映像より高画質にはなりません。）
SXP、XP、SP、MN68 ～ MN26	⇒	BD へダビング	SXP、XP、SP、MN68 ～ MN26 の録画画質が選べます。 （HDD 内の番組の録画画質より高い画質を選択しても、元の映像より高画質にはなりません。）
すべての録画画質	⇒	DVD へダビング	XP、SP、LP、MN65 ～ MN13 の録画画質が選べます。 （HDD 内の番組の録画画質より高い画質を選択しても、元の映像より高画質にはなりません。）

録画画質と録画可能時間については、**46** ～ **48** ページをご覧ください。
※1 HDD に 480p の信号を録画したとき、2 倍、3 倍、5 倍、7 倍、10 倍、12 倍、HD10 ～ HD01 の録画画質は選べません。
※2 SXP 以下の画質が選べるのは、BD へダビングするときのみです。
※3 AVCHD(H.264)、スカパー ! プレミアムサービスチューナーから録画した番組は、SXP 以下の画質が選択できます。

ダビングと移動（ムーブ）について

「1 回だけ録画可能」番組や「ダビング 10」番組のダビングには以下の点にご注意ください。

移動（ムーブ）

「1 回だけ録画可能」番組と「ダビング 10」番組の 10 回目を内蔵 HDD から BD や DVD、携帯電話へダビングすると移動（ムーブ）となり、内蔵 HDD から消去されます。（外付け HDD から BD へダビングした場合も同様です。）
また、内蔵 HDD から外付け HDD へダビングすると移動（ムーブ）となり、内蔵 HDD から消去されます。

「ダビング 10」番組をダビングする

内蔵 HDD に録画された「ダビング 10」番組は、BD/DVD、携帯電話あるいは内蔵 HDD へ 10 回までダビングが可能ですが、10 回目は移動（ムーブ）となり、ダビング元の番組は内蔵 HDD から消去されます。外付け HDD から BD へダビングした場合も同様です。
ただし、外付け HDD へダビングした場合はダビング回数は減りません。

チャプター単位でダビングしたとき

1 タイトルすべてがダビングできていなくても、1 回のダビング操作で 1 回ずつ回数がカウントされます。（1 回のダビング操作で複数のチャプターを選ぶこともできます。）

- ダビングを途中で停止しても回数がカウントされます。

お知らせ

- 「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」番組を DVD にダビングするには、CPRM 対応ディスクを VR フォーマットしてお使いください。ダビングした DVD は CPRM、DVD-R（VR フォーマット）に対応していない DVD プレーヤーでは再生できません。
- 移動（ムーブ）を途中で停止すると、停止したところまでが HDD から消去されます。再度ダビングを始めると残りの部分が別タイトルとしてダビングされます。（中断した地点と再度ダビングを始めた部分は、多少ずれることがあります。）
- 「ダビング 10」に対応していないデジタル放送もあります。
- 外部チューナーを経由した場合、「ダビング 10」番組であっても「1 回だけ録画可能」番組として HDD に録画され、ダビングすると消去されます。

複数タイトルを 1 枚に収めてダビングする（自動調整）

複数のタイトルをダビングする場合、選択されている画質では 1 枚のディスクに入りきらないときは、収まるように「自動調整」が設定されます。

自動調整とは

- 選んだタイトルをダビングする際、ディスクの残時間が足りないときに、1 枚のディスクに記録できる録画画質を選択しダビングする機能です。

ハイビジョン画質が変換されるとき

- 自動調整により録画画質「DR」のタイトルが圧縮されたハイビジョン画質（HD）に変換される場合は、次の 14 段階の中からダビングするディスクの残量に合わせて画質が最高となるものが選ばれます。
  HD10、HD09、HD08、HD07、HD06（2倍）、HD05、HD04、HD03、HD02（3倍）、HD01、5 倍、7 倍、10 倍、12 倍（HD に続く数字が大きいほうが高画質となります。）
- BD の場合、ディスク残量によってはハイビジョン画質でなくなる場合もあります。その場合、MN68 ～ MN26 から画質が最高となるものが選ばれます。
- ディスク残量が不足する場合や画質が大幅に低下する場合は、「⚠」マークを表示してお知らせします。

録画したタイトルを何枚かに分けてダビングする

長時間の番組や高画質で録画した番組を内蔵 HDD から BD/DVD にダビングする場合、1 枚のディスクでは入りきらないことがあります。この場合、以下の方法でタイトル（番組）を分割し、複数枚に分けてダビングしてください。

● タイトルを分割し、ダビングする（タイトルの分割のしかたについては、**97** ページ）
● タイトルを分割せずに、分けてダビングする（チャプターの分割のしかたについては、**93** ページ）

- 録画画質を選びたい場合は、自動調整以外の録画画質に設定してください。

ダビングに関するご注意

ダビングできない場合や制限事項をまとめました。操作前にお読みください。

ダビングができない場合

- BD/DVD/CD 再生中はダビングできません。（下表「ダビングできる組み合わせ」参照）
- 本機以外で録画されたディスクはダビングできない場合があります。BD（ブルーレイディスク）の場合、再生専用ディスクとして判別される場合があります。
- 「ディスク保護」（→ **88** ページ）が「保護する」に設定されているディスクにはダビングできません。
- 99 タイトル（または 999 チャプター）録画またはダビングされた DVD、あるいは 200 タイトル（または 1 層／ 2 層ディスクに 1000 チャプター、3 層ディスクに 19600 チャプター）録画またはダビングされた BD にはダビングできません。（→ **236** ページ）
- 1 回だけ録画可能（ダビング 10 の番組でも残り 1 回）の番組はタイトル保護が設定されているとダビングできません。

● ダビング中の制限事項

- 録画画質変換ダビング中、AVCHD 記録 DVD からのダビング中は他の操作が行えません。
- ホームネットワークでスマートフォンへダビング中のタイトルは、本機でダビングを行えません。

● ダビングできる組み合わせ

動作状態		BD または外付け HDD へのダビング※7		DVD へのダビング	BD または外付け HDD からのダビング ※5 ※7	DVD からのダビング※6	AVCHD 方式で撮影した DVD からのダビング	USB（AVCHD 取込）	内蔵HDDへのダビング	
		高速ダビング	録画画質変換ダビング						高速ダビング	録画画質変換ダビング
放送視聴中		○	○※1	○※1	○	○※1	○	○	○	○
1 番組録画中	「DR」録画中	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	「2倍」～「12倍」録画中	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 番組録画中	「DR」録画中	○	×	×	○※2	×	○	○	○	×
	「2倍」～「12倍」録画中	○※3	×	×	○	×	○	×	○	×
2番組録画とホームネットワーク録画／再生を同時におこなっているとき		○	×	×	○※2	×	○	○	○※8	×
再生中	HDD 再生中	○※4	×	×	×	×	×	×	○※4	×
	ディスク再生中	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	写真再生中	×	×	×	×	×	×	×	×	×
追いかけ再生中		○※4	×	×	×	×	×	×	○※4	×
HDD 同時録画再生中		○※4	×	×	×	×	×	×	○※4	×
ホームネットワーク録画／再生中		○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 1 つぎのような場合、ダビング中に放送はご覧になれません。（再生画面となります。）
 • BD へ SXP 以下の画質でダビングしたとき／ DVD へダビングしたとき／ DVD から HDD（ハードディスク）へダビングしたとき
※ 2 高速ダビングのみ行えます。
※ 3 追いかけ再生や同時録画再生は行えません。
※ 4 再生しながらダビングしたいときは、一度再生を停止し、ダビングを開始したあとで再生の操作をしてください。
 ダビング予約は再生中でも実行されます。
※ 5 録画制限のある番組は、タイトル保護／ディスク保護が設定されているとHDD(ハードディスク)にダビングできません。
 （シャープ製以外のレコーダーで録画した BD は、HDD（ハードディスク）にダビングできない場合があります。）
※ 6 ビデオフォーマットの DVD からはダビングできません。
 コピー制限のあるタイトルはダビングできません。
※ 7 外付け HDD へのタイトル録画中は、外付け HDD ↔ HDD 間のダビングはできません。
※ 8 内蔵 HDD からダビングするときは、DR 以外で録画中の場合のみダビングが行えます。

ダビング画質とダビングされる内容

ダビング後の映像と音声／ダビング元の映像・音声	BD ディスク／ HDD（ハードディスク）			BD ディスク	DVD ディスク	
	DR（高速ダビング）	2 倍／ 3 倍／ 5 倍 HD ○○	7 倍／ 10 倍／ 12 倍	SXP/XP/SP/MN	VR フォーマット	ビデオ フォーマット
マルチビュー放送（ステレオ二重音声）※1	○	主映像（音声は主・副両方ダビングされます）	主映像（音声は、マルチ音声設定で設定されている音声）	主映像／主または副音声（再生時に選択されている音声）	主映像／主または副音声（再生時に選択されている音声）	主映像／主または副音声（再生時に選択されている音声）
連動データ放送	○	○※3※4	○※3※4	×	×	×
二重音声	○	○	○	○	○	二ヶ国語音声設定で設定されている音声
5.1ch 音声	○	○	○	2ch 音声	2ch 音声	2ch 音声
字幕	○	○	○	×	×	×
番組情報	○	○	○	×	×	×
チャプター	○	○	○	○	○	オートチャプターで設定されている時間単位で記録※2
タイトル名※5	○	○	○	○	○ 最大 32 文字	○ 最大 32 文字
インデックス画面	○	○	○	○	○	番組の先頭

※ 1　デジタル放送のステレオ二重音声を録画画質 SXP 以下で BD（ブルーレイディスク）にダビングするとき、または DVD ディスクにダビングするときにダビングされる音声は、再生時に選択されていた音声です。ダビングする前に一度再生し、ダビングしたい音声を選択してからダビングしてください。
※ 2　「オートチャプター設定」を「おまかせ」に設定している場合は、チャプターは記録されません。
※ 3　ダビング時に連動データを記録するか、削除するかの設定が行えます。
※ 4　工場出荷時は、連動データ放送を「記録しない」設定になっています。連動データ放送を記録したいときは、「長時間モード設定」の「連動データ設定」（→ **191** ページ）を「記録する」に設定してください。
※ 5　電子番組表を使って HDD（ハードディスク）に録画した番組を DVD ディスクにダビングしたとき、[二][又][文][Ⅱ]などの表示がタイトル名の欄に表示されませんが、故障ではありません。（「＊」表示となります。）

ダビング時の映像や音声について

録画画質変換ダビング中、自動調整でダビング中など SXP 以下の画質でダビングしたときは、再生画面となります。（放送はご覧になれません。）

●DVD-R DL（2 層）ディスクについて

- ビデオフォーマットの DVD-R DL（2 層）ディスクで、1 層から 2 層にまたがるダビングをした場合、それぞれが別タイトルとして記録されます。
- VR フォーマットの DVD-R DL（2 層）ディスクの場合、連続でダビングできる時間は最大 9 時間です。

●ステレオ二重音声のダビングについて

- デジタル放送のステレオ二重音声の放送を録画画質 SXP 以下の画質で BD へダビングするとき、DVD へダビングするときは、ダビングする前に記録したい音声を再生して選んでからダビングしてください。（選んだ音声でダビングされます。）

●モノラル二重音声放送のダビングについて

- VR フォーマットの DVD ディスクには主音声・副音声の両方が記録できますが、「ホーム」－「設定」－「録画機能設定」－「音声記録方式設定」が「リニア PCM」設定で（→ **190** ページ）録画画質「XP」でダビングする場合には、1 つの音声しか記録できません。どちらを記録するかを「録画機能設定」の「二ヶ国語音声設定」で選んでください。（→ **190** ページ）

タイトル（番組）のダビングをする

内蔵HDD(ハードディスク)に録画した番組をBD/DVDや、HDD(内蔵／外付け)にダビングします。
• BD/DVD/外付けHDDから内蔵HDDにダビングすることもできます。→ **109** ページ

お知らせ

• ダビング中にディスクがいっぱいになると、ダビングが停止します。
• ライブ中に かんたん メニュー を押すと、音声ガイドを聴きながら簡単にダビングすることができます。→ **27** ページ

ヒント

ディスクの残量を確認したいときは→ 49 ページ
ダビングを途中で止めるときは ■停止 を2回押す
• ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは、本機でファイナライズ処理(→ **119** ページ)を行ってください。ファイナライズ処理を行わないと、再生できない場合があります。

基本操作

内蔵HDDからダビングする

準備 BD/DVDにダビングするときは録画用のディスクを挿入します

● 新品のディスクを挿入したとき
① 初期化が始まります。しばらくお待ちください。
• 初期化について→ **30** ページ
②「ダビングする」を選んで決定します
⇒ 手順 **3** へ

● すでに録画されているディスクのとき
⇒ 手順 **1** へ

外付けHDDにダビングするときは外付けHDDと本機の外付けHDD用端子をUSBケーブルで接続します→ **31** ページ

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「ダビング」を選んで決定します

3 「HDD」を選んで決定します

4 ダビング先を選んで決定します

画面例

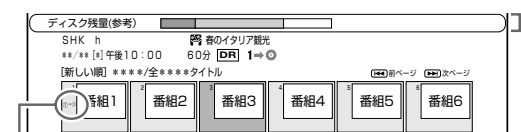
● BD/DVDにダビングするときは
⇒「放送番組」の「HDD ➡ BD/DVD」を選んで 決定 を押す

● 内蔵HDDにダビングするときは
⇒「放送番組」の「HDD ➡ HDD」を選んで 決定 を押す

● 外付けHDDにダビングするときは
⇒「放送番組」の「HDD ➡外付けHDD」を選んで 決定 を押す

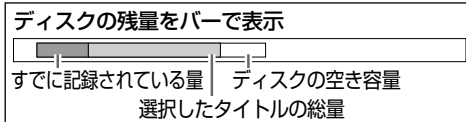
•「HDD ➡ 外付けHDD」は、外付けHDDが接続されていて使用可能な場合のみ表示されます。

5 ダビングしたいタイトルを選びます

タイトル選択の操作例（HDD ➡ BDの場合）

選んだタイトルには、番号とダビングマーク「① 」が付きます。

● 1つのタイトルを選ぶとき

で選び 決定 を押す

次ページへつづく

● 複数のタイトルを一度にダビングしたいとき

(1) （決定）で選び 黄（複数選択）を押す

- これを繰り返して 50 タイトルまで選べます。
- 黄を押すごとにダビング選択⇔選択解除となります。
- 選んだ順にダビングされますが、録画リストの表示は録画日の順番となります。ダビングした順に表示させたい場合は録画リストの並べ換えで「ディスクへの録画順」を選びます。

(2) 選び終わったら （決定） を押す

● チャプターを選ぶとき

(1) （決定）で選び 赤（表示方法）を押す

(2)「チャプター単位」を選んで （決定） を押す

- 同一タイトル内のチャプターのみ選べます。
- ダビング 10 の番組のチャプターをダビングすると、タイトル全体のダビング回数が 1 回減ります。

● グループ／ジャンル／予約別／キーワード検索リストから選ぶとき

(1) 緑 を押す

(2) リストを選んで （決定） を押す

グループ別		ジャンル別		予約別		キーワード検索
1 グループ1	[0]	ニュース/報道	[3]	NEW AUTO 自動録画	[12]	フランス
2 グループ2	[1]	スポーツ	[1]	ニュースの林	[1]	(未設定)
3 グループ3	[0]	NEW 情報/ワイドショー	[6]			(未設定)

(3) ダビングしたいタイトルを選んで （決定） を押す

- 全タイトルを選ぶときは 青（全タイトル選択）を押します。
- もう一度押すと、全タイトル選択が解除されます。
- グループ内のタイトルが 50 を超えるときは 青（全タイトル選択）は選べません。黄（複数選択）を選んでください。

6 「すぐにダビング」を選んで決定します

⇒ ダビングが始まり、終了すると自動停止します。

- 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。

● そのままの画質でダビングできないとき

⇒「自動調整」の確認画面が表示されます。

- 「連動データを残して実行」あるいは「連動データを削除して実行」を選ぶとダビング開始画面になります。連動データを削除するとより高画質でダビングできます。（「連動データを削除して実行」は表示されない場合もあります。）
- 「いいえ」を選ぶと録画リストに戻ります。

● ダビング予約したいとき

▶ **110** ページ

● ダビングの種類や画質を選びたいとき（詳細設定）

▶ **下記**

ダビングの種類や画質を選ぶ場合

「詳細設定」でダビングの種類や画質を手動で設定できます。

ご注意

- 録画画質 DR で録画したデジタル標準（SD）放送を「2 倍」～「12 倍」または「HD ○○」でダビングしたときは、ダビングしたタイトルのデータ量が大きくなる場合があり、録画可能時間は、ダビングしたタイトルの時間以上に減る場合があります。
- 「2 倍」～「12 倍」、「HD ○○」で連動データを記録したときは、連動データのデータ量によっては表示される残時間までダビングできない場合があります。残時間に余裕を持ってダビングしてください。
- 録画画質を「SXP」「SP」「MN ○○」でダビングした場合、ダビングした番組の最後が静止画状態で 10 秒ほど記録される場合があります。

1 上記の手順 6 で、「詳細設定」を選んで決定します

- HDD に「1 回だけ録画可能」のタイトルをダビングする場合は、手順 **3** に進みます。

2 ダビングの種類を選んで決定します

高速ダビング（最高速モード） ―― 手順 **5** へ
ディスクで対応している最大の速度でダビングを行います。
録画画質は元のままで、画質・音質の劣化がほとんどありません。

高速ダビング（静音モード） ―― 手順 **5** へ
深夜など動作音が気になる場合のダビングにご使用いただけます。
録画画質は元のままで、画質・音質の劣化がほとんどありません。

録画画質変換ダビング ―― 手順 **3** へ
ディスクの残量などに合わせ録画画質を選択し、ダビングできます。
ダビング時間は選択したタイトルの録画時間ぶんかかります。

- 高速ダビングは DVD が挿入されている場合選べません。
- HDD にダビングする場合、「高速ダビング（静音モード）」は選べません。
- 「高速ダビング（静音モード）」でもダビング音が気になる場合、番組と一緒に記録された連動データを削除したい場合は「録画画質変換ダビング」を選んでください。

3 画質を選んで決定します

画質 自動調整 連動データ削除 しない
設定

- DVDにダビングするときに選べるのは「XP」「SP」「LP」です。
- ハイビジョン画質のタイトルをHDDにダビングするときは「SXP」「XP」「SP」「MN ○○」は選べません。

● **ハイビジョン画質を選んだときは連動データを削除するかどうか選びます。**
- 「する」または「しない」を選び 決定 を押します。

4 「設定」で 決定 を押します

5 「すぐにダビング」を選んで決定します

⇒ダビングが始まり、終了すると自動停止します。
- 途中で止めたいときは ■停止 を押します。
- SXP以下の録画画質変換ダビング中は再生画面になります。停止しないと他の操作はできません。
- ディスクの残時間が不足しているときはお知らせ画面が表示されます。「する」を選ぶと残時間がなくなるまでダビングします。

外付けHDDから内蔵HDDまたはBDへダビングする

お知らせ

外付けHDDからBDへのダビングについて
- SXP以下の画質で録画されているタイトルは、高速ダビングのみ行えます。
- 録画画質変換ダビングは選択できません。
- 「DR」「2倍」～「12倍」「HD ○○」のタイトルを録画画質変換ダビング、または「自動調整」でダビングしたときは、SXP以下の録画画質は選択できません。

1 107ページ「内蔵HDDからダビングする」の手順1～2を行います

2 「外付けHDD」を選んで決定します

- 「外付けHDD」は、登録済みの外付けHDDが接続されていて使用可能な場合のみ表示されます。

3 ダビング先を選びます

● **内蔵HDDにダビングするときは**

⇒「外付けHDD ➡ HDD」を選んで 決定 を押す

● **BDにダビングするときは**

⇒「外付けHDD ➡ BD」を選んで 決定 を押す

4 107ページの手順5からを行いダビングします

BD/DVDから内蔵HDDへダビングする

ご注意

- DVDから内蔵HDDへダビングできるのは、コピー制限のないタイトルだけです。
- ファイナライズしたビデオフォーマットのDVDは、内蔵HDDにダビングできません。
- 他機で録画したビデオフォーマットのDVDは、内蔵HDDにダビングできません。
- AVCHD記録のDVDのデータは、内蔵HDDにダビングすることができます。（→ **111** ページ）
- シャープ製以外のレコーダーで録画したBDは、ダビングできない場合があります。
- シーン消去など51回以上編集を行ったBDは内蔵HDDにダビングできません。
- 録画制限のある番組をBDから内蔵HDDにダビングしたとき、ダビングしたタイトルはBDから消去（ムーブ）されます。
- 他機で録画したBD、DVDディスクに著作権保護された映像が含まれているときは、ダビングできない場合があります。

1 ダビングしたいタイトルが入ったBD/DVDを挿入します

2 107ページ「内蔵HDDからダビングする」の手順1～2を行います

3 「BD／DVD」を選んで決定します

4 107ページの手順5からを行いダビングします

- BD → HDDの場合、「1回だけ録画可能」のタイトルのダビングはムーブとなり、BDから番組は消去されます。BD-Rからダビングしたときは、BD-Rのタイトルは見えなくなるだけで、BD-Rの空き容量は増えません。
- BD → HDDの場合、高速ダビングのみ可能です。（詳細設定は行えません。）
- DVD → HDDの場合、録画画質変更ダビングのみ可能です。
- 自動調整機能は働きません。HDDの容量が不足してダビングできないときは、不要なタイトルを消去してください。

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

ダビングを予約する

時刻を予約して、夜間など本機を使わない時間にダビングすることができます。

ご注意

- ダビング予約ができるのは 1 件だけです。
- ファミリンク（HDMI）予約をお使いの場合は、ファミリンク予約録画の終了から、5 分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。
- 録画予約とダビング予約が重複しているときは、メッセージが表示されます。
  重複している録画予約を取り消すか、ダビング予約の時間を変えて、再度設定してください。
- 65 件（件数には電子番組表予約、日時指定予約、ダビング予約、マイディスク予約、休止中の予約が含まれます。）を超えての予約はできません。予約を取り消してください。（→ **64** ページ）
- ダビング予約待機中は、ダビング元の消去や初期化、編集操作ができません。
- 予約録画の「重ね録り」を設定したタイトルをダビング予約する場合、ダビング予約の待機中に上書き番組が録画されると、正しくダビングできない場合があります。

お知らせ

- ダビング予約を解除したいときは、予約リストから取り消してください。
- ダビング予約が完了するまで、他のダビングはできません。
- ダビング予約では「高速ダビング」を選んでもダビング元と同じ時間分の予約時間が必要です。
- 外付け HDD から BD へのダビング予約は設定できません。

メモ

- ダビング予約ができない場合について詳しくは、「故障かな？と思ったら」（→ **221** ページ）をご覧ください。

1 ダビング操作を行います

- **HDD → BD/DVD/HDD/外付け HDD** ▶**107** ページ
- **外付け HDD → HDD/BD** ▶**109** ページ
- **BD/DVD → HDD** ▶**109** ページ

2 「ダビング予約」を選んで決定します

このタイトルをBDに高速ダビングします。

1 回だけ録画可能な番組のため、ダビングを
行うとハードディスクから消去されます。

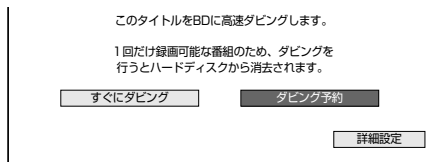
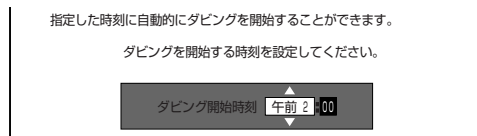
すぐにダビング　ダビング予約

詳細設定

3 ダビング開始時刻（時・分）を選んで決定します

指定した時刻に自動的にダビングを開始することができます。

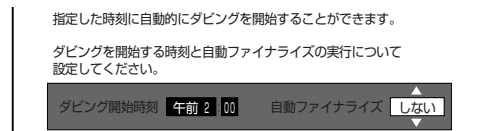
ダビングを開始する時刻を設定してください。

ダビング開始時刻　午前 2 : 00

- 現在時刻から 24 時間以内の時刻が設定できます。

● DVD にダビングするとき
⇒ **自動ファイナライズするかどうか選びます。**

指定した時刻に自動的にダビングを開始することができます。

ダビングを開始する時刻と自動ファイナライズの実行について
設定してください。

ダビング開始時刻　午前 2 : 00　自動ファイナライズ　しない

- 自動ファイナライズを「する／しない」を選んで決定してください。ファイナライズとは本機でダビングした DVD を他機器で再生するのに必要な処理です。ファイナライズはダビング終了後に自動的に行われます。（数分～約 1 時間以上：ディスクにより異なります。2 層ディスクの場合はさらに時間を要します。）
  「する」に設定すると、ダビング元の録画時間とファイナライズのための時間の合計がダビング予約時間となります。

4 「設定」を選んで決定します

- 「取消し」を選ぶと前画面に戻ります。

5 予約を確認します

確認 で 決定 を押す

⇒ ダビング予約が完了しました。

● **ダビング終了後に電源を切りたい場合は**
⇒ **予約完了後あるいはダビング開始後に 電源 を押します。**

AVCHD 方式デジタルカメラからのダビング

お知らせ

- このダビングでは高速ダビングができます。
- このダビングでは録画画質変換ダビングはできません。

基本操作

撮影を保存した DVD のダビング

AVCHD 方式のデジタルカメラで撮影した DVD を内蔵 HDD（ハードディスク）の「動画アルバム」にダビングすることができます。ダビングした映像は編集（→ **91** ページ）したり別の BD/DVD にダビング（→ **107** ページ）してバックアップすることができます。

ご注意

- データコピーとなるため画質の設定はできません。
- DVD ディスクを挿入するとき、8cmCD 用のアダプターなどは使わないでください。

1 AVCHD 方式のデジタルカメラで撮影した DVD を本機に挿入します

- 再生されたときは［■停止］を押します。

2 ホーム画面を表示させます

［ホーム］を押す

3 「ダビング」－「DVD(AVCHD 記録)」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

4 ダビングしたい映像を選びます

● 1 つの映像だけをダビングしたいとき

- DVD に記録されている映像が古い順に一覧表示されます。
- 「録画日」「録画開始時刻」が映像の名前となります。

● 取り込んでいない映像をすべてダビングしたいとき

⇒ ［赤］（未取込動画選択）を押し、（決定）を押します。

- 取り込んでいない映像（ マークの付いていない映像）がすべて選択されます。
- もう一度［赤］を押すと、選択が解除されます。
- 50 件を超える未取込映像があるときは、［赤］（未取込動画選択）は操作できません。「●複数の映像を 1 つずつ選んでダビングしたいとき」で選んでください。

● 同じ日に撮った映像をすべてダビングしたいとき

⇒ ダビングしたい映像を選び、［緑］（同一日動画選択）を押し、（決定）を押します。

- 選んだ映像と同じ日に撮影した映像がすべて選択されます。
- 選択した映像のいずれかを選んでもう一度［緑］を押すと、選択が解除されます。
- 50 件を超える同一日映像があるときは、［緑］（同一日動画選択）は操作できません。「●複数の映像を 1 つずつ選んでダビングしたいとき」で選んでください。

● 複数の映像を 1 つずつ選んでダビングしたいとき

(1) ダビングしたい映像を選び、［黄］（複数選択）を押します。

タイトル選択の操作例

選んだタイトルには、番号とダビングマーク「①」が付きます。

- この操作を繰り返して 50 映像まで選べます。（選んだ順にダビングされます。）
- 選択した複数の映像は、動画アルバムには 1 つのタイトルとして取り込まれます。（各 AVCHD ファイルはチャプターで分割された状態になります。）別々のタイトルとして取り込みたい場合は 1 つずつ、日付で管理したい場合は同一日動画選択でダビングしてください。
- もう一度［黄］を押すと、選択が解除されます。

(2) 映像を選び終われば（決定）を押します。

次ページへつづく

5 「はい」を選んで決定します

⇒ ダビングが始まります。

- ダビングが終了したら手順 **3** で表示される画面に戻ります。
- 一度取り込んだ動画には、 マークが表示されます。
- 電源を切ったりディスクを取り出したりすると、 マークは表示されません。
- 終了するときは 終了 を押します。

AVCHD 方式デジタルカメラから HDD/BD へのダビング

HDD H.264 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP

BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

AVCHD 方式のデジタルカメラと本機を USB ケーブルで接続すると、デジタルビデオカメラに保存されている映像（動画）を内蔵 HDD（ハードディスク）の「動画アルバム」または BD（ブルーレイディスク）にダビングすることができます。デジタルビデオカメラで撮影した写真（静止画）を内蔵 HDD（ハードディスク）の「写真アルバム」に取り込むことができます。

ご注意

- 直接 DVD にダビングすることはできません。内蔵 HDD にダビングしてから DVD へダビングしてください。
- 動画データ取り込み中、録画画質「DR」以外の予約録画が開始されたとき、携帯電話転送用動画を同時に記録する予約録画が開始されたときは取り込みが中断されます。
- 写真（静止画）は外付け HDD、BD に取り込めません。

お知らせ

- 接続動作の確認を行ったビデオカメラの機種については、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/bd_info01.html）でご確認ください。
- 接続動作の確認を行った USB カードリーダーの機種については、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/usb_cardreader.html）でご確認ください。
- 取り込める動画フォーマットは AVCHD 方式です。MPEG2 や HDV 方式の動画は USB 接続で取り込めません。
- 取り込める静止画フォーマットは JPEG です。

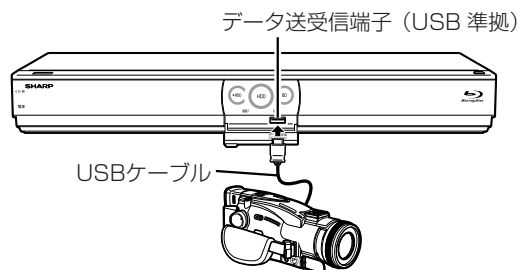
メモ

接続しても取り込み画面にならない場合は以下をお確かめの上、操作し直してください。

- ビデオカメラの電源は入っていますか？
- カメラを USB 接続モードに切り換えていますか？
- USB ケーブルを抜き差ししませんでしたか？

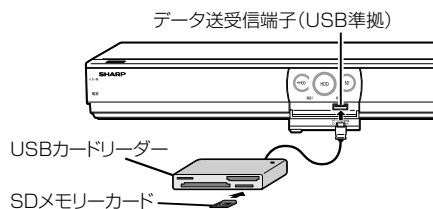
準備 BD に取り込む場合は、録画用の BD を挿入します

▶**28** ページ

1 デジタルビデオカメラと本機のデータ送受信端子を USB ケーブルで接続します

※ USB ケーブルは、デジタルビデオカメラに付属のケーブルをお使いください。

● **USB カードリーダーを使ってダビングする場合**

(1) SD メモリーカードを USB カードリーダーに装着し、本機のデータ送受信端子に USB ケーブルで接続します。

データ送受信端子（USB準拠）
USBカードリーダー
SDメモリーカード

(2) **113**ページ「カメラの動画を取り込む」の手順 **1** に進みます。

2 デジタルビデオカメラの電源を入れます

3 デジタルビデオカメラを USB モードに切り換えます

- 切り換え方法は、お使いのカメラの取扱説明書をご覧ください。

⇒ しばらくすると、自動的に取り込み画面が表示されます。→ **113**ページ「カメラの動画を取り込む」手順 **1**

● **すでに取り込んでいて再度取り込むとき**

ホーム を押して 決定 で「ダビング」－「デジタルカメラ（USB 接続）」を選んで 決定 を押します。

カメラの動画を取り込む

1 「動画（AVCHD)」を選んで決定します

本機のハードディスクに取り込むデータを選択してください。
動画（AVCHD） 写真（JPEG）

- 写真（静止画）を内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込むときは、「写真 (JPEG)」を選んでください。（→ **127** ページ）

● 録画用の BD が挿入されているときは
⇒ 録画先選択画面が表示されます。選択してください。

2 取り込みたい映像を選んで決定します

- デジタルカメラに記録されている映像が古い順に一覧表示されます。
- 「録画日」「録画開始時刻」が映像の名前となります。

● 映像の選びかた（カラーボタンの使い方）→ **111** ページ

3 「はい」を選んで決定します

⇒ 取り込みが始まります。

- 取り込みが終了したら手順 **2** で表示される画面に戻ります。
- 一度取り込んだ動画には、マークが表示されます。
- 電源を切ったり USB ケーブルを抜いたりすると、マークは表示されません。
- 終了するときは 終了 を押します。

● 動画アルバムに取り込んだ映像を見るには→ **71** ページ

HDD に取り込んだビデオカメラ映像をダビングする

HDD H.264 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込んだデジタルビデオカメラの映像は「動画アルバム」として保存されます。この「動画アルバム」から BD/DVD や、内蔵 HDD にダビングできます。

内蔵 HDD から BD/DVD/HDD へダビングする

1 **107** ページの手順 **1** ～ **3** を行います

2 「動画アルバム」の「HDD ➡ BD ／ DVD」を選んで決定します

⇒ 録画リストが表示されます。

- 内蔵 HDD にダビングするときは、「HDD ➡ HDD」を選んで決定します。

3 ダビングしたい映像を選んで決定します

● 映像の選びかた→ **111** ～ **112** ページ

⇒ ダビング開始画面が表示されます。

4 「すぐにダビング」を選んで決定します

⇒ ダビングが始まり、終了すると自動停止します。

- 表示されるメッセージはダビングされる状態によって変わります。

● BD にそのままの画質でダビングできないとき
⇒「自動調整」の確認画面が表示されます。
- 「はい」を選ぶとダビング開始画面になります。
- 「いいえ」を選ぶと録画リストに戻ります。
- BD（ブルーレイディスク）へダビングする場合で高画質のまま何枚かのディスクに分けてダビングするときはダビング開始画面の「詳細設定」で「高速ダビング」を選びます。
- HDD へダビングする場合、自動調整でのダビングはできません。

● ダビング予約したいとき→ **110** ページ

● ダビングの種類や画質を選びたいとき（詳細設定）→ **108** ページ

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

ビデオカメラやビデオデッキからダビングする

Mini DV 方式のビデオカメラ、アナログ方式のビデオカメラや VHS ビデオデッキ、外部チューナーなどの映像を HDD（内蔵／外付け）または BD（ブルーレイディスク）にダビングできます。

ご注意

- コピー禁止（コピーガード）信号が入っている映像はダビングできません。視聴のみ行う場合でも正しい映像にならない場合があります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキを介してテレビに出力すると画質劣化することがありますが、機器の問題ではありません。このような場合は本機とテレビを直接接続してください。
- ビデオカメラやビデオデッキの接続については接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

お知らせ

- このダビングでは高速ダビングはできません。
- このダビングでは録画画質変換ダビングができます。

メモ

- 本機を介して見た外部機器の映像と直接テレビに入力した映像は画質が多少異なります。

ヒント

- ビデオカメラなどの日付表示などを入れてダビングしたいときは、ビデオカメラ側で表示させておいてください。

1 本機の「外部から入力（L1）」端子にビデオカメラなどを接続します

- 接続方法→ **158** ページ

2 テレビと本機の準備をします

▶**33** ページ

3 ビデオカメラなどの準備をします

4 HDD、BD/DVD または外付け HDD モードを選びます

[BD/HDD] を押す

- BD にダビングする場合は録画用 BD を挿入して BD/DVD モードを選びます。
- 外付け HDD にダビングする場合は外付け HDD を接続して外付け HDD モードを選びます。

5 外部入力を選びます

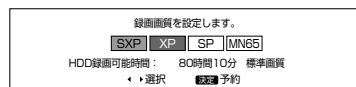
を押す
（ふた内）

- ビデオカメラなどを接続した入力（外部入力（L1））を選んでください。
- 「ホーム」－「チャンネル」でも選べます。

6 録画画質設定画面を表示させます

チャプターマーク [録画画質] を押す

7 録画画質を選びます

録画画質を設定します。
SXP　XP　SP　MN65
HDD録画可能時間：　80時間10分　標準画質
◀ ▶選択　決定 予約

- 録画画質について→ **45** ページ

8 ビデオカメラなどを再生します

9 ダビングしたい場面で録画を始めます

らくらく予約 [●録画] を押す

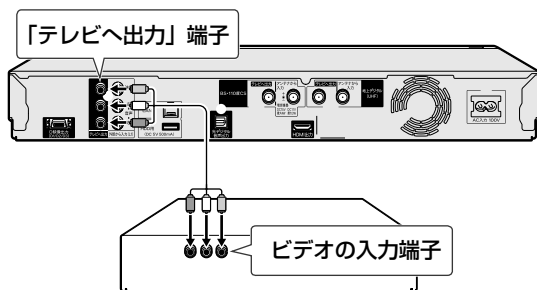
10 録画を終了するには

[録画停止] を押す

本機に録画した番組をビデオにダビングする

HDD（内蔵／外付け）に録画した番組やBD/DVDにダビングした番組を、ビデオデッキで録画できます。

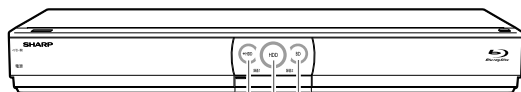
お知らせ
- このダビングでは高速ダビングはできません。
- このダビングでは録画画質変換ダビングができます。
- HDD内の「1回だけ録画可能」または「ダビング10」のタイトルやBD/DVD内のタイトルをビデオテープに録画すると録画禁止の番組となるため、他の機器へのダビングはできません。

準備 ①本機の出力端子にビデオデッキを接続します

②テレビと本機の準備をします
▶33ページ

1 ビデオデッキの電源を入れます

2 ビデオデッキの外部入力を本機を接続した入力に切り換えます

3 ビデオテープにダビングするタイトルの録画元のモードを選びます

BD/HDD を押す
- HDD、BD/DVDまたは外付けHDDモードを選びます。
  詳しくは「モードの切り換え」（→**31**ページ）をご覧ください。

- BD/DVD内のタイトルをダビングする場合は、そのディスクを挿入してBD/DVDモードを選びます。
- 外付けHDD内のタイトルをダビングする場合は、外付けHDDを接続して外付けHDDモードを選びます。

4 録画リストを表示させます

 を押す

5 ダビングしたいタイトルを選んで再生します

 で選び 決定 を押す

画面リストの画面例

⇒ 再生が始まります。

6 ダビングしたい場面でビデオデッキの録画を始めます

- 操作方法はビデオデッキの取扱説明書をご覧ください。

7 本機の再生を止めるとき

■停止 を押す

お知らせ
- D映像端子を使用し、テレビと本機を接続しているときは、本機の映像出力端子から信号が出力されません。ダビングしたいときは、本機のD映像出力端子からD映像ケーブルを取り外してください。

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP
BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

文字を入力する（ソフトウェアキーボード）

入力表示の編集、LAN 設定をするときは、ソフトウェアキーボードで文字を入力します。ソフトウェアキーボードは、文字入力できる欄を選んで決定ボタンを押すと表示されます。

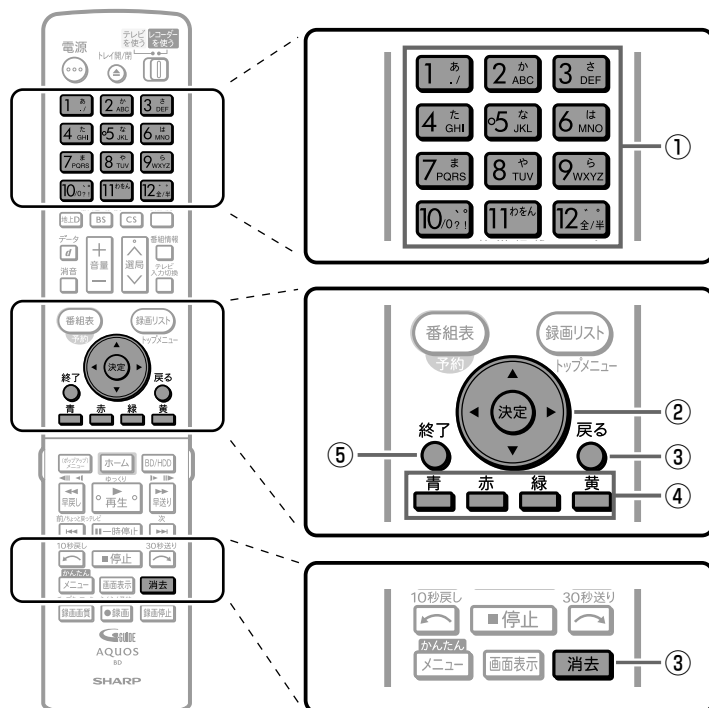
画面例

ソフトウェアキーボード

① 入力中の文字が表示されます。
② 予測変換候補が表示されます。画面は一例です。予測変換候補は保存された履歴によって変わります。また、番組情報からコピーしたキーワードを予測変換候補に登録することもできます。
③ 緑で文字の種類（文字種）を選びます。文字種によって、数字ボタンで入力できる文字が変わります。
④ リモコンの数字ボタン（チャンネルボタン）で入力できる文字が表示されます。

お知らせ

- シャープ製スマートフォンと本機を LAN 接続している場合、スマートフォンで文字を音声入力することもできます。
- スマートフォンでコントロールするには、新たにアプリケーションソフトをインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/info/voice_remo_con.html）でご確認ください。

文字の入力に使うリモコンのボタン

①	・文字を入力します。
②	・入力欄のカーソルを移動します。 ・予測変換しているときは変換候補を選びます。 ・漢字変換しているときは、左右で変換する範囲を指定し上下で変換候補を選びます。
③	・文字を消去します。 ・予測変換や漢字変換しているときは、変換を取り消します。
④	・青：ひらがなを漢字に変換します。（漢字を入力できる欄のみ） ・赤：入力中の文字を「お」→「え」のように逆順に戻します。 ・緑：文字の種類（文字種）を選びます。 ・黄：文字入力を完了します。ソフトウェアキーボードが消えます。
⑤	・現在の入力をすべて取り消します。ソフトウェアキーボードも消えます。

文字入力のしかた

ここでは、例として「お早うございます」と入力する手順を説明します。

お知らせ

- 予測変換候補に入力したい文字が表示されている場合は、次の手順で語を入力します。
  ① 下ボタンを押す
  ② 上下左右ボタンで入力したい語を選び、決定ボタンを押す
- 入力中に文字を消去する場合は、左右カーソルボタンでカーソルを移動し、戻るボタンまたは消去ボタンを押します。

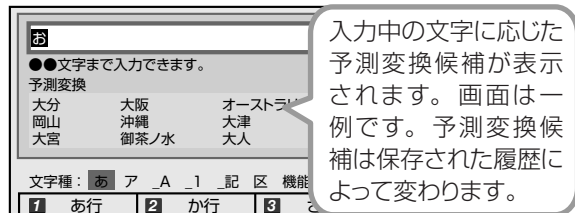
文字入力の制限について

- HDD（内蔵／外付け）、BD（ブルーレイディスク）では全角 40 文字まで、DVD では全角 32 文字までタイトル名を入力できます。（入力できる文字数は機能により異なります。）

1 予約名変更やタイトル名変更など、文字を入力できる欄を選んで決定します

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 「お」を入力します

- [1 あ] を５回押します。押すたびに、文字が「あ」「い」「う」「え」「お」と変わっていきます
- カタカナ、英字、数字、記号などの文字種を選ぶときは、[緑]（文字種変更）を押して選びます。

3 同じようにして「は」、「よ」、「う」を入力します

「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）を入力するときは

- [12 全/半] を押します。押すたびに「゛」と「゜」が切り換わります。

「っ」などの小さい文字を入力するときは

- [4 た GHI] を６回押すと「っ」が入力されます。「ぉ」の場合は、[1 あ] を 10 回押します。

スペースを入力するときは

- [11 わをん] を６回押します。

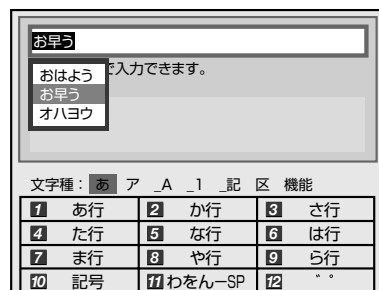
入力できる文字は

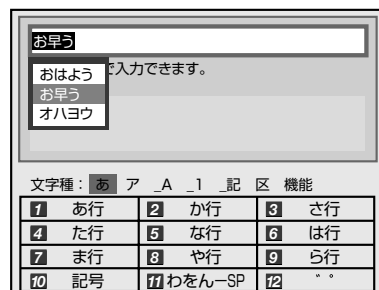
- 「入力文字一覧表」→ **118** ページ

漢字やカタカナに変換するには

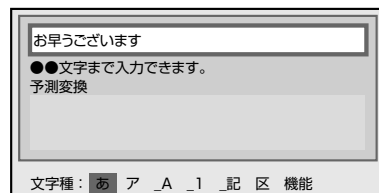
4 入力欄の文字を変換します

[青] を押す

- 変換候補が表示されます。
- 左右カーソルボタンで変換する範囲を選べます。

5 入力したい文字を選んで決定します

- ここでは「お早う」を選びます。
- 次に続く文字の予測変換候補が表示されます。

6 続けて文字を入力します

[1 あ]～[12 全/半] を押す

- ここでは「ございます」と入力します。

- 変換せずに続けて文字を入力する場合は、(決定) を押します。

7 入力中の文字を確定します

[黄] を押す

- 手順 **1** で選んだ入力欄に文字が入力されます。

確認・基本 | 視聴 | 録画・予約録画 | 再生・消去・編集 | ダビング・管理 | ファミリンク | 携帯電話・カメラ | ホームネットワーク | 接続 | 基本設定 | 各種設定 | 困ったときは

区点コードから入力する

変換しても表示されない文字は、区点コードから選んで入力できます。

1 文字種から「区」を選びます

［緑］（文字種変更）を繰り返し押す

2 入力したい文字を選んで決定します

- ［1］～［10］を押して区点コード（3 桁）を入力することもできます。

お知らせ

- 区点コードは第 1 水準と第 2 水準に分かれています。
- 第 1 水準は音読みの順番で並んでいます。
- 第 2 水準は部首の順番で並んでいます。
- タイトル名などを変更し、DVD へダビングした場合、一部表示できない文字があります。表示できない文字は「＊」表示となります。

入力中の文字を全消去する

- 入力欄に表示されている文字をまとめて消去することができます。

1 文字種から「機能」を選びます

［緑］（文字種変更）を繰り返し押す

文字種： あ ア _A _1 _記 区 機能

1 全文クリア	2	3 履歴削除
4 予測OFF	5	6
7	8	9
10	11	12 ゛ ゜

↕予測 ◀▶カーソル移動
終了 入力取消 戻る 文字消去
青 漢字変換 赤 逆順 緑 文字種変更 黄 完了

2 「全文クリア」を選びます

［1］を押す

- 入力中の文字が全て消えます。
- 続けて文字を入力するときは、［緑］（文字種変更）を押して、文字種を選んでください。

お知らせ

予測変換候補を工場出荷時状態に戻すには

① ［緑］を繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ。

② ［3］を押して「履歴削除」を選ぶ。
- 予測変換候補が工場出荷時状態に戻ります。

予測変換機能を停止するには

① ［緑］を繰り返し押し、文字種から「機能」を選ぶ。

② ［4］を押して「予測 OFF」を選ぶ。
- 予測変換機能が停止し予測候補の表示欄が消えます。予測変換機能を使用するときは上記と同じ手順で「予測 ON」を選んでください。

入力文字一覧表

- 文字種によって入力できる文字が変わります。

ひらがな（全角）

①	あいうえお ぁぃぅぇぉ	②	かきくけこ	③	さしすせそ
④	たちつてと っ	⑤	なにぬねの	⑥	はひふへほ
⑦	まみむめも	⑧	やゆよ ゃゅょ	⑨	らりるれろ
⑩	、。？！ ・「」	⑪	わをんーゎ （スペース）	⑫	゛゜

カタカナ（全角）

①	アイウエオ ァィゥェォ	②	カキクケコ	③	サシスセソ
④	タチツテト ッ	⑤	ナニヌネノ	⑥	ハヒフヘホ
⑦	マミムメモ	⑧	ヤユヨ ャュョ	⑨	ラリルレロ
⑩	、。？！ ・「」	⑪	ワヲンーヮ （スペース）	⑫	゛゜

半角英字／全角英字

①	. / @ : -	②	abcABC	③	defDEF
④	ghiGHI	⑤	jklJKL	⑥	mnoMNO
⑦	pqrsPQRS	⑧	tuvTUV	⑨	wxyzWXYZ
⑩	? ! ( ) _	⑪	（スペース）	⑫	全角／半角切換

半角数字／全角数字

①	1	②	2	③	3
④	4	⑤	5	⑥	6
⑦	7	⑧	8	⑨	9
⑩	0			⑫	全角／半角切換

半角記号

①	. / @	②	, : ;	③	_ - ¥
④	$ % &	⑤	# + *	⑥	= | ~
⑦	" ' ^ `	⑧	( ) < >	⑨	[ ] { }
⑩	? !	⑪	（スペース）	⑫	全角／半角切換

全角記号

①	．／＠・	②	，：；	③	＿－￥
④	＄％＆	⑤	＃＋＊	⑥	＝｜￣～
⑦	”’＾‘	⑧	（）＜＞	⑨	［］｛｝
⑩	？！	⑪	（スペース）	⑫	全角／半角切換

お知らせ

- 入力欄によっては、英字、数字、記号の全角と半角の切り換えができない場合があります。

DVDディスクを他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)

本機でダビングしたDVDディスクを他の機器で再生できるようにします（ファイナライズ）。

ご注意

- ファイナライズ中は、電源を切る、ディスクを取り出すなどすべての操作ができなくなります。このとき電源プラグをコンセントから抜かないでください。（ディスクが使えなくなる場合があります。）
- 本機でダビングしたディスクを他社のレコーダーやパソコンでファイナライズしたり、他社のレコーダーやパソコンで記録したディスクを本機でファイナライズすると、不具合が生じることがあります。
- DVD-Rはファイナライズすると、再生専用ディスクとなりタイトル名変更、追加ダビングやファイナライズ解除はできません。
- 写真用のDVD-RWは、ファイナライズすると追加で写真のコピーができなくなります。ファイナライズ解除はできません。
- ビデオフォーマットのDVD-RWをファイナライズすると追加ダビングはできませんが、解除すると追加ダビングできるようになります。（VRフォーマットのDVD-RWではファイナライズをしても追加ダビングができます。その後のファイナライズは必要ありません。）

お知らせ

- ビデオフォーマットのDVDディスクをファイナライズすると、録画リストは表示されずタイトルメニュー(→ **74** ページ)となります。
- ファイナライズには数分～約1時間以上かかります。（録画タイトル数やディスクにより異なります。）
- ファイナライズ中に予約録画開始時刻となった予約録画は、実行されません。

1 ファイナライズしたいディスクを挿入します

▶**28** ページ

2 ホーム画面を表示させます

[ホーム] を押す

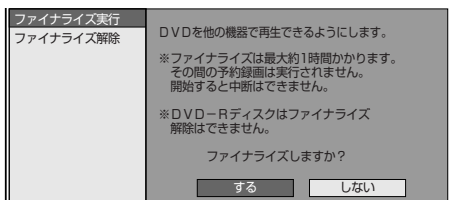
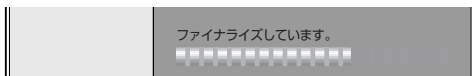
3 「ディスク管理」－「ファイナライズ」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

4 「ファイナライズ実行」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

⇒ファイナライズ実行

ファイナライズしています。

6 「確認」で決定します

(決定) を押す

7 操作を終了します

(終了) を押す

ファミリンクで操作する

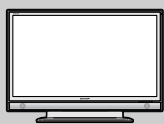
- シャープ製のファミリンク対応テレビ「アクオス」をお持ちの場合は、本機と HDMI ケーブルで接続すると、ファミリンクならではの便利な連携機能で操作を楽しめます。
- ファミリンク機能による連携操作を楽しむためには、接続（**154**、**162** ～ **164** ページ）と設定（下記）を行ってください。

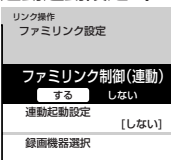
ファミリンクのための設定をする

- 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に切り換えたり、テレビで見ている番組を HDD（ハードディスク）に録画するなど、ファミリンクを楽しむための設定をします。下記のながれに沿って、テレビと本機の設定を行ってください。（ファミリンク機能での録画はハードディスクに限定されます。）

テレビと本機の電源を入れます。

テレビ側の設定をします。

テレビ側の設定です。

- 設定はテレビの取扱説明書をご覧ください。

① 連動起動設定（ファミリンクのための設定）

- 本機の再生などの操作にあわせて、テレビの電源を入れ、テレビの画面を本機の画面に自動的に切り換えるための設定です。

工場出荷状態は「しない」に設定されています。
設定が必要です。

② 録画機器選択（ファミリンクのための設定）

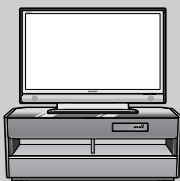
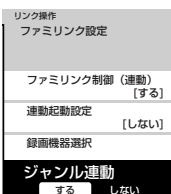
- テレビで見ている番組を、本機に内蔵の HDD（ハードディスク）に録画するための設定です。

設定が必要です。

設定完了

本機の「ファミリンク設定」が必要なときやアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続しているときは、次の設定を行います。

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続しているときは、テレビ側の設定をします。

テレビ側の設定です。

ジャンル連動設定（ファミリンクのための設定）

- ファミリンク対応のアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続している場合に必要な設定です。

工場出荷状態は「しない」に設定されています。
アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）をお使いになる場合は、設定が必要です。

ジャンル連動
する　しない

- 設定は **126** ページをご覧ください。設定について詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

本機側の設定をします。（工場出荷状態では、設定する必要はありません。）

本機側の設定です。

連動設定（ファミリンクのための設定）

- テレビの操作で本機の電源を入れる／切る、本機の操作にあわせてテレビの画面を本機の画面に自動的に切り換えるなどの動作をさせるための設定です。
- 「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「ファミリンク設定」の「連動設定」が「しない」に変更されているときは、「する」に設定します。

する　しない

工場出荷状態は「する」に設定されています。

- **初期設定で、本機のチャンネル設定をテレビと同じにしていない場合**
  テレビの設定を取得する必要があります。「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「ファミリンク設定」の「テレビの設定取得」を選んで（決定）を押し、画面の指示に従って設定します。
  その後、改めて「連動設定」を選んで決定してください。

ファミリンク機能選択メニューで操作する

テレビのファミリンク機能選択メニューから操作できる、ファミリンクの録画や再生について説明します。

1 テレビの電源を入れます

で「テレビを使う」側にし 電源 を押す

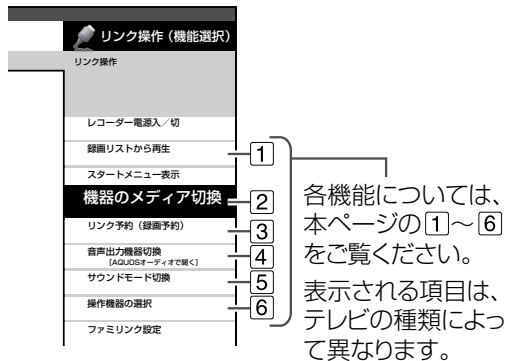
2 ファミリンク機能選択メニューを表示します

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

3 項目を選んで決定します

決定 で選び 決定 を押す

液晶テレビ「アクオス」の画面例

各機能については、本ページの1～6をご覧ください。
表示される項目は、テレビの種類によって異なります。

ファミリンク機能選択メニューでできること

1 録画リストから再生（→ 73 ページ）

- 本機の録画リストを呼び出して、録画した番組を一覧から選んで再生できます。

2 機器のメディア切換

- 再生や録画をしたいメディア（HDD（ハードディスク）や BD/DVD など）を選べます。「メディア切換」を選んで、決定ボタンを押すたびに操作するメディア「HDD」、「外付けHDD」、「BD/DVD」が切り換わります。
- 「外付け HDD」を本機に取り付けているとき、お使いのテレビによっては、「機器のメディア切換」機能が働かない場合があります。そのようなときは本機のリモコンで切り換えてください。

3 リンク予約（録画予約）（→ 123 ページ）

- 本機の電子番組表を呼び出して、HDD（ハードディスク）に予約録画できます。

4 音声出力機器切換（→ 125 ページ）

●AQUOS オーディオで聞く

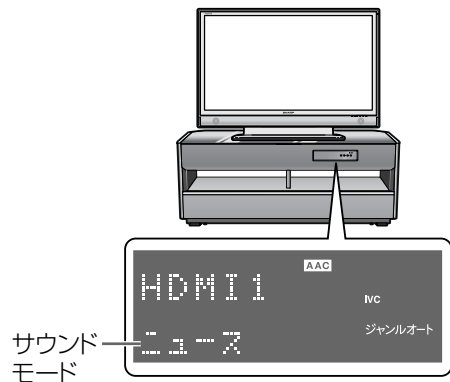
- アクオスとアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続している場合は、テレビのスピーカーからの音声を止めて、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）から音声を出力します。
- 本機に付属のリモコンで、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）の音量調整と消音の操作ができます。

●AQUOS で聞く

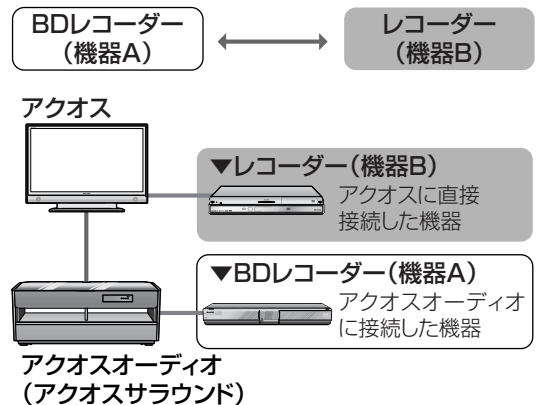
- アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）のスピーカーからの音声を止めて、アクオスから音声を出力します。

5 サウンドモード切換（→ 126 ページ）

- アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）のサウンドモードを手動で切り換えます。
- サウンドモードについては、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）に付属の取扱説明書をご覧ください。

ファミリンク対応のテレビ「アクオス」とアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）

6 操作機器の選択

- 複数のファミリンク対応 HDMI 機器を接続している場合に、視聴したい HDMI 機器を選べます。

例）2 台のファミリンク対応の機器を接続している場合
- 「操作機器の選択」を選んで決定するたびに、次のように入力が切り換わります。

お知らせ

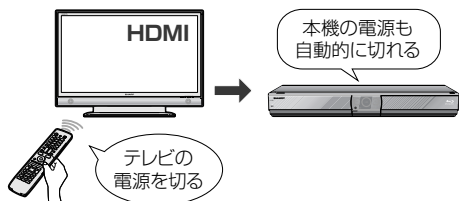
- 機能選択項目は、接続しているテレビにより異なります。詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

確認・基本
視聴
録画・予約録画
再生・消去・編集
ダビング・管理
ファミリンク
携帯電話・カメラ
ホームネットワーク
接続
基本設定
各種設定
困ったときは

ワンタッチ操作をする（ファミリンク）

リモコンを切り換えることなく本機とテレビを連携操作したり、テレビのリモコンで本機の再生操作をすることができます。

ご注意

本機とファミリンク対応テレビ「アクオス」をHDMIケーブルで接続し、ファミリンク設定の連動設定（→ **194** ページ）が「する」になっている場合は、テレビの電源を切ると自動的に本機の電源も切れます。（ただし、録画中は録画、再生中は再生が継続します。）

- エコモードを「入」にしているときは、ファミリンクによる操作が行えません。

重 要

- D映像ケーブルとHDMIケーブルの両方を本機に接続しているときは、「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「映像同時出力設定」が「D映像端子優先」に設定されている場合があります。「D映像端子優先」に設定されているときは「ファミリンク」機能が働きません。「HDMI端子優先」に設定し直してください。

本機のリモコンでテレビの入力も自動で切換（レコーダーに向けて操作します）

本機リモコンの下記のボタンを押すだけで、自動的にテレビがレコーダーからの入力（HDMI入力）に切り換わり、本機の画面が表示されます。

で「レコーダーを使う」側にします

番組表（予約）：本機の電子番組表を表示

- 本機のチューナーが、あらかじめデジタルチューナー（地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタル）に切り換えられている場合に有効です。

アルバム（ふた内）：アルバム（本機に保存された写真または動画データ）を表示

録画リスト（トップメニュー）：録画リストを表示

ホーム：ホーム画面を表示

予約（ふた内）：予約メニューを表示

ゆっくり ▶ 再生：本機の再生画面を表示

かんたん メニュー：かんたんメニュー画面を表示

電源入からの操作でテレビの入力が切り換わります。

■ BDビデオまたはDVDビデオのオートプレイ

再生専用ディスクのBDビデオまたはDVDビデオなどを挿入すると、自動的に再生が始まりテレビに映ります。

■ デジタルスチルカメラから写真データを内蔵HDD（ハードディスク）に取り込んだとき

自動的にテレビ画面が本機を接続した入力に切り換わり、取り込んだ写真またはアルバムが表示されます。

テレビで見ている番組をワンタッチ録画（テレビに向けて操作します）

で「テレビを使う」側にし

らくらく予約 ●録画 を押す　⇒　録画開始

本機の電源が待機状態でも自動的に電源が入り、テレビで見ている番組が録画できます。（本機のチャンネルが正しく切り換わらない場合は、**120** ページの「テレビの設定取得」を行ってください。）

お知らせ

- 録画したタイトルを消去や編集しているとき、またホームメニューの「設定」で設定しているとき、ファミリンクによる録画はできない場合があります。

- デジタル放送の録画時は、番組終了時刻になると自動で録画が停止します。

録画停止 を2回続けて押す　⇒　録画を停止

テレビを見ながら録画予約する（ファミリンク）

本機またはテレビの電子番組表から録画予約ができます。下記の説明は一例です。接続しているアクオスにより操作が異なる場合がありますので詳しくはアクオスの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 録画したタイトルを消去や編集しているとき、またホームメニューの「設定」で設定しているとき、ファミリンクによる録画はできない場合があります。

お知らせ

- 「AQUOS レコーダーで予約する」を選んだときに表示されるレコーダーの番組表は、現在テレビ側で見ている放送の番組表となります。
- 有料放送を録画するときは、契約されている B-CAS カードを本機に挿入してください。

予約の変更について

- 本機の電子番組表からの予約を変更する場合は、本機側で行ってください。（→ **64** ページ）

本機の電子番組表を表示させて予約する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

接続しているアクオスのファミリンク機能選択画面から、本機の電子番組表を表示し、録画予約をすることができます。

1 テレビの電源を入れます

テレビを使う／レコーダーを使う で「テレビを使う」側にし 電源 を押す

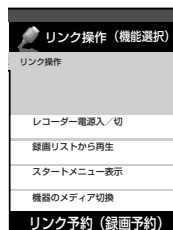
2 予約したいデジタル放送を選びます

地上D BS CS を選ぶ

3 ファミリンク機能選択画面を表示させます

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

4 「リンク予約（録画予約）」を選んで決定します

液晶テレビ「アクオス」の画面例

- レコーダーの電子番組表が表示されます。

5 本機の電子番組表で予約します

- 予約について詳しくは→ **53** ページ

開始時刻になると、録画が始まります。

テレビの電子番組表で予約する

HDD DR 2倍/3倍 5倍/7倍/10倍/12倍 SXP XP SP BD-RE BD-R DVD-RW/-R VR ビデオ 市販のBD/DVDビデオ 音楽用CD

- 内蔵 HDD（ハードディスク）への録画になります。

ご注意

- テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約での録画中は、本機のチャンネルを切り換えることはできません。
- エコモードを「入」にしているときは、テレビの電子番組表で予約したファミリンク予約は働きません。
- テレビの電子番組表で予約するときは、「毎週録画」または「毎日録画」などの設定はできません。

お知らせ

予約の変更について

- ファミリンク予約 [1]（標準）の予約を変更する場合は、テレビ側で行ってください。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をお読みください。

1 左記「本機の電子番組表を表示させて予約する」の手順 1 ～ 2 を行います

2 テレビの電子番組表を表示させます

番組表 予約 を押す

3 テレビの電子番組表で予約します

- テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

4 「ファミリンク予約 [1]（標準）」をします

- テレビに付属の取扱説明書もお読みください。

開始時刻になると、録画が始まります。

ファミリンク予約と本機の予約録画の、予約時刻が重なる場合のご注意

- 設定した予約時刻が、テレビの予約リストと本機の予約リストで重複しないことをご確認ください。
- 地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送において、放送時間が重複している番組を録画したい場合は、本機の番組表で録画先と重ならない予約をしてください。操作については、**61** ページをご覧ください。
- 「ファミリンク予約 [1]（標準）※」と本機の「予約録画」が重複しているときは、本機の予約録画が優先されます。そのため、「ファミリンク予約 [1]（標準）※」で予約した番組が途中で終わる、または録画されていない場合があります。

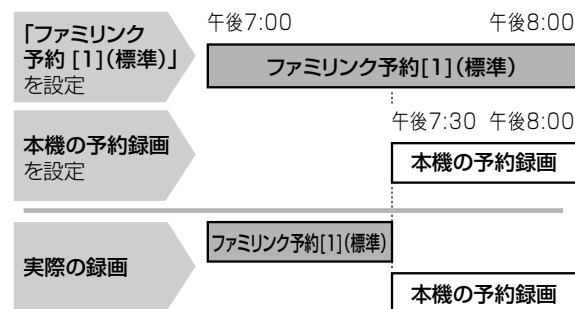
※ テレビの種類によっては「HDMI コントロール予約」と表示されるものがあります。

ファミリンク予約が正しく働かない組み合わせの例

本機の予約がファミリンク予約と重なる場合、「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画が途中で終わります

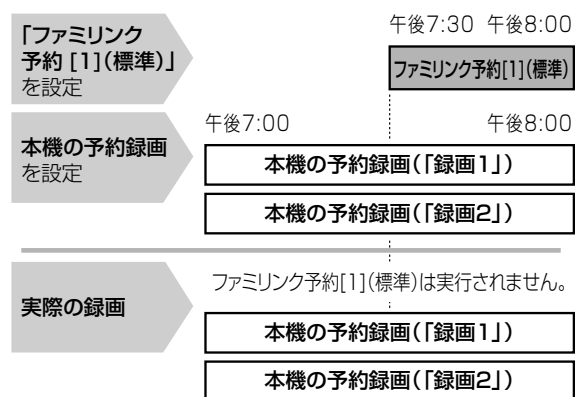
「ファミリンク予約 [1]（標準）」を設定　午後7:00　午後8:00　ファミリンク予約[1]（標準）

本機の予約録画を設定　午後7:30　午後8:00　本機の予約録画

実際の録画　ファミリンク予約[1]（標準）　本機の予約録画

2 番組同時録画している場合は、「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画が実行されません

「ファミリンク予約 [1]（標準）」を設定　午後7:30　午後8:00　ファミリンク予約[1]（標準）

本機の予約録画を設定　午後7:00　午後8:00　本機の予約録画（「録画1」）　本機の予約録画（「録画2」）

実際の録画　ファミリンク予約[1]（標準）は実行されません。　本機の予約録画（「録画1」）　本機の予約録画（「録画2」）

「ファミリンク予約 [1]（標準）」録画開始時刻の **5 分前**までに、どちらかの録画操作を停止してください。

お知らせ

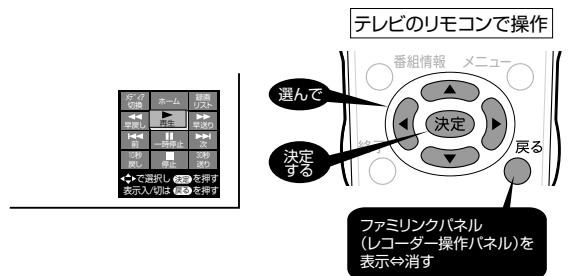
- 本機の動作状態によりファミリンク録画が働かない場合があります。詳しくは **44** ページをご覧ください。

テレビのリモコンで本機の再生操作をする（ファミリンクⅡ）

テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えると、テレビのリモコンでレコーダーの再生操作が行えるファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）を表示させることができます。

1 テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えます

2 テレビのリモコンの「戻る」ボタンを押します

- 本機の再生操作を行うファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）が表示されます。レコーダーのリモコンと同じ再生操作が行えます。
- 表示を消したいときは、テレビのリモコンの「戻る」ボタンを押します。押すたびに、表示←→消すと切り換わります。

テレビのリモコンで操作

- ファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）の位置を変更したいときはテレビのリモコンの「青」ボタンを押します。
- テレビのリモコンで再生操作をしたときは、テレビ画面にファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）が表示されます。（何も操作をしない状態が 1 分を過ぎると、ファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）は自動的に消えます。）
- テレビによっては、ファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）が表示されないテレビがあります。
- ファミリンクⅡに対応したテレビの場合は、上記の画面のファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）は表示されません。（テレビ自体のファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）が表示されます。）

お知らせ

次の場合、ファミリンクパネル（レコーダー操作パネル）は表示されません。

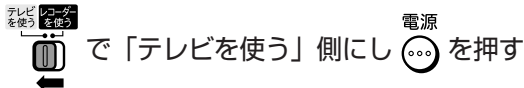
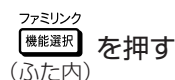
- レコーダーのリモコンで再生操作したとき
- 連動データ放送表示しているとき
- ホーム画面や番組表、視聴設定画面など、「戻る」ボタンの操作が行える画面を表示させているとき

アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）で視聴する

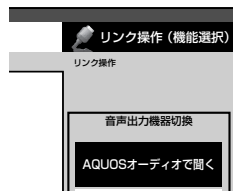
リモコンを切り換えることなく本機とアクオスオーディオを連携操作することができます。
- アクオスオーディオで聞くためには、アクオスオーディオとの接続が必要です。（→ **163**、**164** ページ）
- テレビのスピーカーからの音声を止めて、アクオスオーディオから音声を出力します。

アクオスオーディオから音声を出力する

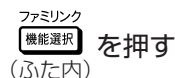
1 テレビの電源を入れます

テレビを使う／レコーダーを使う で「テレビを使う」側にし 電源 を押す

2 ファミリンク機能選択メニューを表示します

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

3 「音声出力機器切換」－「AQUOS オーディオで聞く」を選んで決定します

液晶テレビ「アクオス」の画面例

- テレビからの音声出力に戻したいときは、ファミリンク機能選択メニューで「AQUOS で聞く」を選んで決定します。

4 ファミリンク機能選択メニューを消します

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

お知らせ
- 「AQUOS オーディオで聞く」に設定中の場合は、テレビのスピーカーからは音声は出ません。テレビによってはヘッドホンの音声が停止します。詳しくはテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

アクオスオーディオの音声を操作する

で音量を調整　消音 で一時的に消音

- アクオスオーディオから音声を出力しているときは、リモコンボタンでアクオスオーディオを操作できます。
- 詳しくは本機と接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

サウンドモードを自動で切り換える（ジャンル連動設定）

「ジャンル連動設定」を「する」に設定しておくと、アクオスオーディオのサウンドモードが自動で適切なサウンドモードに切り換わります。

お知らせ
- DVD 映像、市販の BD（ブルーレイディスク）や DVD ビデオには、ジャンル情報がありません。この場合はファミリンク機能選択メニューから「サウンドモード切換」を選んで、手動で切り換えてください。→ **126** ページ

■ ジャンル連動設定とは

- デジタル放送の視聴中やデジタル放送を録画した番組を再生したときに、デジタル放送のジャンル情報「音楽」「映画」「ニュース」などに応じて、アクオスオーディオのサウンドモードを自動で適切なサウンドモードに切り換えるための設定です。

■ サウンドモードの一覧

- 表示は一例です。接続しているアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）によりサウンドモードは異なります。
- 詳しくは、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）の取扱説明書をご覧ください。

放送のジャンル	放送の信号	サウンドモード
情報／ワイドショー／ドラマ／バラエティ／ドキュメンタリー／趣味／教育／福祉／その他	ステレオ／マルチチャンネル	スタンダード
映画	ステレオ／マルチチャンネル	シネマ
アニメ／特撮	ステレオ	スタンダード
	マルチチャンネル	シネマ
ニュース／報道	ステレオ／マルチチャンネル	ニュース
音楽／劇場／公演	ステレオ／マルチチャンネル	ミュージック
スポーツ	ステレオ／マルチチャンネル	スポーツ

ジャンル連動設定

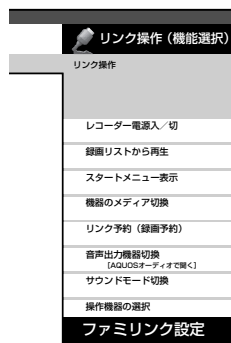
1 テレビの電源を入れます

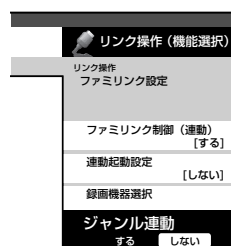
テレビを使う レコーダーを使う で「テレビを使う」側にし 電源 を押す

2 ファミリンク機能選択メニューを表示します

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

3 「ファミリンク設定」を選んで決定します

液晶テレビ「アクオス」の画面例

- テレビの機種によっては「HDMI コントロール設定」と表示されます。

4 「ジャンル連動」を選んで決定します

5 「する」を選んで決定します

6 終了します

終了 を押す

サウンドモードを手動で切り換える

市販の BD ビデオ、DVD ビデオなど、ジャンル情報のないディスクを再生するときは、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）のサウンドモードを手動で切り換えて楽しめます。

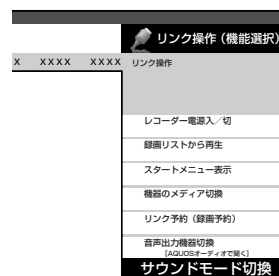
1 テレビの電源を入れます

テレビを使う レコーダーを使う で「テレビを使う」側にし 電源 を押す

2 ファミリンク機能選択メニューを表示します

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

3 「サウンドモード切換」を選んで決定します

液晶テレビ「アクオス」の画面例

- 「サウンドモード切換」で決定するたびに、次の順に切り換わります。

スタンダード → シネマ → ニュース → ミュージック → ジャズ → クラシック → ロック → ゲーム → ナイト → ダイレクト → スタンダード

- 表示は一例です。接続しているアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）によりサウンドモードは異なります。
- 詳しくは、アクオスオーディオ（アクオスサラウンド）の取扱説明書をご覧ください。

4 ファミリンク機能選択メニューを消します

ファミリンク 機能選択 を押す
（ふた内）

本機で写真を取り込む（フォトシステム）

デジタルスチルカメラ（USB 端子搭載）から、静止画（写真データ）を内蔵 HDD（ハードディスク）に保存して、テレビ画面で見ることができます。
内蔵 HDD（ハードディスク）に保存した静止画（写真データ）を CD-R や DVD-RW ディスクにコピーすることもできます。（外付け HDD、BD（ブルーレイディスク）、DVD-R ディスクにはコピーできません。）

ご注意

- 写真取り込み中は、録画やダビング操作、選局などの操作ができません。
- 予約開始 2 分前になると取り込みが中断します。予約録画終了後に再度取り込み操作をしてください。

ヒント

- ファミリンク対応のシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、写真データを内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込むと自動的にテレビの入力が本機を接続した入力に切り換わります。
- クイック起動（→ **172** ページ）が「する」に設定されているときは、本機の電源が切れていても写真を取り込めます。（自動的に電源が入ります。）

お知らせ

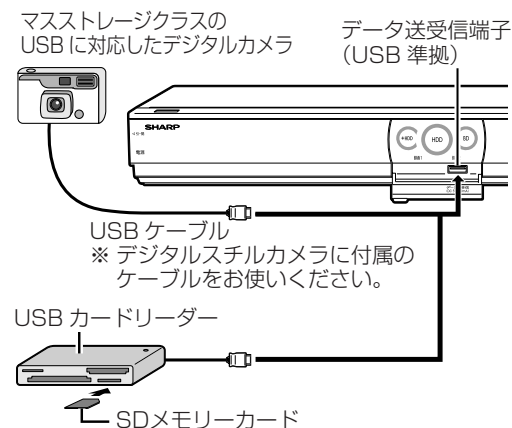
- デジタルスチルカメラ内にある本機に取り込み済みの写真は取り込まれません。
- USB ケーブルで接続しデジタルスチルカメラの電源を入れたとき、「接続された機器は対応しておりません」のメッセージが表示されたときは、写真の取り込みができません。接続したデジタルスチルカメラが「マスストレージクラス」の USB に対応しているかご確認ください。詳しくは、カメラの取扱説明書をご確認ください。分からないときは、お使いの機器のメーカーにお問い合わせください。
- 動作確認済のデジタルスチルカメラについては、シャープサポートページでご確認ください。（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/dvdinfo07.html）
- 動作確認済の USB カードーリーダーについては、シャープサポートページでご確認ください。（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/usb_cardreader.html）
- 接続した機器内に 10000 枚以上のファイルがある場合は、ファイル数を減らしてから再接続してください。
- 写真入力中、予約録画が始まると写真入力は中断します。
- ファイル数または容量により取り込みに時間を多く要する場合（数時間要する場合）があります。途中で止めたいときは、［■停止］を押します。
- メニュー画面、番組表を表示させる、再生中など本機が動作中は、写真取り込みができません。
- 本機からは写真を送信できません。

デジタルスチルカメラやSDメモリーカードから写真を取り込む

取り込まれた写真は内蔵 HDD（ハードディスク）の写真アルバムに保存されます。

■ 内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込める静止画（写真データ）について

ファイル形式	JPEG ベースライン DCT 準拠 JPEG（Exif2.2/DCF 準拠） （プログレッシブ JPEG／モーション JPEG は非対応）
ファイルサイズ	データ送受信端子受信時最大 20MB
画像サイズ	最大縦 4320×最大横 7680（最小縦 32×最小横 32）
保存可能な枚数	最大 10000 枚
本機が認識できるフォルダ階層	8 階層

準備
①本体前面の扉を開きます
②デジタルスチルカメラまたは SD メモリーカードが装着された USB カードリーダーと本機のデータ送受信端子を USB ケーブルで接続します

1 デジタルスチルカメラを接続したときは電源を入れます

- デジタルスチルカメラに写真（JPEG）しかないときは、自動で取り込みます。

2 「写真（JPEG)」を選んで決定します

- 写真の取り込みが始まります。
- 写真の取り込みが完了すると写真アルバム画面になります。
- 「写真（JPEG)」を選んで決定すると、まだ内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込んでいない写真を、自動的に取り込みます。

■ デジタルスチルカメラや SD メモリーカードに動画と写真がある場合に、動画を取り込みたいときや、動画しかないときは（→ 113 ページ）

■ 動画を取り込んだあとに写真を取り込みたいときは

⇒「ホーム」－「ダビング」－「デジタルカメラ（USB 接続)」を選んで決定します。
（上記の手順 **2** へ進みます。）

内蔵 HDD に保存した写真を見る

• デジタルスチルカメラから内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込んだ静止画（写真）は、「ホーム」－「再生・編集」－「HDD（写真アルバム）」で一覧表示させて確認することができます。

■ 画面表示

※ グループはアルバムの先頭に表示されます。

ヒント

• ファミリンク対応のシャープ製デジタルチューナー内蔵テレビと HDMI ケーブルで接続したときは、アルバム（ふた内）を押すと自動的にテレビの入力が本機を接続した入力に切り換わります。

写真リストや再生時に表示されるマークについて

マーク	説明
NEW	まだ再生していない写真です。
🔒	写真保護が設定されているときに表示されます。
🗑	選択消去で選択した写真に表示されます。
➡	CD や DVD への書き込みを選択した写真に表示されます。
⤓	グループ作成で選択された写真に表示されます。
≋	グループ化された写真に表示されます。

■ カラーボタンについて

カラーボタン	選択項目	できること	ページ
青 機能メニュー	スライドショー	再生する写真（「先頭の写真から」「この写真から」）を選択して、再生を開始します。	132
	消去	今選ばれている写真を消去できます。	132
	写真グループ名設定	写真グループにお好きな名前をつけることができます。	131
	写真グループ設定	お気に入りの写真をグループ設定し管理することができます。 グループ内の写真を選んだときは、「写真グループ解除」になります。	130
	写真保護設定	今選ばれている写真を誤って消去しないように保護設定します。 グループのときは「写真グループ保護設定」になります。	132
	写真コピー	内蔵 HDD に保存されている写真を、CD-R/DVD-RW（写真用フォーマット）ディスクにコピーして保存できます。	133
赤 選択消去		保存されている写真を消去したいときに選択します。	131
緑 写真再生設定	スライドショー速度	スライドショー再生時の写真表示の速さを設定します。	131
	リピート再生設定	スライドショーのリピート再生の設定をします。	131
	ガイド表示設定	写真を再生したときの、操作ガイドや写真の情報を表示させるかを設定します。	131
黄 並べ換え	新しい順（撮影）	撮影日時の新しい順番に並べ換えます。	130
	古い順（撮影）	撮影日時の古い順番に並べ換えます。	130
	新しい順（再生）	再生または取り込み日時の新しい順番に並べ換えます。	130
	古い順（再生）	再生または取り込み日時の古い順番に並べ換えます。	130

基本操作

写真を見るための基本操作

1 HDD（写真アルバム）を表示させます

(1) アルバム（ふた内）を押す

- HDD（写真アルバム）が表示されます。
- グループも選択できます。
- 最大 10000 枚の写真を 1 つのグループにまとめることができます。グループは最大 100 個まで作成できます。

ヒント

- 「ホーム」－「再生・編集」－「HDD（写真アルバム）」から表示させることもできます。

(2) 写真アルバム を選んで 決定 を押す

メモ

- 取り込んだ動画を見たいときは、(2) で 動画アルバム を選んで 決定 を押します。動画アルバムの表示については、**71** ページをご覧ください。

2 見たい写真またはグループを選んで決定します

- グループにはマークが付いています。
- HDD（写真アルバム）に戻るときは 戻る を押します。
- グループを選んで決定したときは、グループ設定した写真一覧画面となります。
- HDD（写真アルバム）に取り込んだ写真を見るとき、初めて見る写真は表示されるまで多少時間（数十秒間）がかかることがあります。一度見た写真は早く表示されます。
- HDD（写真アルバム）で 前/ちょっと戻ってテレビ または 次 を押すと、ページを戻す、または送ることができます。
- ゆっくり 再生 を押すと、選んだ写真からスライドショー再生が始まります。最初から再生するには、青（機能メニュー）を押します。「スライドショー」を選んで決定し、「先頭の写真から」を選び決定します。（→ **132** ページ）

再生中の操作

● **写真を回転させる**

緑 を押す

⇒ **左へ 90 度回転します。**

黄 を押す

⇒ **右へ 90 度回転します。**

- スライドショー中でも静止画面でも回転させることができます。

● **写真を消去する**

赤 を押す

⇒ **表示中の写真を消去します。**（「する」を選んで決定します。）

- 消去 を押して消去することもできます。

● **操作ガイドの表示**

青 を押す

⇒ **操作ガイド表示の入／切をします。**

- 画面の左上に「動作アイコン」、下側に操作できる機能とボタン（「操作ガイド」）を表示します。

● **写真切り換え**

、早戻し 早送り、前/ちょっと戻ってテレビ 次 を押す

⇒ **前後の写真に移動します。**

● **写真情報の表示**

番組情報 を押す

- 写真情報のない項目は空欄となります。

3 写真を見終わったら

■停止 を押す

- 戻る を押すと HDD（写真アルバム）画面に戻ります。

写真をグループにまとめる

内蔵 HDD（ハードディスク）に取り込んだ写真をグループに分けて整理します。

ご注意

- 写真保護、グループ保護されている写真やグループは、保護解除しないとグループ設定はできません。（→ **132** ページ）

1 HDD（写真アルバム）で「機能メニュー」を表示させ、「写真グループ設定」を選んで決定します

青 を押す ⇒ で選び 決定 を押す

2 「グループ作成」を選んで決定します

⇒ **写真選択画面表示**

- グループ化した写真を選択した場合、「グループ解除」が行えます。グループ解除するときは、「グループ解除」を選び、決定 を押します。

3 グループにしたい写真を選びます

 で選び 黄 を押す

● すでにあるグループに写真を追加したいとき

(1) 先にグループ「」を選択したあと、黄 で決定します。

(2) 追加したい写真を選び 黄 で決定します。

⇒ **選択した写真には「」マークが付きます。**

● 範囲を指定してグループ化するとき

(1) 青 を押して範囲指定画面を表示します。

(2) 開始する写真を選んで 黄 で決定します。

(3) 終了する写真を選んで 黄 で決定します。

⇒ **選択した写真には「」マークが付きます。**

- 緑（選択全解除）を押すと全ての選択が解除されます。
- 個々の写真を選択解除したいときは、青（個別指定）を押し、個別指定画面に戻してから 決定 で解除したい写真を選び 黄 を押します。押すたびに選択⇔解除となります。

4 グループ化を実行します

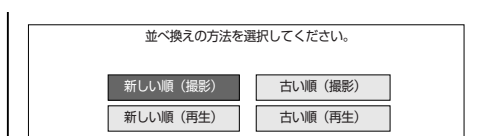
決定 を押す

- グループ化が完了したら、HDD（写真アルバム）に戻ります。
- **グループには「」マークが付きます。**

写真・グループを並べ換える

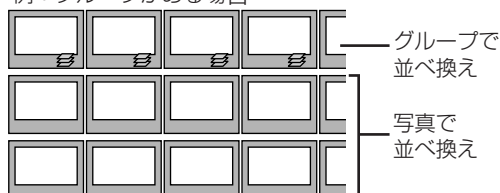
HDD（写真アルバム）の写真表示順序を並べ換え（ソート）します。

1 HDD（写真アルバム）で、「並べ換え」を選びます

黄 を押す

- 並べ換え画面が表示されます。

2 並べ換え方法を選んで決定します

- 初期値は、古い順（撮影）に表示されます。
- 選択した並べ換え方法は保存され、次回も同様の順序で表示されます。
- グループは HDD（写真アルバム）の先頭に表示されます。
- グループと写真は、それぞれ選択された並べ換え順に表示されます

例：グループがある場合

写真グループ名を設定する

写真グループにお好きなグループ名をつけることができます。

ご注意

- グループ保護されているグループは、保護解除しないとグループ名の設定はできません。(→ **132** ページ)

1 写真グループを選んで「機能メニュー」を表示させます

青 を押す

2 「写真グループ名設定」を選んで決定します

3 「変更する」を選んで決定します

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 写真グループ名を入力します

- 全角 32 文字まで入力できます。(「文字を入力する」→ **116** ページ)
- 記号を選択したとき、「/」「?」などの一部の半角記号は表示されません。
- 写真グループ名入力時、区点コードは入力できません。

5 手順 2 に戻ります

6 終了します

終了 を押す

- 戻る を押すと HDD (写真アルバム) に戻ります。

ヒント

- グループ名を設定した写真を CD-R や DVD-RW(写真フォーマット)にダビングし、パソコンで再生すると、グループ名がフォルダ名として表示されます。

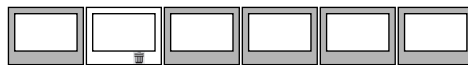
写真を選んで消去する

1 HDD (写真アルバム) で「選択消去」を選びます

赤 を押す

2 消去したい写真を選んで 黄 で決定します

ヒント

- 複数の写真を選択できます。

⇒消去選択された写真には「🗑」マークが付きます。
- 保護設定した写真は、消去できません。消去したい場合は保護解除してください。(→ **132** ページ)
- グループを選択したときは、グループ設定したすべての写真を消去します。(保護設定した写真はのぞく)
- 黄 を押すたびに消去選択⇔消去選択解除となります。
- 青 (全写真選択)を押すとすべての写真が選択されます。
- 緑 (選択全解除)を押すとすべての選択が解除されます。
- 操作を中止したい場合は 赤 (選択消去終了)を押してください。

3 消去を実行します

決定 を押す

4 「する」を選んで決定します

5 操作を終了します

終了 を押す

ヒント

- 「機能メニュー」から写真を消去することもできます。(→ **132** ページ)

写真再生時の設定をする

1 HDD(写真アルバム)で「写真再生設定」を選びます

緑 を押す

2 設定したい項目を選んで決定します

項目	説明
スライドショー設定	「速め」「普通」「遅め」「ゆっくり」からスライドショーの写真表示速度を選びます。
リピート再生設定	スライドショーのリピート再生をするかしないか選んで決定します。
ガイド表示設定	「する」に設定すると、再生中に「操作ガイド」が常に表示されます。「しない」に設定すると、再生開始後約 10 秒間「操作ガイド」が表示され、自動的に消えます。

3 設定を終了します

終了 を押す

- 戻る を押すと HDD (写真アルバム) に戻ります。

写真を選択してスライドショーを見る

1 HDD（写真アルバム）を表示させます

(1) アルバム（ふた内）を押す

(2) 写真アルバム を選んで 決定 を押す

- HDD（写真アルバム）に取り込んだ写真を見るとき、初めて見る写真は表示されるまで多少時間がかかることがあります。一度見た写真は早く表示されます。

2 写真を選択して「機能メニュー」を表示させます

3 「スライドショー」を選んで決定します

4 「先頭の写真から」または「この写真から」を選んで決定します

- スライドショー再生となります。
- HDD（写真アルバム）で写真を選択して ゆっくり 再生 を押すと、選択した写真からスライドショー再生が始まります。
- リピート再生が設定されている場合、繰り返し再生します。
- 一時停止するときは 一時停止 を押します。
- ゆっくり 再生 を押すと一時停止が解除されます。
- ■停止 を押すと HDD（写真アルバム）が終了し、放送視聴画面に戻ります。
- 戻る を押すと HDD（写真アルバム）に戻ります。

選ばれている写真を消去する

1 HDD（写真アルバム）で「機能メニュー」を表示させます

青 を押す

2 「消去」を選んで決定します

3 「する」を選んで決定します

- グループ化した写真を選択した場合は、選択したグループ内の写真をすべて消去します。
- 選ばれている写真が消去され、HDD（写真アルバム）に戻ります。
- 消去した写真は復元できません。
- 写真保護、グループ保護されている写真は、保護解除しないと消去できません。（→**下記**）

誤消去を防ぐために保護設定する

1 HDD（写真アルバム）を表示させます

(1) アルバム（ふた内）を押す

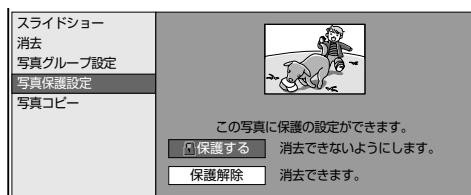
(2) 写真アルバム を選んで 決定 を押す

2 保護したい写真、またはグループ化した写真を選びます

3 「機能メニュー」を表示させます

青 を押す

4 「写真保護設定」または「写真グループ保護設定」を選んで決定します

写真保護設定の画面例

- 「写真グループ保護設定」では、グループ化した写真の消去や変更をできないようにします。

5 「保護する」を選んで決定します

- 選ばれている写真が保護設定されます。
- 保護設定された写真には マークが付きます。
- **保護解除したいときは「保護解除」を選び 決定 を押します。**

写真データを CD-R、DVD-RW にコピーする

新品（未使用）の CD-R または写真用フォーマットで初期化した DVD-RW ディスクを用意します。（→ **30** ページ）

ご注意

- CD-R の場合コピーが終了する、または中断させると自動でファイナライズされます。ディスクに空き容量があっても追加コピーが行えなくなります。

お知らせ

- BD（ブルーレイディスク）や DVD-R、CD-RW ディスクには写真データをコピーできません。
- CD-R でもすでにデータが記録されているディスクには空き容量があっても、写真データをコピーできません。
- 本機で作成した DVD-RW は、本機でのみ再生が行えます。
- CD-R へコピーできるデータは、写真データのみです。

1 CD-R または DVD-RW（写真用フォーマット）ディスクを挿入します

- すでに写真が記録されているディスクを挿入したときは、メッセージが表示されます。「取り込まない」を選んで決定してから操作してください。

2 HDD（写真アルバム）を表示させ、コピーしたい写真またはグループを選びます

(1) アルバム（ふた内）を押す

(2) 写真アルバム を選んで 決定 を押す

- グループ内の写真をコピーしたいときは、グループを選び決定します。グループ内の写真一覧画面になります。

3 「機能メニュー」を表示させ、「写真コピー」を選んで決定します

青 を押し ▲▼◀▶ で選び 決定 を押す

- 手順 **2** でグループを選んだときは、「この写真のみ」が「グループのみ」の表示に変わります。

4 「この写真のみ」または「一覧から選択」を選んで決定します

● **選ばれている写真またはグループのみコピーしたいとき**

「この写真のみ」または「グループのみ」を選んで 決定 を押します。コピーが実行されます。

● **複数の写真を選択してコピーするとき**

「一覧から選択」を選び 決定 を押し、手順 **5** へ進みます。

5 コピーしたい写真を選んで 黄 を押します

- 選択された写真には「 」マークが付きます。
- 複数の写真、グループ化した写真を選択することができます。
- 黄 を押すたびに選択⇔解除となります。
- 緑（選択全解除）を押すと全ての選択が解除されます。

● **範囲を指定して写真をコピーするとき**

(1) 青 を押して範囲指定画面を表示します。

(2) 開始する写真を選んで 黄 で決定します。

(3) 終了する写真を選んで 黄 で決定します。

- 個々の写真を選択解除したいときは、青（個別指定）を押し、個別指定画面に戻してから ▲▼◀▶ で解除したい写真を選び 黄 を押します。押すたびに選択⇔解除となります。

6 写真コピーを実行します

決定 を押す

- 写真コピーを中断するには、■停止 を押します。

■ 本機で DVD、CD-R に保存できる静止画（JPEG ファイル）について

● **静止画（JPEG）ファイルについて**

本機が保存できる静止画ファイルは JPEG 形式の静止画ファイルです。

- 本機が保存できる JPEG ファイルは「DCF」* 準拠のファイルです。
- 「DCF」* 準拠の JPEG ファイルには、「.JPG」という拡張子が付いています。
  - * 「DCF」とは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。主としてデジタルスチルカメラの画像ファイルを関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として制定された規格です。ただし、「DCF」規格は機器間の完全な互換性を保証するものではありません。

本ロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。

お知らせ

- DVD/CD-R にコピーできる写真数は最大 4000 枚です。
- JPEG 形式でもファイルによっては保存できない場合があります。
- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、コピーに時間がかかることがあります。
- DVD-RW 写真用フォーマットディスクは静止画と動画を混在させて記録することはできません。
- 本機で JPEG を記録した DVD-RW ディスクをパソコンで再生する場合は、ファイナライズを行う必要があります。
- ファイナライズを行ったディスクは、空き容量があっても写真の追加は行えません。ファイナライズは最後に行ってください。
- ファイナライズを行ったディスクはファイナライズ解除できません。

次ページへつづく

DVD-RW ディスクにコピーした写真を内蔵 HDD にコピーし直す

DVD-RW にコピーした写真を内蔵 HDD（ハードディスク）にコピーし、戻すことができます。

お知らせ

- 内蔵 HDD（ハードディスク）にコピーできる写真は、本機から DVD-RW にコピーした写真のみです。（内蔵 HDD（ハードディスク）に保存されている写真と同じ写真は、コピーされません。）
- DVD-RW のフォルダ構成は内蔵 HDD（ハードディスク）にコピーされません。

写真取り込みの際、次の場合はメッセージが表示されます。
- DVD に取り込む写真がない場合
  →新しい写真はありません
- 取り込みによって内蔵 HDD（ハードディスク）が一杯になる場合
  →内蔵 HDD（ハードディスク）内の不要な写真を削除してください
- 番組予約、ダビング予約の開始２分前
  →写真の取込を中断しました

1 DVD ディスクを挿入します

- 内蔵 HDD（ハードディスク）へ取り込むかどうかをたずねるメッセージが表示されます。
- 「取り込まない」を選んだときは、内蔵 HDD（ハードディスク）にコピーし直す操作は中止となります。取り込みを再開したいときは、ディスクを入れ直してください。

2 「取り込む」を選んで決定します

- 写真の取り込みが開始され、表示部に取り込み枚数が表示されます。完了すると HDD（写真アルバム）が表示されます。
- 取り込んだ写真はグループ化されます。

本機で写真を記録した DVD-RW や、写真が記録された CD-R/-RW を再生する

1 DVD-RW や CD-R/-RW を挿入します

- DVD-RW の場合は、内蔵 HDD（ハードディスク）へ取り込むかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

2 「取り込まない」を選んで決定します

3 BD/DVD モードにします

4 DVD-RW や CD-R/-RW の写真アルバムを表示させます

録画リスト（トップメニュー）を押す

⇒ 各フォルダ単位で１枚目の写真が表示されます。
- 緑（写真再生設定）を押し、スライドショーやリピート再生設定を行うことができます。

■ 本機で再生できないファイル形式について

- JPEG 以外の静止画（TIFF など）は再生できません。
- JPEG 形式でもファイルによっては再生できない場合があります。
- プログレッシブ JPEG は再生できません。
- 動画ファイルや音声ファイル、また JPEG ファイルであっても MOTION JPEG は再生できません。

■ 静止画を再生するとき、次のような場合があります。

- フォルダ数やファイル数、データの容量によっては、再生に時間がかかることがあります。
- EXIF 情報は表示されません。EXIF（Exchangeable Image File Format）とは、主に JPEG 圧縮で用いられる、画像ファイルに含まれる様々な情報を格納するための規格です。（詳しくは http://exif.org をご覧ください。）

■ 静止画を保存した CD-R/-RW ディスクの再生について

- 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。
  または、ディスクによってはまったく再生できません。
- 再生できる CD フォーマットは、ISO9660 level 1 と２（拡張フォーマットは除く）および、Joliet 対応のみです。VDF フォーマットなど新たなフォーマットのディスクは再生できません。
- マルチセッション･ディスクは再生することができません。
- お手持ちのコンピュータで作成や修正、コピーなど、編集された静止画や、インターネット、メールなどから取り込んだ静止画は、再生できない場合があります。
- ファイル名やフォルダ名が半角英数字以外のときは、そのファイルやフォルダは認識できません。
- 本機は、次のようなデータが保存された CD-R/-RW が再生できます。

EXIF 情報を含んだ画像ファイル（「DCF」準拠のファイル）	
画像サイズ	最小縦 32 ×最小横 32 ～最大縦 4320 ×最大横 7680 ピクセル
フォルダ数	最大 256
ファイル数	1 フォルダ内最大 256
ファイルサイズ	20MB 以下
フォルダ階層	8 階層のみ

携帯電話に動画を転送する（携帯電話転送）

- 内蔵 HDD に録画したデジタル放送の番組をお手持ちの携帯電話に転送し、いつでも好きな場所で再生できます。
- 予約録画をした番組は、携帯電話を USB ケーブルで本機に接続するだけで自動的に携帯電話に転送することができます。（事前に **136** ページの設定が必要です）

※ 携帯電話転送機能に対応している携帯電話について詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_cellular.html）でご確認ください。

基本設定から、携帯用動画の転送までのながれ

A 後から好きなときに携帯電話に転送したい

B 予約録画終了後に携帯電話に自動転送したい

「携帯電話転送設定」（基本の設定）をします。

ホームメニューの「設定」－「録画機能設定」－「**携帯電話転送設定**」で設定します。ここで設定した値は携帯電話転送機能の初期値になります。

- ● 携帯電話動画画質設定 ▶**136** ページ
  - 携帯電話の画面サイズと、動画の画質を決めるための設定です。（工場出荷状態：「高画質 2」）
- ● 自動転送設定 ▶**136** ページ
  - 本機にシャープ製の携帯電話を接続したときに、携帯用動画を自動転送するかどうかの設定です。（工場出荷状態:「しない」）

本機に携帯電話を接続します。（B）

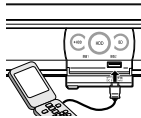
● 本機と携帯電話を **USB ケーブル**※で接続します。

携帯電話に転送したい番組を、予約録画します。

通常の予約録画をします。

- ● 携帯電話動画記録設定 ▶**53** ～ **59**、**137** ページ
  - 予約録画時に、同時に携帯用動画を記録しておくかどうかの設定です。1 つの予約ごとに設定できます。

本機に携帯電話を接続して、携帯用動画を転送します。（A）

● 本機と携帯電話を **USB ケーブル**※で接続し、携帯用動画を自動転送します。

■自動的に転送される場合 ▶**138** ページ
- 「携帯電話転送設定」－「自動転送設定」を「する」に設定している場合は、本機にシャープ製の携帯電話を接続すると、自動的に転送が始まります。

■手動で転送する場合 ▶**138** ページ

予約録画終了後に、携帯用動画が自動転送されます。（B）

● 予約録画終了後に自動転送が開始されます。 ▶**139** ページ

※ USB ケーブルは携帯電話の付属品または別売品をご使用ください。充電専用ケーブルではご使用できません。

転送完了です。携帯電話で携帯用動画をお楽しみください。

基本操作

携帯電話転送を使うための準備をする

携帯用動画の設定を行います。

お知らせ

携帯用動画について

- 携帯用動画を作れるのは、デジタル放送のみです。
- 「ダビング 10」の番組は、携帯電話に転送するとダビング可能回数が 1 回減ります。
- 「1 回だけ録画可能」の番組は、携帯電話に転送するとオリジナルのタイトルと携帯用動画の両方が内蔵 HDD から削除されます。
- 画面に表示される残時間（録画可能時間）は、携帯電話転送用の動画を同時に録画しない場合の残時間の目安です。携帯電話転送用の動画を同時に録画しているときは、表示される残時間より録画可能時間が少なくなります。
- 携帯電話に転送した番組は、録画リストから「NEW」のアイコンが消えます。（視聴済みとなります）
- オリジナルの映像を編集（→ **91** ページ）すると、その番組の携帯用動画が内蔵 HDD から削除されます。
- オリジナルの映像をタイトル分割・結合（→ **97** ～ **98** ページ）すると、その番組の携帯用動画が内蔵 HDD から削除されます。

携帯電話に入れて使う SD カードの容量について

- SD カードの容量が足りないときは、容量が一杯になるまで転送します。
- 携帯用動画の容量が 2GB を超える場合は、本機が自動的に動画データを分割します。（1 つの番組が分割されます）

内蔵 HDD に記録した携帯電話用動画を携帯電話へ転送しているときは、以下の動作となります。

- 1番組録画、ホームネットワークによる録画以外の録画操作は行えません。
- 2番組同時録画が開始されると、転送や取り込みは中止されます。

携帯用動画の設定をする

- 携帯用動画の録画画質を設定します。
- USB ケーブル（携帯電話付属品または別売品）で携帯電話を接続するだけで自動的に転送されるように設定することもできます。

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」－「REC 録画機能設定」－「携帯電話転送設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「携帯電話動画画質設定」を選んで決定します

4 画質を選んで決定します

- 「高画質 1」「高画質 2」
⇒ 640 × 360/30 フレームで記録
- 「長時間 1」「長時間 2」
⇒ 320 × 180/30 フレームで記録

お知らせ

- 工場出荷時は「高画質 2」に設定されています。

5 「自動転送設定」を選んで決定します

6 「する」を選んで決定します

- お買い上げ時の設定は「しない」です。
- 携帯用動画の自動転送予約（→ **139** ページ）をする場合は、「する」に設定します。
- 携帯用動画を選んで転送したい場合は、「しない」に設定します。

7 「はい」または「いいえ」を選んで決定します

- 携帯用動画の自動転送予約（→ **139** ページ）をする場合は、「はい」を選びます。
- 「はい」に設定したときは、携帯用動画の同時録画予約(→ **139** ページ)が終了したときに携帯電話が本機に接続されていると、携帯用動画が自動転送されます。
- 「はい」に設定したときは、クイック起動設定が「する（設定 1)」に変更されます。

お知らせ

- 2 番組同時録画中、携帯電話用動画は 1 番組のみ録画されます。
- 外部入力録画中、外部入力録画の番組には携帯電話用動画は録画されません。

録画予約時に携帯用動画の自動作成を設定する

ご注意

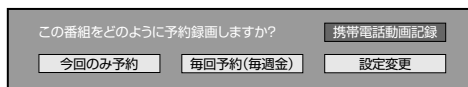
- 携帯電話用動画を同時録画する場合は、録画画質が「DR」に固定されます。録画画質を「DR」以外に変更した場合は、携帯電話用動画は同時録画されません。

■ 電子番組表から設定する場合

1 電子番組表を表示し、録画したい番組を選んで決定します

- 予約の操作については、**53**～**59**ページをご覧ください。

2 「携帯電話動画記録」を選んで決定します

この番組をどのように予約録画しますか？　携帯電話動画記録
今回のみ予約　毎回予約(毎週金)　設定変更

- 携帯電話用動画の同時録画が設定されます。
- もう一度押すと設定が解除されます。

3 「今回のみ予約」または「毎回予約」を選んで決定します

- 録画画質や自動転送の設定をしたいときは、**136**ページ「携帯用動画の設定をする」の手順で行ってください。

■ 日時指定予約や設定済みの予約から設定する場合

1 デジタル放送番組を日時指定で予約します

- 予約の操作については、**53** ～ **59** ページをご覧ください。

2 予約の「詳細設定」画面を表示させます

- 「日時指定予約」の予約設定時に、「詳細設定」から設定できます。
- 電子番組表から予約した場合は、もう一度同じ予約を選ぶか、予約リストから予約の変更をして、「詳細設定」から設定できます。

3 「携帯電話動画記録設定」を選んで決定します

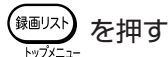
4 「する」を選んで決定します

- 録画画質や自動転送の設定をしたいときは、**136** ページ「携帯用動画の設定をする」の手順で行ってください。

携帯用動画を消去する

携帯用動画をたくさん作成すると、その分 HDD（ハードディスク）の録画可能時間が減ります。いらなくなった携帯用動画は次の手順で削除できます。

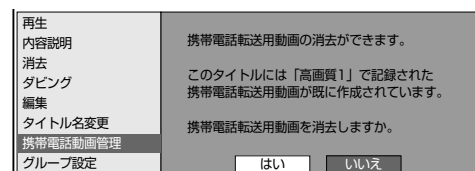
1 HDD モードにして録画リストを表示させます

（録画リスト／トップメニュー）を押す

2 消したい番組を選びます

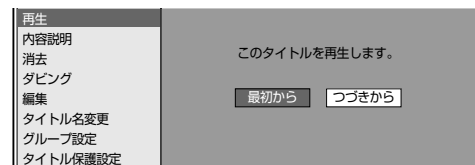
- （携帯用動画有）の表示のあるタイトルを選びます。

3 「機能メニュー」を表示させます

（青）を押す

4 「携帯電話動画管理」を選んで決定します

5 「はい」を選んで決定します

⇒ 消去が始まります。

6 消去が終了すると、メニューに「携帯電話動画管理」が表示されなくなります

動画を携帯電話に転送する

- 作成した携帯用動画を携帯電話に転送してみましょう。
- SD カード（マイクロ SD カード）に動画を記録する携帯電話をご使用の場合は、カードが入っていることをお確かめください。
- 携帯電話転送に対応した携帯電話を、USB ケーブルで接続してください。（→ **135** ページ）

重 要

- 動画転送中は、絶対に USB ケーブルを抜いたり、携帯電話から SD カードを抜いたりしないでください。SD カードが使えなくなったり、初期化が必要になってしまう場合があります。

自動で転送する

- 自動転送（→ **136** ページ）が設定されている場合は、シャープ製携帯電話を USB ケーブルで本機につなぐだけで、自動的に転送が始まります。
- 未視聴の番組（携帯用動画のある番組）で日付が新しい順に、容量的に転送可能なものを最大 10 番組まで転送します。
- 待機状態では USB ケーブルを接続しても携帯電話用動画は自動転送されません。
- 本機に接続した携帯電話の再生能力を検知できた場合は、携帯電話で再生できない動画は自動転送されません。
- 字幕情報は転送されません。
- クイック起動設定が「する」に設定されているときは、待機状態（クイック起動待機状態時）でも USB ケーブルを接続すると携帯電話用動画が自動転送されます。
- アクオスのファミリンク連動起動設定が「する」に設定されているときは、アクオスの電源が待機状態でもファミリンク機能によりアクオスが自動的に電源入となり、レコーダーの画面が表示され自動転送状態が確認できます。アクオスの電源を自動で入れたくないときは、アクオスの主電源を切ってください。

1 本機の電源を入れます

2 携帯電話に付属（または別売）の USB ケーブルで、携帯電話を本機に接続します ▶**135** ページ

3 自動的に転送が始まります

- 転送中は放送画面になります。
- エラーメッセージが表示されるときは、携帯電話の USB モード設定が正しいか確認してください。（→ **227** ページ）

番組を選んで転送する（手動で転送する）

- 自動転送（→ **136** ページ）を設定していない場合は、番組を選んで転送することができます。

1 ホーム画面を表示させます

[ホーム] を押す

2 「ダビング」－「HDD」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「放送番組」の「HDD ➡携帯電話（USB 接続）」を選んで決定します

4 転送したい番組を選びます

- 内蔵 HDD に保存されている番組の一覧が表示されます。
- 一覧表示の中から録画された番組を選ぶと、録画リストの画面に マークが出るものがあります。これは、携帯用動画を記録してあるタイトルです。

● 1 つの番組を転送したいとき

● 複数の映像を 1 つずつ選んでダビングしたいとき

(1) 転送したいタイトルを選び、[黄] を押します。
- この操作を繰り返して 50 タイトルまで選べます。（選んだ順に転送されます。）
- もう一度 [黄] を押すと、選択が解除されます。

(2) 複数のタイトルの選択が終わったら (決定) を押します。

お知らせ

- チャプター単位での転送はできません。タイトル単位の転送となります。

5 「すぐにダビング」を選んで決定します

⇒ 転送が始まります。

- 転送の開始時刻を予約設定することができます。設定のしかたについては**110**ページをご覧ください。
- 「携帯電話動画画質設定」（→ **136** ページ）で、携帯電話の画面サイズと、動画の画質を決めることもできます。

転送中の画面について

- 携帯電話転送用動画を記録したタイトルを転送中は放送画面となります。
- 携帯電話転送用動画を記録していないタイトルを転送中は再生画面となります。
- 表示を消したいときは［画面表示］を押します。

→ 転送中表示消灯 → 動作表示 → 転送中表示

となります。

※ 携帯電話転送用動画を記録していないタイトルを転送（ダビング）する場合や、携帯電話の再生能力を超える（再生できない）動画を転送（ダビング）しようとした場合は、携帯電話転送用動画を作成してから転送（ダビング）を行います。そのため、タイトルの録画時間以上の時間がかかります。

動画を自動転送予約する

- 予約をする前に携帯電話を本機に接続しておくと、予約録画終了後に携帯用動画が自動的に転送されます。
- 録画予約をする前に、携帯電話転送に対応した携帯電話を USB ケーブルで接続してください（→ **135** ページ）。接続した携帯電話は、携帯電話転送が終了するまで外さないでください。
- 「携帯用動画の設定をする」（→ **136** ページ）の「自動転送設定」を「する」にしておく必要があります。
- 「クイック起動設定」（→ **172** ページ）を「する（設定 1）」に設定しておく必要があります。
- 「録画予約時に携帯用動画の自動作成を設定する」（→ **137** ページ）の設定で携帯用動画の作成をしておく必要があります。
- SD カード（マイクロ SD カード）に動画を記録する携帯電話をご使用の場合は、カードが入っていることをお確かめください。

重 要

- 動画転送中は、絶対に USB ケーブルを抜いたり、携帯電話から SD カードを抜いたりしないでください。SD カードが使えなくなったり、初期化が必要になってしまう場合があります。
- 携帯電話は、十分な充電を行ってから接続してください。

ご注意

携帯電話のUSB接続モードを「カードリーダーモード」としてレコーダーと接続しているとき、携帯電話の機種によっては着信ができない場合があります。また着信音、アラーム音が設定どおりに動作しない、一部のアプリケーションが動作しないことがあります。

お知らせ

- 接続した携帯電話が「携帯電話動画画質設定」で選択した画質に対応していない場合は、接続した携帯電話に対応した画質で携帯用動画が同時録画されます。
- 携帯電話を接続しているときは、ダウンロードサービスは実行されません。
- 携帯電話を接続している状態では、着信できない場合があります。

1 携帯電話に付属（または別売）の USB ケーブルで、携帯電話を本機に接続します

▶**135** ページ

2 137 ページ「電子番組表から設定する場合」の手順 1 ～ 3、または「日時指定予約や設定済みの予約から設定する場合」の手順 1 ～ 4 を行います。

3 予約録画終了後に、自動的に転送が始まります

- 転送中は放送画面になります。
- 他の予約状況などにより、自動転送が遅れて開始される場合があります。

双方向通信／インターネット／ホームネットワークの接続をする

LAN 接続でできること

次のサービスを楽しむには、LAN（Local Area Network）接続と **184** ページの LAN 設定が必要です。
- デジタル放送の双方向通信
- アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube の視聴
- BD ビデオの BD-LIVE 機能
- ホームネットワーク
  - DLNA（動画再生）対応アクオスで本機を視聴
  - LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーからの録画（「スカパー！プレミアムサービス Link」）
  - LAN 接続の CATV のデジタルセットトップボックスからの録画

ご注意

- 回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。
- 本機は公衆 LAN への接続には対応しておりません。通信端末認定品の市販ルーターなどを用いて LAN 接続をしてください。

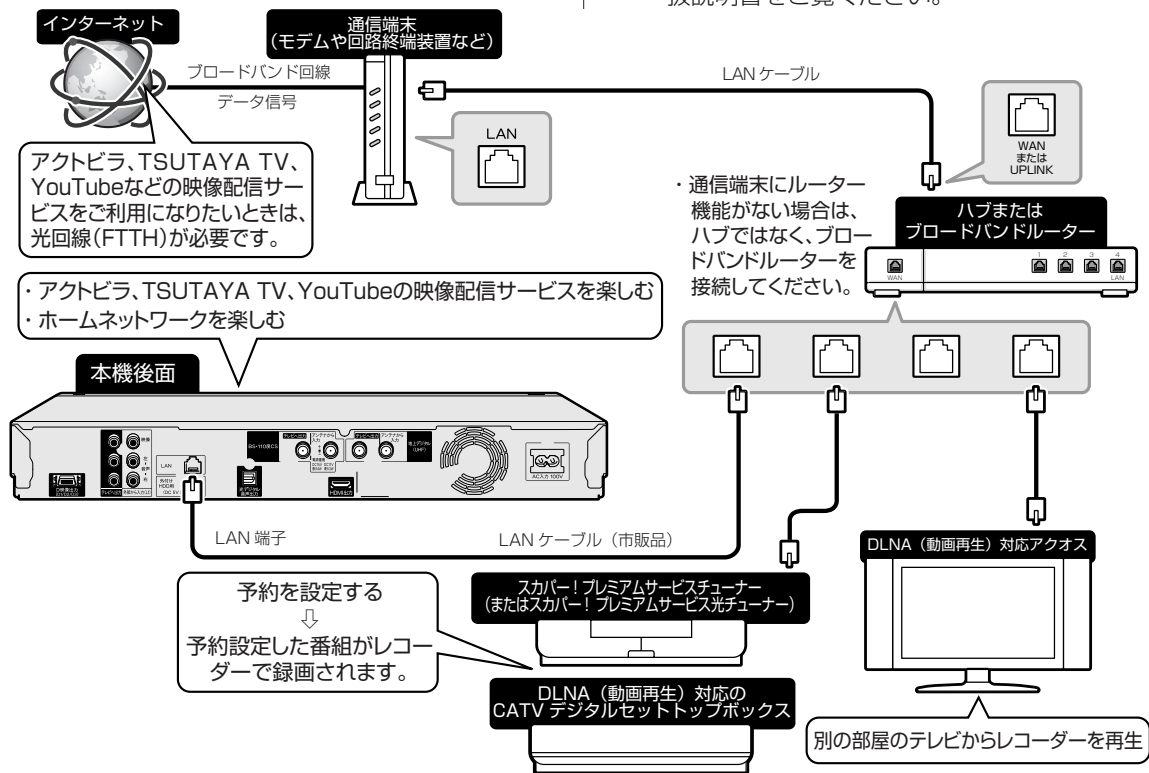
お知らせ

- プロバイダとの契約も必要です。サービス内容の詳しい情報は、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。ホームネットワークのみを利用するときは、プロバイダ契約は不要です。
- ホームネットワークを利用するときは、ホームネットワーク設定（→ **144** ページ）が必要です。
- LAN に接続する場合は、必ず本機の電源を「切」にして行ってください。（電源を入れた状態で LAN 接続したときは、回線接続ができない場合があります。）

● ADSL の契約について

- ADSL 専用の契約（通常の電話を使用せず IP 電話回線網の使用に限定した契約）の場合、双方向サービスへの接続ができない場合があります。
- ADSL など、ブロードバンドサービスの接続には専門知識が必要です。詳しくは、ADSL 事業者にお問い合わせください。

■ LAN 接続のしかた

（ADSL での接続の一例です。）
- LAN ケーブルは、カテゴリー 5 以上のものをご使用ください。
- モデムやルーター、ホームネットワーク機器など、使用する機器に合わせた LAN ケーブルをご使用ください。詳しくは、使用する機器の取扱説明書をご覧ください。

インターネットの動画を楽しむ
(アクトビラ・TSUTAYA TV・YouTube)

インターネットに接続し、「アクトビラ ビデオ」、「TSUTAYA TV」、「YouTube」のコンテンツを楽しむことができます。

■ インターネットの利用を制限するには

「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「通信(インターネット)設定」の「インターネット接続制限」(→ **185** ページ)を「する」にすると、インターネットに接続できません。

- 「インターネット接続制限」の設定には暗証番号の設定が必要です。(→ **200** ページ)

■ クッキー(Cookie)を削除するには

「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」の「個人情報初期化」(→ **198** ページ)を行います。「個人情報初期化」を行うと、個人情報や予約内容、番組表データも消去されます。

ヒント

クッキー(Cookie)とは

- Web サイトから、本機に一時的に書き込まれる情報です。例えば、買い物ができる Web サイトでは、購入したい商品を選んだときに情報が書き込まれ、選んだ商品を確認するときや、商品の代金を計算するときに利用されます。

ご注意

- 動画をご覧になる場合、本機と回線終端装置を LAN 接続してください。回線の使用状況や諸条件(ノイズなど)によって通信速度が一時的に低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。
- 本機には、プロバイダーに接続するためのユーザー ID やパスワードを登録できません。接続に認証が必要なインターネット接続環境の場合は、ブロードバンドルーターに接続情報を登録してください。
- アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube をお楽しみになるときはプロキシサーバーを設定しないでください。プロキシサーバーを通じてインターネットに接続する環境の場合、アクトビラ ビデオ、TSUTAYA TV、YouTube が視聴できない、一部の動作に制限が出ることがあります。
- ホームネットワーク機能を使用中は、アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube は視聴できません。
- アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube 視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。

必要な準備は

- ブロードバンド環境
- 本機の LAN 接続(→ **140** ページ)または LAN 設定(→ **184** ～ **185** ページ)

ヒント

- アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube など映像配給サービスをご利用になりたいときは、光回線(FTTH)が必要です。
- アクトビラ ビデオをお楽しみになる場合は、インターネット回線は、実効速度 6Mbps 程度必要です。 アクトビラビデオ・フルの場合は、実効速度 12Mbps 程度必要です。

アクトビラや TSUTAYA TV とは

インターネットを利用してテレビ向けの情報を配信しているサービスです。「アクトビラ」や「TSUTAYA TV」が提供しています。サービスへの入会などは不要ですが、配信している動画には、一部有料のものがあります。

- **アクトビラ ビデオ**
  インターネットのページ上で再生する映像コンテンツです。文字や写真と同時に映像も楽しめます。ページ上の項目や本機のリモコンを使って操作します。
- **アクトビラ ビデオ・フル**
  テレビの全画面で映像を再生します。本機のリモコンを使って操作します。

アクトビラ／ TSUTAYA TV を見る

1 インターネットを表示させ、視聴したいサービスを選んで決定します

インターネット(ふた内)を押して、(決定)で選び(決定)を押す

■ インターネット
アクトビラ
TSUTAYA TV
YouTube

- 選んだサービスの画面が表示されます。
- 「ホーム」－「チャンネル」－「インターネット」から「アクトビラ」または「TSUTAYA TV」を選んで表示させることもできます。

2 見たいコンテンツを選びます

- 以降の操作は画面の表示に従って操作してください。例えば、(決定)で「再生」などの項目を選びます。
- アクトビラ ビデオ・フルを再生した場合は、全画面で表示されます。
- テレビの画面に戻すときは、終了を押します。

3 頭出し操作や一時停止などの操作は、本機のリモコンで操作します

- アクトビラ、TSUTAYA TV を終了するときは

(1) インターネット(ふた内)または終了を押します。

(2)「する」を選んで(決定)を押します。

次ページへつづく

VOD（ビデオ オン デマンド）操作パネルで操作する

「アクトビラ ビデオ」、「アクトビラ ビデオ・フル」、「TSUTAYA TV」を再生しているとき、VOD 操作パネルを表示させ、一時停止、早戻し／早送りなどの操作も行えます。

1 VOD 操作パネルを表示させます

VOD操作（ふた内）を押す

• VOD 操作パネルが表示されます。

• 操作できるボタンは、動画コンテンツにより異なります。

YouTube とは

インターネットで動画を共有するサービスの 1 つです。本機は、インターネットに接続して YouTube のストリーミングビデオを楽しむことができます。YouTube については、お手持ちのパソコンで YouTube の WEB サイト（http://youtube.com）をご覧ください。

お知らせ

• 動画によっては、本機で再生できない場合があります。
• YouTube の画面にある設定項目「標準版を見る」やログイン画面の「アカウントにアクセスできない場合」を選んだときは、画面を表示し直す動作となります。

YouTube にアクセスする

1 インターネットを表示させ、「YouTube」を選んで決定します

インターネット（ふた内）を押して、決定で選び 決定 を押す

• YouTube の画面が表示されます。
• 「ホーム」－「チャンネル」－「インターネット」から「YouTube」を選んで表示させることもできます。

2 YouTube を終了します

(1) インターネット（ふた内）または終了を押します。

(2)「する」を選んで決定を押します。

■ 再生操作ボタン

ボタン	説明
❚❚	ビデオを一時停止します。再生を再開するには、▶ を押してください。
⏮	ビデオリストの一つ前のビデオに移動します。
⏭	ビデオリストの次のビデオに移動します。
🔁	ビデオリストのすべてのビデオを繰り返し再生します。
HD	高画質なビデオに切り換えます。
▣	通常画面表示とフルスクリーン表示を切り換えます。
プログレスバー	決定を押し、再生中のビデオで見たい地点を選びます。

お知らせ

• フルスクリーン表示中に再生操作ボタンを表示するには、ポップアップメニューを押します。

ホームネットワークで楽しむ

本機を LAN（Local Area Network）に接続すると、ホームネットワーク機能を利用することができます。

ホームネットワーク機能とは

- 本機とホームネットワーク対応機器を LAN 接続することで、ネットワークを通じて機器を操作し、映像と音声を送ることができます。
- ネットワークを通じて映像と音声を送りますので、本機とホームネットワーク対応機器が別の部屋にあっても、この機能を利用することができます。

●ホームネットワーク機能でできること

- 別の部屋にある DLNA（動画再生）対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」で本機の映像を見る。
- LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナー（または、スカパー！プレミアムサービス光チューナー）から本機に録画する。
- DLNA 対応、LAN 接続のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスから本機に録画する。
- DLNA 対応のアクオスに接続した外付け HDD、スカパー！プレミアムサービスチューナやスマートフォンから、ネットワークを使って内蔵 HDD へダビングできます。

必要な準備は

- ホームネットワーク対応機器が必要です。
- 動作確認済みの各対応機器についてはシャープサポートホームページでご確認ください。
  - －DLNA（動画再生）対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」（http://www.sharp.co.jp/support/aquos/doc/homenetwork.html）
  - －スカパー！プレミアムサービスチューナー（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_skphd_dub.html）
  - －ケーブルテレビ（CATV）ボックス（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_dlna_catv.html）
- LAN 接続でホームネットワークを利用する場合は、LAN 接続と LAN 設定が必要です。
  - LAN 接続（→ **140** ページ）
  - LAN 設定（簡単）（→ **184** ページ）
  - LAN 設定（→ **185** ページ）

ご注意

- ホームネットワーク機能を利用し、DLNA（動画再生）対応のテレビから再生操作をするときは、本機の電源を「入」にしてください。本機の電源が切れているとテレビから再生が行えません。
- 「クイック起動設定」（→ **172** ページ）を「する（設定 1）」に設定したときは、本機の電源を切った状態でも、DLNA 対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」から、内蔵 HDD に録画したタイトルを視聴するための再生操作が行えます。
- 外付け HDD に録画したタイトルをホームネットワーク機能を利用して視聴する場合は、電源を「入」にしてから操作をしてください。
- アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube 視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。

お知らせ

- 内蔵 HDD、外付け HDD に録画したタイトルを視聴できます。（BD や DVD、写真は視聴できません。）
- ホームネットワークのみを利用するときは、プロバイダ契約は不要です。
- DLNA（動画再生）対応テレビやスカパー！プレミアムサービスチューナー（または、スカパー！プレミアムサービス光チューナー）、DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと本機を直接 LAN 接続するときは、LAN ケーブルクロスタイプのご使用をおすすめします。

ネットワークアダプター（別売品）について

- 別売のネットワークアダプター「VR-NP1」をご使用になりますと、DLNA（ホームネットワーク）に対応していない HDMI 端子付きテレビでもホームネットワーク機能が楽しめます。

基本操作

ホームネットワークを設定する

- 初期設定でホームネットワーク設定を行ったときは設定の必要はありません。

1 ホームメニューを表示させます

ホーム を押す

2 「設定」－「視聴準備」－「ホームネットワーク設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「する」を選んで決定します

ホームネットワーク（LAN接続）により、他の機器からの本機への録画や、AQUOSなど他の機器で本機の再生ができるようにしますか？

※この設定は、LAN接続しているときに有効です。

する　しない

接続先の機器側でも設定が必要な場合があります。

4 終了 を押して設定を終了します

5 接続先の設定をします

- DLNA に対応したアクオスと接続したとき、接続機器として本機を登録します。
- LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーや DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと接続したとき、録画機器として本機を登録します。
- 接続先の機器の設定については、お使いの製品の取扱説明書をご覧ください。

別の部屋にある機器で本機のハードディスク内の番組を視聴する

ホームネットワーク機能を利用すれば、他の部屋にある DLNA に対応したシャープ製液晶テレビ「アクオス」で、内蔵 HDD、外付け HDD に録画したタイトルを視聴することができます。

- 視聴できるのは 1 台のみです。同時に 2 台の機器で視聴することはできません。

1 DLNA（動画再生）に対応した機器を LAN に接続します

- 接続については、DLNA 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

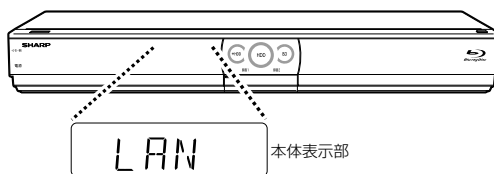
2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶左記

3 DLNA に対応した機器で本機を設定します

- 設定については、DLNA 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

4 DLNA に対応した機器で本機を視聴する操作を行います

- 操作については、DLNA 対応機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機から DLNA 対応機器を操作することはできません。機器側から本機を操作してください。
- 本機に録画した番組（放送）をホームネットワーク対応機器で再生したとき、機器の再生能力によってはスムーズな再生映像とならない場合があります。
  お使いの機器の再生能力は、お使いの機器の取扱説明書でご確認ください。
- ダビング中のタイトルは、ホームネットワークで視聴することができません。

別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する

ホームネットワーク機能を利用すれば、他の部屋にあるホームネットワーク対応機器で、放送中の番組を視聴することができます。

- 視聴できるのは1台のみです。同時に2台の機器で視聴することはできません。
- 本機から放送番組を転送する際の画質を設定することができます。視聴映像がカクカクして見える、途切れたりする場合は、転送画質を変更することで視聴している映像が正常に見えることがあります。
- 対応機器については**143**ページに記載のホームページでご確認ください。

ご注意

- 本機からホームネットワーク対応機器を操作することはできません。機器側から本機を操作してください。
- 他の機器で視聴中は、内蔵 HDD に放送を一時蓄積します。このため、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 本機のチューナーで選局できる番組のみ視聴することができます。LAN 接続している機器の番組は視聴することができません。
- 本機で視聴可能な番組のみホームネットワークで視聴することができます。未契約の番組や録画禁止のコンテンツは視聴することができません。
- 本機の状態によっては予約録画開始 2 分前に、番組の転送を停止することがあります。
- 本機の電源を入れた状態で視聴してください。
- 視聴年齢制限された番組は視聴することができません。

1 ホームネットワーク対応機器を LAN に接続します

- 接続については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶**144** ページ

3 ホームネットワーク対応機器で本機を設定します

- 設定については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

4 ホームネットワーク対応機器で本機を視聴する操作を行います

- 操作については、ホームネットワーク対応機器の取扱説明書をご覧ください。

転送動画の画質を選択する

放送番組転送画質設定

電波状態が悪く（再生処理能力が低く）視聴映像がカクカクして見える、途切れたりする場合は、転送画質を低い画質に変更することで視聴している映像が正常に見えることがあります。

お知らせ

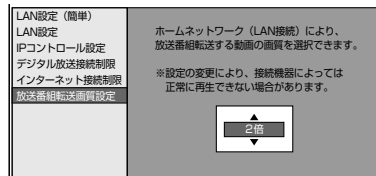
- 録画したタイトルは転送画質設定を行えません。録画されている画質で転送されます。

1 ホーム画面を表示させます

［ホーム］を押す

2 「設定」－「視聴準備」－「通信（インターネット）設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「放送番組転送画質設定」を選んで決定します

4 転送する動画画質を選択します

- 「DR」「2 倍」「3 倍」「5 倍」「7 倍」「10 倍」から選択できます。（初期値は「2 倍」です。）

5 ［終了］を押して設定を終了します

ネットワークを使って内蔵 HDD へダビングする

アクオスに接続した外付け HDD や、スカパー！プレミアムサービスチューナーからネットワークを使って内蔵 HDD へダビングできます。
動作確認済みのホームネットワーク対応機器については **143** ページに記載のホームページでご確認ください。

お知らせ

- 「スカパー！プレミアムサービス Link」（ダビング）は、録画したスカパー！プレミアムサービスの番組を、ホームネットワーク（家庭内 LAN）内に接続された機器間でコピーまたはムーブできるネットワークダビングの機能です。
  スカパー！プレミアムサービス対応の DVR、USB ハードディスク録画対応チューナーまたはダビング送信に対応した機器と「スカパー！プレミアムサービス Link」（ダビング）に対応した機器をネットワーク接続することで、機器間で番組をムーブ / コピーすることが可能です。
  ※ ラジオ番組は対応しておりません。

1 ダビング元の機器を LAN に接続します

2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶**144** ページ

3 ダビング元の機器のネットワーク設定を行います

- 本機が、ダビング元の機器のダビング先になるように設定してください。設定については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

4 本機の電源を「入」にし、ダビング元の機器で、本機をダビング先にしたダビング操作をします

- ダビング操作については、各機器の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォンのカメラで撮影した動画をレコーダーへダビングする

1 スマートフォンを LAN に接続します

2 145 ページ「別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する」の手順 **2** 〜 **3** を行います

3 スマートフォンで、本機をダビング先にしたダビング操作をします

- ダビング操作については、スマートフォンのアプリケーションをご確認ください。

お知らせ

- 本機に対応するスマートフォンについては、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。

本機で録画したタイトルをスマートフォンへダビングする

1 スマートフォンを LAN に接続します

2 145 ページ「別の部屋にある機器で放送中の番組を視聴する」の手順 **2** 〜 **3** を行います

3 スマートフォンで、本機に録画したタイトルを選び、ダビング操作をします。

- ダビング操作については、スマートフォンのアプリケーションをご確認ください。

お知らせ

- 本機に対応するスマートフォンについては、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/）でご確認ください。

スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画する

本機とスカパー！プレミアムサービスチューナー（または、スカパー！プレミアムサービス光チューナー）をLAN（Local Area Network）に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、スカパー！プレミアムサービスチューナーから内蔵HDDに録画をすることができます。
動作確認済みのスカパー！プレミアムサービスチューナーの機種名および操作（接続）方法についてはシャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_skyperfectv.html）でご確認ください。

お知らせ

- 「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）は、スカパー！プレミアムサービスの番組をホームネットワーク（家庭内LAN）内に接続された機器間でデジタル録画できる機能です。スカパー！プレミアムサービス対応チューナーと「スカパー！プレミアムサービスLink」（録画）に対応した機器をネットワーク接続することで、ハイビジョン番組をハイビジョン画質のまま録画できます。
  ※標準画質番組は標準画質での録画となります。
  ※ラジオ番組は対応しておりません。

1 スカパー！プレミアムサービスチューナーをLANに接続します

2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶144ページ

3 スカパー！プレミアムサービスチューナーのネットワーク設定を行います

- 本機が、スカパー！プレミアムサービスチューナーの録画機になるように設定してください。設定については、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。

4 本機の電源を「入」にし、スカパー！プレミアムサービスチューナーで、本機を予約先にした録画予約を設定します

- 予約した番組が内蔵HDDに録画されます。
- 設定については、スカパー！プレミアムサービスチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 地上デジタル放送はスカパー！プレミアムサービスチューナーから予約録画できません。本機のチューナーで録画（予約録画）してください。
- 本機へ接続している外付けHDDには予約録画できません。
- LAN録画とファミリンク機能を使用した録画が重複しているときは、本体表示部はファミリンク機能を使用した録画の表示が優先されます。

ご注意

- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。
- 本機で録画操作を行ってもLAN接続のスカパー！プレミアムサービスの録画はできません。スカパー！プレミアムサービスチューナーで録画予約してください。
- 1つの番組の連続録画可能時間は12時間です。12時間を超える番組は、12時間単位で予約設定をしてください。

ヒント

設定した予約を取り消したいときは

- スカパー！プレミアムサービスチューナーと本機の電源を入れた状態でスカパー！プレミアムサービスチューナーから予約を取り消してください。本機の予約リストから予約情報が自動で消去されます。
  予約情報が自動で消去されないときは、予約リストから削除してください。
- スカパー！プレミアムサービスを録画中は、画面表示を押すと、画面に「● LAN録画」と表示されます。

スカパー！プレミアムサービスチューナーから録画できる時間

- 「スカパー！プレミアムサービスLink」録画可能時間の目安です。録画時間を保証するものではありません。
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」録画可能時間は、録画する番組により異なります。
- 動きの激しい番組を録画した場合は、録画できる時間が減少します。
- 「スカパー！プレミアムサービスLink」では、本機で表示される録画時間の残時間と実際に録画できる残時間は異なる場合があります。

	録画できる時間
スカパー！ハイビジョンチャンネル	約115時間 (約62～144時間)
スカパー！標準画質チャンネル	約197時間 (約125～380時間)
スカパー！3Dチャンネル	約72時間

スカパー！プレミアムサービスチューナーから予約した番組の予約リスト表示について

予約実行可能　**/**[*]まで
LAN　LAN予約
/[*]　午後10:00～午後11:00

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*]　午後10:00～午後11:00		LAN予約	HDD		毎週	○
2	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 061]	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 081]	新春、芸能人大集合	HDD	5倍		休
4	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 051]	マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**[*]　午後**:**～午前**:**	[地D 011]	ウィンブルドン2001	HDD	DR	月～金	○

- 番組名は「LAN予約」と表示されます。画質や予約録画延長設定などは表示されません。

ケーブルテレビ（CATV）から録画する

本機とケーブルテレビ（CATV）ボックスをLAN（Local Area Network）に接続し、ホームネットワーク機能を利用することにより、ケーブルテレビ（CATV）を内蔵HDDに録画することができます。
動作確認済みのケーブルテレビ（CATV）ボックスについてはシャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/doc/info_dlna_catv.html）でご確認ください。

1 ケーブルテレビ（CATV）ボックスをLANに接続します

2 本機の「ホームネットワーク設定」を「する」にします

▶**144** ページ

3 ケーブルテレビ（CATV）ボックスのネットワーク設定を行います

- 本機が、ケーブルテレビ（CATV）ボックスの録画機になるように設定してください。設定については、ケーブルテレビ（CATV）ボックスの取扱説明書をご覧ください。

4 本機の電源を「入」にし、ケーブルテレビ（CATV）ボックスで、本機を予約先にした録画予約を設定します

- 予約した番組が内蔵HDDに録画されます。
- 設定については、ケーブルテレビ（CATV）ボックスの取扱説明書をご覧ください。
- 本機へ接続している外付けHDDには予約録画できません。
- LAN録画とファミリンク機能を使用した録画が重複しているときは、本体表示部はファミリンク機能を使用した録画の表示が優先されます。

ご注意

- 本機の電源が切れていると録画予約の設定ができません。
- 本機で録画操作を行ってもLAN録画はできません。ケーブルテレビ（CATV）ボックスで録画予約してください。

ヒント

設定した予約を取り消したいときは

- ケーブルテレビ（CATV）ボックスと本機の電源を入れた状態でケーブルテレビ（CATV）ボックスから予約を取り消してください。本機の予約リストから予約情報が自動で消去されます。
  予約情報が自動で消去されないときは、予約リストから削除してください。
- LAN録画中は、[画面表示]を押すと、画面に「● LAN録画」と表示されます。

ケーブルテレビ（CATV）ボックスから予約した番組の予約リスト表示について

予約実行可能　**/**[*]まで

LAN　　　LAN予約
/[*]　午後10:00～午後11:00

	予約日時	CH	番組名	録画先	画質	繰り返し	実行
1	**/**[*]　午後10:00～午後11:00		LAN予約	HDD		毎週	○
2	**/**[*]　午前**:**～午前**:**	[地D 061]	K－5格闘技選手権	HDD	DR	毎週	○
3	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 081]	新春、芸能人大集合	HDD	5倍		休
4	**/**[*]　午後**:**～午後**:**	[地D 051]	マニュアル浜口夫人	HDD	DR	月～金	○
5	**/**[*]　午後**:**～午前**:**	[地D 011]	ウィンブルドン2001	HDD	DR	月～金	○

- 番組名は「LAN予約」と表示されます。画質や予約録画延長設定などは表示されません。

アンテナを接続する

接続をする前に

本機をお使いになる場所のアンテナの設置状況によって、接続方法が異なります。まずは、アンテナ（放送）環境を確認してから、本機に接続するアンテナケーブルを準備します。

- アンテナ（放送）環境により、以下の市販品などが必要です。
  - アンテナケーブル（市販品）
  - 衛星放送用同軸ケーブル（市販品）
  - 分波器（市販品）
- BS・110 度 CS 共用アンテナとの接続には「衛星放送用同軸ケーブル（市販品）」をお使いください。（S-5C-FB など）

ＢＳアンテナと接続するときは

F 型コネクターの取り付けについて

- アンテナ線は、同軸ケーブルに F 型コネクターを接続してご使用ください。
- F 型コネクターを取り付けるときは、工具で強く締めつけないでください。
  内部の結線が切れ、故障する場合があります。

BS アンテナの電源について

- 本機の「BS・110 度 CS デジタル　アンテナから入力」端子は、BS・110 度 CS アンテナに電源を供給するはたらきをもっています。
- 初期設定でBS･110度CSアンテナ線接続（→ **168** ページ）を「する」に設定したときや BS・CS のアンテナ電源（→ **178** ページ）を「オート」または「入」に設定したときは、本機から BS・110 度 CS アンテナに電源が供給されます。
- 本機のアンテナ電源が「オート」に設定されているときは、本機の電源とアンテナ電源が連動します。

本機の電源	接続しているテレビの BS アンテナ電源	本機のアンテナ電源
「切」	「切」	「切」
	「入」	「入」
「入」	「切」	「入」
	「入」	

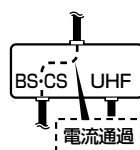
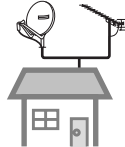
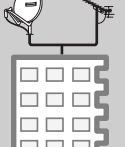
- BS・110 度 CS デジタルチューナー内蔵テレビと本機を接続し、BS・CS アンテナへの電源供給を本機からのみ行うときは、アンテナ電源を「入」に設定してください。
- BS・110 度 CS アンテナを接続するときは、必ず電源を「切」にしてください。

放送局との自動通信について

- 本機は電源「切」（待機状態）のとき、放送局との通信（契約情報など）のため、自動的に電源が入り動作することがあります。
- 通信中は、電源を「切」にしないでください。通信が終了すると、自動的に電源「切」（待機状態）に戻ります。

アンテナ接続時のご注意

UHF/BS/CS の信号が混合されているアンテナ端子から本機へアンテナ線を接続するときは、必ず UHF/BS・CS 分波器（または UV/BS・CS 分波器）を使用して接続してください。（151 ページ C をご覧ください。）

分波器について

- UHF 信号と BS・110 度 CS デジタル信号を分けます。
- シールドタイプで 110 度 CS 帯域（2.6GHz）まで対応したものをご使用ください。
- **地上デジタル放送だけを見る場合や、BS・110 度 CS デジタル放送だけを見る場合は必要ありません。**

重 要

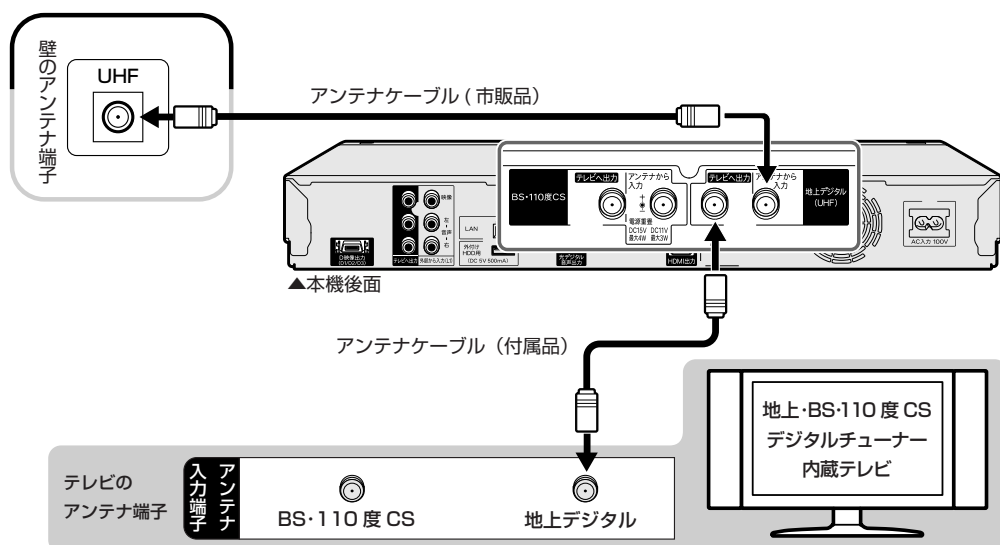
- 「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「アンテナ設定」－「BS・CS デジタル」－「信号出力設定」（→ **179** ページ）を「しない」に設定しているときは、本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からテレビへデジタル信号が出力されません。
- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- アンテナケーブルの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- BS・110 度 CS デジタル放送を見るためには、BS・110 度 CS 共用アンテナをお使いください。
- 本機にアンテナを接続する前に、「アンテナ接続時のご注意」（上記）を必ずお読みください。
- すべての接続が終わったあとは、本機の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- 本機の電源プラグをコンセントから外すと、テレビの映りが悪くなったり、テレビ放送が映らなくなる場合があります。

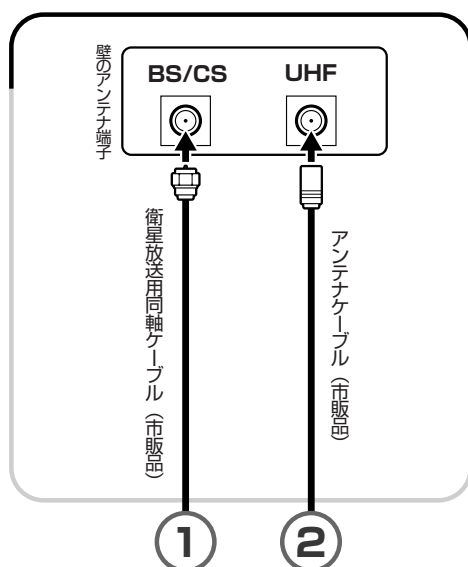
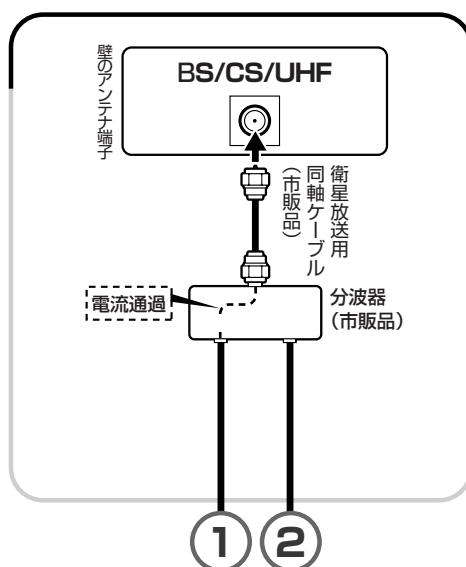
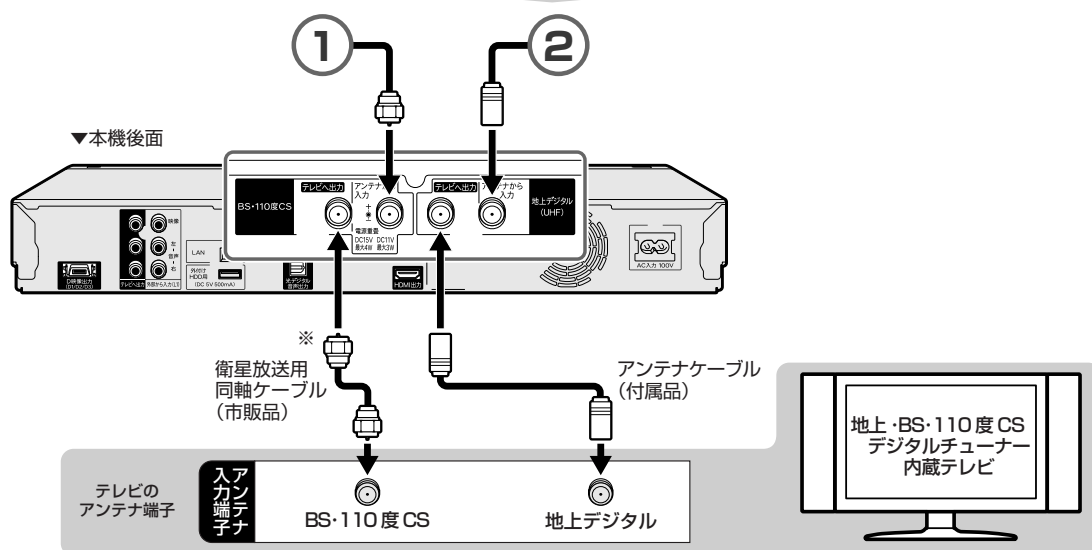
アンテナの種類と接続のしかた

ご自宅のアンテナに応じて、アンテナ線を接続してください。

※CATVパススルー方式とは…

CATV配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままでCATV網に渡す放送方式です。
この方式では、地上デジタル放送が本来使っているUHF帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは、「UHF帯」、「VHF帯」、「ミッドバンド（MID:C13～C22)帯」、「スーパーハイバンド（SHB:C23～C63）帯」です。

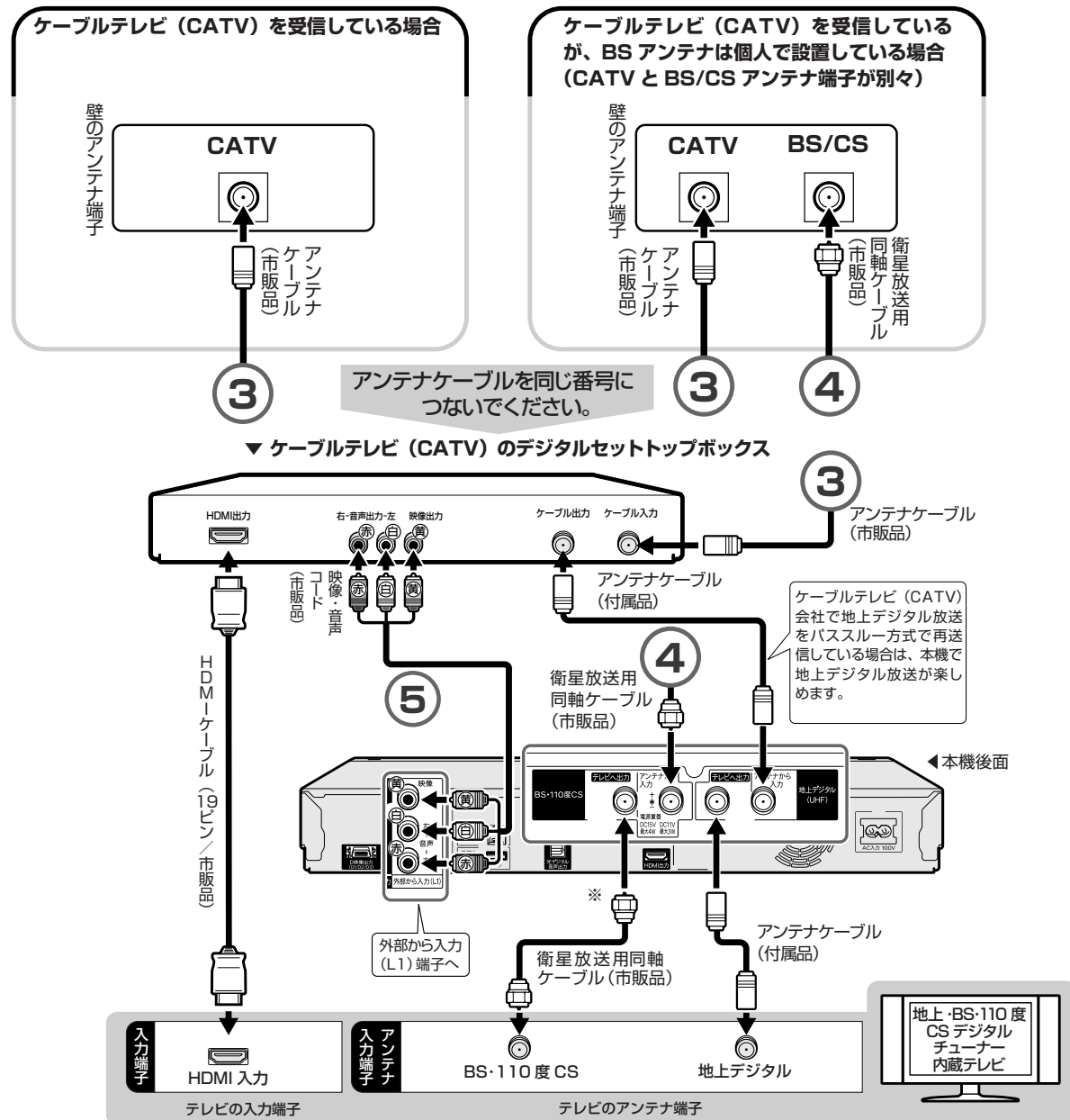
A BS・110度CSデジタル放送用アンテナを設置していない場合

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。→ 153ページへ

B 個別にUHFとBSアンテナを設置している場合

C マンションなどの共聴システムで受信している場合

※本機の「BS·110度CS」の「テレビへ出力」端子とテレビのBS·110度CSデジタルアンテナ端子を接続したときは、「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「アンテナ設定」－「BS·CSデジタル」の「信号出力設定」を「する」に設定してください。「しない」に設定したときは、テレビへのアンテナ信号が出力されません。（→ **179** ページ）

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。**→153ページへ**

次ページへつづく

D ケーブルテレビ（CATV）ボックスをご使用の場合

- 接続図は一例です。ケーブルテレビ（CATV）ボックスによりつなぎかたは異なります。
- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- ケーブルテレビ（CATV）を受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。また、スクランブルのかかった有料放送の視聴･録画には、ケーブルテレビ専用のホームターミナル（アダプター）が必要です。
- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。

※本機の「BS･110 度 CS」の「テレビへ出力」端子とテレビの BS･110 度 CS デジタルアンテナ端子を接続したときは、「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「アンテナ設定」－「BS･CS デジタル」の「信号出力設定」を「する」に設定してください。「しない」に設定したときは、テレビへのアンテナ信号が出力されません。（→ **179** ページ）

接続が済んだら、「テレビと接続する」に進みます。**→153 ページへ**

ご注意

・アンテナケーブルや映像・音声コードの端子は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。

テレビと接続する

テレビの入力端子をお調べになり、できる限り高画質に対応している端子とおつなぎください。

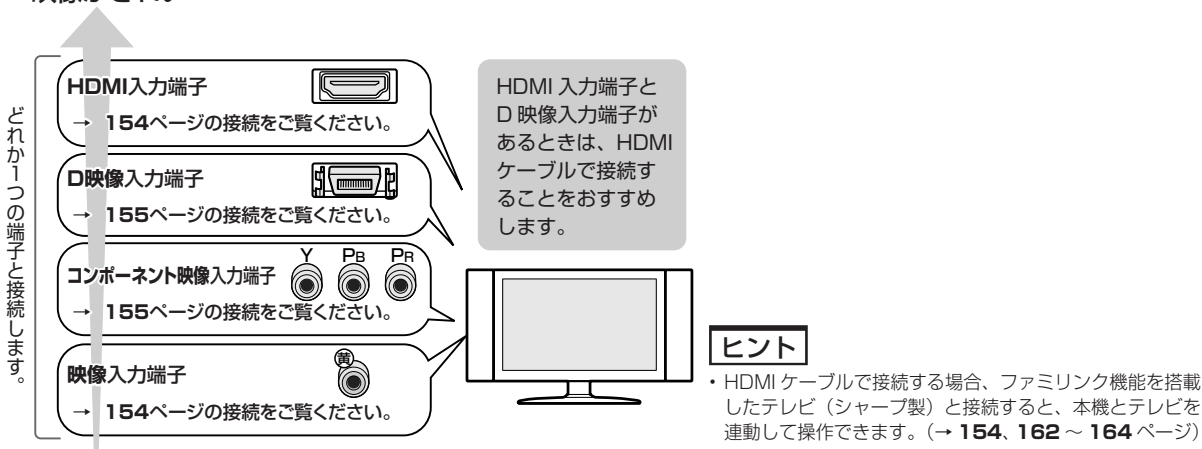
重 要

- 安全のためテレビと本機の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- コード類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- テレビ側の接続は、テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- テレビを接続して電源を入れるときは、テレビの電源を入れたあとに本機の電源を入れてください。
- 本機に接続したケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。取り扱いにご注意ください。

テレビ入力端子の種類

接続する端子により、お楽しみいただける画質が異なります。

ヒント

- HDMIケーブルで接続する場合、ファミリンク機能を搭載したテレビ（シャープ製）と接続すると、本機とテレビを連動して操作できます。（→ **154**、**162** ～ **164** ページ）

ハイビジョン映像をご覧いただくには

■ テレビのタイプは

- ハイビジョン映像をご覧いただくには、次のうち、いずれかの端子の付いているテレビ（モニター）が必要です。
  - HDMI入力端子
  - D3映像入力端子
  - D4映像入力端子
  - D5映像入力端子
  - コンポーネント（Y, P_B, P_R）映像入力端子
- ハイビジョンタイプのテレビ（モニター）以外では、ハイビジョン画質の映像が楽しめません。

■ テレビとの接続は

- 本機とテレビを、HDMIケーブル（19ピン／付属品）またはD映像ケーブル（市販品）で接続します。
- コンポーネント（Y, P_B, P_R）映像入力端子付きテレビ（モニター）と接続するときは、D－コンポーネント変換ケーブル（市販品）で接続します。

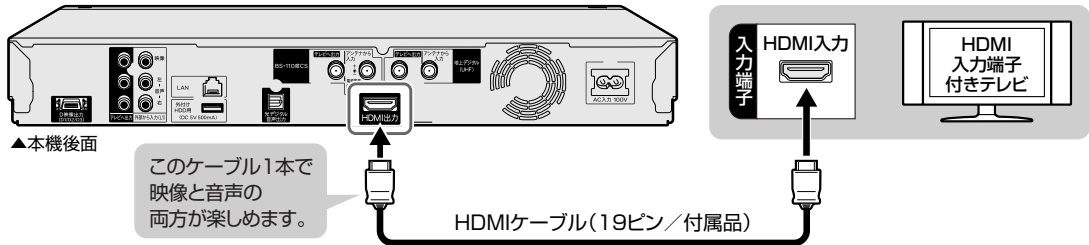
■ D映像ケーブルで接続したときは

- 「初期設定」でテレビ側の端子名を次のいずれかに設定します。（→ **169** ページ）
  - 「D3映像入力端子」
  - 「D4映像入力端子」
  - 「D5映像入力端子」
  - 「コンポーネント映像入力端子」

※本機はD3映像出力に対応しています。テレビのD4、D5映像入力端子と接続しても映像はD3画質になります。

HDMI 入力端子付きテレビと接続する

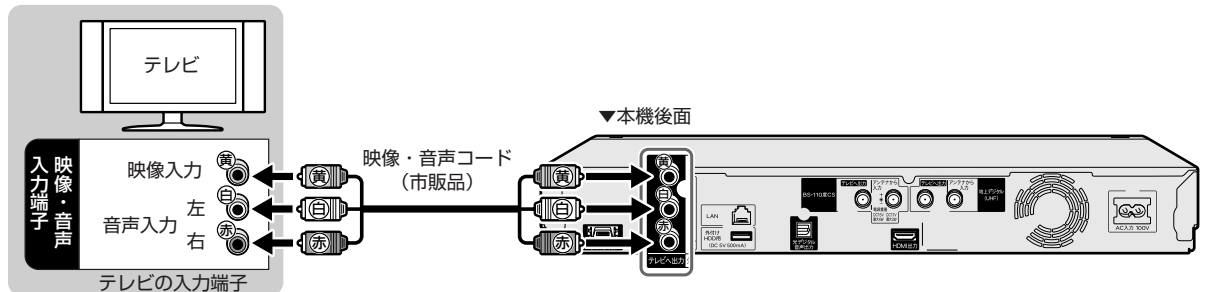
HDMI 出力端子は、映像と音声のデジタル信号を 1 本のケーブルでつなぐことができる新しい規格のデジタル専用端子です。HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）を使うと、他の映像コード・音声コードを接続する必要はありません。

- 「**ファミリンク機能**」を搭載したシャープ製のテレビ「アクオス」と HDMI ケーブルで接続すると、テレビのリモコンまたは本機に付属のリモコンで、テレビと本機の操作が行えます。ファミリンクについて詳しくは **162** ページをご覧ください。

お知らせ

- テレビと接続したときは、「HDMI 映像出力設定」（解像度）は「オート」に設定されます。
  「オート」設定状態で正常な映像が得られないときは、**156** ページの「付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って HDMI 入力端子付きテレビと接続したとき」の表を参考に出力解像度を変更してください。
  「HDMI 映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（HDMI ケーブルが接続されていない、または接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。）
- HDMI から 480p または 480i の出力をしているときは、96kHz/192kHz の PCM 音声は、48kHz で出力されます。
- DVI デジタル入力端子付きの機器と DVI-HDMI 変換ケーブル（市販品）を使用して接続したときは、正常な映像にならない、または映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。また、DVI-HDMI 変換ケーブルを使い DVI 機器と接続したときは、DVI 機器に音声が入力されません。）

「HDMI 映像出力設定」（→ 192 ページ）と「デジタル音声出力設定」（→ 193 ページ）が必要な場合は、「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」で設定を行ってください。

※「アクオス純モード」「クアトロン純モード」に対応した「アクオス」「アクオス クアトロン」と接続すると、BD ビデオ /DVD ビデオ再生時や、ホーム画面操作時、写真再生時に、自動的に画面サイズ調整や映像調整が行われ、最適な映像を楽しむことができます。

映像・音声入力端子付きテレビと接続する場合

画面サイズ設定について
- この接続をした場合、接続するテレビに合わせて、次の設定を行ってください。

画面サイズ設定
- 接続するテレビの画面サイズが「16：9（ワイド）」か「4：3（ノーマル）」かを設定します。
- 「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「画面サイズ設定」で設定します。（→ **192** ページ）
- 画面サイズ設定を「4:3」にした場合、引き続き、16:9 の映像を再生するときの設定を行います。「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。

ご注意

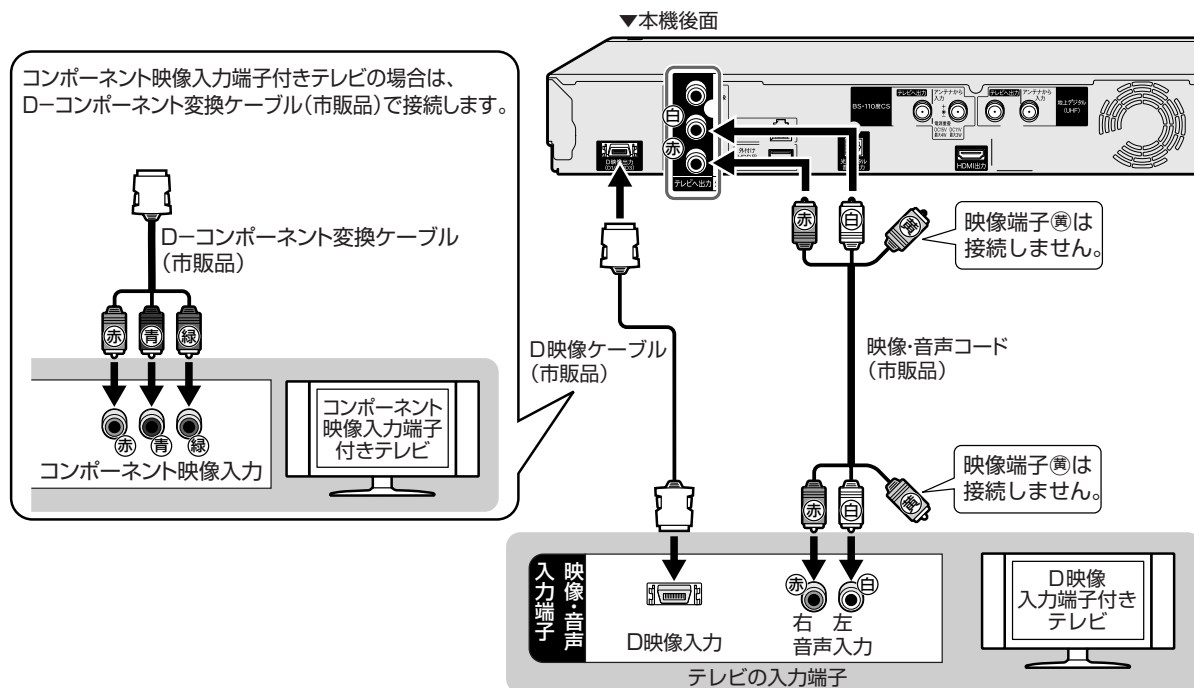
- 本機とテレビを接続しているコード類をアンテナ線と一緒に束ねないでください。テレビ放送を見るときに画面にノイズが出るなど、電波妨害の原因となることがあります。
- 機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるため、電源コードや他の接続コード類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。

お知らせ

- お持ちのオーディオ機器で音声を楽しむ場合は、音声コード㊟㊁をオーディオ機器に接続してください。この接続の場合、テレビからは音声が出ずに、オーディオ機器から楽しめます。
- 映像が映らないとき、正常に映らないとき、乱れるときは **212** ～ **215** ページをご覧ください。
- D 映像ケーブルが接続されている場合、映像出力端子から信号は出力されません。

D 映像入力端子付きテレビ／コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する場合

重 要

- HDMI ケーブルと D 映像ケーブルの両方をテレビに接続したときは、ファミリンク機能が働かない場合があります。
  ファミリンク機能が働かないときは、HDMI ケーブル接続のみにする、または「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「映像同時出力設定」で「HDMI 端子優先」に設定してください。

ご注意

- テレビのコンポーネント映像入力端子に接続したときは、テレビのオートワイド機能は働きません。
- テレビによってはコンポーネント映像入力端子の切り換え（メニュー設定やスイッチの切り換えなど）が必要なものがあります。お使いのテレビの取扱説明書に従って操作してください。
- ハイビジョン専用のコンポーネント映像入力端子（Y, P_B, P_R）に接続したときは、DVD の再生映像は楽しめません。DVD の再生映像は 480i または 480p の信号が出力されます。

お知らせ

- お持ちのオーディオ機器で音声を楽しむ場合は、音声コード㊍㊏をオーディオ機器に接続してください。この接続の場合、テレビからは音声が出ません。
- 映像が乱れる、正常に映らない、映らないときは **212** ～ **215** ページをご覧ください。

メモ

- テレビの D 映像入力端子が D3、D4 または D5 映像入力端子の場合は、ハイビジョン放送が楽しめます。初期設定でテレビの D 映像入力端子に合わせて、ハイビジョン対応テレビの映像端子名（→ **169** ページ）を「D3 映像入力端子」、「D4 映像入力端子」または「D5 映像入力端子」に設定してください。（BD の再生映像は 480i の信号で出力されます。BD をハイビジョン画質で再生したいときは HDMI ケーブルで接続してください。）

テレビとの接続設定について

初期設定（→ 167 ページ）をしたあとで設定し直したい場合は

「ホーム」－「設定」－「映像･音声調整」－「映像･音声設定」（→ **192** ～ **193** ページ）で、次の設定を行ってください。

■ 付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って HDMI 入力端子付きテレビと接続したとき

設定する項目	選ぶ内容
解像度の設定 「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「HDMI 映像出力設定」	「HDMI 映像出力設定」ー 「オート」「1080/60p 固定」「1080i 固定」「720p 固定」「480p 固定」 • 通常は「オート」に設定します。
デジタル音声出力の設定 「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「デジタル音声出力設定」	「デジタル音声出力設定」ー「HDMI 出力」ー 「オート」「PCM（サラウンド）」 • 通常は「オート」に設定します。

• 「HDMI 映像出力設定」を「オート」以外に設定するとき、接続先で対応していない解像度は選択できません。（HDMI ケーブルが接続されていない、または接続先機器の電源が入っていないときも選択できません。）
• HDMI から 480p または 480i の出力をしているときは、96kHz/192kHz の PCM 音声は、48kHz で出力されます。

■ 市販の D 映像ケーブルを使って D 映像入力端子付きテレビと接続したとき

設定する項目		選ぶ内容
映像端子名（接続したテレビの端子名）	D1、D2 端子（ハイビジョン非対応テレビ）	「D 映像出力設定」ー「D1」「D2」 接続したテレビの端子名を選びます。
	D3、D4、D5 端子（ハイビジョン非対応テレビ／ハイビジョン対応のテレビ）	「D 映像出力設定」ー「D3 ／ D4 ／ D5」 接続したテレビの端子名を選びます。
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

• 接続設定リセット（→ **171** ページ）により、「D 映像出力設定」が「D1」に変更されます。

■ HDMI ケーブルと D 映像ケーブルの両方を使ってテレビと接続したとき

「ホーム」－「設定」－「映像･音声調整」－「映像・音声設定」で「映像同時出力設定」を行います。設定は、D 映像ケーブルを接続したテレビに合わせます。

設定する項目		選ぶ内容
ハイビジョン対応テレビと接続	「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「映像同時出力設定」	「HDMI 端子優先」 •「HDMI 出力端子」、「D 映像出力端子」から「HDMI 出力設定」で設定した映像が出力されます。
ハイビジョン非対応テレビと接続※1	「映像・音声調整」－「映像・音声設定」－「映像同時出力設定」	「D 映像端子優先」※2 •「HDMI 出力端子」、「D 映像出力端子」から「D 映像出力設定」で設定した映像が出力されます。

※ 1「HDMI 端子優先」に設定しているときは、ハイビジョン信号が D 映像端子から出力されるため、ハイビジョン非対応テレビでは映像が見られません。
※ 2「D 映像端子優先」に設定したときは、ファミリンク機能は働きません。
• 接続設定リセット（→ **171** ページ）により、「映像同時出力設定」が「D 映像端子優先」に変更されます。

■ 市販の D －コンポーネント変換ケーブル（RCA ピンタイプ）を使ってコンポーネント映像入力端子付きテレビと接続したとき

「設定」では設定できません。「設定リセット」（→ **171** ページ）、「個人情報初期化」（→ **198** ページ）で再設定を行ってください。設定がリセットされ、自動的に電源が「切」になります。その後、電源を「入」にすると、初期設定画面（→ **167** ページ）が表示されます。

設定する項目		選ぶ内容
映像端子名（接続したテレビの端子名）	DVD 入力用 Y, C_B, C_R 端子	「ハイビジョン非対応テレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子（Y, C_B, C_R）」
	ハイビジョン対応 Y, P_B, P_R 端子 Y, P_B/C_B, P_R/C_R 端子	「ハイビジョン対応テレビ」－ 「コンポーネント映像入力端子（Y, P_B, P_R）」 「コンポーネント映像入力端子（Y, P_B/C_B, P_R/C_R）」
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	ワイド（16：9）
	4：3 サイズのテレビ	通常（4：3）

■ 市販の映像・音声コードを使用してテレビと接続したとき

設定する項目		選ぶ内容
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

その他の機器を接続する

本機をさらに楽しむために、必要に応じてその他の機器と接続しましょう。

重 要

- 安全のため本機・テレビ・接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。
- 接続する端子に合ったケーブル類を使って、接続してください。
- ケーブル類は、接続する端子の奥までしっかり差し込んでください。
- 接続する機器側の接続については、接続する機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 映像が映らないとき、テレビの映りが悪いとき、正常な録画ができないときは、**212** ～ **215** ページをご覧ください。

ビデオカメラやビデオデッキを接続する場合

外部から入力（L1）端子へ

▼本機後面

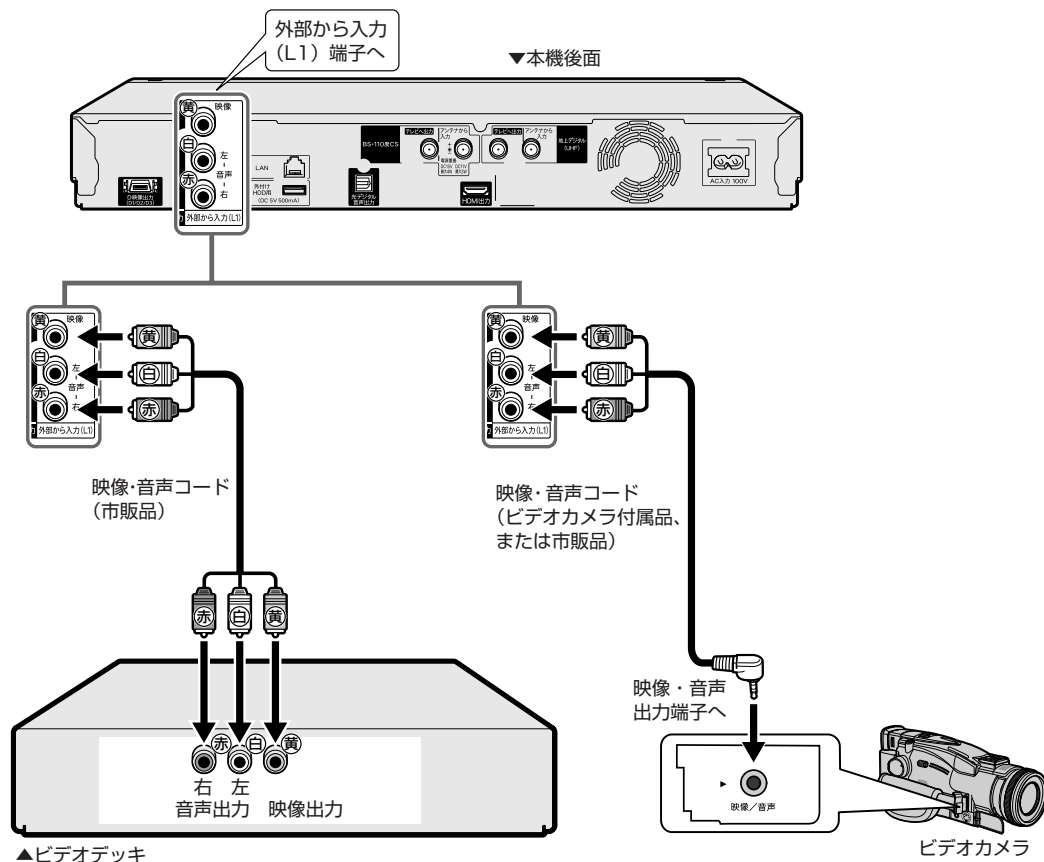
映像・音声コード（市販品）

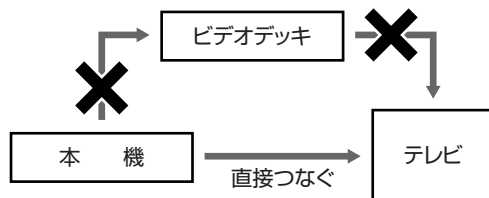
映像・音声コード（ビデオカメラ付属品、または市販品）

右 左
音声出力 映像出力

▲ビデオデッキ

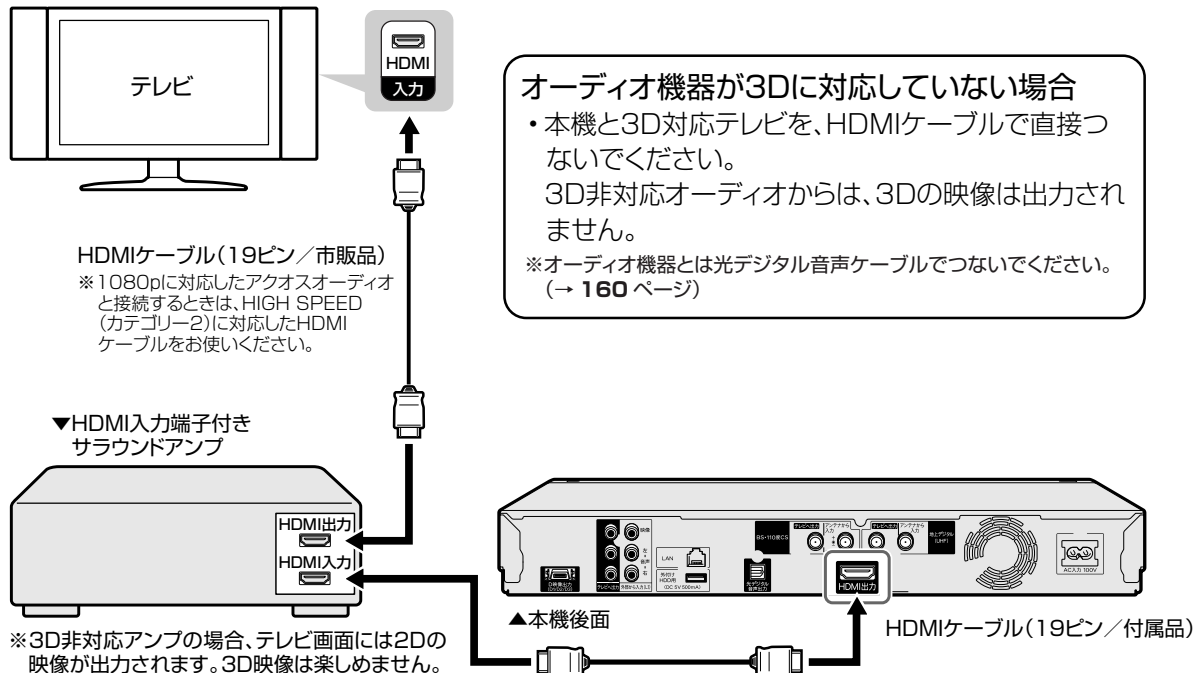
映像・音声出力端子へ

ビデオカメラ

ご注意

- 本機とテレビは直接接続してください。ビデオデッキを経由して本機の映像をテレビに映した場合、コピー防止機能の働きにより映像が乱れることがあります。
- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本機とモニターを直接接続してお楽しみください。

オーディオ機器を接続する場合

HDMI 接続で音声を楽しむときは

本機の音声を HDMI 入力端子付きオーディオ機器で楽しむための接続です。

- 次世代オーディオフォーマットのデコードに対応した AV アンプなどと HDMI 接続することにより、ブルーレイディスクに記録されている最大 7.1ch のロスレスオーディオ「DTS-HD Master Audio」や「ドルビー TrueHD」音声など大迫力の高音質サラウンド音声が楽しめます。
- オーディオ機器側の接続については、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。
- ファミリンク対応のアクオスオーディオ（アクオスサラウンド）を接続する場合は **163**、**164** ページの接続をしてください。

重 要

- 本機に接続した HDMI ケーブルが誤って強く引かれた場合、端子部が破損するおそれがあります。取り扱いにご注意ください。

ご注意

- 接続後は、「ホーム」－「設定」－「映像･音声調整」－「映像･音声設定」の「デジタル音声出力設定」を行ってください。（→ **193** ページ）
  ①「デジタル音声出力設定」で「HDMI 出力」を選択します。
  ② 接続した機器に合わせ、「オート」または「PCM（サラウンド）」に設定します。
- 「デジタル音声出力設定」を「HDMI 出力」に設定したとき、本機から出力される音声は「音声設定と出力される音声について」（→ **161** ページ）をご覧ください。

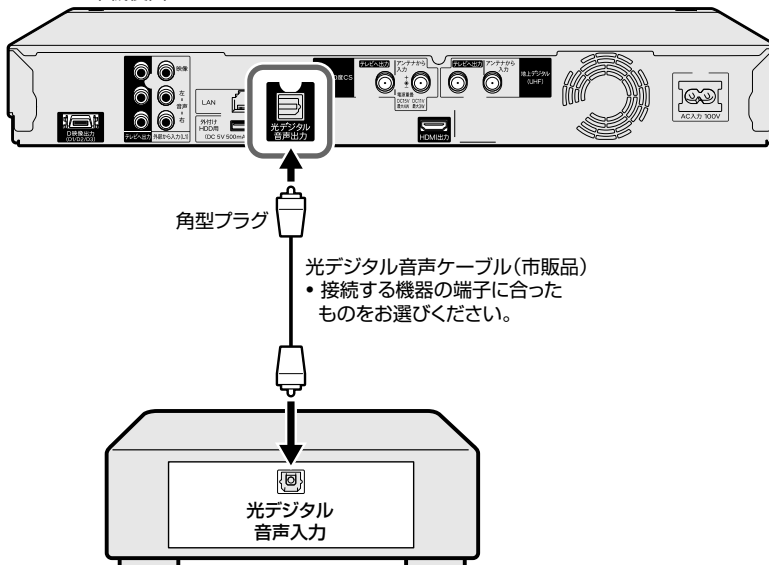
ヒント

- アナログ接続で 2ch オーディオ機器などで音声を楽しむときは、市販の音声コードを使い、本機の音声出力端子（テレビへ出力）で本機とオーディオ機器を接続します。
- オーディオ機器の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

デジタル接続で音声を楽しむときは

本機の音声をデジタル音声入力端子付きオーディオ機器で楽しむときの接続です。

- 通常のステレオ音声に加えドルビーデジタルや DTS などの迫力ある音響効果を楽しめます。
  - ドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドプロセッサーまたはドルビーデジタル /AAC/DTS デジタルサラウンドデコーダー内蔵アンプと本機を光デジタル接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
  - DTS 音声を楽しむには、DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載のプロセッサーまたはアンプが必要です。
  - DTS デジタルサラウンド音声を楽しむときは、ディスク再生時にディスクメニュー（ポップアップメニュー）で DTS 音声を選ぶか、リモコンふた内の音声で DTS 音声を選んでください。音声の選びかたについては、**86** ページをご覧ください。
  - DTS デジタルサラウンドデコード機能搭載の機器と接続したときは、「光デジタル音声出力」（→ **193** ページ）で「ビットストリーム」に設定します。
- オーディオ機器側の接続について詳しくは、オーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。

▼本機後面

▲ドルビーデジタル／AAC／DTSデジタルサラウンド対応プロセッサー、またはアンプなど

ご注意

- 接続後は、「ホーム」－「設定」－「映像･音声調整」－「映像･音声設定」の「デジタル音声出力設定」を行ってください。（→ **193** ページ）
- 「デジタル音声出力設定」を「光デジタル音声出力」に設定したとき、本機から出力される音声は「音声設定と出力される音声について」（→ **161** ページ）をご覧ください。

お知らせ

デジタル音声出力について

- 二ヶ国語放送や二ヶ国語放送を録画した番組の再生では、音声の切り換えはできません。（プロセッサーまたはアンプに音声切換機能があるときは、オーディオ機器側で切り換えてください。）
- 音楽用 CD を再生したとき、音声の切り換えはできません。
- 96kHz/24bit（LPCM）音声を楽しむときは、96kHz に対応しているプロセッサーまたはアンプが必要です。

MD とデジタル接続し、録音して楽しむとき

- 本機と MD をデジタル接続し CD を MD に録音したときに、CD と MD の曲番（トラック番号）が一致しないことがあります。

DTS デコーダーを内蔵していないデジタル入力付きのオーディオ機器や MD プレーヤーとデジタル接続したとき

- DTS で記録されているディスクは正常な音声がでません。

音声設定と出力される音声について

本機とオーディオ機器を HDMI 端子または光デジタルケーブルで接続しているとき、本機の設定によって出力される音声が変わります。本機の「デジタル音声出力設定」、「音声出力方式」、「BD ビデオ付加音声」の設定によって、出力される音声は次のとおりになります。

- 「デジタル音声出力設定」、「音声出力方式」、「BD ビデオ付加音声」は、「ホーム」－「映像･音声調整」－「映像・音声設定」で設定します。
- 再生するオーディオストリームの内容は、ソフトによって異なります。

●デジタル音声出力設定を「HDMI 出力」に設定し、「マルチチャンネル PCM」対応のオーディオ機器と接続

デジタル音声出力設定を「HDMI 出力」に設定したとき、光デジタル音声出力端子から出力される音声は、オーディオストリームに関係なく、PCM（ステレオ）音声になります。

音声出力方式		オート		PCM（サラウンド）	
「BD ビデオ付加音声」の設定		する	しない	する	しない
出力端子		HDMI			
再生するオーディオストリーム	PCM	PCM	PCM	PCM	PCM
	Dolby Digital	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital	PCM	PCM
	Dolby Digital EX※1	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital EX	PCM 5.1ch	PCM 5.1ch
	Dolby Digital Plus※1	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital Plus	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch
	Dolby TrueHD※1	Dolby Digital 5.1ch	Dolby TrueHD	PCM 7.1ch	PCM 7.1ch
	DTS	DTS 5.1ch	DTS	PCM	PCM
	DTS ES	DTS 5.1ch	DTS ES	PCM 5.1ch	PCM 7.1ch※2
	DTS 96/24	DTS 5.1ch	DTS 96/24	PCM 5.1ch	PCM
	DTS 96/24 ES	DTS 5.1ch	DTS 96/24 ES	PCM 5.1ch	PCM 5.1ch
	DTS-HD HR※1	DTS 5.1ch	DTS-HD HR	PCM 5.1ch	PCM 7.1ch
	DTS-HD MA※1	DTS 5.1ch	DTS-HD MA	PCM 5.1ch	PCM 7.1ch

※1 接続する機器がステレオタイプ（チャンネル数に対応していない）のとき、それぞれの音声をデコード対応していないときは、Dolby Digital、DTS、PCM 2ch 音声として出力されます。
※2 DVD ビデオは 5.1ch の音声となります。

●デジタル音声出力設定を「光デジタル音声出力」に設定

- デジタル音声出力設定を「光デジタル音声出力」に設定したとき、HDMI 出力端子から出力される音声は、オーディオストリームに関係なく、PCM（ステレオ）音声になります。
- 音声出力方式を「PCM（ステレオ）」に設定したとき、光デジタル音声出力端子、HDMI 出力端子ともに、出力される音声は、オーディオストリームに関係なく、PCM（ステレオ）音声になります。

音声出力方式		ビットストリーム	
「BD ビデオ付加音声」の設定		する	しない
出力端子		光デジタル	
再生するオーディオストリーム	PCM	PCM ステレオ	PCM ステレオ
	Dolby Digital	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital
	Dolby Digital EX※1	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital EX
	Dolby Digital Plus※1	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital または Dolby Digital EX
	Dolby TrueHD※1	Dolby Digital 5.1ch	Dolby Digital または Dolby Digital EX
	DTS	DTS 5.1ch	DTS
	DTS ES	DTS 5.1ch	DTS ES
	DTS 96/24	DTS 5.1ch	DTS 96/24
	DTS 96/24 ES	DTS 5.1ch	DTS 96/24 ES
	DTS-HD HR※1	DTS 5.1ch	DTS、DTS ES、または DTS 96/24
	DTS-HD MA※1	DTS 5.1ch	DTS、DTS ES、または DTS 96/24

※1 接続する機器がステレオタイプ（チャンネル数に対応していない）のとき、それぞれの音声をデコード対応していないときは、Dolby Digital、DTS、PCM 2ch 音声として出力されます。

ファミリンクを楽しむための接続

ファミリンク対応テレビ・アクオスオーディオと接続

ファミリンク機能は、シャープ製のファミリンク対応機器と HDMI ケーブルで接続したときに働く機能です。それ以外の機器では働きません。（正常に動作しない、または一部の機能しか働きません。）

「アクオス純モード」「クアトロン純モード」について
- ファミリンク対応のシャープ製テレビ「アクオス」「アクオス クアトロン」と HDMI ケーブルで接続し、ファミリンク機能を使用するための設定をしているとき、本機の HDMI 端子から「アクオス」「アクオス クアトロン」に最適な画質で映像が出力される機能です。
- 出力されている映像モードは、「ホーム」－「設定」－「映像･音声調整」－「画質調整」（→ **193** ページ）で確認できます。

ファミリンク対応機種は？
- 以下の手順で「ファミリンク対応」および「アクオス純モード」「アクオス クアトロン純モード」対応の機種がご確認いただけます。
  ① DVD/BD サポートステーション http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/ にアクセスします。
  ②「? Q&A 情報（よくあるご質問）」をクリックします。
  ③「■「Q&A」ピックアップ情報（よくあるご質問）」の「▶AQUOS ファミリンクとは？　対応している機種は？」をクリックします。
  ④ 確認したい製品（「液晶テレビ AQUOS」、「AQUOS ハイビジョンレコーダー／ AQUOS ブルーレイ」、「AQUOS オーディオ／ AQUOS サラウンド（BD1 ビットシアターシステム／ 1 ビットシアターラックシステム）」）をクリックします。

ファミリンクのための接続をしましょう 154、163～164ページ

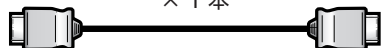
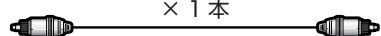
ファミリンクのための設定をしましょう 120 ページ

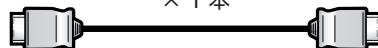
お持ちの機器に合わせて接続しましょう

お持ちの機器（本機と接続する機器）

ファミリンク対応テレビ		アクオスオーディオ※		ご覧いただくページ
3D 対応	3D 非対応	3D 対応	3D 非対応	
○		—		**154**ページ
○	—	○	—	**163**ページ
—	○	○	○	
○	—	—	○	**164**ページ

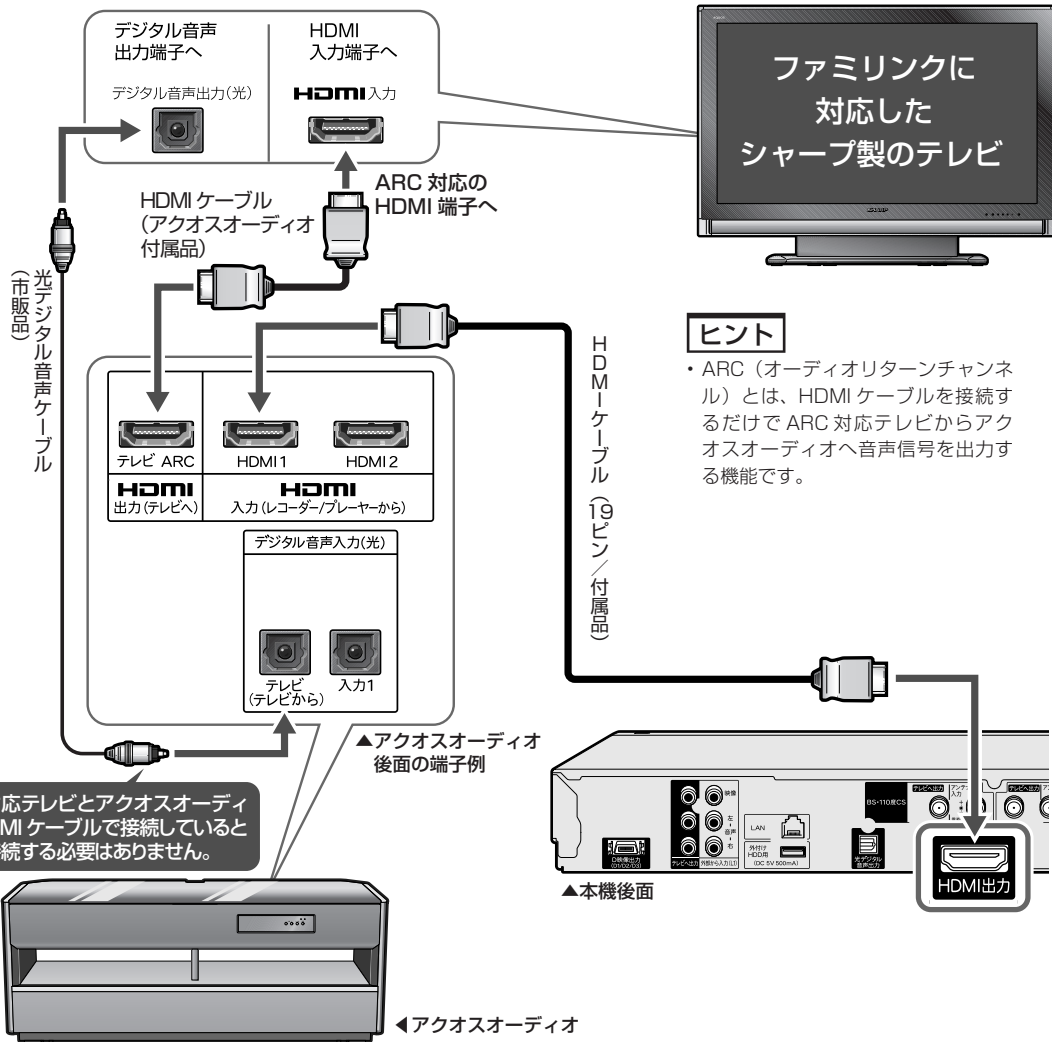
※ AN-ACX1/AN-ACY1/AN-ACR1/AN-ACS1 は、1080p 信号には対応していません。
※ 1080p に対応したアクオスオーディオと接続するときは、HIGH SPEED（カテゴリー 2）に対応した HDMI ケーブルをお使いください。

3D 対応テレビと 3D 対応アクオスオーディオを接続する 3D 非対応テレビと 3D 対応／非対応アクオスオーディオを接続する

準備するもの

重 要

・アクオスオーディオ側の接続については、アクオスオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

安全のため、本機・テレビ・アクオスオーディオなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

接続例：アクオスオーディオ「AN-AR430/AN-AR530/AN-AR630」の場合

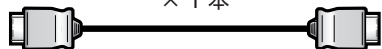
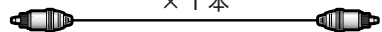
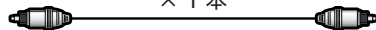
▼テレビ後面の端子例
デジタル音声出力端子へ
HDMI 入力端子へ
デジタル音声出力（光）
HDMI 入力
ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ
HDMI ケーブル（アクオスオーディオ付属品）
ARC 対応の HDMI 端子へ
光デジタル音声ケーブル（市販品）
HDMI ケーブル（19 ピン／付属品）
テレビ ARC
HDMI 1
HDMI 2
HDMI 出力（テレビへ）
HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）
デジタル音声入力（光）
テレビ（テレビから）
入力1
▲アクオスオーディオ後面の端子例
ARC 対応テレビとアクオスオーディオを HDMI ケーブルで接続しているときは、接続する必要はありません。
▲本機後面
HDMI出力
◀アクオスオーディオ

ヒント

・ARC（オーディオリターンチャンネル）とは、HDMI ケーブルを接続するだけで ARC 対応テレビからアクオスオーディオへ音声信号を出力する機能です。

ファミリンクの設定については **120** ページ

3D 対応テレビと 3D 非対応アクオスオーディオを接続する

準備するもの

重 要

• アクオスオーディオ側の接続については、アクオスオーディオに付属の取扱説明書をご覧ください。

安全のため、本機・テレビ・アクオスオーディオなど、接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いて、接続してください。

接続例：アクオスオーディオ「AN-ACX2/AN-AR300/AN-AR310/AN-AR410/AN-AR510/AN-AR600/AN-AR610/AN-AR700」の場合

▼テレビ後面の端子例

デジタル音声出力端子へ

HDMI入力端子へ

デジタル音声出力(光)

HDMI入力

HDMI入力

ファミリンクに対応したシャープ製のテレビ

HDMI ケーブル（アクオスオーディオ付属品）

テレビからアクオスオーディオをファミリンク操作するための接続です。

光デジタル音声ケーブル（アクオスオーディオ付属品）

HDMIケーブル（19ピン／付属品）

HDMI 出力（テレビへ）

HDMI1

HDMI2

HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）

デジタル音声入力(光)

入力1 入力2

▲アクオスオーディオ後面の端子例

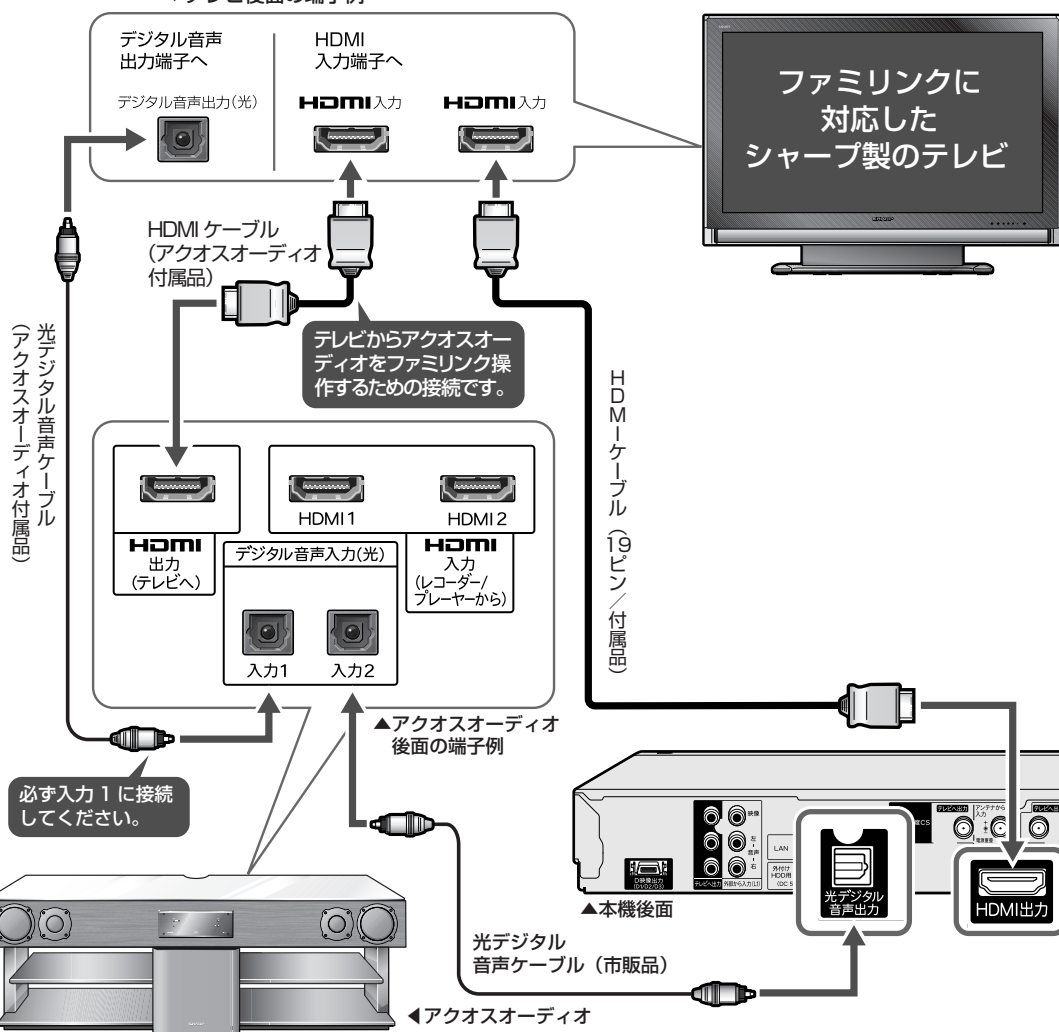
必ず入力 1 に接続してください。

▲本機後面

光デジタル音声出力

HDMI出力

光デジタル音声ケーブル（市販品）

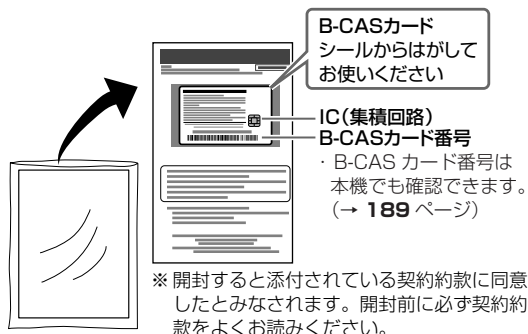
◀アクオスオーディオ

本機のサラウンド音声をアクオスオーディオで楽しみたい場合は、アクオスオーディオの光デジタル音声入力を入力 2 に切り換えてください。

ファミリンクの設定については **120** ページ

B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送を視聴するために、本機に B-CAS カードを必ず挿入してください。
B-CAS カードは、デジタル放送を受信する機器それぞれに挿入することが必要です。

デジタル放送と B-CAS（ビーキャス）カードについて

- B-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送や BS デジタル放送が映りません。
- B-CAS カードの取り扱い詳細は、カードを貼ってある台紙の説明をご覧ください。

地上デジタル放送を見るには

地上デジタル放送の受信には UHF 対応のアンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応であれば、そのままご使用になれます。（※一部取り替えや調整が必要な場合もあります。）

VHF アンテナでは受信できません。
- ご使用のアンテナが VHF アンテナのみの場合は、UHF アンテナの設置が必要になります。

お知らせ
- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

BS・110 度 CS デジタル放送を見るには

BS デジタル放送や 110 度 CS デジタル放送の有料放送を視聴するには放送局への申し込みが必要です。
お客さまが視聴したい番組を放送している放送局の契約申込書に、必要事項をご記入のうえ、投函してください。詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

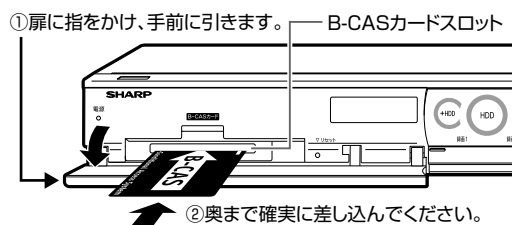
[有料放送の視聴・録画について]

WOWOW などの有料放送を本機で視聴・録画をするには、契約済み B-CAS カードを本機に挿入しておく必要があります。（有料放送は、未契約の B-CAS カードでは視聴・録画が行えません。）

お知らせ
- 本機は、契約データの受信のために、電源「切」（待機状態＝電源ランプ赤色点灯）のときでも動作することがあります。
- 放送局との通信中は、本体表示部に「DATA」と表示されます。

B-CAS（ビーキャス）カードを本機に挿入する

地上デジタル・BS・110 度 CS デジタル放送をご覧いただくには、B-CAS カードを本機に挿入する必要があります。

1 本機前面の扉を開け、B-CAS（ビーキャス）カードを図のように差し込みます

- 表面を上にし、矢印の方向に挿入します。
- B-CAS（ビーキャス）カードを取り出すときはまっすぐに手で引き抜いてください。

2 本機前面の扉を閉めます

- **差し込みが不完全な状態で本機前面の扉を閉めると、カードの破損や本機の故障の原因となります。**

ご注意

B-CAS カードの取扱い上のご注意
- B-CAS カードを挿入するとき、取り外すときは本機の電源を切ってください。
- 本機使用中は、B-CAS カードに触れないでください。
- 差し込み口に B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 本機使用中は、B-CAS カードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- B-CAS カードを折り曲げたり、変形させたり、傷をつけたりしないでください。
- B-CAS カードの上に重いものを置いたり、踏みつけたりしないでください。
- B-CAS カードの金属部には手を触れないでください。
- B-CAS カードを分解、加工しないでください。

B-CAS カードは大切に保管してください
- 仮に他人があなたの B-CAS カードを使用して有料番組を視聴した場合でも、視聴料はあなたの口座に請求されます。

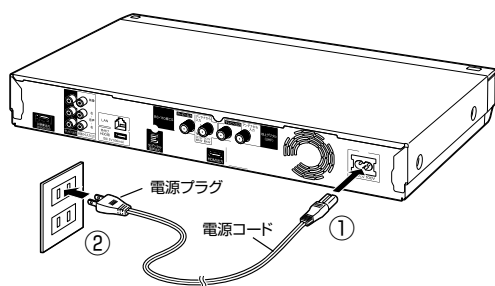
B-CAS カードを破損した場合は
- 破損等により B-CAS カードの再発行を依頼される場合は費用がかかります。
詳しくは、B-CAS カスタマーセンターまでご連絡ください。
（連絡先：0570-000-250）

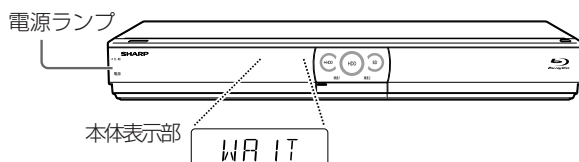
電源プラグを差し込む

重 要

- **電源コードは、束ねずに伸ばしてご使用ください。**
- **機器間の相互干渉による映像の乱れや雑音などを避けるために、電源コードや他のケーブル類をアンテナ線からできる限り離してご使用ください。**

1 電源コードを本体に接続します

2 電源プラグをコンセントに差し込みます

ご注意

- 本機の電源プラグは、アンプなどの電源スイッチに連動した電源コンセントにつながないでください。アンプの電源を切ったときに、本機の設定内容が消去されてしまうことがあります。
- 本機の電源が切れているときは、本体の電源ランプ（赤色）が点灯します。電源プラグを差し込んだときは、自動的にHDD（ハードディスク）の信頼性を確認するため、操作が行えるようになるまで多少時間がかかります。本体表示部の「WAIT」表示が消えるまでお待ちください。「WAIT」表示中は、システム準備中のため、電源を「入」にできません。

WAIT表示（本体表示部）－システム準備中
赤点灯中（電源ランプ）　－待機中
（電源「入」にできます）
緑点灯中（電源ランプ）　－電源入

お知らせ

- コンセントから電源プラグを抜いたあと再び接続して電源を入れた場合、あるいはリセット操作（→**211**ページ）を行うと以下の表示が出ることがあります。表示が消えるまでお待ちください。

電源プラグの抜き差しやリセット操作などにより ディスクを確認しています。完了まで10分以上かかる場合があります。

初期設定する（らくらくセットアップ）

接続後、初めて電源を入れたときはセットアップのための初期設定画面が表示されます。

お知らせ

- 設定したあとで初期設定をやり直したいときは、「設定リセット」（→ **171** ページ）または「個人情報初期化」（→ **198** ページ）を行ってください。「設定リセット」と「個人情報初期化」を行った場合、自動的に電源が「切」になった後で電源を「入」にすると、初期設定画面が表示されます。

テレビの入力を HDMI ケーブルで接続した入力に切り換えても初期設定画面が出ないときは

- HDMI ケーブルが抜けかかっていませんか。

ご注意

- リモコンでお使いのテレビを操作するには、「メーカー指定」の設定を行う必要があります。（→ **173** ページ）
- リモコン操作をすると他のシャープ製 DVD レコーダーや DVD プレーヤーも動作してしまうときは、「リモコン番号」を設定してください。（→ **176** ページ）

基本操作

レコーダー側に

で選択、（決定）で決定

つぎの手順で設定しましょう

1 ケーブルの接続はお済みですか？（アンテナ線、テレビとの接続、LAN などの接続）（→ 150 ～ 164 ページ）

- DLNA 対応テレビ、LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーや DLNA 対応のケーブルテレビ（CATV）デジタルセットトップボックスと接続しホームネットワークを楽しむときは
  ⇒ LAN 接続を済ませてください。（→ **140** ページ）

2 レコーダー（本機）を接続したテレビの入力を確認します

- ここで確認したテレビの入力の番号（「入力 1」など）を、手順 **5** で選択します。

3 レコーダー（本機）に B-CAS カードを挿入します（→ 165 ページ）

4 テレビと本機の電源を入れます

- テレビの電源はテレビのリモコンで入れます。
- 本機の電源は本機のリモコンにあるテレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダー」側に切り換えてから入れます。

5 テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えます

- テレビのリモコンで入力切換ボタンを押し、テレビの入力を切り換えます。
- 入力が正しく切り換わると、「初期設定」画面が表示されます。

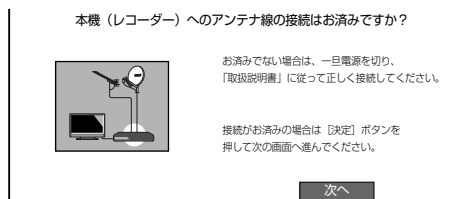
6 初期設定を始めましょう

（決定）を押す

本機（レコーダー）へのアンテナ線の接続はお済みですか？

お済みでない場合は、一旦電源を切り、
「取扱説明書」に従って正しく接続してください。

接続がお済みの場合は［決定］ボタンを
押して次の画面へ進んでください。

次へ

- 接続後、初めて電源を入れたときに「初期設定」画面が表示されない場合については、**171** ページの「初期設定をやり直す」を行ってください。

お知らせ

- こんな画面が出たら「B-CAS カード」を入れ直してください。正しく挿入すると、手順 **7** へ進みます。

B−CASカードを正しく挿入してください。

7 ホームネットワークの設定をします

- ホームネットワーク（ＬＡＮ接続）により、AQUOS で本機を再生したり、他の機器から本機へ録画したりする場合は、「する」に設定します。
- LAN ケーブルの接続は本機の電源を「切」にしてから行ってください。

8 クイック起動を設定します

- 設定内容について詳しくは **172** ページをご覧ください。

次ページへつづく

9 BS・110 度 CS アンテナを接続しているかどうかを選びます

- 「する」または「しない」を選んで決定します。

BS・110度CSデジタルアンテナを接続しますか？

する　しない

す　る	**BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナ線を接続している場合** BS・CS アンテナ電源の供給は、自動的に「オート」に設定されます。(→ **178** ページ) BS 受信強度が低い（60 未満）場合は**下記**の「お知らせ」の画面になります。
しない	**BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナ線を接続していない場合** BS・CS アンテナ電源は「切」に設定されます。

10 タイムシフト視聴の設定をします

※ただし、一定時間ぶんハードディスクに録画できる時間が短くなります。

タイムシフト視聴機能をご使用になりますか？

する　しない

「する」　→　手順 **11** へ
「しない」　→　手順 **12** へ

11 タイムシフトで視聴できる時間を設定します

タイムシフト視聴できる時間を何分にしますか？

30分　60分　90分

※この値はあくまでも目安です。

- タイムシフトの視聴設定は、「ホーム」－「設定」－「機能切換」－「タイムシフト視聴設定」で再設定できます。（**195** ページ）

すでに放送受信設定が完了しているファミリンク対応テレビ「アクオス」と、HDMI ケーブルで接続しているときは

- 「テレビ設定情報取得」画面に進み、チャンネル設定が自動的に始まります。(→ **169** ページ (A) の手順 **13**)

お知らせ

- 下記の画面が表示されたときはアンテナ線の接続を確認してください。

受信強度が６０以上になるように、ＢＳアンテナの調整を行ってください。
それでも解決しない場合は、一旦電源を切りアンテナ線の接続を再確認してください。
調整完了後あるいは、後で調整を行いたい場合は、[決定]ボタンを押してください。

受信強度　ＢＳ

現在値　３０　最大値　３５

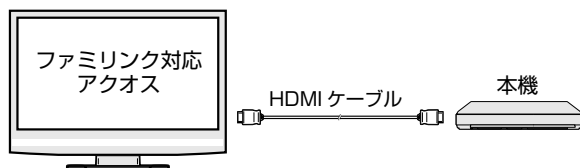
受信状態：アンテナ信号が不足しています。【C】

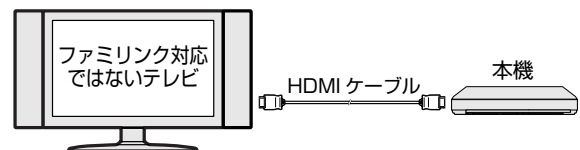
次へ

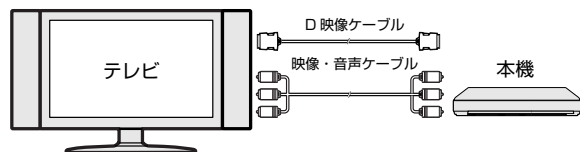
- (決定) を押すとテレビに合わせた設定画面に進みます。

12 レコーダー（本機）を接続したテレビに合わせた設定を行います

- ここからの設定手順は、接続したテレビによって異なります。
  下記をご覧の上、必要な設定を行ってください。

(A) ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」と HDMI ケーブルで接続したとき

169 ページ（A）の手順 13 へ進む

(B) ファミリンク対応ではないテレビと HDMI ケーブルで接続したとき

170 ページ（B）の手順 19 へ進む

(C) テレビと HDMI ケーブル以外（D 映像ケーブル、映像・音声ケーブル）で接続したとき

169 ページ（C）の手順 13 へ進む

ご注意

(C) の接続の場合、接続するテレビに合わせて、次の設定を行ってください。

画面サイズ設定（→ 192 ページ）

- 接続するテレビの画面サイズが「16:9（ワイド）」か「4:3（ノーマル）」かを設定します。
- 「ホーム」－「設定」－「映像･音声調整」－「映像･音声設定」－「画面サイズ設定」で設定します。
- 画面サイズ設定を「4：3」にした場合、引き続き、16：9 の映像を再生するときの設定を行います。「レターボックス」または「パンスキャン」を選びます。

（A）ファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」と HDMI ケーブルで接続したとき

168 ページ手順 12 からのつづき

13 テレビのチャンネル情報が自動的に取得されます

- テレビのチャンネル情報取得は 5 分程度かかる場合があります。設定が完了するまでお待ちください。
- 環境により、チャンネル情報の取得に 5 分以上かかる場合があります。

設定が完了したら 決定 を押します

⇒ テレビ放送画面になります。

- テレビ放送がすべて映るか確認します。（→ **35** ページ）

設定情報取得中に 終了 を押し中止したときは

初期設定を終了しますか？
する　しない

- ◀ を押し、「する」で 決定 を押すと終了します。
- ▶ を押し、「しない」で 決定 を押したときは下記が表示されます。

テレビの設定内容に合わせた設定ができませんでした。

・ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）と、本機が正しくHDMIケーブルで接続されていますか？
・アンテナは正しく接続されていますか？

もう一度テレビから設定内容を取得しますか？
する　しない

- ◀ を押し、「する」で 決定 を押すと**上記**の手順 **13**、「チャンネル情報取得」に戻ります。
- ▶ を押し、「しない」で 決定 を押すと「郵便番号」設定画面となります。（→ **170** ページ）

（C）テレビと HDMI ケーブル以外（D 映像ケーブル、映像・音声ケーブル）で接続したとき

168 ページ手順 12 からのつづき

13 接続したテレビの種類を設定します

接続したテレビのタイプを選択してください。
ハイビジョン対応のテレビ
ハイビジョン非対応のテレビ
わからない

14 接続したテレビの端子を選択します

▼画面例：「ハイビジョン対応テレビ」の場合

接続したハイビジョン対応テレビの映像端子名を選択してください。
D5映像入力端子
D4映像入力端子
D3映像入力端子
コンポーネント映像入力端子（Y，PB，PR）
コンポーネント映像入力端子（Y，PB/CB，PR/CR）
その他の入力端子
わからない

■ **手順 13 でハイビジョン対応テレビを選択したときは**

- 「その他の入力端子」「わからない」を選んだときは、手順 **18** へ進みます。D 映像出力 [D1]、プログレッシブ出力 [しない] となります。

■ **手順 13 でハイビジョン非対応テレビを選択したときは**

- 「その他の入力端子」「わからない」を選んだときは、手順 **16** へ進みます。

15 選択したテレビの端子を決定します

はい を選び 決定 を押す

- 「いいえ」を選んだときは、手順 **14** に戻ります。

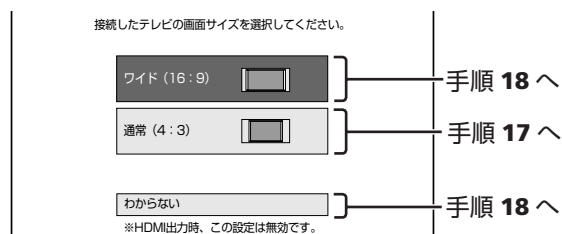
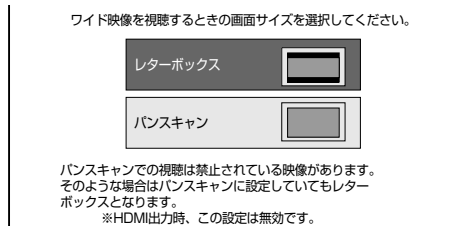
D映像出力の設定を変更しました。
現在の設定はD3/D4/D5です。
確認　再設定

- 「再設定」を選んだときは、手順 **14** に戻ります。

設定が完了したら決定ボタンを押します

確認 を選び 決定 を押す

■ 「ハイビジョン対応テレビ」の場合　⇨手順 **18** へ
■ 「ハイビジョン非対応テレビ」の場合 ⇨手順 **16** へ

16 接続したテレビの画面サイズを選択します

17 ワイド映像を視聴したときの画面サイズを選択します

18 設定された内容を確認し、決定します

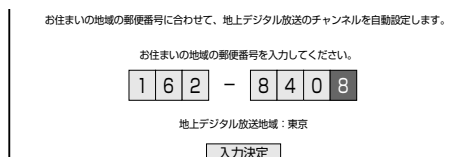
(決定) を押す

- 次に、地上デジタル放送のチャンネル設定に進みます。

(B) ファミリンク対応ではないテレビと HDMI ケーブルで接続したとき

168 ページ手順 12 からのつづき

19 お住まいの場所の郵便番号を設定します

- 数字ボタンで郵便番号を入力します。
- 「0」は [10] で入力します。
- 入力を間違えたときは(◀)または(▶)を押し、間違えたところから再度入力します。

ヒント

- 存在しない郵便番号を入力すると、「後でチャンネル設定を行う」が表示されます。
  郵便番号がわからないときに選んで決定します。
  初期設定が終了したら、郵便番号をお調べになり、**178**、**179** ページの手順でチャンネル設定を行ってください。

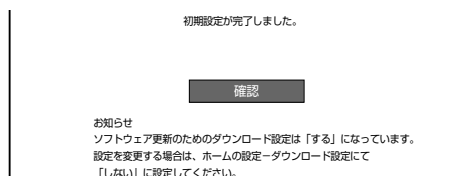
手順 22 へ進みます。

20 「入力決定」を選び、郵便番号を決定します

21 チャンネル設定が自動的に始まります

- チャンネル設定は 5 分程度かかる場合があります。設定が完了するまでお待ちください。

設定が完了したら (決定) を押します

22 初期設定を終了します

「確認」で (決定) を押します

⇒ テレビ放送画面になります。

- テレビ放送がすべて映るか確認します。（→ **35** ページ）

お知らせ

- 初期設定後、本機から D 映像ケーブルを取り外すと、設定は「D1」になります。
  テレビ側の映像端子を「D2」～「D5」または「コンポーネント映像入力端子」に設定していたときは、「設定」の「映像･音声調整」－「映像･音声設定」で「D 映像出力設定」をやり直してください。

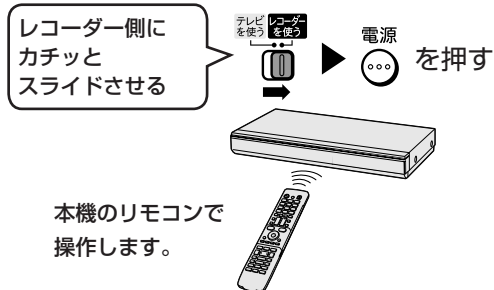
初期設定をやり直す

引越しやテレビの買い換えなどで初期設定をやり直す場合は、次のように行ってください。

1 「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」－「設定リセット」を選んで決定します

2 「リセットする」を選んで決定します

- 自動的に電源が切れます。

3 本機の電源を入れます

- 初期設定画面が表示されます。

4 初期設定をやり直します

▶ **167** ページ手順 **6**

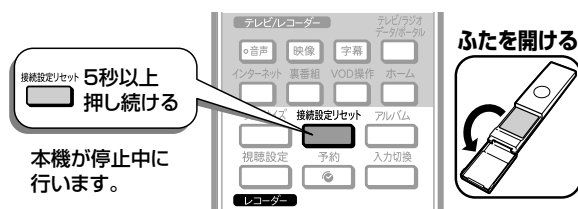
お知らせ

- 設定リセットを実行すると予約内容や番組表データは消去されます。（HDD 内の番組は消去されません。）
- 暗証番号はリセットされません。
- 本体のリモコン番号は「1」に戻ります。リモコンで操作ができなくなったときは、**176** ページをご確認ください。

映像端子とテレビのタイプの設定

「初期設定」で設定できる各項目のうち、次の項目については「初期設定」をやり直さなくても再設定することができます。

設定する項目		選ぶ内容
映像端子設定（接続したテレビの端子名）	D1 端子	「ホーム」－「設定」－「映像·音声調整」－「映像・音声設定」－「D 映像出力設定」で、接続したテレビの端子名を選びます。
	D2 端子	
	D3 端子	
	D4 端子	
	D5 端子	
テレビのタイプ設定	16：9 ワイドテレビ	「ホーム」－「設定」－「映像·音声調整」－「映像·音声設定」－「画面サイズ設定」－「16：9（ワイド）」
	4：3 サイズのテレビ	「ホーム」－「設定」－「映像·音声調整」－「映像·音声設定」－「画面サイズ設定」－「4：3（ノーマル）」

D 映像ケーブルを使ってテレビと接続している場合に誤った設定を行い、テレビ画面に本機の映像が映らなくなったときは（接続設定リセット）

- 「映像同時出力設定」が「D 映像端子優先」に、「D 映像出力設定」が「D1」に変更されます。接続したテレビに合わせて「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」を変更してください。（→ **192** ページ）

確認・基本 視聴 録画・予約録画 再生・消去・編集 ダビング・管理 ファミリンク 携帯電話・カメラ ホームネットワーク 接続 基本設定 各種設定 困ったときは

一発（クイック）起動を設定する

待機状態からおもなボタンを押すだけで、すぐに起動するように設定できます。

ご注意

- 電源プラグを抜くときは、一発（クイック）起動を「しない」に設定してください。
- 一発（クイック）起動の待機中は本体内部の回路がはたらいているため、後面の冷却ファンが回転するなどして、通常の待機（電源切）状態より消費電力が増加します。
- ダウンロードサービス時は開始 5 分前になると一時的に一発（クイック）起動が解除され、すぐに電源が入らない場合があります。
- クイック起動を「する」に設定すると、「しない」ときにくらべて待機時の消費電力が大きくなります。「する（設定 2）」の場合は、電源切後、2 時間すぎると「しない」と同じ消費電力になります。

お知らせ

- 工場出荷時は一発（クイック）起動は「しない」に設定されています。
- 録画や再生操作は、一発（クイック）起動はできません。電源を入れてから操作してください。
- 接続するモニターや端子によっては一発（クイック）起動に多少時間がかかる場合があります。
- エコモード時は一発（クイック）起動は働きません。

基本操作

で選択、決定で決定

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」–「機能切換」–「クイック起動設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 クイック起動を設定します

① する（設定 1）‥起動してすぐに再生や録画をしたり、番組表などを表示することができます。
② する（設定 2）‥電源切後 2 時間は設定 1 と同じ操作ができます。2 時間後からは、待機時の消費電力を抑えるため「しない」と同じ状態で待機します。
③ しない

① 電源が切れている状態から、「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「ホーム画面を表示させる」「録画リストを表示させる」などの操作がすぐに行えます。また、電源が入ったあと「録画」「再生」の操作がすぐに行えます。
② 電源を切ったあと、2 時間は①「する（設定 1)」と同じ操作が行えます。2 時間後からは、待機時の消費電力を抑えるため「しない」と同じ状態で待機します。
③ 一発（クイック）起動しません。

- クイック起動を「する」に設定したときは、待機消費電力が増加します。
- クイック起動を「する（設定 1)」に設定しておくと、本機の電源を「切」にしていてもホームネットワーク機能を使って、DLNA（動画再生）対応のシャープ製液晶テレビ「アクオス」から本機の再生操作が行えます。
- 携帯用動画の自動転送を行う場合は、クイック起動設定を「する（設定 1)」に設定してください。

4 設定を終了します

終了 を押す

⇒ 待機状態（電源切）で 電源   予約（ふた内）のいずれかを押すと、すぐに操作ができるようになります。

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお使いのテレビを操作することができるようになります。（テレビメーカー指定）

重 要

シャープ製テレビをお使いのときは
- **本機のリモコンは、工場出荷時「シャープ C1」に設定されています。そのまま操作できるかご確認ください。**
- 操作できないときは「シャープ C2」→「シャープ A」の順番で設定し、テレビが操作できるか確認します。

1 メーカー指定ボタンを押したまま、電源を 6 秒以上押します

例：シャープ C2 に変更する場合：2 + 電源

- この設定はテレビ／レコーダー切換スイッチがどちら側でも設定できます。

対応メーカーと指定ボタン一覧表

メーカー	指定ボタン
シャープ C1 ※	1 ＋ 電源
シャープ C2	2 ＋ 電源
シャープ A	3 ＋ 電源
パナソニック 1	4 ＋ 電源
パナソニック 2	5 ＋ 電源
日本ビクター	6 ＋ 電源
ソニー	7 ＋ 電源
三菱	8 ＋ 電源
日立	9 ＋ 電源
東芝	10 ＋ 電源
パイオニア	11 ＋ 電源
三洋 1	12 ＋ 電源
三洋 2	地上D ＋ 電源
フナイ	BS ＋ 電源
アイワ	CS ＋ 電源

※工場出荷時

- 同じメーカーで指定番号が 2 つ以上あるものは、順番に試して、手順 **3** でテレビの操作ができるものを選んで設定してください。

2 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にします

テレビ側に
カチッと
スライドさせる

3 リモコンをテレビに向けてテレビが操作できるか確認します

電源 … テレビの電源を入／切する

テレビ入力切換 … テレビの入力を切り換える

選局 … テレビのチャンネルを選局する

音量 … テレビの音量を調整する

お知らせ

- 「シャープ C1」または「シャープ C2」（デジタルチューナーを内蔵したシャープ製のテレビ「アクオス」に対応）の場合は、リモコンのテレビ操作ボタンのすべてが操作できます。
- 手順 **1** で設定した他メーカーのテレビでは、「電源」、「音量」、「選局」、「入力切換」のみが操作できます。
- 「シャープ A」に設定したときは、上記のボタンに加え「消音」の操作が行えます。
  「パナソニック 1」、「ソニー」、「東芝」の 3 社に設定したときは、上記のボタンに加え「地上 D」、「BS」、「CS」、「消音」、「数字ボタン」の操作が行えます。
- 「シャープ C1」「シャープ C2」設定時のみ、テレビ自動入力切換機能がご使用になれます（→ **174** ページ）。

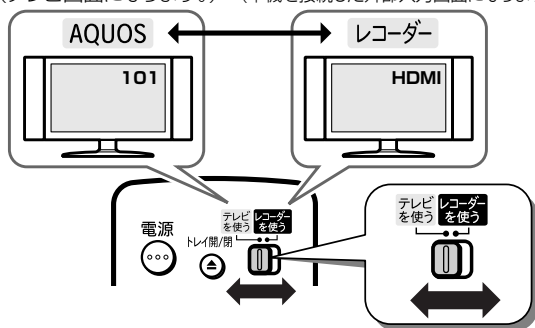
ご注意

- テレビの種類や機種によっては、リモコンで操作できないものや、特定のボタンが操作できないものがあります。
- 本機のリモコンのテレビ操作は、メモリーできるマルチタイプのリモコンに転送できない場合があります。
  メモリーする場合は、テレビのリモコンで転送してください。
- 長時間（約 1 日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、メーカーの設定は「シャープ C1」に戻ります。メーカー指定をやり直してください。

テレビの入力を自動で切り換えるには（テレビ自動入力切換）

本機のリモコンは、シャープ製のデジタルチューナー内蔵テレビ「アクオス」の外部入力を自動的に切り換える機能を持っています。

自動入力切換とは

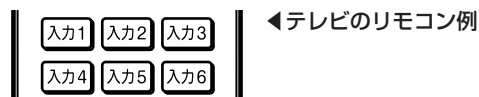
テレビ側に切り換えたとき（テレビ画面になります。） **レコーダー側に切り換えたとき**（本機を接続した外部入力画面になります。）

- 本機のリモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチは、テレビメーカー指定を「シャープ C1」（工場出荷状態）または「シャープ C2」に設定しているとき、テレビの入力切換ボタンを何回か押したときと同じ動作をします。
- リモコンをテレビに向けてテレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側に切り換えるだけで、テレビの入力を、自動的に本機を接続した入力に切り換えることができる便利な機能です。（工場出荷状態では働かない設定になっています。）
- テレビメーカー設定「シャープ C1」または「シャープ C2」で操作できるテレビは、デジタルチューナー内蔵のシャープ製テレビ「アクオス」です。

自動入力切換の設定をする

- 自動入力切換は、工場出荷状態では働かない設定になっています。テレビの外部入力を、本機を接続した入力に自動的に切り換わるように設定するには、**右記**または **175** ページの設定を行ってください。

〔タイプ 1〕（→**右記**）

テレビの入力切換がダイレクトに選べるテレビ

◀**テレビのリモコン例**

〔タイプ 2〕（→ **175** ページ）

テレビの入力切換を何回か押して入力切換を行うテレビ

▼**テレビの画面例**

〔タイプ 1〕の設定

〔タイプ 1〕（ダイレクト入力切換対応）のテレビは、ファミリンク対応の「アクオス」と、LC-45BE1W/LC-45BE2W/LC-37BE1W/LC-37BE2W/LC-37BE10/LC-37BD1W/LC-37BD2W です。設定しても切り換わらないときは〔タイプ 2〕の設定を行ってください。（→ **175** ページ）

- リモコンをテレビの真正面に向けて、リモコンの信号が届く範囲で操作を行ってください。
- リモコンのテレビメーカー指定が「シャープ C1」（工場出荷時）または「シャープ C2」のとき設定できます。

1 **テレビメーカー指定を「シャープ C1」または「シャープ C2」にします（→ 173 ページ）**

「シャープ C1」または「シャープ C2」で操作できないテレビでは、自動入力切換は働きません。

2 **本機を接続したテレビ側の入力端子（入力 1、入力 2 など）を調べます**

- 調べたらメモしておきます。

3 **テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にして、電源を押してテレビの電源を入れます**

- テレビ放送が映ることを確認します。

4 **設定ボタンを押しながら、テレビ入力切換を 6 秒以上押し続けます**

- 次ページの表を見て、手順 **2** で調べた入力に合わせて設定してください。

自動入力切換	設定ボタン
しない（工場出荷時）	10 ＋ テレビ入力切換
入力 1	11 ＋ テレビ入力切換
入力 2	12 ＋ テレビ入力切換
入力 3	地上D ＋ テレビ入力切換
入力 4	BS ＋ テレビ入力切換
入力 5	CS ＋ テレビ入力切換
入力 6	3桁入力 ＋ テレビ入力切換
入力 7	データ d ＋ テレビ入力切換
入力 8	番組情報 ＋ テレビ入力切換

5 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

- 切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
- 切り換わらないときは、「〔タイプ 2〕の設定」（→**下記**）の手順に従って設定し直してください。

〔タイプ 2〕の設定

- ファミリンク対応のテレビをご使用の場合は、［タイプ 1］で設定してください。

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをテレビ側にして、電源を押してテレビの電源を入れテレビに放送が映るようにします

- テレビ放送が映ることを確認します。

2 リモコンを使わずに、本機の本体電源ボタンを押して電源を入れます

- テレビに本機以外の機器（ビデオなど）が接続されている場合、本機以外の機器の電源は切っておきます。

3 テレビ入力切換を押し、入力画面が切り換わるのを確認しながら繰り返し押します

- レコーダー（本機）の画面が何回目に映ったかを確認します。

手順 5 で設定に使用する数字ボタン

入力切換ボタンを押した回数	手順 5 で使用する数字ボタン
1 回	7
2 回	1
3 回	2
4 回	3
5 回	4
6 回	5
7 回	6

4 数字ボタン 1 ～ 12 を押し、テレビ画面に戻します

5 手順 3 でメモした値で設定を行います

設定例

手順 **3** で「5 回目」とメモしたとき

数字ボタン 4 を先に押したまま、テレビ入力切換を 6 秒以上押し続けます。

- 手順 **3** でメモした値から、1 を引いた値が設定に使う数字ボタンです。
- ただし、手順 **3** で「1 回目」とメモしたときは、数字ボタン 7 を使います。
- 数字ボタンは必ず先に押してください。
- 工場出荷時は、数字ボタン 10（切り換わらない）となっています。

6 リモコンをテレビに向けたまま、テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

- 切り換わるまでリモコンの発光部をテレビに向けて操作してください。
- テレビ／レコーダー切換スイッチを切り換えたあと約 3 秒以上たってもテレビの入力が切り換わらないときは、スイッチをテレビ側に切り換え、再度手順 **4** ～ **6** の操作を行い、設定し直してください。
- 入力が切り換わるようすを見ながら操作を行うと、再設定がしやすくなります。

メモ

- テレビ自動入力切換を工場出荷時の状態「しない」（切り換わらない）に設定を戻したいときは

10 を押したまま テレビ入力切換 を 6 秒以上押す

リモコンで操作すると他の機器まで動作してしまうとき（リモコン番号変更）

リモコンで本機を操作する信号には、リモコン番号 1、2、3 の 3 種類があります。
シャープ製 BD・DVD 機器（工場出荷時：リモコン番号 1）をお持ちで、リモコンを使うとシャープ製 BD・DVD 機器と本機が同時に動作してしまう場合は、別のリモコン番号に設定することで、本機のみ動作させるようにできます

- リモコン番号は、本体側とリモコン側で同じ番号に設定します。
- 本体側のリモコン番号を設定した後で、リモコン側のリモコン番号を設定します。

お知らせ

- リモコンで本機を操作しようとしてできない、あるいは他機が動作してしまう場合は、リモコン番号を変更してください。
- 長時間 (約 1 日）リモコンに電池がない状態が続いたときは、リモコン側のリモコン番号が「1」に戻ります。

例）リモコン番号を「3」に変更する場合

はじめに本機側の設定をします

1 テレビ／レコーダー切換スイッチをレコーダー側にします

レコーダー側に
カチッと
スライドさせる

テレビを使う　レコーダーを使う

2 ホーム画面を表示させます

［ホーム］を押す

3 「設定」－「視聴準備」－「リモコン番号設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。

4 「リモコン番号 3」－「はい」を選んで決定します

つづけてリモコン側の設定をします

5 リモコン側のリモコン番号を設定します

［3 さ DEF］を押したまま（決定）を 6 秒以上押す

続いて、リモコン側の番号を本体と同じ番号に設定してください。
現在、本体側のリモコン番号は「3」です。

1．リモコンを本体に向けてください。

2．次にリモコンの[3]を先に押したまま、リモコンの[決定]ボタンを
6秒以上押し続けてください。

※リモコン側の番号が「3」に切換わりました。
リモコンの［終了］ボタンを押して、設定画面が消えたら完了です。

終了　を押してください。

- 「リモコン番号 1」を選んだときは［1 あ .,/］を、「リモコン番号 2」を選んだときは［2 か ABC］を押します。

6 設定を終了します

終了 を押す

ご注意

- 設定中に予約録画開始時刻になったり、電源を切ったりすると、正常に設定が完了しません。

お知らせ

- 「設定リセット」（→ **197** ページ）または「個人情報初期化」（→ **198** ページ）を行うと、本体側のリモコン番号が「本体リモコン番号：1」に戻ります。

本体表示部に表示が出て、リモコンが操作できないときは

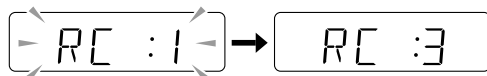
- リモコンで操作したとき本体表示部に「RC:1」、「RC:2」、「RC:3」が点滅する場合は、本体側とリモコン側でリモコン番号が違っています。

■リモコンのリモコン番号を変更するには

本体表示部に表示されている数字と同じ数字ボタンを押しながら、決定ボタンを 6 秒以上押し続けます。
例：本体表示部に「RC:1」が表示されているとき

［1 あ .,/］を押したまま（決定）を 6 秒以上押す

■本体をリモコンのリモコン番号に合わせるには

本体の電源を切ってから、［3桁入力］を本機に向けて 6 秒以上押してください。
本体のリモコン番号がリモコンに合わせて変更されます。
例：リモコン側のリモコン番号が「RC:3」に設定されているとき

■リモコン番号表示が点滅しないのに操作できない場合は、以下のことを確認してください。

- 乾電池が正しくセットされていますか？
- 乾電池が古く寿命がきていませんか？
新しい乾電池と交換してください。
- 本体のリモコン受光部前に障害物がありませんか？
- 他の機種のリモコンを使っていませんか？

デジタル放送を視聴するための設定をする

引越しなどで本機をお使いになる地域が変わった場合、チャンネル設定が必要です。

デジタル放送設定のながれ

設定をする前にご確認ください。

デジタル放送用アンテナの接続と B-CAS カードの準備はお済みですか？

- デジタル放送を視聴するときの接続をする → **150** ～ **152** ページ
- B-CAS カードを本機に挿入する → **165** ページ

・地上・BS・110 度 CS デジタル放送は、B-CAS カードを挿入しないとご覧になれません。

1. 地域と郵便番号を設定する → 178 ページ

- デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われている場合があります。
  お住まいの地域特有の放送が受信できるように、地域と郵便番号を設定してください。
- **この設定は、地上デジタル放送のチャンネルを自動設定する前に必ず設定してください。**

2. BS・110 度 CS デジタル放送を楽しむとき
BS・110 度 CS 共用アンテナの設定をする → 178 ページ

- BS･CS アンテナ電源の設定をします。
- 受信強度を確認し、アンテナの向きを調整します。

3. デジタル放送を楽しむとき
デジタル放送のチャンネル設定をして、電子番組表を受信する

- 地上デジタル放送のチャンネルを自動で設定します。 → **179** ページ
- 地上デジタル放送のチャンネル更新を有効にします。 → **180** ページ
- 電子番組表（G ガイド）データを受信します。 → **180** ページ
- デジタル放送のチャンネルを個別に設定します。 → **181** ～ **182** ページ

4. リモコンに登録されているチャンネルを確認する → 183 ページ

- リモコンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。
  チャンネルの追加登録もできます。

双方向番組に参加したい場合は

- デジタル放送では、テレビ上でのショッピングや、視聴者が参加できるクイズ番組なども放送されています。これらは、双方向通信を利用した番組です。
- 双方向番組は LAN 接続で利用できます。

LAN の設定をする

- LAN 接続をします。 → **140** ページ
- 「デジタル放送接続制限」設定で LAN 接続を（禁止）「しない」に設定します。 → **185** ページ
  （工場出荷時は（禁止）「しない」に設定されています。）
- LAN 設定をします。 → **184** ～ **185** ページ

お知らせ

- 通常のデジタル放送は、LAN 接続を行わなくても楽しめます。

基本操作

で選択、決定で決定

地域と郵便番号設定

お知らせ

- 地域と郵便番号の設定は、チャンネル設定前に必要な設定です。
- 緊急ニュースなどの文字スーパーやデータ放送などは、地域によって放送内容が異なることがありますので、必ず地域設定を行ってください。

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」－「視聴準備」－「デジタル放送視聴設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「地域選択」を選んで決定します

4 本機を使う地域を選んで決定します

5 本機を使う都道府県を選んで決定します

6 「郵便番号設定」を選んで決定します

視聴年齢制限設定
地域選択
郵便番号設定
お住まいの郵便番号を入力してください。
1 6 2 － 8 4 0 8

7 郵便番号を入力して決定します

1 ～ 10 を押す

- 入力を間違えたときは修正したい欄を選んで入力し直してください。
- 「0」は 10 で入力します。
- 戻る を押すと前の画面に戻ります。

8 終了 を押して設定を終了します

BS・110度CS共用アンテナ設定

お知らせ

- BS・110度CS共用アンテナをはじめて設定した場合や引越しなどでアンテナを移動した場合は以下の設定が必要になります。
- 「受信強度表示」や「アンテナ電源設定」、「信号テスト」を選択しているときに表示される受信強度は、アンテナの角度の最適値を確認するためのものです。表示される数値などは、具体的な信号強度などを示すものではありません。

1 「BSデジタル放送」を選局します

BS を押す

- 110度CSデジタル放送の場合は CS を押してください。
- 画面に「放送が受信できません」と表示されても設定は行えます。

2 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

3 「設定」－「視聴準備」－「アンテナ設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。
- 初期設定でBS・110度CS用アンテナ線の接続（→ **168** ページ）が設定済みの場合は、手順 **6** に進んでください。

4 「BS・CSデジタル」－「アンテナ電源設定」を選んで決定します

5 「オート」または「入」、「切」を選んで決定します

「オート」

- 本体の電源が切れているときはアンテナ電源を「切」にします。電源が「切」でも、他の機器（テレビなど）からのアンテナ電源が供給されているときはアンテナ電源を「入」にします。電源入時は常にアンテナ電源を「入」にします。（工場出荷時の設定）

「入」

- 電源入／切にかかわらず常に電源を供給します。
- BS・CSアンテナへの電源供給を本機からのみ行うときは「入」に設定します。

「切」

- 共聴アンテナに接続している場合など、BS・110度CSアンテナへのアンテナ電源を供給する必要がないときに選びます。

6 受信強度が最大値になるようにアンテナの向きを調整します

- 共聴タイプのアンテナの場合はこの操作は必要ありません。
- 受信強度が60以上になるように、アンテナの向きを調整してください。
- 詳しくは、販売店や電気工事店にご確認ください。

7 終了 を押して設定を終了します

アンテナの信号テストをするには

BS・110 度 CS 共用アンテナ、地上デジタル放送用アンテナ（UHF）の信号テストをします。

1 **178ページ「BS・110度CS共用アンテナ設定」の手順 1 ～ 3 を行います**

- 地上デジタル放送の場合は手順 **1** で 地上D を押してください。

2 **「BS・CS デジタル」－「信号テストー BS」を選んで決定します**

- 地上デジタル放送の場合は「地上デジタル」－「信号テストー地上 D」を選んで決定してください。
- 110 度 CS デジタル放送の場合は「BS・CS デジタル」－「信号テストー CS」を選んで決定してください。

3 **確認したい信号のチューナーを選んで決定します**

- チューナーは「録画１用」「録画２用」のいずれかを選んで決定してください。

4 **確認したいチャンネルを選んで決定します**

- 受信強度が 60 以上であることを確認してください。それよりも低い場合は、正常に受信できないことがあります。

5 **「終了」を選んで決定します**

6 **終了 を押して設定を終了します**

アッテネーター（減衰器）設定／BS・CS 信号出力設定

BS・CS 信号出力設定

本機と接続しているテレビが BS・110 度 CS デジタルチューナーを内蔵していないときは「しない」に設定することで待機時消費電力を抑えることができます。

アッテネーター（減衰器）設定

- 地上デジタル放送の電波が強すぎて、放送の映りが悪くなるとき、信号レベルを減衰させ、放送が映るようにするための設定です。
- 初期設定を行ったときは、自動でアッテネーターが設定されますので設定の必要はありません。
- 電波状態の確認は、「信号テスト」で確認できます。

1 **178ページ「BS・110度CS共用アンテナ設定」の手順 1 ～ 3 を行います**

- 地上デジタル放送の場合は手順 **1** で 地上D を押してください。

2 **BS・CS 信号出力設定をするとき**

(1) 「BS・CS デジタル」－「信号出力設定」を選んで決定します

(2) 「する」または「しない」を選んで決定します

- 「しない」に設定したときは、本機と接続しているテレビの BS・CS 放送が映らなくなる場合があります。

アッテネーターを設定するとき

(1) 「地上デジタル」－「アッテネーター設定」を選んで決定します

(2) 「入」を選んで決定します

- 「入」に設定して、地上デジタル放送の映りが悪くなったときは「切」に設定しなおしてください。

3 **終了 を押して設定を終了します**

地上デジタル放送のチャンネル自動設定

地上デジタル放送の受信には UHF アンテナが必要です。

準備 **UHF アンテナを接続します**

▶**150**、**151** ページ

- CATV 放送をご利用の場合は→ **152** ページ

1 **リモコンの 地上D を押し「地上デジタル放送」を選局します**

2 **地域と郵便番号の設定をします**

▶**178** ページ

3 **ホーム画面を表示させます**

ホーム を押す

4 **「設定」－「視聴準備」－「チャンネル設定」を選んで決定します**

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

5 **「地上デジタル」を選んで決定します**

6 **「地上デジタルー自動」を選んで決定します**

7 **「する」を選んで決定します**

⇒ 自動設定が始まります。

8 **「終了」で決定します**

9 **終了 を押して設定を終了します**

地上デジタル放送のチャンネル更新設定

■ 地上デジタル放送のチャンネル更新（変更）について

- 2011 年 7 月 24 日の地上アナログ放送終了にともない、地上デジタル放送のチャンネルが更新（変更）される地域があります。
  そのためこれらの地域では、チャンネルの更新に合わせてチャンネル設定を変更する必要があります。
- 本機は、「チャンネル更新設定」を「自動」に設定すると自動でチャンネル更新情報を取得し、更新開始日と更新開始日の翌日にチャンネルを自動で設定します。
- 通常は「自動」でご使用されることをおすすめします。

1 **179 ページ「地上デジタル放送のチャンネル自動設定」の手順 3 ～ 5 を行います**

2 **「チャンネル更新設定」を選んで決定します**

3 **「自動」を選んで決定します**

お知らせ

- チャンネル更新設定を「自動」に設定したとき
  - 設置直後に電源を切ったときは、約 5 分後に電源が入り更新情報を取得します。
  - チャンネル更新情報が更新されるたびに、本機の電源が入り更新情報を取得します。
  - 更新情報取得中は、本体表示部に「DL」が表示されます。
  - チャンネル更新当日と翌日に自動でチャンネルサーチを行いチャンネルを設定します。

地上デジタル放送の電子番組表データを受信する

お知らせ

- 「番組表取得設定」を「する」に設定し、設定した時刻に本機の電源が切のとき地上デジタル放送の電子番組表データを取得します。（地上デジタルは約 20 分、BS は約 2 時間かかります。）
- 地上デジタル放送の各チャンネルを選局している間も、選んでいる放送局からそのチャンネルの番組表データが送られてきます。
- 電波状態（受信状態）によっては、電子番組表のデータを取得できない場合があります。
- 番組表が表示されない場合、受信できていないチャンネルを番組表で選んで［青］を押しても番組表を受信できます。

1 **リモコンの ［地上D］ を押し「地上デジタル放送」を選局します**

2 **ホーム画面を表示させます**

［ホーム］ を押す

3 **「設定」－「機能切換」－「番組表設定」を選んで決定します**

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

4 **「番組表取得設定」を選んで決定します**

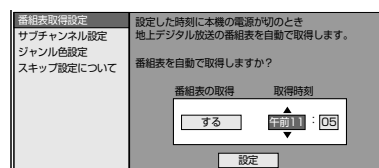
5 **「する」または「しない」を選んで決定します**

「する」

- 設定した時刻に電源が切であれば電子番組表データを取得します。

「しない」

- 視聴している放送局の電子番組表データだけを取得します。

6 **手順 5 で「する」にした場合、時刻を設定します**

7 **「設定」を選んで決定します**

8 **［終了］ を押して設定を終了します**

9 **本機の電源を切ります**

⇒「する」に設定した場合、指定した時刻に番組表データを自動受信します。

- 番組表データ受信中は本体表示部に「PGUIDE」の表示が出ます。（本機から動作音がします。）

⇒ 表示が消えるとデータ取得終了です。

- 電子番組表データを取得しおわると、本体内部の電源は自動的に切れます。（地上デジタルは約 20 分、BS は約 2 時間かかります。）

ヒント

- 指定した時刻に電源が入っているとき（または番組表取得中に電源を入れたとき）は、番組表取得ができません。この場合、次に電源を切った後、自動的に番組表を取得します。

チャンネルの個別設定

登録されたデジタル放送のチャンネルを確認し、登録先のリモコンの数字ボタンを変更したり、選局ボタンでの選局時にスキップするかどうか、あるいは地上デジタル放送のチャンネルに４桁目（枝番）がある場合の設定を行います。

- 工場出荷時、110 度 CS デジタル放送、データ放送（ラジオ放送）はリモコンの数字ボタンには登録されていません。

1 リモコンの 地上D を押し「地上デジタル放送」を選局します

- 「BS デジタル放送」を選局するときは BS を押します。
- 「110 度 CS デジタル放送」を選局するときは CS を押します。

2 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

3 「設定」－「視聴準備」－「チャンネル設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

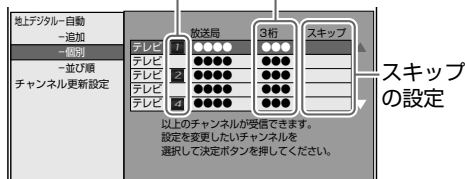
4 「地上デジタル」を選んで決定します

● BS デジタル放送を選局するときは
- 「BS デジタル」を選びます。

⇒ **手順 6 へ**

● 110 度 CS デジタル放送を選局するときは
- 「CS デジタル」を選びます。

⇒ **手順 6 へ**

5 「地上デジタル－個別」を選んで決定します

- 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

6 変更したいチャンネルを選んで決定します

登録先の数字ボタン変更

ここで選んだチャンネルを、お好きなリモコン番号に割り当てることができます。

7 「数字ボタン」を選んで決定します

8 変更したい番号を数字ボタン（1 ～ 12）で入力して決定します

- 他のチャンネルの数字ボタンと重複した場合は「数字ボタンが重複しています。数字ボタンを置き換えますか」画面が表示されます。置き換える場合は「確認」で決定してください。

9 「確認」を選んで決定します

⇒ 数字ボタンの登録内容が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

視聴しないチャンネルのスキップ設定

左記の手順 **6** で選んだチャンネルを、

での選局時にスキップさせることができます。

7 「スキップ」を選んで決定します

8 「する」を選んで決定します

9 「番組表の表示時にも、このチャンネルをスキップしますか？」が表示されたら、「する」を選んで決定します

- スキップ設定した放送のチャンネルが、番組表に表示されなくなります。

⇒ 放送チャンネル一覧表のスキップ欄に「する」が表示されます。

例：デジタル放送選局の場合

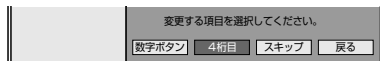
- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

次ページへつづく

地上デジタル放送での 4 桁目（枝番）の変更

3 桁チャンネル番号が重複している場合は 4 桁目（枝番）を変えて区別ができます。

7「4桁目」を選んで決定します

変更する項目を選択してください。
数字ボタン　4桁目　スキップ　戻る

8 変更する4桁目の数字を数字ボタン（1 ～ 10）で入力して決定します

4桁目の枝番

- 4 桁目（枝番）が重複した場合は「4 桁目（枝番）を置き換えますか」画面が表示されます。置き換える 4 桁目（枝番）を入力して決定してください。
- はじめから 4 桁目（枝番）が「0」になっている場合は変更できません。

9「確認」を選んで決定します

⇒ チャンネルの 4 桁目が変更されます。

- 設定を終わる場合は 終了 を押します。

地上デジタル放送のチャンネル番号と枝番について

- 地上デジタル放送では、チャンネルボタン（1～12）のチャンネル番号のほかに、3 桁のチャンネル番号が付けられています。1 つの放送局が複数の番組を同時に放送する場合には、3 桁のチャンネル番号で区別することになります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内（都府県、北海道は 7 地域）ではそれぞれ別番号になっています。したがって、通常は 3 桁で放送番組を特定できます。
  ただし、本機をお使いになる地域によっては、隣接する地域の放送も同じチャンネル番号で受信できることがあります。この場合は、さらにもう 1 桁を入力して選局することになります。その 1 桁の番号を「4 桁目（枝番）」といいます。

チャンネルの追加

自動設定で登録した後に新たに開局した放送局を受信したい場合など、チャンネルを追加する場合の設定です。

1 181 ページ「チャンネルの個別設定」の手順 1 ～ 4 を行います

2「地上デジタル－追加」を選んで決定します

3「する」を選んで決定します

⇒ 追加設定が始まります。

4「終了」で決定します

5 終了 を押して設定を終了します

リモコン番号とチャンネルの並び順変更

1 181 ページ「チャンネルの個別設定」の手順 1 ～ 4 を行います

2「地上デジタル－並び順」を選んで決定します

3「設定 1」「設定 2」のいずれかを選んで決定します

「設定 1」
- リモコン番号 ： 放送局推奨の番号。
- 並び順 ： 放送局推奨の並び順。

「設定 2」
- リモコン番号 ： 放送局推奨の番号。
- 並び順 ： リモコン番号の若い順。

⇒ リモコン番号と並び順が変わります。

4 終了 を押して設定を終了します

地デジ難視対策放送チャンネルを表示させたいとき

- 地デジ難視対策放送とは、電波状況が悪く、地上デジタル放送が受信できない地域への受信対策として、衛星を利用した再送信サービスです。一般の方はご利用できません。
- BS デジタル放送の番組表に表示する場合は、つぎの手順で設定を行ってください。

1 181 ページ「チャンネルの個別設定」の手順 1 〜 3 を行います

2 「地デジ難視対策放送」を選んで決定します

3 「しない」を選んで決定します

- 選局したときや、番組表を表示したときに「地デジ難視対策放送」のチャンネルがすべて表示されます。

リモコンに登録されているチャンネルの確認

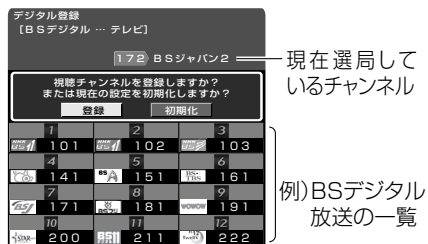
リモコンの数字ボタンに登録されているデジタル放送のチャンネルを確認できます。

1 確認したい放送を選局します

- 登録するときは、登録したいチャンネルを選局します。

2 181 ページ「チャンネルの個別設定」の手順 2 〜 3 を行います

3 「デジタル登録」を選んで決定します

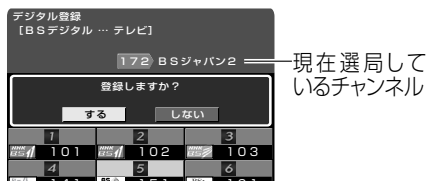
⇒ 登録されているチャンネルの一覧が表示されます。

- テレビ/ラジオ データ/ボータル（ふた内）を押すと、放送の種類が切り換わります。
- 確認だけの場合は 終了 を押して設定を終わってください。

4 登録する場合は「登録」を選んで決定します

- 「初期化」を選んで決定すると、工場出荷時の設定に戻ります。

5 登録したいチャンネルボタンを選んで決定します

- 数字ボタン（1 〜 12）を押すことによっても選択・決定できます。

例）「BS ジャパン 2」（172 チャンネル）を選局している場合で、そのチャンネルを 11 に登録するときはチャンネルボタン 11 を押します。

6 「する」を選んで決定します

7 終了 を押して設定を終了します

LAN の設定をする

- LAN接続の方法、利用できるサービスは、**140**ページをご覧ください。
- LAN の設定方法は、次の 2 種類があります。
  LAN 設定（簡単）.......... LAN を自動で設定します。
  LAN 設定 .... LAN を手動で設定します。
- DHCP サーバー機能のない（使用していない）モデムまたはルーターをお使いの場合は、本機の情報を入力します。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。確認後、メモ欄にメモしておくことをおすすめします。

	メ モ 欄
IP アドレス	
ネットマスク	
ゲートウェイ	
DNS のアドレス	プライマリ
	セカンダリ

またプロバイダの情報も必要です。設定の前に、次の情報がそろっているか、ご確認ください。

プロキシサーバーのアドレス

プロキシサーバーのポート番号

ご注意

- プロバイダとインターネット接続の契約をしていない場合は、LAN 接続での双方向サービスが楽しめません。
- アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube をお楽しみになるときはプロキシサーバーを設定しないでください。プロキシサーバーを通じてインターネットに接続する環境の場合、アクトビラ ビデオ、TSUTAYA TV、YouTube が視聴できない、一部の動作に制限が出ることがあります。

お知らせ

- 電源を入れた状態で LAN ケーブルを接続したときは、回線接続ができない場合があります。

基本操作

で選択、（決定）で決定

LAN 設定（簡単）を行う

ご注意

- 「LAN 設定（簡単）」で LAN 設定ができなかった場合は、手動で LAN 設定を行ってください。（→ **185** ページ）

準備 電源を切った状態で LAN ケーブルを接続します（→ **140** ページ）

1 ホーム画面を表示させます

［ホーム］を押す

2 「設定」－「視聴準備」－「通信（インターネット）設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「LAN 設定（簡単）」－「設定する」を選んで決定します

- 設定中は、「設定中です」の表示が点滅します。

LAN に接続するためのテストをする

4 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

- 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。

● **LAN 設定の内容を確認（再設定）するときは**

- 手順 **3** ～ **4** を行い再設定します。

LAN設定を行う

1 184ページ「LAN設定（簡単）を行う」の準備、手順1～2を行います

2 「LAN設定」－「変更する」を選んで決定します

ヒント

- 「初期化する」を選んで決定すると、LAN設定の内容が工場出荷時の状態に戻ります。

3 IPアドレスを設定します

(1)「する」または「しない」を選んで決定します。

「する」

- IPアドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。）

「しない」

- 「IPアドレス」、「ネットマスク」、「ゲートウェイ」を、ソフトウェアキーボードを使って入力します。（入力方法は、**116**ページをご覧ください。）それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

(2)「次へ」で決定します。

4 DNSのIPアドレスを設定します

(1)「する」または「しない」を選んで決定します。

「する」

- DNSのIPアドレスを自動で取得します。（モデムまたはルーターのDHCPサーバー機能を利用します。）

「しない」

- 「プライマリ」と「セカンダリ」のIPアドレスを、ソフトウェアキーボードを使って入力します。それぞれの欄の設定値は、ブロードバンドルーターの仕様を確認してください。

(2)「次へ」で決定します。

5 プロキシサーバーのアドレスを設定します

(1)「する」または「しない」を選んで決定します。

「する」

- プロバイダから指定されているプロキシサーバーの「アドレス（IPアドレス）」と「ポート（番号）」を、ソフトウェアキーボードを使って入力してください。

「しない」

- 次の手順に進みます。

(2)「次へ」で決定します。

6 詳細な設定をします

(1)「する」または「しない」を選んで決定します。

- 通常は「しない」に設定してください。

「する」　→　手順**7**へ

「しない」　→　手順**8**へ

7 LAN接続スピードを設定します

(1)「自動検出」を選んで決定します。

- 通常は設定の必要がありません。通信がうまくいかないときなどに、設定を変更して確認します。

(2)「次へ」で決定します。

8 設定内容を確認し、「テスト実行」を選んで決定します

- テスト実行は、IPアドレスを自動で取得する設定のときのみです。IPアドレスを自動で取得しない場合は、「テスト実行」は選べません。
- 「完了」を選ぶと設定は保存されますが、テストは行われません。

● LAN設定の内容を確認（再設定）するときは

- 手順**1**～**8**を行い再設定します。

LAN通信を制限する

デジタル放送の双方向サービスのLAN接続、アクトビラ／TSUTAYA TV／YouTubeへのインターネット接続をそれぞれ制限することができます。

1 184ページ「LAN設定（簡単）を行う」の準備、手順1～2を行います

2 「デジタル放送接続制限」または「インターネット接続制限」を選んで決定します

デジタル放送接続制限	デジタル放送の双方向サービスの接続の制限
インターネット接続制限	アクトビラ／TSUTAYA TV／YouTubeへの接続の制限

3 4桁の暗証番号（→200ページ）を[1]～[10]を押して入力します

4 「する」を選んで決定します

5 [終了]を押して設定を終了します

パソコン/スマートフォンから本機をコントロールする(IP コントロール/ボイスリモコン)

IP コントロールとは、パソコンなどから LAN 経由で本機をリモートコントロールする機能です。
- IP コントロール機能を使用するときは、あらかじめ LAN 接続と LAN 設定を行ってください。(→ **140**、**184** ～ **185** ページ)
- IP コントロールは、パソコン(PC)に使いなれたかたのご利用をお願いいたします。

IP コントロールを設定する

1 ホーム画面を表示させます

ホーム を押す

2 「設定」−「視聴準備」−「通信(インターネット)設定」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 「IP コントロール設定」−「変更する」を選んで決定します

4 「する」を選んで決定します

5 必要な情報を入力します

- 各項目はソフトウェアキーボードを使って入力します。(入力方法は、**116** ページをご覧ください。)

設定項目	内容	初期値
機器名	本機の名称を英数字で入力します(最大 12 文字)。お好みの名前に変更できます。	AQUOS BD
ログイン ID	本機にアクセスするときのログイン ID を英数字(最大 8 文字)で入力します。	−
パスワード	本機にアクセスするときのパスワードを英数字(最大 8 文字)で入力します。	−
ポート番号	使用するポート番号を入力します。 1025 ～ 65535 の範囲で設定できます。	10002

- 「機器名」は、ターミナルソフトなどを使い接続する際に必要となる場合があります。
- 「ログイン ID」、「パスワード」は、ターミナルソフトなどで接続する際に必要となります。
- 「ポート番号」は、ターミナルソフトなどに入力する値を設定してください。

6 「完了」で決定します

● **IP コントロール情報を初期化したいときは**

(1) 手順 **3** で「初期化する」を選び 決定 を押します。

(2) 「する」を選んで 決定 を押します。
- IP コントロール情報が初期化されます。

7 終了 を押して設定を終了します

パソコンからコントロールする

パソコンのターミナルソフトで本機に制御コマンドを送信し、本機をコントロールすることができます。

■ 通信のしかた

- パソコンから LAN ケーブルを通じてコマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。
- 本機がコマンドを処理すると、パソコンにレスポンスコードを送ります。

ご注意

- 複数のコマンドを連続して送信しないでください。連続してコマンドを送る場合は、本機からのレスポンスコードを受信してから、次のコマンドを送ってください。

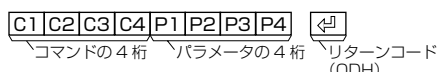
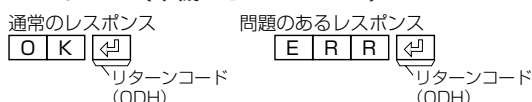
コマンド（パソコンから本機へ）

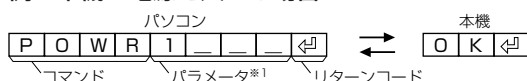
C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	⏎

コマンドの４桁　パラメータの４桁　リターンコード（ODH）

レスポンス（本機からパソコンへ）

通常のレスポンス：O K ⏎　リターンコード（ODH）

問題のあるレスポンス：E R R ⏎　リターンコード（ODH）

■ コマンド一覧

例：本機の電源を入れる場合

機能	コマンド				パラメータ※1			
電源入※2	P	O	W	R	1	_	_	_
電源切	P	O	W	R	0	_	_	_
再生	D	P	L	Y	_	_	_	_
停止	D	S	T	P	_	_	_	_
早送り	D	F	W	D	_	_	_	_
早戻し	D	R	E	V	_	_	_	_
頭出し（前）	D	S	K	B	_	_	_	_
頭出し（後）	D	S	K	F	_	_	_	_
一時停止	D	P	U	S	_	_	_	_

※１ パラメータの「_」はスペースを入力します。

※２「電源入」はクイック起動待機状態のときに受け付けます。

スマートフォンからコントロールする

シャープ製スマートフォンから本機をコントロールすることができます。

お知らせ

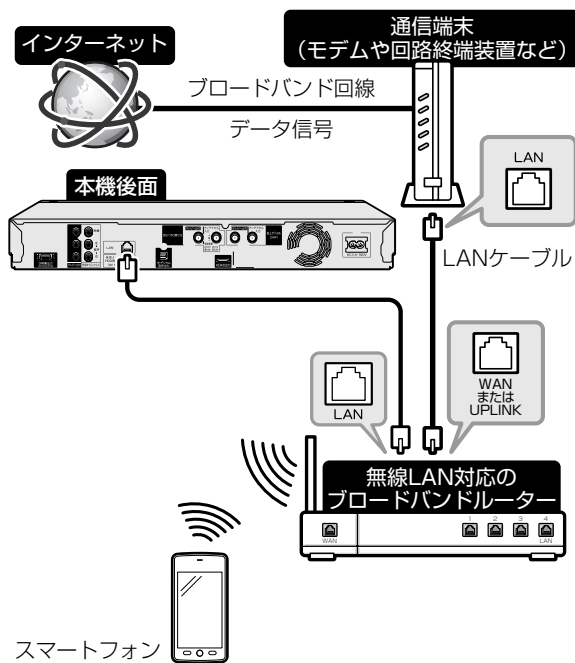
- スマートフォンでコントロールするには、新たにアプリケーションソフトをインストールする必要があります。アプリケーションソフトについて詳しくは、シャープサポートホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/info/voice_remocon.html）でご確認ください。

■ コマンド送信でコントロールする

スマートフォンから制御コマンドを送信し、本機をコントロールすることができます。

■ 音声入力でコントロールする（ボイスコントロール）

スマートフォンに音声を入力することにより、本機をコントロールすることができます。

▼接続例（回線業者やプロバイダにより、必要な機器や接続方法が異なります。）

※ スマートフォンはブロードバンドルーター経由でインターネットに接続してください。

放送局から送られてくるメッセージや情報を見る

放送局からのメッセージや情報を見ることができます。

受信メッセージ確認

準備 テレビと本機の準備をします

▶**33** ページ

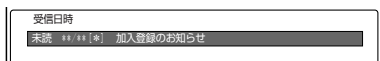
1 ホームメニューから「お知らせ」を選んで決定します

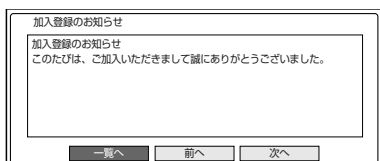
- 常時更新されていますので、「NEW」のマークが表示されているときは、メッセージをお読みください。

2「受信メッセージ一覧」を選んで決定します

3 見たいメッセージを選んで決定します

（例：「加入登録のお知らせ」を見る）

受信日時
未読　**/**[*]　加入登録のお知らせ

4 メッセージの内容を確認します

5「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します

「一覧へ」：受信メッセージが一覧表示されます。
「前へ」　：前のメッセージが見られます。
「次へ」　：次のメッセージが見られます。

6 設定を終了します

終了 を押す

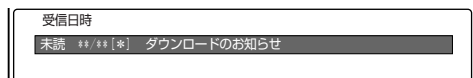
ダウンロードの手動実行

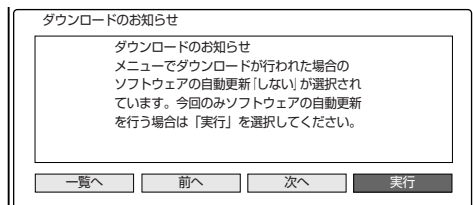
ダウンロードのお知らせメッセージが来ている場合、受信メッセージ一覧でソフトウェアを更新できます。

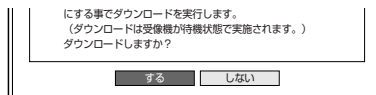
- 「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」の「ダウンロード設定」（→ **199** ページ）が「する」の場合は自動で更新されます。「しない」に設定している場合は、「お知らせ」の「受信メッセージ一覧」でソフトウェアを更新することができます。

1 左記「受信メッセージ確認」の手順 **1** ～ **2** を行います

2「ダウンロードのお知らせ」を選んで決定します

受信日時
未読　**/**[*]　ダウンロードのお知らせ

3 メッセージの内容を確認します

4「実行」を選んで決定します

5 メッセージの内容を確認します

6「する」を選んで決定します

7 **ディスクが本機に挿入されている場合は取り出し、リモコンの（電源）で本機の電源を切ります（電源待機状態にします）**

⇒ ソフトウェア更新（ダウンロード）中は本体表示部に「 dL 」と表示されます。

- 「一発（クイック）起動」機能は、ダウンロードを始める 5 分前になると一時的に解除されます。そのため、電源がすぐに入らない場合があります。

ボード（掲示板）確認（CS 放送）／受信機レポート確認

■ ボード

CS 各ネットワークから送られてくるボード（掲示板）の情報を見ることができます。（ボード情報は消去することはできません。

■ 受信機レポート

以下のような、受信機に関係したレポートを読むことができます。

- 有料放送の課金情報のアップロード（視聴履歴の送信）に失敗したとき
- 予約を実行できなかったとき
- B-CAS カードが壊れたとき

1 **ホームメニューから「お知らせ」を選んで決定します**

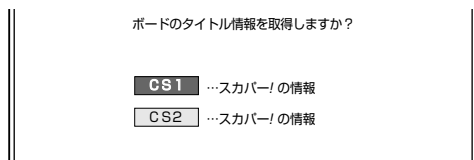
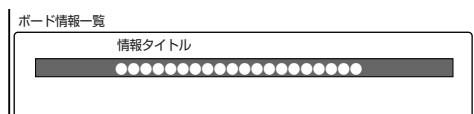
- 詳しくは「受信メッセージ確認」（→ **188** ページ）の手順 **1** をご覧ください。

2 **「ボード」または「受信機レポート」を選んで決定します**

■「ボード」を選んだとき

ボードのタイトル情報を取得しますか？

CS1 …スカパー! の情報

CS2 …スカパー! の情報

⇒ **情報を見たいネットワークを選んで決定します**

- メッセージの内容を確認します。

■「受信機レポート」を選んだとき

⇒ **見たいレポートを選んで決定します**

- アップロードに失敗したときは「再発信」を選んで決定してください。アップロードし直すことができます。
- 表示されたレポートの内容を確認します。

3 **「一覧へ」「前へ」「次へ」のいずれかを選んで決定します**

4 **設定を終了します**

（終了）を押す

B-CAS カード番号表示

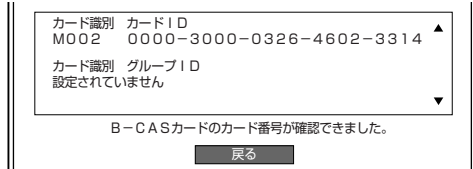
受信機レポートで報告された不具合に関して放送事業者のカスタマーセンターに連絡する場合には、B-CAS カード番号が必要です。本機に挿入されている B-CAS カード番号を表示します。

1 **ホームメニューから「お知らせ」を選んで決定します**

- 詳しくは「受信メッセージ確認」（→ **188** ページ）の手順 **1** をご覧ください。

2 **「B-CAS カード番号表示」を選んで決定します**

3 **「実行」で決定します**

4 **B-CAS カード番号を確認します**

「カード識別」：　メーカー識別用のアルファベット 1 文字と 3 文字の数字からなります。
「カード ID」：　カード固有の番号です。
「グループ ID」：　複数セットで同一契約が可能になります。このときに同一のグループ ID が、異なる B-CAS カードに書き込まれます。

5 **「戻る」で決定します**

6 **設定を終了します**

（終了）を押す

ホームメニューの各種設定をする

- 「設定」には、録画や再生、本機の設置など、本機をより活用していただくための設定項目があります。本機の使用状況に応じて各項目を設定してください。
- 各項目の説明や操作のしかたは、それぞれのページをご覧ください。

お知らせ

・ホーム画面は、約 1 分間何も操作しないと解除され、放送の画面に戻ります。

録画機能設定

番組を録画するときに必要な設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

①携帯電話転送設定

内蔵 HDD に予約録画した番組を「携帯電話転送」に対応した携帯電話に転送するための設定です。
設定方法については、**136** ページをご覧ください。

② HD/MN 録画画質設定

チャプターマーク 録画画質を押して、「HD ○○」（ハイビジョン画質のマニュアル録画画質）、および「MN ○○」（マニュアル録画画質）を選んだときの画質の数値を設定することができます。詳しくは **46** ～ **48**、**50** ページをご覧ください。

設定項目	設定内容
HD ○○	「HD」の数値を 10 段階で選択。 数値：大→高画質録画　数値：小→長時間録画
MN ○○	「MN」の数値を 7 段階で選択。 数値：大→高画質録画　数値：小→長時間録画

③音声記録方式設定

DVD-RW/-R ディスクに録画画質「XP（高画質）」でダビングするときの音声記録方式を選びます。

設定項目	設定内容
ドルビーデジタル 2ch [DD　2ch] ☆	音声をドルビーデジタル 2 チャンネル音声にして記録します。
リニア PCM※ [リニア　PCM]	録画画質を「XP」（高画質）に設定してダビングしたときに、高音質な PCM（非圧縮）音声にして記録します。

- 二重音声をリニア PCM 記録するときは、VR フォーマットの DVD-RW ディスクでも、「二ヶ国語音声設定」で選んだ音声のみ記録されます。

※ 録画画質「XP」（高画質）でドルビーデジタル 2ch に設定して録画した画質よりも、少し画質が落ちます。

④外部入力音声設定

本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。

設定項目	設定内容
ステレオ☆	ステレオ音声を記録します。
二ヶ国語	二ヶ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）を記録します。

- 二重音声付きの映像を録画するときは、必ず「二ヶ国語」を選んでください。「ステレオ」を選んで録画すると、再生時に主音声と副音声が重なって聞こえます。

⑤二ヶ国語音声設定

DVD-RW/-R ディスクにビデオフォーマットで二ヶ国語放送をダビングするときに、主音声を記録するか副音声を記録するかを選びます。

設定項目	設定内容
主音声☆	主音声が記録されます。
副音声	副音声が記録されます。

⑥オートチャプター設定

録画するときに、自動的に入るチャプターの間隔を設定します。

- 「おまかせ」に設定すると、CM の前後などシーン（音声）の切り換わり部分に自動でチャプターマークを記録します。次 ▶▶| で CM 部分を飛ばし見できるなど便利です。（シーンにより CM 以外の箇所にもチャプターマークが記録される場合があります。）…… **W おまかせオートチャプター**
- 複数番組を同時録画中は、すべての番組にオートチャプターが働きます。

設定項目	設定内容
おまかせ※ ☆	CM などシーンの切り換わり部分にチャプターマークを記録します。
10	10 分間隔
15	15 分間隔
30	30 分間隔
切	切

※つぎの場合は録画中のタイトルにおまかせオートチャプターが付きません。

- 外部入力で録画しているとき。外部入力で録画しているタイトルにオートチャプター設定をする場合は、チャプターの間隔を設定してください。

⑦ DVD 自動初期化設定

未使用の DVD-RW ディスクを本機に挿入すると、自動的に初期化されます。その際の録画フォーマットを設定できます。

設定項目	設定内容
VR フォーマット☆	VR フォーマットで自動初期化されます。
ビデオフォーマット	ビデオフォーマットで自動初期化されます。

- VR フォーマット、ビデオフォーマットのいずれかで初期化します。

⑧長時間モード設定

連動データ設定

デジタル放送を録画する場合、テレビ放送と同時に送られてくる連動データ放送を、録画（記録）するか録画（記録）しないかを設定します。

設定項目	設定内容
記録する	連動データを記録します。
記録しない	連動データを記録しません。

- 「DR」時の工場出荷時の設定は「記録する」で、「2 倍」～「12 倍」、「HD ○○」時の工場出荷時の設定は「記録しない」です。
- 予約録画では、「詳細設定」で予約ごとに設定を切り換えることができます。（→ **62** ページ）
- 「する」に設定すると、連動データ放送のデータ量によりディスクへの録画可能時間は短くなります。

マルチ音声設定

マルチ音声（ステレオ二重音声）のデジタル放送番組を「7 倍」「10 倍」「12 倍」の録画画質で録画、ダビングする場合の音声「音声 1」「音声 2」「マルチ音声」を設定します。

設定項目	設定内容
音声 1☆	音声 1 を録画・ダビングします。
音声 2	音声 2 を録画・ダビングします。
マルチ音声	音声 1・音声 2 の両方を録画・ダビングします。

- 「音声 2」を設定していて、音声 2 が放送されていないときは、「音声 1」が記録されます。

⑨ダビング時シーン作成設定

BD や外付け HDD から内蔵 HDD へダビングをするときに、見どころポップアップサーチ時のシーンを作成するための設定です。

設定項目	設定内容
する※	見どころポップアップサーチ時のシーンを作成しながらダビングします。
しない	見どころポップアップサーチ時のシーンを作らずダビングします。

※ 見どころポップアップサーチに表示されるシーンを作成しながらダビングをするときは、通常のダビングより時間がかかります。

■ 二重音声放送を録画するとき

- 二重音声放送を録画したときは、放送されている音声の種類と録画の種類（記録フォーマットや本機の設定）で記録される音声が異なります。

●HDD（内蔵／外付け）、BD（ブルーレイディスク）に録画するとき／ BD にダビングするとき

本機の録画画質設定		DR ／ 2 倍／ 3 倍／ 5 倍／ HD ○○	7 倍／ 10 倍／ 12 倍	SXP/SP/MN ○○※1
放送の種類	マルチ音声※2（ステレオ二重音声など）	すべての音声を記録します。	マルチ音声設定で設定されている音声を記録します。	ダビング時は再生時に選択している音声を記録します。
	モノラル二重音声※3	主／副両方の音声を記録します。		主／副両方の音声を記録します。

●DVD にダビングするとき

HDD（ハードディスク）の録画状態		VR フォーマット	ビデオフォーマット
放送の種類	マルチ音声※2（ステレオ二重音声など）を「DR」、「2 倍」～「12 倍」、「HD ○○」録画	再生時に選択している音声を記録します。	録画制限のあるデジタル放送はダビングできません。
	モノラル二重音声	主／副両方の音声を記録します。リニア PCM 記録するときは、二ヶ国語音声設定で設定されている音声を記録します。	二ヶ国語音声設定※4 で設定されている音声を記録します。

※ 1：デジタル放送録画時は選択できません。
※ 2：デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「音声 1」「音声 2」などと表示されます。
例:「音声 1 は日本語のステレオ放送、音声 2 は外国語でステレオ放送を行っている番組」などをマルチ音声といいます。
※ 3：デジタル放送で放送される場合があります。番組情報で「主」「副」などと表示されます。
※ 4：「ホーム」－「設定」－「録画機能設定」－「二ヶ国語音声設定」で設定します。

映像・音声調整

映像や音声を調整するときに設定します。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

⑩映像・音声設定

映像同時出力設定

HDMI 端子と D 映像端子から映像を同時に出力するときの信号を設定します。

設定項目	設定内容
HDMI 端子優先☆	D 映像端子から出力される信号を、「HDMI 映像出力設定」で設定した信号に合わせます。
D 映像端子優先	HDMI 端子から出力される信号を、「D 映像出力設定」で設定した信号に合わせます。

※「HDMI 端子優先」に設定した場合、BD ビデオの 1080/24p 映像を出力しているときは、D 映像端子から映像が出力されません。
「HDMI 端子優先」に設定した場合、HDMI ケーブルと D 映像ケーブルの両方を接続しているときは、D 映像端子から出力される映像信号が本機の状態により変わります。

※「D 映像端子優先」に設定したときは、「D 映像出力設定」は「D1」（工場出荷状態）に設定されます。そのため、HDMI 出力端子から出力される信号も「D1（480i）」の信号が出力されます。
テレビの HDMI 入力の映像が映らない、または正しく映らないときは、「D 映像出力設定」を「D3 ／ D4 ／ D5」に変更してください。

※「D 映像端子優先」にすると、ファミリンク機能は働かなくなります。

HDMI 映像出力設定

付属の HDMI ケーブル（19 ピン）を使って本機とテレビを接続したときの設定です。本機の HDMI 端子から出力される映像の解像度を設定します。
通常は「オート」に設定してください。

設定項目	設定内容
オート※☆	接続した機器に合わせて自動的に出力します。
1080/60p 固定	1080/60p の映像を出力します。
1080i 固定	1080i の映像を出力します。
720p 固定	720p の映像を出力します。
480p 固定	480p の映像を出力します。

- 1080/24p 対応のテレビと接続しているときは、「オート」に設定してください。

※ BD ビデオなどの 1080/24p 映像を再生しているとき

- 480p または 480i 出力しているときは、96kHz/192kHz の PCM 音声は、48kHz で出力されます。
- ブルーレイ 3D™ を再生するときは、「オート」に設定してください。（映像は、1080/48p もしくは 720/120p で出力されます。）

D 映像出力設定

D 映像ケーブルを使って接続するときは、接続するテレビの端子の種類に合った「D 映像出力設定」が必要です。

設定項目	出力される信号	設定内容
D1 ☆	480i	テレビの D1 映像入力端子と接続するとき。
D2	480p	テレビの D2 映像入力端子と接続するとき。
D3/D4/D5※	1080i	テレビの D3、D4、D5 映像入力端子と接続するとき。

※「D3/D4/D5」に設定していても、BD の再生映像は「480i」で出力されます。
※「D3/D4/D5」に設定していても、DVD の再生映像は「480i」または「480p」で出力されます。
※ D5/D4/D3/D2 映像入力端子付きテレビと D 映像ケーブルを使って接続したとき、再生映像やテレビとの相性により、再生した映像が乱れて見える場合があります。そのようなときは、「D 映像出力設定」を「D1」に設定してください。

- 設定後、D 映像ケーブルを抜き差しすると、設定は D1 に戻ります。

画面サイズ設定

テレビを買い換えたときなど、接続するテレビの画面サイズが変わったときは、「画面サイズ設定」の変更が必要です。
接続するテレビの画面サイズ（横縦比）、映像出力を設定します。

設定項目	設定内容
16:9（ワイド）☆	16：9 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。
4:3（ノーマル）	4：3 画面サイズのテレビと接続するときに設定します。

「4：3（ノーマル）」選択時に表示

設定項目	設定内容
レターボックス☆	画面サイズが 4：3 のテレビと接続して 16：9 映像を再生するとき、16：9 の比率を保ったまま上下に黒い帯を入れて再生します。
パンスキャン	画面サイズが 4：3 のテレビと接続して 16：9 映像を再生するとき、映像の左右をカットして 4：3 のサイズで再生します。（4：3PS 指定の表示がある DVD ビデオで動作する機能です。）

BD ビデオ付加音声

BD ビデオのメニューの操作音や付加音声（P in P の音声など）を出力させるかどうかを選びます。

設定項目	設定内容
する☆	操作音や付加音声を出力します。市販の BD ビデオの「DTS·ES 6.1ch」音声など 6.1ch 以上の音声は、5.1ch 音声になる場合があります。
しない	操作音や付加音声を出力しません。

- DTS · ES 6.1ch 音声などで 6.1ch 以上の音声を出力したい場合は、「しない」に設定します。
- 音声出力については、**161** ページの「音声設定と出力される音声について」をご覧ください。

デジタル音声出力設定

サラウンド対応のオーディオ機器と接続したときの設定をします。

- 設定は下記の「1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。」で、項目のいずれか 1 つだけ設定してください。

1. サラウンド機器と接続した端子の設定をします。

設定項目	設定内容
HDMI 出力※1 ☆	HDMI 出力端子を使って接続したとき。
光デジタル音声出力※2	光デジタル音声出力端子を使って接続したとき。
サラウンド機器を使用しない※3	サラウンド機器を使用しないとき。

2. 上記の「1.」で選択した端子の音声出力方式を設定します。

※ 1「HDMI 出力」を選択したとき

設定項目	設定内容
オート☆	• ドルビーデジタルなどのデコーダーを内蔵した HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • 接続されている機器に適した音声方式で音声を出力します。
PCM（サラウンド）	• マルチチャンネル PCM 対応の HDMI 機器と本機を接続しているときに選択します。 • ドルビーデジタル、DTS、AAC などの各種音声方式で記録された音声をデコードし、PCM で出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

※ 2「光デジタル音声出力」を選択したとき

光デジタル音声出力端子から出力する音声方式を設定します。

設定項目	設定内容
ビットストリーム	ドルビーデジタル、DTS、AAC デコーダーを内蔵したサラウンド機器を接続しているときに選択します。 それぞれの音声をビットストリームで出力します。
PCM（ステレオ）	ステレオ（2ch音声）タイプのオーディオ機器と接続するときに選択します。 それぞれの音声を PCM 2ch 音声に変換して出力します。

- 設定が完了すると設定確認画面になります。

※ 3「サラウンド機器を使用しない」を選択したとき

- HDMI 出力および光デジタル音声出力が「PCM（ステレオ）」音声で出力されます。

音声出力レベル

音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、平均的な音量で再生します。セリフが聞きづらいときに調整します。

設定項目	設定内容
オート☆	• ドルビー TrueHD 音声を再生しているときはディスク情報に基づいた音声出力レベルを自動で調整します。 • ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス音声を再生したときはシフトに設定された音声が出力されます。
切	記録されている音声をそのまま出力します。
ノーマル	ドルビーデジタル音声を再生したとき、ダイナミックレンジを調整し、セリフの部分を聞こえやすいように調整します。
シフト※	「シフト」に設定するとより効果が強くなります。（音声が正常に聞こえないときは「切」にしてください。）

※ 設定する際は、音量を下げてください。大きな音が出たり、スピーカーに過大な入力が入る場合があります。

⑪画質調整

- 再生したタイトルの画質を調整することができます。「アクオス純モード」、「クアトロン純モード」が表示されているときは、シャープ製テレビ「アクオス」、「アクオス クアトロン」に最適な画質の映像が出力されています。
- 「クアトロン純モード」対応のアクオスについては、シャープホームページ（http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/data/intro/familink_01.html）でご確認ください。
- 長時間録画画質で録画された番組を再生するときは、お好みに応じて設定を調整することをおすすめします。

ご注意

- 映像によっては、映像にスジが入ったりちらつくなど、正常な映像にならない場合があります。

高精細設定

映像の精細感を向上させることができます。

設定項目	設定内容
切☆	この機能を使いません
入	映像の精細感が向上します。

- 「クアトロン純モード」のときは、「アクオス クアトロン」側で設定が有効になります。

DNR（デジタルノイズリダクション）設定

映像のノイズを低減して見やすい映像にすることができます。

設定項目	設定内容
弱	映像のノイズを少し低減します。
中	映像のノイズを低減します。
強	映像のノイズを大きく低減します。
切☆	DNR 機能を使いません。

クロマディレイ設定

輝度信号と色信号のズレを調整できます。

設定項目	設定内容
－2、－1、＋1、＋2	輝度信号と色信号のズレを調整します。
切☆	クロマディレイ機能を使いません。

次ページへつづく

ブロック NR（ノイズリダクション）設定
動きの激しい映像などで生じるブロック状のノイズを低減します。

設定項目	設定内容
入	ブロック状のノイズを低減します。
切☆	ブロックノイズリダクション機能を使いません。

モスキート NR（ノイズリダクション）設定
画像の輪郭部分で生じる、ちらつきノイズを低減します。

設定項目	設定内容
入	ちらつきノイズを低減します。
切☆	モスキートノイズリダクション機能を使いません。

⑫音声ガイド設定

音声ガイドに関する設定をします。

音声ガイド実行
ホームメニューなどの音声ガイド（ON/OFF）を設定します。

設定項目	設定内容
する☆	かんたんメニュー操作中に音声ガイドを行います。
しない	音声ガイドを行わない。

音量調整
音声ガイドの音量を設定します。

設定項目	設定内容
大	標準の音量で聞き取りにくいときに設定します。
標準☆	標準の音量です。

安心・省エネ

省エネに関する項目を設定します。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

⑬無操作オフ設定

操作をしない状態が約 3 時間続くと、自動的に電源が切れるように設定できます。

設定項目	設定内容
する	操作をしない状態が約 3 時間続くと、自動的に電源を切ります。
しない☆	電源は自動的に切れません。

• 無操作オフ機能は、再生や録画（ダビング）を行っているときは働きません。

⑭再生後自動オフ設定

最後まで再生し自動停止したとき、自動的に電源を「切」にするように設定できます。シャープ製ファミリンク対応機器と接続しているときは、本機とファミリンク対応機器の電源が自動的に切れます。

設定項目	設定内容
する	再生終了時に自動的に電源を切ります。
しない☆	電源は自動的に切れません。

• 「する」を選ぶと、再生終了時に電源を自動的に切るか、確認メッセージが表示されます。

機能切換

さまざまな機能に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

⑮ファミリンク設定

連動設定
「ファミリンク」を搭載したシャープ製のテレビと HDMI ケーブルで接続したとき、テレビから本機を操作できるようにするか、しないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	HDMI で接続した機器から操作できるようにします。
しない	HDMI で接続した機器から操作できないようにします。

テレビの設定取得
ファミリンクに対応したテレビ（シャープ製）の設定情報を取得し、チャンネルをテレビと同じ設定にすることができます。

⑯番組表設定

番組表取得設定
地上デジタル放送の電子番組表情報を自動で取得するための時間を設定します。取得するための設定については **180** ページをご覧ください。

ジャンル色設定
番組表の色をジャンルごとに、お好みの色に設定することができます。

サブチャンネル設定
番組表のサブチャンネルを表示することができます。

設定項目	設定内容
する	サブチャンネルを表示します。
しない☆	サブチャンネルを表示しません。

⑰画面表示設定

タイムバー表示設定

再生状態に応じて、タイムバーの自動表示をさせるかどうかを設定できます。

設定項目	設定内容
する☆	再生開始時、早送り時（約 1.5 倍速）、スキップ操作時、一時停止操作時などにタイムバーが約 5 秒間表示されます。早送り／早戻し時は動作中常時表示されます。（早送り（約 1.5 倍速）を除く。）
しない	タイムバーを自動表示しません。

※ BD/DVD ビデオ再生時はタイムバーは表示されません。

メッセージ表示設定

本機の再生中に、本機の動作に関するメッセージが表示されることがあります。

再生中のタイトルの字幕にメッセージが重なるのを避けるなど、メッセージを表示したくない場合は、「しない」に設定すると、メッセージのいくつかを非表示にできます。

設定項目	設定内容
する☆	HDD（ハードディスク）や BD（ブルーレイディスク）/DVD/CD の再生中に、本機の動作に関するメッセージを表示します。
しない	HDD や BD/DVD/CD の再生中は、予約開始またはディスク挿入／取り出しに関するメッセージを表示しません。

チャンネル表示設定

タイトルを再生したときにチャンネル情報を表示させるか表示させないかを設定します。

設定項目	設定内容
する	再生時にチャンネル情報を表示します。
しない☆	再生時にチャンネル情報を表示しません。

字幕表示設定

デジタル放送で字幕のある番組を視聴しているときに、常に字幕を表示させるかさせないかを設定することができます。

設定項目	設定内容
する	字幕を常に表示します。
しない☆	字幕を表示させません。

文字スーパー設定

デジタル放送では、災害が発生すると画面に文字情報を表示する場合があります。

本機で受信した放送の視聴中や再生中に、災害発生時の文字情報を表示させるかどうかを、文字スーパー設定で設定できます。

設定項目	設定内容
第 1 言語を表示☆	デジタル放送で送られてくる第 1 言語※1 の文字スーパーを表示します。
第 2 言語を表示	デジタル放送で送られてくる第 2 言語※1 の文字スーパーを表示します。
表示しない	文字スーパーを表示しません。※2

※ 1　第 1 言語や第 2 言語は、放送局や番組によって指定されます。

※ 2　文字スーパーによっては、強制的に表示するものもあります。

⑱液晶設定

液晶バックライト

液晶バックライトや +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプを点灯させるか消灯させるかを設定します。

設定項目	設定内容
点灯☆	電源が入っているときに液晶バックライトや +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプを点灯させます。
予約実行時のみ消灯	電源切（待機）状態で予約録画が始まった場合、液晶バックライトや +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプは点灯しません。就寝中の明かりが気になるときに設定すると便利です。
消灯	液晶バックライトや +HDD ランプ、HDD ランプ、BD/DVD ランプは消灯します。

- 「消灯」に設定しているとき、次の場合は +HDD ランプ、HDD ランプと BD/DVD ランプが点滅表示となります。
  - 電源を入れた後の起動動作中
  - 設定リセット中

⑲電源オフ時計表示設定

本機の電源を切ったときに、本体表示部に時計を表示できます。

設定項目	設定内容
する	時計を表示します。
しない☆	時計を表示しません。

⑳タイムシフト視聴設定

放送視聴時にタイムシフト視聴をするための設定です。タイムシフトする時間を選びます。

設定項目	設定内容
ーー（しない）☆	タイムシフト視聴しません。
30 分、60 分、90 分	設定した時間ぶんタイムシフト視聴します。

- タイムシフト視聴設定を行うと、電源が自動的に「切」になります。再度電源を入れ直すと、設定が有効になります。
- タイムシフトについて詳しくは、**43** ページをご覧ください。

㉑クイック起動設定

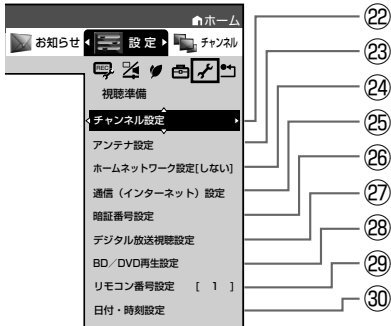
素早く電源を入にして、番組表などを表示することができます。

設定項目	設定内容
する（設定 1）	「電源を入れる」「電子番組表を表示させる」「ホーム画面を表示させる」などの操作や、「録画」「再生」の操作がすぐにできる設定です。
する（設定 2）	電源を切ったあとの 2 時間は、「する（設定 1）」と同じ操作ができます。 電源を切ったあと 2 時間を過ぎると、「しない」の設定と同じになります。
しない☆	クイック起動設定を「切」にします。

- 「クイック起動」が設定されている状態で「ダウンロードサービス」を行うとき、ダウンロードサービスを開始する 5 分前になると、一時的に「クイック起動」設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。
- 操作方法は **172** ページをご覧ください。

次ページへつづく ➡

視聴準備

視聴するための準備に関する設定をします。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

㉒チャンネル設定

各項目について詳しくは **179**、**180**、**181** ～ **183** ページをご覧ください。

㉓アンテナ設定

各項目について詳しくは **178** ～ **179** ページをご覧ください。

㉔ホームネットワーク設定

設定について詳しくは **144** ページをご覧ください。

㉕通信（インターネット）設定

各項目について詳しくは**184**～**187**ページをご覧ください。
放送番組転送画質設定については **145** ページをご覧ください。

㉖暗証番号設定

本機は視聴年齢制限や視聴料金の制限など、各種の制限を設けることができます。これらの制限を通過するときなどに、暗証番号を使います。
設定方法については、**200** ページをご覧ください。

㉗デジタル放送視聴設定

デジタル放送の視聴に必要な設定をします。

視聴年齢制限設定※

年齢制限のある番組の視聴を制限するための設定です。年齢制限は 4 ～ 20 歳の範囲で設定できます。

設定項目	設定内容
数字ボタンで年齢を入力	視聴年齢を制限します。
無制限☆	視聴年齢を制限しません。

※ あらかじめ暗証番号の設定（→ **200** ページ）をしておくことが必要です。

地域選択

設定について詳しくは **178** ページをご覧ください。

郵便番号設定

設定について詳しくは **178** ページをご覧ください。

㉘ BD/DVD 再生設定

視聴制限レベル

ディスクの内容により、視聴制限を設定できます。設定方法については **200** ページをご覧ください。

DVD ビデオ視聴制限レベル

• 視聴制限は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
1	子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向けディスク（R 指定含む）は再生できません。
2 ～ 3	一般向けディスク（R 指定を除く）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクと一般向け制限付き（R 指定）ディスクは再生できません。
4 ～ 7	一般向けディスク（R 指定を含む）と子供向けディスクを再生できます。成人指定ディスクは再生できません。
8	すべてのディスクを制限無しで再生できます。
切☆	視聴制限を「切」にします。

BD ビデオ視聴制限年齢

• BD ビデオの視聴制限年齢を設定できます。

設定項目	設定内容
無制限☆	年齢制限をしません。
0 歳を制限～ 99 歳以下を制限	0 歳～ 99 歳の間で年齢制限をします。

国コード（国コード一覧 **200** ページを参照）

設定項目	設定内容
（国コード）	国コードを選びます。

ディスク優先言語

画面に表示するメニューや、音声の言語を選択できます。設定方法については **200** ページをご覧ください。

字幕言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	字幕の言語コードを選びます。

音声言語

設定項目	設定内容
（言語コード）	音声の言語コードを選びます。

メニュー言語（言語コード一覧 **200** ページを参照）

設定項目	設定内容
（言語コード）	メニューの言語コードを選びます。

• 画面に表示されるメニューや音声の言語はディスクによって異なります。上記の設定を行っても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示／非表示や切り換えを禁止している場合があります。また、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

アングルマーク表示

BD · DVD ビデオのタイトルで、マルチアングルで録画されたシーンを再生中に、アングルマーク「 」を画面に表示します。

設定項目	設定内容
する	アングルマークを表示します。
しない☆	アングルマークを表示しません。

BD-LIVE 設定

- BD-LIVE 対応の BD ビデオには、インターネット経由（LAN 経由）で追加の映像や字幕、通信対応のゲームなどができるものがあります。BD-LIVE 設定で、インターネットへの接続の許可や禁止の設定ができます。
- BD-LIVE 設定は、「暗証番号」を設定した場合のみ設定できます。

設定項目	設定内容
許可する	全てのディスクを許可します。
制限付許可☆	不正に作られたディスクなど、BD-LIVE 番組制作者の証明書が含まれていないディスクのインターネットへの接続を制限します。
禁止する	全てのディスクを禁止します。

3D 切換設定

- ブルーレイ 3D™ を、3D または 2D のどちらで再生するか、設定できます。
- この設定は、「HDMI 映像出力設定」（→ **192** ページ）を「オート」にした場合に設定できます。

設定項目	設定内容
オート☆	3D 映像で視聴するときに選択します。
2D	2D 映像で視聴するときに選択します。

- 早送り、早戻し中は 2D 再生となります。

3D 通知設定

ブルーレイ 3D™ の再生時に、再生に関する注意文を表示させるか表示させないかを設定します。

設定項目	設定内容
する☆	再生時にブルーレイ 3D™ の注意文を表示します。
しない	再生時にブルーレイ 3D™ の注意文を表示しません。

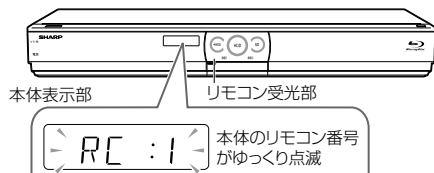
- 「する」を選ぶと、ブルーレイ 3D™ の再生時に注意文が表示されます。

㉙リモコン番号設定

リモコン番号を設定できます。

- 詳しくは **176** ページをご覧ください。

お知らせ

リモコンで操作したとき、本体表示部にこんな表示が出たときは

- リモコンで操作したとき本体表示部に「RC:1」、「RC:2」、「RC:3」の表示が点滅する場合は、本体側とリモコン側でリモコン番号が違っています。
- 本体表示部に表示されている数字のリモコン数字ボタンを押しながら、決定ボタンを 6 秒以上押し続け、本体側とリモコン側のリモコン番号を合わせます。

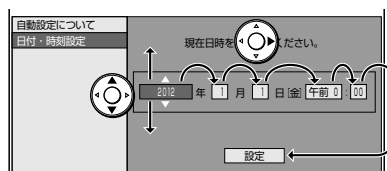
㉚日付・時刻設定

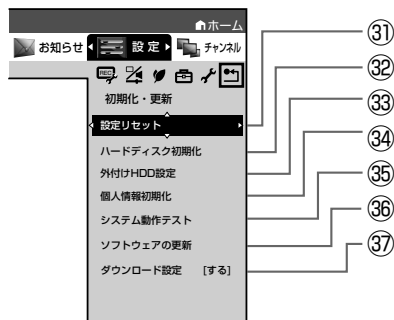
自動設定について

デジタル放送を受信している場合、日付・時刻の設定は自動的に行われます。受信していない場合は設定を行ってください。

日付・時刻設定

予約設定の前に時計が合っていることを確認し、合っていない場合は時計を合わせてください。
デジタル放送を受信すると自動的に日付・時刻が設定されますので、この設定は不要です。

の左右で選び上下で設定する

初期化・更新

初期化や更新を行うときに設定します。（☆の付いた項目は、工場出荷時の設定／設定リセットをした後の設定です。）

㉛設定リセット

システムに保存している情報を初期状態（工場出荷時の状態）に戻します。

設定項目	設定内容
リセットする	リセットして、本機に保存している情報を、初期状態に戻します。
リセットしない☆	リセットしません。

- リセットを実行すると、予約内容、番組表データは消去されますが、HDD（ハードディスク）内の録画番組は消去されません。また、暗証番号の設定はリセットされません。
- 設定リセットを行うと、自動的に電源は「切」となります。
- 操作方法は **171** ページをご覧ください。
- リモコン番号は 1 に戻ります。
（リモコンで操作ができなくなったら、「㉙リモコン番号設定」の お知らせ をご確認ください。）

㉜ハードディスク初期化

内蔵 HDD（ハードディスク）に録画した番組などをすべて消去し、内蔵 HDD をお買い上げ時の状態に戻します。
お買い上げ時、内蔵 HDD は初期化された状態ですので、初期化の必要はありません。
以下のようなときに初期化をします。
- 内蔵 HDD 内の番組を消去しても空き容量（残量時間）が増えないとき。
- 本機のエラーが発生し、リセット操作をしても改善されないとき。
- 内蔵 HDD 内のタイトル（録画した番組）をすべて消去し、リフレッシュさせたいとき。

ご注意
- 初期化により消去されたタイトルは元に戻せません。大切なタイトルは、BD（ブルーレイディスク）または DVD ディスクにダビングしてから初期化してください。

設定項目	設定内容
する	内蔵 HDD を初期化します。 内蔵 HDD に録画済みの番組などが、全て消去されます。
しない☆	初期化しません。

㉝外付け HDD 設定

登録
外付け HDD（ハードディスク）を本機に登録します。
設定方法については、**32** ページをご覧ください。

名称変更
外付け HDD（ハードディスク）の名称変更をします。
設定方法については、**32** ページをご覧ください。

取り外し
外付け HDD（ハードディスク）を本機から取り外す場合に実行します。
設定方法については、**32** ページをご覧ください。

登録解除
外付け HDD（ハードディスク）の登録を解除します。
設定方法については、**32** ページをご覧ください。

初期化
外付け HDD に録画した番組などをすべて消去し、外付け HDD をお買い上げ時の状態に戻します。

設定項目	設定内容
する	外付け HDD を初期化します。 外付け HDD に録画済みの番組などが、全て消去されます。
しない☆	初期化しません。

ご注意
- 初期化により消去されたタイトルは元に戻せません。大切なタイトルは、内蔵 HDD（ハードディスク）にダビングしてから初期化してください。

㉞個人情報初期化

本機には、放送局とデータの送受信をするために入力した、お客様の個人情報が記憶されています。
本機を他人に譲渡したり、廃棄したりする際には、個人情報の初期化を行い、情報を消去してください。
録画したタイトルは消去されません。録画したタイトルも消去したい場合は、ハードディスクの初期化（→**左記**）を行ってください。

個人情報初期化

設定項目	設定内容
全ての情報を消去	個人情報が初期化されます。
外付け HDD の情報を残して消去	外付け HDD の登録情報を残して、個人情報が初期化されます。
しない☆	個人情報が残ります。

- 個人情報初期化を行うと、設定が工場出荷時の状態に戻り、自動的に本機の電源が切れます。
- リモコン番号は 1 に戻ります。
（リモコンで操作ができなくなったら、**197** ページ「㉙リモコン番号設定」の お知らせ をご確認ください。）

ご注意
- 外付け HDD 使用時、「全ての情報を消去」を選ぶと、外付け HDD に記録したタイトルは再生できなくなります。

BD ビデオ用データ初期化
BD ビデオ再生時の操作で動作が遅くなったり正常に再生しなくなる場合に、BD ビデオデータの初期化を行います。

設定項目	設定内容
初期化する	内蔵 HDD（ハードディスク）に記録された BD ビデオ用データをすべて消去し、初期状態にします。
初期化しない☆	BD ビデオ用データを初期化せず残します。

ご注意
- 「BD ビデオ用データ初期化」を実行すると、BD ビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。

㉟システム動作テスト

アンテナが正しく接続されているか、また、B-CAS カードが正しく装着されているかなどをテストすることができます。
- テストに失敗したときは、「アンテナを接続する」（→ **149** ～ **152** ページ）、「B-CAS（ビーキャス）カードを本機に挿入する」（→ **165** ページ）が正しく行われているかどうか、ご確認ください。
- 本機のソフトウェアのバージョン情報を確認することもできます。

㊱ソフトウェアの更新

ご注意

- 暗証番号を設定している場合は入力してください。
- ソフトウェアの更新をしようとしたとき、30 分以内に予約が設定されている場合は更新できません。予約終了後に更新を行ってください。
- ディスクを取り出してから行ってください。

USB メモリー

USB メモリーを使用して本機のソフトウェアを更新できます。

設定項目	設定内容
開始する	USB メモリー内の更新ファイルで本機のソフトウェアを更新します。
開始しない☆	更新しません。

- USB メモリーは本体前面のデータ送受信端子に差し込んでください。正しく差し込まれていないときは更新できません。

ネットワーク

- 本機をインターネットに接続している場合、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新できます。

設定項目	設定内容
する	ネットワークサーバーから最新のソフトウェアをダウンロードし更新します。
しない☆	更新しません。

㊲ダウンロード設定

電源「切」のとき自動ダウンロードでソフトウェアの更新を行うかどうかを設定します。（ソフトウェアを自動更新することで本機の機能改善などに対応することができます。）

設定項目	設定内容
する☆	自動ダウンロードを行います。
しない	自動ダウンロードを行いません。

ダウンロード中は、本体表示部に「DL」と表示されます。

ダウンロードサービスについて

- ダウンロードサービスとは、地上デジタル放送およびBS デジタル放送の電波を利用してソフトウェアの更新を行うサービスのことです。
- ダウンロードサービスによりソフトウェアの更新が行われるときは、本機の電源が自動的に入ります。
  ソフトウェアの更新中は、本機前面の +HDD ランプ、HDD ランプと BD/DVD ランプが点滅（点灯）します。
  本体表示部には「DL」の表示が出ます。
- テレビの入力を本機を接続した入力に切り換えたときは、「ダウンロード中です」の表示が出ます。
- ダウンロードサービス中は、電源コードを抜いたりリセット操作を行わないでください。

視聴制限のための設定する

暗証番号を設定する

視聴制限のための暗証番号を設定します。

ご注意

- 初期化したときは、データ放送などで、再度情報の入力が必要となります。また、ポイント情報なども初期化されます。

お知らせ

- **暗証番号は忘れないように必ずメモしてください。**

暗証番号を忘れたときは

- 「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」－「個人情報初期化」で個人情報を初期化することでリセットされます。他の設定項目もリセットされ、工場出荷状態に戻ります。

1 「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「暗証番号設定」を選んで決定します

2 「する」を選んで決定します

3 4桁の暗証番号を入力します

1～10を押す

4 確認のためもう一度入力します

5 「確認」で決定します

決定 を押す

⇒ 暗証番号設定

- 終了 を押して終了します。

視聴制限とディスク優先言語を設定する

視聴制限で国コード、ディスク優先言語で言語コードを設定します。

お知らせ

- 「ディスク優先言語」で選ぶ言語コードについては下記をご覧ください。

1 「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「BD/DVD 再生設定」を選んで決定します

2 「視聴制限レベル」を選んで決定します

3 暗証番号を入力します（左記）

4 それぞれ選んで決定します

- 視聴制限レベルについては **196** ページをご覧ください。
- 国コードについては下記をご覧ください。

5 「ディスク優先言語」を選んで決定します

6 それぞれの項目の言語を選んで決定します

- 終了 を押して終了します。

国コードの一覧表

国
アメリカ
カナダ
日本
ドイツ
フランス
イギリス
イタリア
スペイン
スイス
スウェーデン
オランダ
ノルウェー
デンマーク
フィンランド
ベルギー
香港
シンガポール
タイ
マレーシア
インドネシア
台湾
フィリピン
オーストラリア
ロシア
中国

言語コードの一覧表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	コード	言語
AA	アファル語	FY	フリジア語	LV	ラトビア語、レット語	SL	スロベニア語
AB	アブバジア語	GA	アイルランド語	MG	マダガスカル語	SM	サモア語
AF	アフリカーンス語	GD	スコットランドゲール語	MI	マオリ語	SN	ショナ語
AM	アムハラ語	GL	ガルシア語	MK	マケドニア語	SO	ソマリ語
AR	アラビア語	GN	グアラニ語	ML	マラヤーラム語	SQ	アルバニア語
AS	アッサム語	GU	グジャラート語	MN	モンゴル語	SR	セルビア語
AY	アイマラ語	HA	ハウサ語	MO	モルダビア語	SS	シスワティ語
AZ	アゼルバイジャン語	HI	ヒンディ語	MR	マラータ語	ST	セストゥ語
BA	バジキール語	HR	クロアチア語	MS	マレー語	SU	スンダ語
BE	ベラルーシ語	HU	ハンガリー語	MT	マルタ語	SV	スウェーデン語
BG	ブルガリア語	HY	アルメニア語	MY	ミャンマー語	SW	スワヒリ語
BH	ビハーリー語	IA	国際語	NA	ナウル語	TA	タミール語
BI	ビスラマ語	IE	国際語	NE	ネパール語	TE	テルグ語
BN	ベンガル語、バングラ語	IK	イヌピック語	NL	オランダ語	TG	タジク語
BO	チベット語	IN	インドネシア語	NO	ノルウエー語	TH	タイ語
BR	ブルトン語	IS	アイスランド語	OC	プロバンス語	TI	ティグリニャ語
CA	カタロニア語	IT	イタリア語	OM	アファン語（オロモ語）	TK	トゥルクメン語
CO	コルシカ語	IW	ヘブライ語	OR	オリヤー語	TL	タガログ語
CS	チェコ語	JA	日本語	PA	パンジャブ語	TN	セツワナ語
CY	ウェールズ語	JI	イディッシュ語	PL	ポーランド語	TO	トンガ語
DA	デンマーク語	JW	ジャワ語	PS	パシュトー語	TR	トルコ語
DE	ドイツ語	KA	グルジア語	PT	ポルトガル語	TS	ツォンガ語
DZ	ブータン語	KK	カザフ語	QU	ケチュア語	TT	タタール語
EL	ギリシャ語	KL	グリーンランド語	RM	ラエティ＝ロマン語	TW	トウィ語
EN	英語	KM	カンボジア語	RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語	RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥ語
ES	スペイン語	KO	韓国語	RU	ロシア語	UZ	ウズベク語
ET	エストニア語	KS	カシミール語	RW	キニャルワンダ語	VI	ベトナム語
EU	バスク語	KU	クルド語	SA	サンスクリット語	VO	ボラピュク語
FA	ペルシャ語	KY	キルギス語	SD	シンド語	WO	ウォロフ語
FI	フィンランド語	LA	ラテン語	SG	サンゴ語	XH	コーサ語
FJ	フィジー語	LN	リンガラ語	SH	セルビアクロアチア語	YO	ヨルバ語
FO	フェロー語	LO	ラオス語	SI	シンハラ語	ZH	中国語
FR	フランス語	LT	リトアニア語	SK	スロバキア語	ZU	ズール語

ソフトウェアを更新する

USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する

- 地上デジタル放送および BS デジタル放送を受信していないときや、CATV など外部チューナーを経由して放送を受信しているときなど、放送の電波を通してソフトウェアの更新ができない場合は、USB メモリーを使用してソフトウェアの更新が行えます。
- ソフトウェアの更新を行う際は、予め更新用ソフトウェアをパソコンを使用して USB メモリーに書き込んでおく必要があります。

■ ソフトウェアの更新情報について

- ソフトウェアの更新情報は、パソコンを使用してシャープホームページ内のサポートステーションでご確認ください。【シャープサポートステーション⇒ http://www.sharp.co.jp/support/av/dvd/】
- 更新用ソフトウェアが公開されているときは、パソコンにダウンロードした後、USB メモリーにコピーしてください。

重 要

- データの更新中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

お知らせ

- ソフトウェアの更新をしようとしたとき、30 分以内に予約が設定されている場合は更新できません。予約終了後に更新を行ってください。

基本操作

で選択、(決定) で決定

レコーダー側に

1 本体前面のデータ送受信端子に、更新用ソフトウェアを書き込んだ USB メモリーを取り付けます

ヒント

- 更新用ソフトウェアをパソコンから書き込むときは、空の状態で書き込んでください。

2 「ホーム」－「設定」－「初期化・更新」－「ソフトウェアの更新」を選んで決定します

- ホームメニューの操作について詳しくは **24** ページをご覧ください。

3 暗証番号を設定しているときは暗証番号を入力します

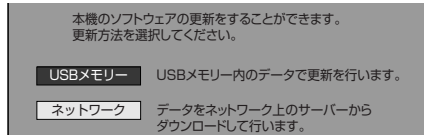
[1]～[10]を押す

▶**200** ページ

4 「USB メモリー」を選んで決定します

本機のソフトウェアの更新をすることができます。
更新方法を選択してください。

USBメモリー　USBメモリー内のデータで更新を行います。

ネットワーク　データをネットワーク上のサーバーからダウンロードして行います。

5 「確認」で決定します

(決定) を押す

- 本機のソフトウェアの現在のバージョンと USB メモリーに入っている更新データのバージョンとが表示されます。更新データで本機のソフトウェアを更新するには、「開始する」を選んで決定します。

● ソフトウェアの更新ができないときは

- USB メモリーが正しく取り付けられていないときや、正しい更新データが USB メモリーの中にみつからないときは、エラーメッセージが表示されます。
- 更新用ソフトウェアのデータが書き込まれている USB メモリーを取り付けてから、ソフトウェアの更新を行ってください。

6 「確認」で決定します

(決定) を押す

- ソフトウェアの更新に失敗した場合は、USB メモリーのデータを確認し、もう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

7 USB メモリーを本機から取り外します

8 本機の電源を切ります

電源 を押す

お知らせ

- 電源を切った後、電源を入れ、再び電源を切ったときは、ソフトウェアの更新が完了するまで下記の画面が表示され、電源が切れない場合があります。電源が切れるまでお待ちください。

電源を「切」にします。
しばらくお待ちください。
アップデート後のプログラム処理のため、
電源が「切」になるまで時間がかかることがあります。

ネットワークサーバーからソフトウェアを更新する

- 本機をインターネットに接続しているときは、最新のソフトウェアをネットワークサーバーからダウンロードし更新が行えます。

重 要

- データの更新中は、更新が完了するまで他の操作は行わないでください。
- データの更新中は、電源プラグを抜かないでください。

1 201 ページ「USB メモリーを使用してソフトウェアを更新する」の手順 2 ～ 3 を行います

2 「ネットワーク」を選んで決定します

本機のソフトウェアの更新をすることができます。
更新方法を選択してください。

USBメモリー	USBメモリー内のデータで更新を行います。
ネットワーク	データをネットワーク上のサーバーからダウンロードして行います。

3 「確認」で決定します

決定 を押す

- ネットワークサーバーへアクセスし最新のソフトウェアを確認します。
- 最新のソフトウェアがあるときは、更新のための画面が表示されます。「する」を選んで決定します。

4 「する」を選んで決定します

最新のソフトウェアがあります。
ソフトウェアの更新を行ないますか?

現在のバージョン: XXXXXXXXX
最新バージョン : YYYYYYYYY

「する」を選ぶとデータのダウンロードを開始します。

する　しない

● 最新のソフトウェアがないときは

- メッセージ画面が表示されます。「確認」で決定します。放送画面に戻ります。

決定 を押す

現在のソフトウェアは最新版です。
更新の必要はありません。

バージョン: XXXXXXXXX

確認

5 更新データをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います

- ソフトウェアのダウンロードに失敗した場合は、メッセージ画面が表示されます。「確認」で決定します。手順 **3** で表示される画面に戻りますのでもう一度ソフトウェアの更新を行ってください。

6 本機の電源を切ります

電源 を押す

お知らせ

- 電源を切った後、電源を入れ、再び電源を切ったときは、ソフトウェアの更新が完了するまで下記の画面が表示され、電源が切れない場合があります。電源が切れるまでお待ちください。

電源を「切」にします。
しばらくお待ちください。
アップデート後のプログラム処理のため、
電源が「切」になるまで時間がかかることがあります。

ディスクの種類とおもにできること

●HDD（ハードディスク）、BD（ブルーレイディスク）にデジタル放送をそのままの画質（ハイビジョン画質）で録画

録画画質を DR に設定することでデジタル放送から送られてくる信号をそのまま録画できます。
ハイビジョン画質や 5.1ch 音声をそのまま録画できます。
録画画質は、デジタル放送の番組に合わせ HD（ハイビジョン）または SD（標準）となります。

●HDD（ハードディスク）、BD に録画画質を選んで録画

録画画質（2倍～ 12 倍、HD ○○、SXP、XP、SP、MN）で録画できます。
２倍～ 12 倍、HD ○○では放送データを圧縮したハイビジョン画質で 5.1ch 音声をそのまま録画できます。それ以外の画質では、ハイビジョン画質や 5.1ch 音声などデジタル放送をそのままのクオリティで録画することはできません。

●BD ディスクにダビング

内蔵 HDD に録画したハイビジョン番組を、ハイビジョンのままダビングできます。
任意の録画画質でダビングすることもできます。

●DVD ディスクへ「VR フォーマット」でダビング

任意の録画画質でダビングできます。
記録したディスクは VR フォーマット対応の DVD プレーヤーでのみ再生できます。
また、デジタル放送の「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組を DVD-RW/-R（CPRM 対応）ディスクに記録することができます。

●DVD ディスクへ「ビデオフォーマット」でダビング

任意の録画画質でダビングできます。
デジタル放送の「録画禁止」や「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組を記録することはできません。
市販の DVD プレーヤーや DVD-ROM ドライブのほとんどで再生できる方式です。

●おもにできること／できないこと

	内蔵 HDD		外付け HDD		BD-RE(SL/DL) BD-R(SL/DL) BD-RE XL BD-R XL	DVD ディスク			
	DR/ 2～12倍/ HD ○○	SXP/XP/ SP/ MN ○○	DR/ 2～12倍/ HD ○○	SXP/XP/ SP/ MN ○○		VR フォーマット		ビデオ フォーマット	
デジタル放送録画	○	×	○	×	○	HDDからのダビングのみ	○※1	HDDからのダビングのみ	×
外部入力録画	×	○	×	○	○		○		○
ファミリンク録画	○	×	×	×	×		○		○
ハイビジョン画質での録画	○	×	○	×	○		×		×
デジタル放送 5.1ch 音声記録	○	×	○	×	○		×		×
字幕記録	○	×※3	○	×※3	○		×※3		×※3
連動データ記録	○※4	×	○※4	×	○※4		×		×
ステレオ二ヶ国語音声記録（マルチ音声）	○※5	×	○※5	×	○※5		×		×
モノラル二ヶ国語音声記録	○	○	○	○	○		○		×
高速ダビング	○	○	○	○	○		×		×
追いかけ再生	○	○	×	×	×	—		—	
同時録画再生	○	○	×	×	×	—		—	
任意のチャプター設定	○	○	○	○	○	○		×	
シーン消去	○	○	○	○	○	×		×	
チャプター消去	○	○	○	○	○	×		×	
フレーム単位編集	○	○	○	○	○	×		×	

※１　DVD-RW/-R（CPRM 対応）ディスクでのダビングのみ可能。
※２　ファイナライズ後はダビングできません。
※３　字幕が映像として送られてきている場合のみ可能です。（字幕の入／切の切換ができない映像のみ録画されます。）
※４　「長時間モード設定」の「連動データ設定」に従い記録されます。予約録画では予約ごとに設定することもできます。（SXP 以下の画質では記録されません。）
※５　録画画質「7倍」「10 倍」「12 倍」で録画したとき、記録される音声は「ホーム」ー「設定」ー「録画機能設定」ー「長時間モード設定」の「マルチ音声設定」で設定されている音声です。（→ **191** ページ）

本機で使えるディスクについて

本機で再生できるディスク（以下のディスク以外は再生できません。）

ディスクの種類	再生できる条件	ディスクの大きさ	録画方式（フォーマット）	再生できる内容
Blu-ray Disc™ BDビデオ	リージョンコード A（A を含む）、または「All Region（オールリージョン）」のディスク、ブルーレイ3D™	12cm盤	BDMVフォーマット	音声+映像（動画）
BD-RE	Ver. 2.1、SL（1層）/DL（2層）/3.0、XL（3層）		BDAVフォーマット HDVフォーマット※1	
BD-R	Ver.1.1/1.2/1.2 LTH TYPE/1.3/1.3 LTH TYPE、SL（1層）/DL（2層）/2.0、XL（3層）/XL（4層）			
DVDビデオ	リージョンコード ALL または 2 の含まれるディスク	12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット	音声+映像（動画）
DVD-RW　DVD-R　DVD-R DL		12cm盤 8cm盤	VRフォーマット ビデオフォーマット AVCHDフォーマット※2 （ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
			写真フォーマット※3 （DVD-RWのみ）	JPEGファイル
DVD+RW, DVD+R, DVD+R DL		12cm盤 8cm盤	ビデオフォーマット （ファイナライズ済ディスク）	音声+映像（動画）
DVD-RAM ［カートリッジからディスクを取り出せるタイプ］	4.7/9.4 GB	12cm盤 8cm盤	VRフォーマット AVCHDフォーマット※2	音声+映像（動画）
音楽用CD		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
CD-R　CD-RW		12cm盤 8cm盤	音楽用CDフォーマット	音声
			JPEGファイルを記録したディスク	JPEGファイル

※１　HDV 方式のディスクは、再生できない場合があります。
※２　再生またはダビングできるディスクは、ビデオカメラで撮影したディスクです。パソコンなどで作成したディスクは再生できない場合があります。
※３　シャープ製レコーダーで録画した写真フォーマットのディスクのみ。

本機でダビング・再生できるディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ダビングするときには、12cm 盤のディスクをご使用ください。

ディスクの種類 / ディスクの特長		Blu-ray Disc BD-RE SL(1層)、DL(2層)、XL(3層)	Blu-ray Disc BD-R SL(1層)、DL(2層)、XL(3層)、XL(4層)	DVD RW DVD-RW※1		DVD R R4.7 DVD-R※1/DVD-R DL※1	
				VR フォーマット	ビデオフォーマット	VR フォーマット	ビデオフォーマット
ディスクのバージョン		Ver.2.1, Ver.2.1/2x, Ver.3.0/2x	Ver.1.1, Ver.1.1/2x Ver.1.2, Ver.1.2/4x/LTH Ver.1.3/6x, Ver.1.3/6x/LTH, Ver.2.0/4x	Ver.1.1, Ver.1.1/2x Ver.1.2/4x, Ver.1.2/6x		Ver.2.0, Ver.2.0/4x Ver.2.0/8x, Ver.2.1/4x Ver.2.1/8x, Ver.2.1/16x Ver.3.0/ 8x	
新品のディスクを使うときに初期化が必要		○	○	○	○	○※2	必要ありません
ダビングしたあとで再初期化ができる		○	×	○	○	×	×
内蔵 HDD に録画したデジタル放送のダビング	録画可能	○（コピー）	○（コピー）	○（コピー）	○（コピー）	○（コピー）	○（コピー）
	ダビング 10	○※3（コピー／ムーブ）	○※3（コピー／ムーブ）	○※3（コピー／ムーブ）	×	○※3（コピー／ムーブ）	×
	1 回だけ録画可能	○※4（ムーブ）	○※4（ムーブ）	○※4（ムーブ）	×	○※4（ムーブ）	×
	録画禁止	×	×	×	×	×	×
内蔵 HDD からのダビングスピード	高速	○	○	×	×	×	×
	1 倍速	○	○	○	○	○	○
ダビングしたあと他の機器で再生できる		○	○	DVD-RW 対応の DVD プレーヤーでのみ再生できます。※5	ファイナライズすると再生できます。	VR フォーマットの DVD-R 対応機器で再生できます。※6	ファイナライズすると再生できます。
繰り返し録画		○	×	○	○※7	×	×
追加録画		○	○	○	○※7	○※8	○※8

上記ロゴマークがディスクレーベル面に入った、JIS 規格に合格したディスクをご使用ください。
規格外のディスクを使用された場合には、再生の保証はいたしかねます。また、再生できても、画質・音質の保証はいたしかねます。

※ 1　・デジタル放送を DVD ディスクにダビングするときは、CPRM 対応のディスクをお使いください。

※ 2　・VR フォーマットで初期化せずに録画をすると、ビデオフォーマットで録画されます。（デジタル放送は録画できません。）

※ 3　・内蔵 HDD に録画した「ダビング 10」の番組は、BD（ブルーレイディスク）や DVD に 9 回コピーできます。10 回目にダビングすると移動（ムーブ）になり、ダビングした番組は HDD から消去されます。

※ 4　・内蔵 HDD に録画した「1 回だけ録画可能」の番組を BD や DVD へダビングする場合は、移動（ムーブ）となり、ダビングした番組は HDD から消去されます。

※ 5　・ファイナライズ処理が必要な場合もあります。
・DVD-RW 対応の DVD プレーヤーには、右記の表示が付いています。
・DVD-RW（CPRM 対応）に録画した「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組は、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。
・DVD プレーヤーによっては再生できないものもあります。

これは、DVD レコーダーで VR(ビデオレコーディング)フォーマット記録された DVD-RW が再生できる機能を示しています。

※ 6　・DVD-R を VR フォーマットで初期化してダビングしたディスクは、DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーで再生できます。DVD-R VR フォーマット対応の DVD プレーヤーでも再生できないときは、ファイナライズをしてください。
・DVD-R（CPRM 対応）にダビングした「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」の番組は、CPRM 対応の DVD プレーヤーで再生できます。（再生できない機器もあります。）

※ 7　・ファイナライズ処理をすると、ダビングができなくなります。（ファイナライズ解除をすると、再びダビングができるようになります。）

※ 8　・ディスクに残量がある限り、ダビングができます。ただし、ファイナライズ処理をすると以降のダビングができなくなります。（ファイナライズ解除はできません。）

● DVD-R DL（2 層）ディスクについて

- 本機以外でダビングした DVD-R DL（2 層）ディスクは、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 本機以外で録画したディスクは、ファイナライズされていなくても本機での追加録画は行えません。

● 本機のハードディスクに取り込んだ写真を CD-R へダビングするときは

- 写真をダビングする CD-R は新品の CD-R をご使用ください。データが書き込まれている CD-R へはダビングできません。
- CD-RW へはダビングできません。

次ページへつづく

● ファイナライズ後のディスクについて

DVD-RW（VR フォーマット）をファイナライズしても… ➡	**ダビング（追加記録）が行えます。**
DVD-RW（ビデオフォーマット）、**DVD-R** をファイナライズすると… ➡	**再生専用のディスク**になります。 （ダビングは行えません。）

本機でダビング・再生できないディスク

- 次のディスクは、本機でダビング･再生はできません。再生できても正常に再生されないことがあります。誤って再生すると、大音量によってスピーカーを破損する原因となる場合がありますので、絶対に再生しないでください。

CDG、フォト CD、ビデオ CD、CD-ROM、CD-TEXT、CD-EXTRA、SVCD、SACD、PD、CDV、CVD、DVD-ROM、DVD オーディオ、HD DVD など

その他、特殊な形のディスク（♡ハート型や⬡六角形のディスクなど）

本機で再生できないディスク

- 本機で再生できるディスクでも、次のような場合はまったく再生できないか、正常な再生ができないことがあります。

BD ビデオ	• リージョンコード「A」または「All Region」以外のディスク（正式な販売地域以外のディスク）リージョンコードの記載がないディスクは、NTSC 方式のディスクであれば再生できることもあります。 • PAL 方式、SECAM 方式のディスク
BD-RE※ BD-R※	• BD-RE Ver.1.0 は本機で再生できません。 • カートリッジタイプのディスクは再生できません。
DVD ビデオ※	• リージョンコード「ALL」、「2」が含まれていないディスク（正式な販売地域以外のディスク） • PAL 方式、SECAM 方式のディスク（海外で製造されたディスク）
DVD-RW※ DVD+RW※ DVD-RAM※ DVD-R※ DVD+R※	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク **次のディスクは再生できない場合があります。** • DVD-R（VR フォーマット）ディスク • DVD-R DL（2 層）ディスク • DVD+R DL（2 層）ディスク

※ 無許諾のディスク（海賊版のディスク）、業務用のディスク、他のレコーダーやパソコンで記録したディスクは、再生できない、または正常な再生映像とならない場合があります。

CD-R CD-RW	• データが記録されていないディスク • ファイナライズされていないディスク • 音楽 CD フォーマット、JPEG ファイル以外のフォーマットで記録されたディスク • 音楽や映画などと静止画（JPEG ファイル）が混在したディスクは、静止画（JPEG ファイル）を再生できません。 または、ディスクによってはまったく再生できません。 • ディスクの記録状態／ディスク自体の状態によっては、再生できません。 • ディスクと本機の相性、または記録に使用したレコーダーによっては再生できません。
音楽用 CD	• 著作権保護を目的とした信号（コピーコントロール信号）の入った CD は再生できない場合があります。 • DTS 音声とリニア PCM 音声が混在しているディスクは再生できない場合があります。**本製品は、CD（コンパクトディスク）規格に準拠した音楽用 CD の再生を前提として設計されています。**
ビデオ CD	• ビデオ CD は本機で再生できません。
DTS CD	• リニア PCM 音声のトラックが混在するなど、一部のディスクによっては、正常に再生できないことがあります。

BD について

推奨ディスク

- 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
- ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

BD-RE（Ver.2.1/1x-2x）に準拠したディスク

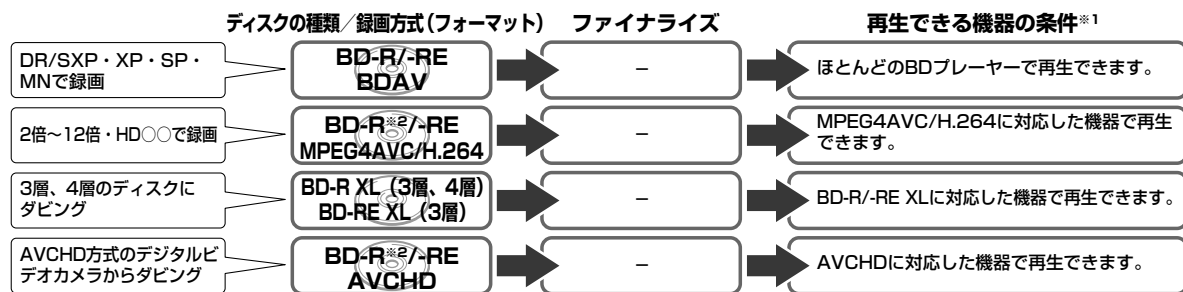
ディスクのバージョン	メーカー				
Ver.2.1	シャープ	TDK	ソニー	パナソニック	三菱化学メディア

BD-R（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/1x-4x、Ver.1.2 LTH TYPE、Ver.1.3/1x-6x、Ver.1.3 LTH TYPE)、BD-R XL（Ver.2.0/2x-4x 3 層）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー				
Ver.1.1	TDK	ソニー	パナソニック	三菱化学メディア	
Ver.1.2	シャープ	TDK	ソニー	パナソニック	三菱化学メディア
Ver.1.2 LTH TYPE	太陽誘電（That's)				
Ver.1.3	TDK	ソニー	パナソニック		
Ver.1.3 LTH TYPE	太陽誘電（That's)	三菱化学メディア			
Ver.2.0 XL（3 層）	シャープ				

ダビングした BD を他の機器で再生するときは

- 本機でダビング（録画）したディスクを他の機器で再生するときは、ディスクの種類や録画方式（フォーマット）により、再生できる機器の条件が異なります。
- LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーから録画（ダビング）した BD（ブルーレイディスク）は、本機以外では再生できない場合があります。

BD ディスクはファイナライズ操作は不要です。

※ 1　再生する機器が再生の条件を満たしているかについては、お使いの機器メーカーにお問合せください。
※ 2　BD-R Ver1.3 LTH ディスクの場合は、再生機器が BD-R Ver1.3 LTH に対応している必要があります。

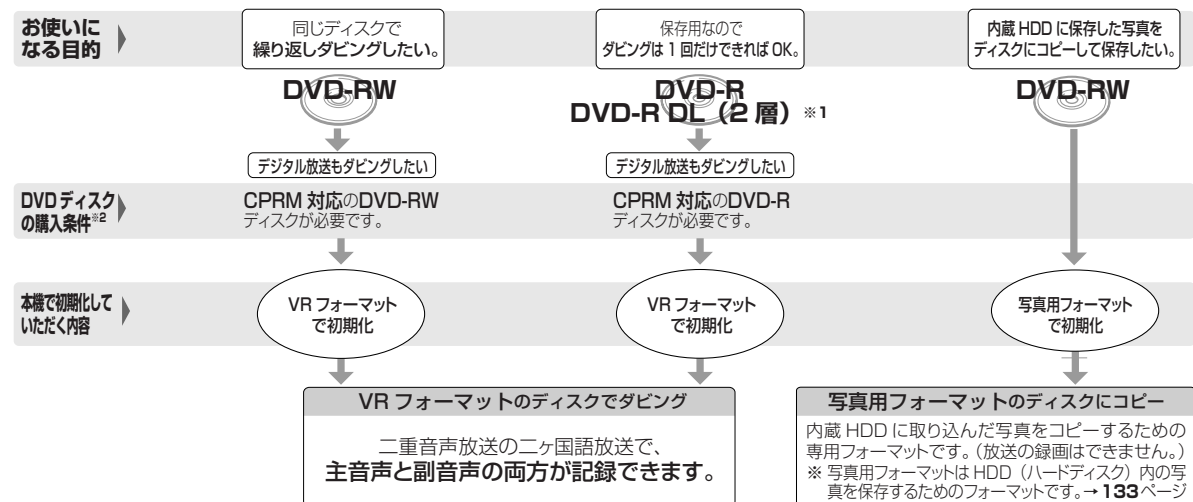
本機で記録（ダビング）した BD ディスクが再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤーについて

- 記録方式や記録に使用したディスクにより、他機での再生が制限されます。
  ※下記の表に該当していても、ディスクの状態や記録内容によっては、再生できない場合があります。
  他機での再生を保証するものではありません。

	記録方式／ディスクの種類	再生可能な BD レコーダー／ BD プレーヤー
記録方式	DR(MPEG2-TS) 記録	ほとんどの BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
記録方式	2 倍～ 12 倍／ HD ○○（MPEG4 AVC/H.264）記録	MPEG4 AVC/H.264 に対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスク、BD-R Ver.1.3 LTH TYPE ディスクに記録	BD-R Ver.1.2 LTH TYPE ディスク、BD-R Ver.1.3 LTH TYPE ディスクに対応した BD レコーダー /BD プレーヤーで再生が可能です。
ディスクの種類	BD-R XL Ver.2.0（3 層／ 4 層)、BD-RE XL Ver.3.0（3 層) に記録	BD-R XL Ver.2.0（3 層／ 4 層)、BD-RE XL Ver.3.0（3 層) に対応した BD レコーダー／ BD プレーヤーで再生が可能です。

DVD ディスクについて

ディスクの種類とフォーマットについて

• DVD-RW/-R ディスクとフォーマットの種類を、お使いになる目的に合わせてお選びください。

※ 1　DVD-R DL（2 層）ディスクは、2005 年 2 月に DVD フォーラムで承認された新しい規格です。そのため、機器によっては、ファイナライズを行ったディスクでも再生できない場合があります。
※ 2　DVD-RW または DVD-R ディスクを購入するときは、デジタル放送がダビングできる CPRM（デジタル放送）対応のディスク購入をおすすめします。

DVD-RW を使うとき

• 本機をお買いあげの時点では、新品の DVD-RW を挿入すると自動的に VR フォーマットで初期化されます。
• ビデオフォーマットでご使用になるときは、「初期化」という操作を行い、ダビングをするための準備をします。初期化をするときに、ダビングフォーマット（ビデオフォーマット）を選びます。初期化のしかたについては、**30** ページをご覧ください。
• DVD-RW をおもにビデオフォーマットで使いたいときは、挿入した DVD-RW を自動的にビデオフォーマットで初期化するように設定できます。設定のしかたは、「DVD 自動初期化設定」（→ **191** ページ）をご覧ください。
• ダビングした DVD-RW ディスクを新品同様に使いたいときは、もう一度初期化します。

※初期化すると、ダビングした内容はすべて消去されます。

DVD-R を使うとき

• 新品の DVD-R をビデオフォーマットで使うときは、「初期化」の操作は必要ありません。販売時からビデオフォーマットで初期化されています。

DVD-R VR フォーマットについて

• 新品の DVD-R は、VR フォーマットで初期化できます。
• DVD-R を VR フォーマットで初期化できるのは、未使用の状態で、1 回だけです。（ビデオフォーマットに初期化し直すことはできません。）
• 不要なタイトルを削除できますが、削除した分のデータ容量は復帰しません。

写真用フォーマットについて

• DVD-RW を写真保存用として使用するための専用フォーマットです。

推奨ディスク

• 必ず「for VIDEO」、「for General」または「録画用」の表記があるディスクをご使用ください。
• ディスクによっては本機との相性により、性能を十分に発揮できない（使用できない）場合がありますので、弊社で確認済みの下記メーカー製ディスクの使用をおすすめします。

DVD-R（for General Ver.2.0/1x-8x、Ver.2.1/16x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.2.0/4 ×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	日立マクセル
Ver.2.0/8 ×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	
Ver.2.1/16 ×	太陽誘電（That's）	三菱化学メディア	

DVD-R DL（2 層 /for General Ver.3.0/4x-8x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー
Ver.3.0	三菱化学メディア
Ver.3.0/4 ×	三菱化学メディア
Ver.3.0/8 ×	三菱化学メディア

DVD-RW（Ver.1.1/1x-2x、Ver.1.2/4x-6x）に準拠したディスク

ディスクのバージョン	メーカー		
Ver.1.1/2×	三菱化学メディア	日本ビクター（JVC）	TDK
Ver.1.2/4×	三菱化学メディア	日本ビクター（JVC）	

お知らせ

• 上記推奨メーカー製のディスクにつきましては、実際にテストを行い、動作の確認ができたものですが、ディスクごとの相性に対して動作を保証するものではありません。
• デジタル放送などのコピー制御信号の含まれた番組をダビングするときは、CPRM 対応の DVD-RW/-R ディスクを VR フォーマットで使用してください。

ダビングした DVD を他の機器で再生するときは

・本機でダビング（録画）したディスクを他の機器で再生するときは、ディスクの種類や録画方式（フォーマット）により、再生できる機器の条件が異なります。

通常は、ダビングした後にファイナライズすると、他の機器でも再生できる（互換性のある）ディスクができあがります。（ファイナライズのしかたについては **119** ページをご覧ください。）

ディスクの種類／録画方式（フォーマット）	ファイナライズ	再生できる機器の条件※
DVD-R/-RW ビデオフォーマット	必要	ほとんどの DVD プレーヤーで再生できます。市販の DVD ビデオと同等に扱えます。
DVD-R VRフォーマット	必要	DVD-R VR フォーマットに対応した DVD プレーヤーで再生できます。
DVD-RW VRフォーマット	必要	DVD-RW に対応した DVD プレーヤーで再生できます。
DVD-R DL ビデオフォーマット	必要	DVD-R DL のビデオフォーマットに対応した DVD プレーヤーで再生できます。
DVD-R DL VRフォーマット	必要	DVD-R DL の VR フォーマットに対応した DVD プレーヤーで再生できます。
デジタル放送を録画：DVD-R（CPRM対応）VRフォーマット	必要	DVD-R（CPRM）に対応した DVD プレーヤーで再生できます。
デジタル放送を録画：DVD-RW（CPRM対応）VRフォーマット	必要	DVD-RW（CPRM）に対応した DVD プレーヤーで再生できます。
デジタル放送を録画：DVD-R DL（CPRM対応）VRフォーマット	必要	DVD-R DL(CPRM)に対応したDVDプレーヤーで再生できます。

※再生する機器が再生の条件を満たしているかについては、お使いの機器メーカーにお問合せください。

例：再生できる機器の条件

DVD-R DL ディスク（CPRM 対応）にデジタル放送をダビングし、他の機器で再生したいとき

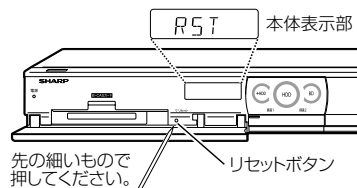
故障かな？と思ったら

次のような現象は故障ではない場合がありますので、修理をお申しつけになる前にお確かめください。

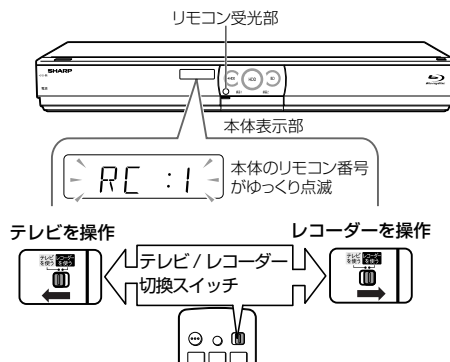
操作ができない（電源が入らない）ときは、まず次のことをお確かめください

- 電源プラグはコンセントから抜けていませんか？→ **166** ページ
- リセットボタンを押して電源を入れなおしてください。
  → **211** ページ

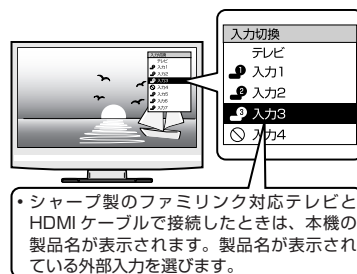
ご注意

・シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。

リモコンで操作ができないときは、まず次のことをお確かめください

- リモコンの乾電池は消耗していませんか？／リモコンの乾電池は正しくセットされていますか？→ **23** ページ
- 携帯電話のカメラ機能やデジタルカメラでリモコンの発信部を見ると発信状態が確認できます。
- リモコンの操作範囲内で操作していますか？／向きは正しいですか？→ **23** ページ

- リモコン番号は正しく設定されていますか？→ **176** ページ
  本体とリモコンのリモコン番号設定が違っているときは、本体表示部に本体側のリモコン番号が点滅表示されます。
  リモコン側のリモコン番号設定を本体側のリモコン番号に合わせます。
- テレビ／レコーダー切換スイッチの位置は正しいですか？
  → **33** ページ
  操作したいほうに確実に切り換えてご使用ください。
- テレビの入力切換（外部入力）は正しく切り換えましたか？
  → **33** ページ
  テレビの入力を本機を接続した外部入力に切り換えてください。

映像や音声が出ないときは、まず次のことをお確かめください

- アンテナや映像・音声ケーブルは正しく接続されていますか？
  入力と出力を間違えて接続していませんか？→ **149** ～ **155** ページ
- テレビの入力切換（外部入力）は正しく切り換えましたか？→ **33** ページ
  テレビの入力を本機を接続した外部入力に切り換えてください。
- テレビの入力スキップが設定されていませんか？
  本機を接続した入力がスキップ設定されていないか確認してください。
- テレビのチャンネルがスキップ設定されていませんか？ → **181** ページ
- 電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししていませんか？
  電源を切ってから、本機とテレビの HDMI ケーブルを接続し直し、電源を入れてください。

• シャープ製のファミリンク対応テレビとHDMI ケーブルで接続したときは、本機の製品名が表示されます。製品名が表示されている外部入力を選びます。

ディスクの再生ができないときは、まず次のことをお確かめください

- ディスクは正しく挿入されていますか？／表裏は間違えていませんか？→ **28** ページ
  ディスクに傷や汚れはありませんか？　ディスクのお手入れ→ **29** ページ
- BD/DVD モードに切り換えて操作していますか？
  リモコンの[BD/HDD]を押し、再生したいモードに切り換えてください。→ **73** ページ

それでも操作できないときは、211 ～ 223 ページをご覧ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
操作ができない	極端に寒い場所でお使いのとき	• 使用温度範囲内でお使いですか。 極端に寒い場所で本機を使用するときは、HDD（ハードディスク）保護のため（暖機のため）HDD の準備が必要です。電源を入れてから使用できるまで、時間がかかりますのでしばらくお待ちください。	234
	HDD の空き容量がなくなったとき	• 内蔵 HDD の空き容量がなくなると、本機の操作ができなくなる場合があります。 不要な番組を消去してください。（「1 回だけ録画可能」の番組や、「ダビング 10」の番組で 9 回コピー済みのものは、ダビングすると HDD（ハードディスク）から消去されます。）消去した番組は元に戻せません。大切な番組は BD（ブルーレイディスク）や DVD にダビングしてください。	89 ～ 90、104
	操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない	• 一度電源を「切」にし、再度電源を入れ直してください。 • 電源が切れない、または症状が改善しない場合は、本体のリセットボタンを先の細いもので押してください。本体表示部に「RST」が表示されます。 **リセットのしかた** **ご注意** ・シャープペンシルや鉛筆等の先端が折れ易いものを使用すると、折れた異物が中に入り故障の原因となりますので、使用しないでください。 RST 本体表示部 先の細いもので押してください。 リセットボタン リセットボタンを押すと電源が「切」になります。電源を入れ直してください。 ※ リセット操作をしたときは、番組表の情報がいったん消えてしまいます。 ※ リセットしても、録画したタイトルや予約情報などはそのまま保存されています。ただし、録画途中や保存前の情報は、残らない場合があります。 • 本体のリセットボタンを押しても改善されない場合は、電源を「切」にします。その後、電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んでください。 • 電源を入れるとシステムの確認のため「電源プラグの抜き差しやリセット操作などによりディスクを確認しています。完了まで 10 分以上かかる場合があります。」のメッセージが表示されることがあります。このようなときは、表示が消えるまでお待ちください。	ー ー 166 225
電源について	電源が入らない	• 電源ボタンは、本体表示部の「WAIT」が消えてから押してください。 • 電源プラグがコンセントに差し込まれている場合は、いったん電源プラグを抜き、約 1 分後にもう一度電源プラグを差し込んでから、電源を「入」にしてください。それでも直らない場合は、本機をリセット（上記）してください。	224 166
	電源が勝手に入る 電源が切れているのに本体表示部に「DL」、「DATA」、「PGUIDE」の表示が出る	• 本機の機能を向上させるためのソフトウェアの更新（ダウンロードサービス）やチャンネル更新情報の取得を電波を通して実行しているときは、本機の電源が入り冷却ファンが回転します。本体表示部に「DL」の表示が出ます。 • 放送局との通信中は本機の電源が入り、冷却ファンが回転します。本体表示部に「DATA」の表示が出ます。 • 電子番組表データの取得中は本機の電源が入り冷却ファンが回転します。本体表示部に「PGUIDE」の表示が出ます。	20 20 20

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電源について（つづき）	電源が切れる	•「無操作オフ設定」が「する」に設定されていませんか。「する」に設定したときは、無操作状態（放送視聴状態）が 3 時間続くと自動的に電源が切れます。 •「ファミリンク設定」の「連動設定」を「する」にしている場合、ファミリンク対応のテレビの電源を切ると、本機の電源も切れます。 •「再生後自動オフ設定」が「する」に設定されていませんか。再生が終了して自動停止したときは、その後約５分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。	194 194 69、194
	一発起動（クイック起動）が設定されているのに電源がすぐに入らない	• 一発起動（クイック起動）が設定されている状態でダウンロードサービスを行うとき、ダウンロードサービスを開始する 5 分前になると、一時的にクイック起動設定を解除します。そのため、すぐに電源が入らない場合があります。 • クイック起動設定を「する（設定 2)」にしているときは、電源を切ったあと 2 時間を過ぎるとクイック起動が解除されます。	ー 172、195
強い雨や雪、雷の日に映像が映らない	積雪や豪雨などによる一時的な映像障害	• 衛星放送は雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり、一時的に画面や音声に雑音が出たり、ひどい場合にはまったく受信できなくなることがあります。	ー
	BS・CS デジタル放送の電波障害	• 雷が発生すると BS・CS デジタル放送の電波が乱れ、画面にブロックノイズが出たり映像・音声が途切れることがあります。	ー
	BS デジタル放送の降雨対応放送について	• BS デジタル放送衛星から送られてくる電波が、激しい降雨によって弱められ、放送を受信できないことがあります。これに対応するため、送るデータを少なくすることで映像・音声を途切れなく提供するサービスが「降雨対応放送」です。 降雨対応画面への切換え確認メッセージ →（決定 を押す）→ 降雨対応画面 →（視聴設定（ふた内）を押して視聴設定の項目で切り換える）→ 通常画面 ※ 降雨対応放送は、放送局側でサービスを行っているときのみ可能です。 ※ 降雨等によって受信しにくくなった場合、自動的に録画が停止することがあります。（録画中は、降雨対応画面に切り換えられません。） ※ 通常画面に戻したいときは、視聴設定（ふた内）を押して視聴設定の項目「アングル番号／映像切換」で切り換えます。	ー
放送が映らない	デジタル放送の画面が映らない 110 度 CS デジタル放送を受信できない	• B-CAS カードを逆向きまたは裏向きに差し込んでいませんか。 •「アンテナ電源設定」が「切」になっていませんか。 • 映像、音声のない放送ではありませんか。 • 有料チャンネル、有料番組は、受信契約をした B-CAS カードを本機に挿入しないと受信（録画）できません。	165 178 ー 165
	今まで視聴できていた放送が、受信できない	• はじめて B-CAS カードを挿入したときは、有料放送番組でも、一定期間だけ視聴できる自動仮視聴サービスを行っている放送局があります。そのため、自動仮視聴期間が過ぎたあとに受信契約を行わないと受信できなくなる放送があります。	17
	ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を受信できない	• 本機はトランスモジュレーション方式に対応しておりません。CATV パススルー方式であれば、次の帯域を受信できます：UHF、VHF、ミッドバンド（MID：C13 ～ C22）帯、スーパーハイバンド（SHB：C23 ～ C63）帯　詳しくは CATV 会社にご確認ください。	ー

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
放送が映らない（つづき）	BS アンテナを接続したが、BS・110 度 CS 放送が映らない テレビの BS・110 度 CS 放送が映らない 地上デジタル放送が映らない、映りが悪い ケーブルテレビ（CATV）で地上デジタル放送を受信できない	• アンテナ接続や設定をご確認ください。	149～152、178～179
		• アッテネーター（減衰器）設定を確認してください。アッテネーター設定が「入」のときは、「切」にすることで映りが改善される場合があります。初期設定を行ったときは、自動で設定されます。	179
		• お使いのアンテナは UHF アンテナですか。 地上デジタル放送を受信するには、UHF アンテナが必要です。	—
		• 地上デジタル放送を視聴するための準備（アンテナ接続、地域選択、チャンネル設定など）ができているか、ご確認ください。	150～152、177～183
		• アンテナケーブルは「VHF/UHF 用アンテナケーブル」（付属品または市販品）をお使いください。	—
		•「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「アンテナ設定」－「地上デジタル」－「信号テスト」で下記を行ってください。 アンテナ受信強度が最高レベル（60 以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。	179
		• ケーブルテレビ（CATV）会社で地上デジタル放送を配信していても、トランスモジュレーション方式の地上デジタル放送には対応していません。 ※ 状況が改善されない場合は、販売店にご相談ください。	—
		•「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「チャンネル設定」－「地上デジタル」－「チャンネル更新設定」が「手動」に設定されていませんか。「自動」に設定し直してください。	180
		• BS アンテナは 110 度 CS 放送に対応したアンテナですか。	—
		• 衛星放送用アンテナケーブルが正しく接続されているか、抜けかかっていないかなどをご確認ください。	150～152
		• アンテナケーブルは「衛星放送用同軸ケーブル」（市販品）をお使いください。	—
		•「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「アンテナ設定」－「BS・CS デジタル」－「アンテナ電源設定」で下記①②を行ってください。 ① ご自宅にアンテナを単独で設置された場合は、「BS･CSアンテナ電源」を「入」または「オート」に設定してください。 ② アンテナ受信強度が最高レベル（60 以上）になるように、アンテナの向きを調整してください。	178
		• ご家庭のアンテナ端子が BS・CS/UHF 信号（地上デジタル）が混合されている端子の場合、BS・CS/UHF 分波器を使用して正しくアンテナを接続していますか。 UHF/BS/CS 電流通過 BS･CS UHF 分波器（市販品） ▲本機後面 このような接続はしないでください。	150～152

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
電子番組表が表示されない	地上デジタル放送の電子番組表が表示されない	・「番組表取得設定」を「する」に設定し、取得したい時刻を設定してください。その後電源「切」の状態で、設定した時刻から 40 分程度取得動作をします。 ・電子番組表で「番組データがありません。放送局を選び［青］ボタンで番組表を更新してください。」と表示された放送局があるときは、その放送局の欄を選んで 青 を押します。番組表が自動で更新されます。その放送局を 2 分程度受信しても電子番組表が更新されます。	180、194 39
画面が映らない／音が出ない	画面が映らない／放送の映像も音声も出ない	・テレビまたは AV アンプ側で、本機をつないだ入力端子を選択してください。 ・HDCP に対応していない DVI 機器には映像が映らない場合があります。（本機の HDMI 出力端子は、HDMI 機器との接続を目的に設計されています。） ・HDMI ケーブルが抜けかかっていませんか。もしくは、電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差ししていませんか。電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜き差しすると、映像が映らなくなったり、正しく映らない場合があります。電源を切ってから、本機とテレビの HDMI ケーブルを接続し直し、電源を入れてください。 ・D 映像ケーブルを使いテレビと接続したとき、D 映像出力端子の設定を間違えて画面が映らなくなったときは、リモコンふた内の 接続設定リセット を 5 秒以上押し続けてください。「映像同時出力設定」が「D 映像端子優先」に、「D 映像出力設定」が「D1」に変更されます。接続したテレビに合わせて「ホーム」－「設定」－「映像・音声調整」－「映像・音声設定」を変更してください。 ・D 映像ケーブルを接続しているときは、映像出力端子から信号が出力されません。	― ― ― 171 155
	スピーカーから音が出ない、音が歪む	・接続プラグの差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。 ・一時停止またはスロー再生／早送り／早戻し中は、音声が出ません。 ・DTS 収録の DVD 音声は、光デジタル音声出力端子または HDMI 出力端子から出力されます。本機の光デジタル音声出力端子または HDMI 出力端子を DTS 対応アンプまたはデコーダーとデジタル接続してください。 ・再生可能なディスクか確かめてください。 ・HDMI ケーブルが抜けかかっていませんか。テレビと本機の電源を切り、HDMI ケーブルの接続を確認してください。	― 83 ～ 85 159 ～ 160 204 ―
	2 つの音が混ざって聞こえる	・音声切換が間違っていませんか。リモコンふた内の 音声 を押し、音声を切り換えます。ただし、ダビング時は、デジタル音声出力は音声切換できません。	37、86
	音声が切り換わらない	・ステレオ音声やモノラル音声は、音声が切り換わりません。 ・本機がビットストリーム（AAC）出力状態のときは、モノラル二重音声の音声切換ができません。テレビ側で音声を切り換えてください。本機で切換操作をしたいときは、「デジタル音声出力設定」を「サラウンド機器を使用しない」に設定してください。出力される音声は「PCM（ステレオ）」音声となります。	― 193
映像が正常に映らない	横長の映像や縦長の映像になる／画面の上下に黒い帯が出る	・「画面サイズ設定」は、接続されているテレビに合っていますか。 ・ワイドテレビの場合、「画面サイズ設定」が「16：9（ワイド）」に設定されていますか。 ただし、「16：9（ワイド）」に設定しても、録画画質によってはレターボックスやパンスキャンの表示ができない場合があります。 ・HDMI 出力端子または D 映像出力端子を接続し、画面サイズを 16：9 に設定していると、映像出力端子からは 16：9（スクイーズ）の縦長の映像が出力される場合があります。	192 192 ―
	画面の上下左右に黒い帯が出る（HDMI ケーブルで接続している場合）	・4：3 の放送を DR 以外の画質で録画したときは、テレビで見た映像と異なって見える場合があります。そのようなときは、テレビの画面サイズを変更してください。	192
	画面の左右に黒い帯が出る（D 映像端子でテレビと接続している場合）	・D 映像出力設定を「D3/D4/D5」に設定したときは、4：3 映像は左右に黒帯をつけて出力します。 ・地上デジタル放送や BS・110 度 CS 放送では、番組によっては 16：9 サイズの映像に 4：3 の映像を入れ、左右に黒帯の付いた映像で放送されていることがあります。	― ―

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
映像が正常に映らない（つづき）	画面に四角のノイズが出る	・デジタル画像圧縮技術の特性上、動きの速い場面などでブロック状の画像が目立つことがあります。 ・電波状態が悪い場合や、電波が乱れている場合などでは、ブロック状の画像が目立つことがあります。	ー ー
	受信状態が悪く、映像が乱れる（正常に見えない）	・アンテナケーブルがきちんと接続されているか確認してください。 ・BS・110度CS放送用アンテナの向きを調整してください。 アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTubeは回線の使用状況や諸条件（ノイズなど）によって通信速度が低下し、画像の乱れや停止などが発生することがあります。	141、 150～152 178
	映像が停止する	・本機に衝撃や振動を与えませんでしたか。不安定な場所で使用していませんか。衝撃や振動を感知すると停止します。 ・HDD（ハードディスク）やBD（ブルーレイディスク）の特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 ・電波状態が悪くなっていませんか。	ー ー 231
	外部入力の映像が乱れる（正常に見えない）	・コピーガード入りの映像（信号）をご覧になるときは、本機を通さず、外部機器を直接テレビに接続してください。	ー
	3D映像が2D再生になる	・「ホーム」－「設定」－「視聴準備」－「BD/DVD再生設定」－「3D切換設定」で「オート」に設定してください。 ・早送り、早戻し中は2D再生となります。 ・接続しているテレビは3D対応のテレビですか。 ・テレビとHDMIケーブルで接続していますか。HDMIケーブル以外で接続した場合は、2D再生になります。（HDMIケーブルは3Dに対応したハイスピードタイプを使用してください。）	197 80 ー ー
	ハイビジョン対応テレビとD映像ケーブルで接続したが、映りが悪い	・テレビ側のD端子の種類を確認し、「D映像出力設定」をテレビ側のD端子に合わせた設定にしてください。 ・「HDMI映像出力設定」を、「1080/60p固定」に設定しているときは、D映像出力端子から出力される信号は、D1（480i）信号となります。	192 192
録画	録画が中断されている	・同じ録画先に連続した番組が予約設定されたときは、次の予約の録画準備のため、前の番組の最後が数十秒録画されません。	54
	録画したが何も録画されていない	・放送のない（放送が終了している）チャンネルを録画しているときは、映像のない状態で録画されます。電波状態の悪いチャンネルを録画したときも、映像のない状態で録画される場合があります。	ー
	録画ができない、録画が途中で止まる	・HDD（内蔵／外付け）、BDの残量は足りていますか。残量を確認してください。 ・HDD（内蔵／外付け）、BD内に記録できるタイトル数やチャプター数は制限を超えていませんか。（制限について詳しくは**236**ページをご覧ください。） タイトル結合や録画の状態により、HDDやBDの管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。 ・録画を始めた状態、録画中の状態をご確認ください。 ・再生中は、録画の操作ができません。 ・本機がHDD（内蔵／外付け）、BDを判別し終える前に、録画の操作を始めませんでしたか。+HDDランプ、HDDランプまたはBDランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 ・録画中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。 ・録画が禁止された映像は録画できません。 ・デジタル放送は、電波状態が悪い場合は録画できません。	49 ー ー 18 ー
	外部機器から録画中、別の放送が視聴できない	・外部機器から録画中は、録画中の映像（放送）のみ視聴できます。チャンネルや入力は切り換えられません。	ー
	ワンタッチ録画ができない／ファミリンク機能で録画しようとしたが録画されない	・「ワンタッチ録画」とは、今テレビで見ている番組をファミリンク機能を使って録画する機能です。ワンタッチ録画は本機が停止状態のときに働きます。 ・エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	122 34

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
録画（つづき）	ファミリンクの録画停止が働かない（テレビのリモコン、または本機のリモコンで録画停止ができない）	• ファミリンクを使った録画（予約録画）が停止しないときは、本機のリモコンの、テレビ／レコーダー切換スイッチを「レコーダーを使う」側にして［録画停止］を押します。	52
予約録画	予約ができない	• 番組予約の合計が６５番組（番組表予約、日時指定予約、マイディスク予約、休止中の予約を含む）になっているときは、録画予約ができません。このときは「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。	ー
	予約録画の開始・終了時刻が微妙にずれる	• 同じ録画先に連続した予約が設定されている場合、次の番組の先頭から録画を開始するため、前の番組は予約録画終了時刻よりも早く録画が終了します。 • 番組の頭切れ防止のため、設定した時刻より数秒早く録画が始まります。	54 ー
	予約したのに録画されていない、途中で切れている	• 録画先の状態を確認してください。「録画ができない、録画が途中で止まる」をご確認ください。 • 録画開始時刻に下記の状態であった場合は、録画されません。 · 録画画質変換ダビング中（録画開始時刻から5分前までに、操作を終えてください。） · BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクのタイトル名変更中など（録画開始時刻の 5 分前までに、操作を終えてください。） · 予約待機中／録画中に停電がありませんでしたか。録画中に電波状態が悪くなったり停電などで録画が中断された場合は、その番組が正常に録画できません。 · 録画先の残量は十分でしたか。残量が少ない場合、不要なタイトル（録画した番組）を消去してください。 · 録画予約を「休止」にしていませんでしたか。 · 放送時間が変更されていませんか。 · 番組が延長されていませんでしたか。 · 温度の低い場所で使用すると、HDD が準備状態になることがあります。予約実行前しばらくの間、電源を「入」のままにしておきます。 · ホームメニューの「お知らせ」の「受信機レポート」を確認してください。 · 途中から録画禁止の番組が始まったときなどは、録画は中断されます。 · 予約した番組の前の番組が時間延長になりませんでしたか。予約を開始しようとしたときに、放送局から送られてくる番組の開始時刻の情報が正しく更新されていない場合があります。この場合は予約が失敗となります。日時指定予約の場合、前の番組が延長しそうなときは最大延長時間を加味し、予約することをおすすめします。	215 ー 49、89 64 189 18 55
	「番組延長設定」をしたのに、途中で番組が終わっている	• デジタル放送の場合、放送局から番組延長の情報が送られてこないと番組延長機能が働きません。	ー
	録画予約した番組が消されている	• 毎週・毎日録画予約した番組を詳細設定の「保存設定」で「重ね録り」に設定しませんでしたか。「重ね録り」に設定した番組は、自動的に上書き録画されます。	62
	BS デジタル放送のデータ放送が記録されていない	• データ放送（ラジオ放送）は記録できません。	ー
	LAN 接続のスカパー！プレミアムサービスチューナーまたはCATV のデジタルセットトップボックスから予約設定ができないまたは録画できない	• 本機の電源を切っていませんか。予約設定は本機の電源を入れた状態で行ってください。 • スカパー！プレミアムサービスチューナーまたは CATV のデジタルセットトップボックスと本機を LAN 接続する必要があります。 •「ホームネットワーク設定」が「する」に設定されていますか。 • スカパー！プレミアムサービスチューナーまたは CATV のデジタルセットトップボックスでの設定は行いましたか。	147、148 140 144 147、148

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
予約録画（つづき）	「アクオス」の電子番組表から（ファミリンク [1]（標準）予約）をしたが予約録画が働かない	・テレビの主電源を切りませんでしたか。 ・エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	– 34
	予約録画した番組が複数のタイトルに分かれてしまう	・録画中に停電となり録画が停止した後、停電復帰により録画が再開されたタイトルは別タイトルとして録画されます。 一つのタイトルにしたいときは、編集のタイトル結合を行います。 ・放送局のイベントリレーサービスがある番組は、延長「入」で予約録画していると自動的に別のタイトルとして録画されます。	98 17、55
	自動録画に登録した条件で番組が検索されない	・番組情報に登録した条件（キーワード／ジャンル／特徴）が含まれない場合は、番組は検索されません。 ・登録済みの通常予約と時間帯が重なった場合、予約されずに「該当番組なし」と表示される場合があります。	56 56
	自動録画で検索された番組が録画されない	・自動録画と通常予約の録画時間帯が重なった場合、通常予約が優先されて自動録画は実行されません。自動録画の番組を確実に録画するには、電子番組表で予約してください。 ・自動録画に登録した条件（キーワード／ジャンル／特徴）に該当する番組の時間帯が重なった場合は、優先度が高い条件の番組が録画されます。 ・他の予約が重なった時や視聴年齢制限に該当した条件の番組は、自動録画が番組の途中で中止になったり、録画されない場合があります。	53、56 56 56
フォトシステムで楽しむ	写真の取り込みができない	・データ送受信端子にUSBケーブルを接続して写真の取り込みが行えるのは、マスストレージクラスに対応したデジタルスチルカメラです。	127
	DVD ディスクにコピーができない	・内蔵HDDに取り込んだ写真をDVDにコピーする場合は、写真用フォーマットでDVD-RWディスクを初期化してください。	30、208
	パソコンで CD-R/-RW にコピーした JPEG ファイルが再生できない	・CD-Rフォーマットは、ISO9660またはJolietフォーマットですか。その他のフォーマットは再生できません。	134
	写真をコピーした DVD ディスクがパソコンで再生できない	・パソコンで確認するためには、ディスクのファイナライズが必要です。	119
ファミリンク機能	ファミリンク機能が使えない	・エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。 ・「設定」–「映像･音声調整」–「映像･音声設定」の「映像同時出力設定」は、「HDMI端子優先」に設定されていますか。「D映像端子優先」に設定したときは、ファミリンク機能は働きません。	34 192
	ファミリンク機能が正常に働かない	・電源を入れた状態で HDMI ケーブルを抜くと、ファミリンク機能が正常に働かない、正しく動作しない、などの場合があります。電源の入／切は、HDMI ケーブルの接続が済んでから行ってください。 ・テレビのファミリンク設定はお済みですか。 ・エコモードを「入」にしていませんか。エコモードが「入」のときは働きません。	– – 34
再生	BD（ブルーレイディスク）や DVD ディスクが再生できない	・BD/HDD で BD/DVD モードに切り換えていますか。 ・BDビデオまたはDVDビデオの場合、リージョンコード（再生可能地域番号）が一致しているか確認してください。 ・他のBDレコーダーでH.264長時間録画されたBDディスクは再生できない場合があります。 ・再生可能ディスクか確かめてください。 ・PAL、SECAM方式のディスクは再生できません。 ・DVDディスクの場合は、録画した機器でファイナライズを行ってください。 ・本機内部のつゆつき（結露）を除去してください。 ・ディスクの記録状態、傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な再生ができない場合があります。 ・ディスクを取り出して表裏を確認してください。	73 204 – 204 – – 13 29 28

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生（つづき）	BDビデオが正常に再生できない／再生動作が遅い	• BD-JAVAを採用したBDビデオを利用したときは、ソフトに記録されているデータを内蔵HDDに記録しておくことで映像を見ながらゲームなどを楽しむことができます。BD-JAVAを採用した複数のBDビデオを利用した場合、まれに、再生時の操作で動作が遅くなったり、正常に再生しなくなる場合があります。そのようなときは、「BDビデオ用データ初期化」を行ってください。 • 「BDビデオ用データ初期化」を実行すると、BDビデオで個別に設定したブックマークや、ゲームのスコアなどが消去されます。	78、198 198
	本機でダビングしたディスクを他のプレーヤーで再生できない	• 「ダビングしたBDを他の機器で再生するときは」をご確認ください。 • 「ダビングしたDVDを他の機器で再生するときは」をご確認ください。	207 209
	ハードディスクにダビングしたAVCHD記録の番組が録画リストに出ない	• 録画リストには、放送番組と動画アルバムの2つがあります。録画リストで黄(動画アルバム)を押し、動画アルバムに切り換えてください。	71
	他のDVDレコーダーで録画・編集したDVDディスクが途中で再生されなくなる	• 他のDVDレコーダーで編集したディスクのプレイリストは、12時間以上再生できません。	—
	ディスクの再生で音飛びしたり、画像が乱れる	• ディスクの記録面に傷や汚れ(指紋)が無いかお確かめください。ディスクに汚れ(指紋)が付着しているときは汚れを落としてください。 • ディスクの読み取り部分にゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れて見える場合があります。	29 29
	つづき再生が働かない	• 市販のBDビデオ、DVDビデオ、BD-RE/-R、DVD-RW/-Rディスク、音楽用CDは、ディスクを取り出すと、つづき再生されません。 • DVDビデオ（ビデオフォーマットのDVD)、音楽用CDは、ディスク切換操作をするとつづき再生されません。 • BONUS VIEWやBD-LIVEなどのBDJ（Java）に対応したBDビデオはつづき再生が働かない場合があります。	81 81 81
	二重音声（二ヶ国語など）の音声が切り換えられない	• 下記のタイトル（録画した番組）は、録画時に「主音声」または「副音声」のいずれか1つのみが記録されているので、音声を切り換えることはできません。なお、どちらの音声が記録されているかは、録画時の「二ヶ国語音声設定」によります。 ・ビデオフォーマットで録画されたタイトル ・録画画質が「XP」（高画質）で、「音声記録方式設定」が「リニアPCM」で記録されたタイトル ・外部機器から「外部入力音声設定」が「ステレオ」でダビングされた二重音声のタイトル • 本機の音声出力がビットストリーム（AAC）出力状態になっているとき、モノラル二重音声放送は本機で音声切換ができません。 テレビ側で音声切換を行ってください。	190～191 193
	BD（ブルーレイディスク）やDVDの映像を、ビデオデッキなどに録画したりビデオデッキなどを通して再生すると、再生画面が乱れる	• 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。コピー禁止信号が入っているディスクの場合、ビデオデッキなどを経由して再生したり、ビデオデッキなどに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	—
	市販のBDビデオまたはDVDビデオを再生中、吹き替え音声が切り替わってしまう	• 市販のBDビデオまたはDVDビデオによっては、テレビ放映当時の音声をそのまま収録しているものがあります。そのため、吹き替えの音源がない部分は、オリジナルの音源になりますので、日本語と外国語が交互に切り換わる動作をする場合があります。	—

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
再生（つづき）	市販の BD ビデオや DVD ビデオを再生すると音量が小さくなる	• BDビデオやDVDビデオは、収録されている音声の音量レベルにより、再生時の音量が小さくなる場合があります。 ドルビーデジタルで音声を収録したディスクの場合は、「音声出力レベル」を「シフト」に設定することで音量を大きくすることができます。 （DTS、ドルビーデジタルプラス、ドルビーTrueHDで音声を収録したディスクでは働きません。）	193
	録画リスト（録画番組一覧）が表示されない	• 本機をリセットしてください。 • 上記を確認しても表示されない場合は、HDD（ハードディスク）の異常が考えられます。お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	211 233
	録画リストのタイトル名に「*」が表示される	• 視聴年齢制限を設定しているとき、年齢制限されている番組は、「*****」と表示されます。	69、196
	録画リストに「2 倍」や「XP」などの画質表示が出ない	• DVDディスクの場合、ディスクをトレイから取り出すと画質表示は出なくなります。 • LAN 接続でスカパー！プレミアムサービスを録画した番組は、画質表示が出ません。	ー ー
	録画した最後の数秒間が再生されない	• 他機で録画（ダビング）したディスクの場合、録画を停止した位置と番組の終了位置が多少ずれることがあります。 • 同じ録画先に連続した予約が設定されている場合は、先に録画した番組の終了時間が数秒早くなるため、番組の最後が録画されません。	ー 54
	別室にある DLNA（動画再生）対応のテレビで本機の映像が見られない（ホームネットワーク機能が使えない）	• LAN 設定を行いましたか。 • DLNA（動画再生）対応シャープ製液晶テレビ「アクオス」で本機を選択していますか。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。 •「ホームネットワーク設定」を「する」に設定していますか。 • 本機から出力できるのは、ハードディスクに録画したタイトルのみです。BD/DVD/CD/ 写真は出力できません。 • 本機が電源「切」のときは、ホームネットワーク機能は働きません。 • 電源を切った状態で再生操作を行いたいときは「クイック起動設定」を「する（設定 1）」に設定してください。 • アクトビラ、TSUTAYA TV、YouTube 視聴中は、ホームネットワーク機能は使用できません。	184〜185 ー 144 143 143 172 141
	静止画再生／コマ送り再生がうまくいかない	• DVD-RW/-Rディスク（VRフォーマット）以外のディスクでコマ送り動作をしたときは映像がずれることがあります。 • 市販のBDビデオやDVDビデオでは、ディスクによって静止画再生／コマ送りの操作が禁止されているものがあります。 • BDビデオの場合、コマ戻し再生はできません。	83 83 83
	早送り／早戻し（サーチ）がうまくいかない	• ディスクや再生しているシーンによっては、早送りサーチをしたとき、本書に記載のスピードにならない場合があります。 • タイトルをまたぐサーチはできません。（音楽用CDは除く）BD・DVDディスクの場合は、再生状態になります。	83 83
	スロー再生がうまくいかない	• タイトルをまたぐスロー再生はできません。	83
	同時録画・再生できない／再生が中断される	• 重ね録りで録画した番組を再生中に、重ね録り設定されている予約が始まったときは再生が停止し、重ね録りされます。（番組は消去されます。） • 携帯電話用動画を同時録画しているときは、同時録画再生は行えません。	62 44
	再生できないタイトルがある	• 正常に録画されなかった映像は再生できません。 • 録画時間が短い場合は、再生できないことがあります。 • 受信機レポートで停電等により録画が中断されなかったか確認してください。	ー ー 189

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生（つづき）	連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できない、スロー再生などの特殊再生ができない	• マルチビューサービス放送を HDD（ハードディスク）に録画して主映像以外の映像を再生すると、連動データ放送が視聴できない、字幕などが表示できないなどの制限が出る場合があります。また、スロー再生などの特殊な再生はできません。 •「連動データ設定」が、「記録しない」に設定されていないか確認してください。予約録画で個別に「連動データ設定」を「記録しない」に設定したタイトルも連動データ放送は記録されません。	ー 191
編集	シーン（部分）消去ができない	• 1タイトル（番組）あたりシーン（部分）消去できる回数は50回までです。 • DVDディスクの「シーン（部分）消去」はできません。	92 92
	チャプター（章）分割ができない	• 内蔵 HDD に録画したタイトルのチャプター数が 1 タイトルあたり 99 チャプター、総チャプター数が 20000 あるときは、それ以上分割することはできません。 • DVDディスクの「チャプター（章）分割」はできません。	93 93
	チャプター（章）結合ができない	•「シーン（部分）消去」または「チャプター（章）消去」で自動的に記録されたチャプターは結合できません。 • DVDディスクの「チャプター（章）結合」はできません。	89、92、94、95 ー
	シーン（部分）消去でコマーシャルを削除したのに、早戻しすると削除した映像の一部が一瞬映る	• 消去終了地点を設定した箇所によっては、早戻しした際にシーン消去した映像の一部が一瞬映ることがあります。これは、映像データを特定の単位で処理するために起こるもので、故障ではありません。	ー
	編集が中断される	• HDD（内蔵／外付け）の編集中に録画予約開始時刻になると、編集を中断し、録画予約が実行されます。	ー
ダビング	HDD（ハードディスク）から、BD（ブルーレイディスク）・DVD ディスクへダビングできない	• デジタル放送を録画したタイトルを DVD ディスクにダビングする場合は、CPRM 対応の DVD-RW/-R ディスクを VR フォーマットで初期化してからダビングしてください。 • HDD が再生中の場合は、高速ダビングのみ行えます。BD・DVD ディスクが再生中の場合は、ダビングできません。 • 本機でダビングできる BD・DVD ディスクを挿入してありますか。 ・ 本機でダビングできるディスクについては→ **205**、**207**、**208** ページ ・ ディスクの残量は足りていますか。 ・ ディスクが保護されていませんか。 ・ ファイナライズされた DVD-R、DVD-RW ビデオフォーマットのディスクにダビングしようとしていませんか。残量がある DVD-RW ビデオフォーマットの場合、ファイナライズを解除すればダビングをすることができます。 • ダビングを始めた状態、ダビング中の状態をご確認ください。 ・ 本機がディスクを判別し終える前に、ダビングの操作を始めませんでしたか。BD/DVD ランプが白色点灯するまで、操作はお待ちください。 ・ ダビング中に電源プラグを抜いてしまったり、停電になったりしませんでしたか。 • マイディスク予約（予約書き込み）専用ディスクにはダビングできません。 • 1 枚のディスクに記録できるタイトルやチャプター数は制限を超えるとダビングすることはできません。（制限について詳しくは **236** ページをご覧ください。） タイトル結合や録画の状態により、ディスク管理情報が変化し、ダビングできるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。 • 傷、そり、汚れやピックアップの状態、ご使用のディスクと本機との相性により、適切な録画ができない場合があります。 • 他の BD レコーダーや DVD レコーダーでシーンの追加やシーンの消去をたくさん行ったディスク（51 回以上）では、ダビングができない場合があります。 • シャープ製以外のレコーダーで録画されたディスクへはダビングできない場合があります。 • 他機で長時間録画したディスクは、ダビングができない場合があります。「ダビングができない場合」をお読みください。 • ダビング時の制限事項があります。「ダビングできる組み合わせ」、「ダビング画質とダビングされる内容」をご覧ください。 • 他社のレコーダーで記録されたDVD-R DL（2層）ディスクでは、ダビングができない場合があります。 • 外付けHDDからDVDディスクへのダビングはできません。	30、203、205 ー 205 49 88 119 ー 67 ー 29 ー ー 105 105 ～ 106 ー 100

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ダビング（つづき）	HDD（ハードディスク）から BD（ブルーレイディスク）・DVD ディスクにダビングしたら、HDD からタイトルが消えてしまった	• ダビングしたタイトルが①「1回だけ録画可能」、②「ダビング10」の番組で9回までコピー済みではありませんか。 このような場合は、複製が禁止されているので、BD·DVDディスクへダビングすると複製ではなく移動（ムーブ）となり、HDDからは消去されます。 • 移動（ムーブ）となるタイトルは、ダビングを途中で止めると、ダビングしたところまでがHDDから消去されます。	18、104 104、107
	HDD（ハードディスク）から外付け HDD にダビングしたら、HDD からタイトルが消えてしまった	• 内蔵HDDから外付けHDDへダビングすると複製ではなく移動（ムーブ）となり、内蔵HDDからは消去されます。 • ダビングを途中で止めると、ダビングしたところまでがHDDから消去されます。	104、107 104、107
	HDD に録画された「1 回だけ録画可能」または「ダビング 10」のタイトルがダビングできない	• 内蔵 HDD に録画された「1 回だけ録画可能」のタイトルは、内蔵 HDD へ高速ダビングできません。録画画質変換ダビングのみ可能です。（元の録画画質のタイトルは、削除されます。） • 外付けHDDからDVDディスクへのダビングはできません。	100 100
	DVD ディスクから HDD にダビングできない	• AVCHD記録のDVDのデータ、または「録画可能」（録画制限のない）タイトルが記録されたDVD、内蔵HDDからコピーした写真用フォーマットのDVD以外からは、HDDにダビングできません。 • ビデオフォーマットの DVD はファイナライズすると HDD（ハードディスク）へのダビングは行えません。 • 他機で録画したビデオフォーマットの DVD はダビングできません。 • 外付けHDDへのダビングはできません。	– – – 100
	ダビング予約ができない	• ダビング先の状態を確認してください。「録画ができない、録画が途中で止まる」をご確認ください。 • 番組予約の合計が 65 番組（電子番組表予約、日時指定予約、マイディスク予約、休止中の予約を含む）になっているときは、ダビング予約ができません。このときは、「予約リスト」で不要な予約を取り消してください。 • ダビング予約は、1 件のみ可能です。 • 1 回だけ録画可能（ダビング 10 の番組でも残り 1 回）の番組はタイトル保護が設定されているとダビング予約ができません。 • 録画中や、別の予約録画を設定した時間と重なる時間のダビング予約はできません。予約リストで予約内容を確認してください。 • 外付け HDD から BD へのダビング予約はできません。	215 64 – – 64 110
	ダビング予約したのにダビングされていない	• ダビング開始時刻に下記の状態であった場合は、ダビングされません。 ・再生中は、ダビング開始時刻の 3 分前までに、操作を終えてください。 ・ダビング中は、ダビング開始時刻の 3 分前までに、操作を終えてください。 ・ファミリンク（HDMI）予約をお使いの場合は、ファミリンク予約録画の終了から 5 分以上遅らせて「ダビング開始時刻」を設定してください。	–
	ダビング元とダビング先でチャプターの位置がずれる	• ビデオフォーマットのDVDディスクにダビングした場合は、ダビング元のチャプターマークがコピーされません。	106
	高速ダビングができない	• DVDディスクには高速ダビングできません。 高速ダビングできるのは、BDディスクです。	99
	高速ダビングすると、動作音が大きくなる	• 「高速ダビング（最高速モード）」時は、ディスクの回転数が上がるため、動作音が大きくなりますが故障ではありません。「高速ダビング（静音モード）」または「録画画質変換ダビング」を選択すると、動作音は抑えられます。	108
	DVD-R DL（2 層）ディスクにダビングがうまくできない	• ビデオフォーマットで初期化したディスクを使ってダビングした場合、1層目と2層目にまたがってダビングすると、1層目と2層目が別タイトルとして記録されます。 • VRフォーマットのディスクにダビングしたときは、連続でダビングできる時間は9時間です。 • 他社のレコーダーで記録されたDVD-R DL（2層）ディスクでは、ダビングができない場合があります。	– – –

次ページへつづく

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
ダビング（つづき）	二重音声（二ヶ国語など）の音声が記録できない	• DVD ディスクにビデオフォーマットでダビングするときは、録画時に「主音声」または「副音声」のいずれか1つのみが記録されます。どちらの音声が記録されるかは、録画時の「二ヶ国語音声設定」によります。	106、190〜191
	マルチ音声（ステレオ二重音声）の副音声（音声 2）などが DVD へダビングできない	• DR、2倍〜12倍、HD○○画質で録画した番組は、そのタイトルを再生した音声でダビングされます。ダビングする前にダビングしたい音声を再生して選んでからダビングしてください。選んだ音声がダビングされます。	37、45、86、106
本体の音／動作	電源を「切」にしたのに動作音がする	• 録画予約、ダウンロード、番組表情報取得、B-CAS カード内の契約情報の更新などを実行しているときは本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。本体表示部に「DATA」「PGUIDE」「DL」などが表示されます。 • 一発（クイック）起動待機中は本体内部の電源が入っているため、動作音（冷却ファンが回転）がします。 電源を切った後、数分間は本体の電源が入った状態となります。	14、20 172
	ディスクトレイを閉めても出てきてしまう	• 再生できるディスクかどうか、確認してください。 • 表と裏を間違えていませんか。 • 録画されていない DVD-RAM を挿入していませんか。	204 28 –
	ディスクトレイが出ない	• ダビング画面または消去画面を表示させていませんか。画面を終了させてから操作してください。 • 本体のリセットボタンを押して本機をリセットしてください。本体表示部に「RST」が表示されます。電源が切れ、待機ランプが点灯してから、トレイ開／閉ボタンを押し電源を入れてください。	89、107 211
	何も操作していないのに音がする	• 電源が入った状態で一定時間何も操作していないとき、HDD（ハードディスク）の動作音がする場合があります。	–
	電源を切った後、時計表示が出ない	•「電源オフ時計表示設定」を「する」に設定してください。 • 電源を切った後、電子番組表データの取得中は、本体表示部に「PGUIDE」と表示されます。 放送局との通信中は「DATA」と表示されます。時計は表示されません。	195 20
	電源を入れると「アンテナ線の接続や設定に不具合がありますので BS/CS 電源を「切」にしました。」のメッセージが出て操作できない	• メッセージが出ても放送が受信できるときは、終了ボタンを押し、「BS・CS アンテナ電源」を「切」に設定してください。	178
		• メッセージが出て放送が受信できないときは、電源を切り、アンテナ線の接続を確認してください。	150〜152
リモコン	本機のリモコンで操作すると、他の DVD 機器（当社製）やテレビも動作してしまう	• 他の DVD 機器（当社製）の場合は、本機のリモコン番号を切り換えてください。 • リモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコンにより誤動作するものがあります。本機と離してご使用ください。	176 –
	本機のリモコンでテレビの操作ができない	• リモコンに、テレビのメーカー指定の設定をしてください。	173
その他	［ホーム］を押してもホーム画面が表示されない本体表示部には「MENU（メニュー）」と表示されるのに、テレビ画面にはホームメニューが表示されない	• メッセージが表示されたときは、メッセージに従って操作してください。 • テレビの入力を、本機を接続した入力に切り換えてから、［ホーム］を押してください。 • 再生中や追いかけ再生中、かんたんメニュー表示中、録画画質変換ダビング中は、ホーム画面を表示できません。	– – –
	予約録画実行中、本体表示部が点灯する	• 電源を切った状態で予約録画待機状態にしているとき、予約した録画が始まると本体表示部が点灯します。本体表示部を消したいときは、「液晶設定」の「液晶バックライト」を「予約実行時のみ消灯」に設定します。	195

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他（つづき）	使用中に本体が熱くなる	•本機を使用中、使用環境によっては本体キャビネットの温度が若干高くなりますが、故障ではありません。安心してお使いください。 •「BS･CSアンテナ電源」を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っても本体キャビネットの温度が多少高くなります。	– 178
	「アクオス純モード」／「クアトロン純モード」にならない	•ファミリンク対応の「アクオス」「アクオス クアトロン」とHDMIケーブルで接続していますか。 •「ファミリンク設定」の「連動設定」は「する」になっていますか。 •HDMIケーブルとD映像ケーブルの両方を接続しているときは、「映像同時出力設定」が、「HDMI 端子優先」に設定されていますか。	154、163、164 194 192
	かんたんメニューが表示されない	•再生中、ダビング中、番組表表示中、ホーム画面表示中、録画リスト表示中は、かんたんメニューは表示されません。	26

お問合せの前に

本機は、セットの状態を数字（状態表示コード）で表示する機能を搭載しております。（自己診断機能）お問合せの際、適切な対応を行うために、表示される数字（状態表示コード）をお聞きする場合があります。

状態表示コードの確認方法

•「ホーム」ー「設定」ー「初期化・更新」ー「システム動作テスト」で「決定」ボタンを押し「テスト実行」を行ないます。

アンテナ信号　：XXXXXX
B-CAS カード　：XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
システム状態　：XXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXX
バージョン番号　：XXXXXX

• 確認いただきたい状態表示コードは「システム状態」に表示されている数字です。
• 状態表示コードで全ての状態が把握できるわけではありませんので、あらかじめご了承ください。

システム状態のコード表示について

システム状態：0000 – xxxx – xxxx – xxxx – 0000

自己診断結果を表示（状態表示コード）　HDD状態表示

• つぎの状態表示コードの場合は、ご利用のディスクに何らかの要因があり正常な読み取りや書き込み（再生や録画）が正常にできていない、本機の温度が上昇しているなどの判断をしております。ディスクの状態や本機の設置状態を確かめてください。

状態表示コード	確認いただきたいディスクの状態／製品設置の状態
0000 0300 0321 0322 0323 0324 0325 032F	•ご使用のディスクを製品から取り出し、記録面 (光沢面) の汚れ (指紋など) を拭き取ってから改善されるかお試しください。 •別の「録画用 BD ディスク」をお持ちのときは、他のディスクへ入れ替えをしていただき、改善されるかお試しください。ディスクのお手入れ方法は **29** ページをご確認ください。
0180	•本製品を冷却するための外気の吸い込み部が塞がれていないか、確認をお願いします。 •製品を扉のあるラックに入れている場合は扉を開けて「放熱」を十分に確保してから、同様の状態が発生するか確認をお願いします。 •他の熱を出す製品に乗せているときは設置場所を変更してから、同様の状態が発生するか確認をお願いします。

症状が改善したときはそのままご使用いただき様子を見てください。症状が改善しても状態表示コードは消去されずに、「履歴」として表示されます。

エラーメッセージ（例）

ディスクが正しくなかったり操作を誤ったときは、本体表示部やテレビ画面に次のような表示が出ます。

本体表示部

こんなときは	ここを確かめてください	ページ
表示：WAIT	• 本体システム準備中です。「WAIT」表示中は電源が入りませんので、消えるまでお待ちください。	20
表示：ERR	• 動作不具合が発生しました。一度、電源を「切」にし再度電源を入れ操作してください。	—
表示：RC :1 RC :2 RC :3	• 本体のリモコン番号とリモコンの番号が違っています。本体表示部に点滅表示されるリモコン番号に、リモコンの番号を設定し直してください。	176
表示：RC :- -	• リモコンのテレビ／レコーダー切換スイッチが「テレビを使う」になっています。レコーダーを操作する場合は、「レコーダーを使う」に切り換えて操作してください。 • アクオスのリモコンを操作している場合にも、信号を受信して表示される場合があります。	33 —

テレビ画面

■録画や再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
この操作はできません。	• 他の動作を行っているため操作できないとき ➤ 他の動作が終了してから操作してください。	—
このディスクは再生できません。	• 本機で再生できないディスクが入っているとき ➤ ディスクを確かめて入れ直してください。 ➤ 録画中に停電したり、誤って電源コードを抜きませんでしたか。そのようなディスクは認識できなくなる場合があります。	204、205、206 —
このディスクは録画できません。 ディスクを読み込めませんでした。	• 本機で記録（ダビング）できないディスク（CD-R など）や傷、汚れのあるディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき • 本機が対応していないディスクを入れたとき ➤ 録画用ディスクを挿入し直してください。 ➤ ディスクを確かめて入れ直してください。	204、205、206
再生できません。 再生できません。停止してください。	• ディスクに傷や汚れがあるなど、途中で再生できなくなったとき • 記録状態が悪く途中で再生できなくなったとき ➤ 再生を停止し、ディスクを確かめて入れ直してください。	204、205、206
システムエラーが発生しました。電源を「切」にします。	• 電源「入」のときに、HDD（ハードディスク）に問題が生じたとき（自動的に電源が切れます。）	—
本体背面のファンが正しく動作していません。背面ファンをご確認ください。電源を「切」にします。 本体背面のファンが正しく動作しない可能性があります。ファンをご確認ください。	• 本体背面ファンが止まっている • 正常に動作していない ➤ 一度電源を切り、再度電源を入れ直してください。 ➤ リセットボタンを押し、再度電源を入れ直してください。 ※上記を行っても改善されないときは、販売店またはシャープお客様相談センターにご相談ください。	— 211 233

■録画や再生時のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
選局・再生に失敗しました。チャンネルを切り換えてください。	•受信状況、再生状況により、処理が間に合わないとき •放送視聴時に電波状態が悪く選局に失敗したとき •再生時に記録したデータがこわれていて再生に失敗したとき ➤ 別のチャンネルに切り換えてお楽しみください。 ➤ チャンネルが切り換わらないときは、本体のリセットボタンを先の細いもので押してください。 ※状況が改善されない場合は、販売店またはシャープお客様相談センターにご相談ください。	35 211 233
チャプターが記録できる上限を超えましたので録画できません。不要なタイトルやチャプターを消去してから録画してください。 管理情報の上限を超えるため、このタイトル同士は結合できません。 管理情報が上限を超えましたのでこの操作はできません。不要なタイトルを消去してから行なってください。 管理情報が上限を超えましたのでこの操作はできません。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。 管理情報が上限を超えましたので、これ以上録画できません。不要なタイトルを消去するか、他のディスクを使用してください。	•タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき •タイトル数が制限を超えているとき •タイトル結合や録画の状態により、ＨＤＤやＢＤの管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。 ➤ 内蔵 HDD、BD（ブルーレイディスク）の場合は、不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。 ➤ タイトル数やチャプター数の制限を確認してください。	89 ～ 90、94 236
ディスクが修復できませんでした。	•BD や DVD-RW/-R ディスクのダビング中に停電があった場合、停電回復後データの修復を自動的に行いますが、ディスクに傷や汚れなどがあり修復できなかったとき	ー
電源プラグの抜き差しやリセット操作などによりディスクを確認しています。完了まで 10 分以上かかる場合があります。	•リセット操作により、電源を切った場合など •停電などにより、HDD や BD、DVD-RW/-R ディスクにディスク情報が正しく書き込まれない状態で録画が停止した場合など ➤ HDD（ハードディスク）や BD、DVD-RW/-R ディスクの確認が完了するまでお待ちください。確認は 10 分以上かかる場合があります。	ー
ディスクを読み込めませんでした。 ディスクを取り出した後、一旦電源を「切」にしてください。	•ディスクに傷があるなど本機で再生できないディスクを入れたり、表裏逆に入れたとき、表示が出てきます •本機で対応していないディスクを入れたとき ➤ ディスクを確かめて入れ直してください。	29、204、206
ハードディスクにエラーが発生しましたので操作できません。ライブ視聴のみ可能です。お早めに最寄のご販売店またはシャープ修理相談センターまでご連絡ください。	➤ 一度 HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべくお早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	30、233
ハードディスクを確認中です。確認完了までは、ライブ視聴のみ可能です。	•停電の後や、電源「入」のまま電源プラグを抜き差ししたとき ➤ HDD（ハードディスク）の確認に 1 ～ 2 分かかる場合があります。その間は、放送視聴のみの動作となります。しばらくお待ちください。	ー
ファイナライズできませんでした。／初期化できませんでした。	•ディスクに傷、汚れなどがあるとき ➤ ディスクを確かめて入れ直してください	29、204、206

次ページへつづく

■録画や再生時のメッセージ（つづき）

<table>
<tr><th>テレビ画面表示</th><th>エラーの内容と対応</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>再生が停止しました。再生されているコンテンツは Cinavia® により保護されており、この装置上での再生が許可されていません。詳細は http://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 1</td><td rowspan="4">• 著作権保護された映像が含まれた BD、DVD ディスクを再生したとき
• 著作権保護された映像が含まれた BD、DVD ディスクをダビングしたとき

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。</td><td rowspan="4">—</td></tr>
<tr><td>コピーが停止しました。コピーされているコンテンツは Cinavia® によって保護されており、この装置でのコピーが許可されていません。詳細については、http:// www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 2</td></tr>
<tr><td>音声出力は一時的にミュート状態になっています。再生音量を調整しないでください。再生されているコンテンツは Cinavia® によって保護されており、この装置上での再生が認可されていません。詳細は http://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 3</td></tr>
<tr><td>コピーを停止しました。このコンテンツは Cinavia® で保護されており、そのためこの装置からはコピーが許可されていません。詳細は http://www.cinavia.com をご覧ください。メッセージコード 4</td></tr>
</table>

■直接録画時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
ディスクに予約情報が書き込まれているためこのディスクには録画できません。録画可能な BD を挿入してください。	• 挿入された BD-RE がマイディスク予約専用ディスクのとき ➤ 他の録画可能なディスクに入れ換えてください。	—

■スローなどの特殊再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
ハードディスク準備中です。操作できません。	• HDD（ハードディスク）が準備中のとき ➤ 準備が終わるまでは放送視聴のみ可能です。操作可能になるまで、しばらくお待ちください。（寒い場所で使用している場合など、HDD（ハードディスク）の温度が低くなっていると、HDD（ハードディスク）の準備に時間がかかることがあります。）	—

■マイディスク予約機能に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
このディスクはタイトルがいっぱいです。 マイディスク予約を行うには不要なタイトルを消去してください。	• タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えているとき • タイトル数が制限を超えたとき（**236** ページ） ➤ 不要なタイトルを消去してください。	**89 ～ 90**

■マイディスク予約機能に関するメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
この予約を登録しました。 予約できる時間が過ぎているものがあります。	• 予約時間の過ぎた予約情報が書き込まれたマイディスクを入れたとき ➤ 予約リスト画面で、BD-RE に書き込んだ予約を削除してください。	**68**
ディスクに予約情報が書き込まれているためダビングはできません。	• 予約を書き込んだ BD-RE を入れてダビングの操作をしたとき ➤ 他の録画可能なディスクに入れ換えてください。	**205**

■ BD/DVD ディスクへのダビング時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
1 度にダビングできる数を超えています。次回のダビングで選択してください。	• 放送番組や AVCHD ビデオカメラからの動画を複数選択してダビングするときに、50 タイトル（またはチャプター）を超えて選択しようとしたとき ➤ 放送番組は、最大 50 タイトル（または 50 チャプター）ずつダビングしてください。 ➤ AVCHD ビデオカメラから動画をダビングするときは、最大 50 タイトルずつダビングしてください。	**108** **111**
デジタル放送のダビングには、BD を使用するか、CPRM 対応の DVD を VR フォーマットに初期化してご使用ください。	➤ BD にダビングするか、CPRM 対応の DVD-RW/-R ディスクを VR フォーマットで初期化して、ダビングしてください。	**30、205**

■携帯電話への動画転送時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
携帯電話に転送する場合は、USB ケーブルを接続（抜き差し）してください。	• 携帯電話に SD カード（マイクロ SD カード）が入っていない • 携帯電話の USB モード設定が正しく設定されていない ➤ SD カード（マイクロ SD カード）を装着してください。 ➤ USB モード設定が正しいか確認してください。	**138** —
自動転送するデータがありません。	• 既に携帯電話に動画転送されている為、自動転送するデータがない • 携帯用動画が記録されている番組が無く自動転送できない ➤ 転送したい番組を個別に選択し、転送してください。	**138**

■編集・消去・タイトル名変更時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
1 度に消去できる数を超えています。次回の消去で選択してください。	➤ 最大 50 タイトル（またはチャプター）ずつ消去してください。	**89 ～ 90**
結合できないチャプターです。	• 同一タイトル内でシーン消去やチャプター消去をした際にできるチャプターは結合できません	**94**
チャプターが記録できる上限を超えましたのでこの操作はできません。不要なタイトルやチャプターを消去してから操作してください。	• 編集結果がチャプター数上限（**236** ページ）を超えるとき ➤ HDD（内蔵／外付け）、BD の場合は、チャプター結合により、不要なチャプターマークを消去してから編集してください。	**94**

■ファミリンク録画時のメッセージ

テレビ画面表示		ページ
S05	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 ➤ 録画ができない放送や番組、または録画ができない記録メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）です。番組内容または録画メディアを確認してください。	—

■ファミリンク録画時のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示		ページ
S06 S07	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 ➤ ファミリンク録画ができない放送です。 ➤ ファミリンク録画機能を使用せず、本機の録画機能をご利用ください。	— —
S09 S10 S11 S12	録画に失敗しました。 ➤ ファミリンク録画機能を使用せず、本機の録画機能をご利用ください。	—
S13 S14	録画に失敗しました。 この放送は録画することができません。 ➤ この放送や番組は録画することができません。 ➤ 番組内容を確認してください。	— —
S16	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。 ➤ 録画メディア（HDD・BD・DVD などの録画媒体）を確認してください。	—
S18	録画に失敗しました。 別の録画を実行中のため、録画できません。 ➤ 現在録画中のため、あらたに録画できません。	—
S19	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。 ➤ 書き込み禁止の録画メディアです。録画メディアを確認してください。	—
S21	録画に失敗しました。 記録可能なメディアがありません。 ➤ 録画メディアに録画できません。録画メディアを確認してください。	—
S22	録画に失敗しました。 記録可能な容量がありません。 ➤ 録画メディアの容量を確認してください。	—
S23	録画に失敗しました。 視聴制限がかかっています。 ➤ 視聴制限を解除して再度録画を設定してください。	—
S31	録画に失敗しました。 レコーダーが録画できない状態になっています。 ➤ 録画機器を確認してください。	—

■データ送受信端子からの写真取り込みに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
写真が一杯なのでこれ以上取り込めません。不要な写真を消去してください。	• アルバム内の写真が 10000 枚となったため、写真の取り込みができない ➤ 大切な写真は DVD-RW ディスクにコピーするなどして、アルバム内の写真を消去してから操作してください。	**131、132**
写真の取り込みが出来なくなりました。 接続を確認してください。	• 写真取り込み中に、接続機器の電源を切ったり、接続ケーブルを抜くなどして取り込みができなくなった	—
写真を取り込む場合は、放送視聴に戻って録画などが終わってから再接続してください。	• 録画や再生など本機が動作しているときに、デジタルスチルカメラをデータ送受信端子に接続した ➤ 本機が動作中は取り込みができません。動作を停止（放送視聴状態）にしてから操作してください。	**127**

■データ送受信端子からの写真取り込みに関するメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
接続された機器には対応していません。	• デジタルスチルカメラの USB 通信がマスストレージクラスに対応していない ➤ データ送受信端子から入力可能なデジタルスチルカメラはマスストレージクラスに対応した機器です。詳しくはお使いのメーカーにお問合せください。	127
動画の取り込みができなくなりました。	• 転送側機器または、内蔵 HDD（ハードディスク）にエラーが発生し、動画データの取り込みができない ➤ 本機側のエラーの場合は、内蔵 HDD（ハードディスク）を初期化してください。初期化しても改善されないときはなるべく早めにお買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにご連絡ください。	30、233
タイトルが一杯のため中断しました。 不要なタイトルを消去してください。	• 動画データの取り込み中に、タイトルやチャプターマークが、記録できる上限を超えたとき ➤ タイトル数やチャプター数の制限を確認してください。 ➤ HDD（ハードディスク）内のタイトルを消去し、空き容量を増やしてから再接続してください。 ➤ HDD（ハードディスク）内のタイトルの、不要なチャプターを消去するかチャプターを結合してください。	236 89 ～ 90、131、132 94

■ USB メモリーからのソフトウェア更新に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
取り込み可能なファイルがありません。	• 更新用ソフトウェアが USB にない • 複数個の更新用ソフトウェアが USB にある • 更新用ソフトウェアが USB の ROOT にない ➤ 弊社サポートステーション（http://www.sharp.co.jp/support/）へアクセスし、更新用ソフトウェアを USB に入れてください。 ➤ USB には、1 つの更新用ソフトウェアを入れてください。 ➤ 更新用ソフトウェアを USB の ROOT に入れてください。	201 — —

■写真コピーに関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
写真のコピーができないため中断しました。 ××××枚コピーしました。	• ディスクの空き容量が一杯になったり、写真保存枚数が制限一杯になったことから中断したとき	—
写真用に初期化した DVD を挿入してください。	• 写真用フォーマットで初期化されていない DVD-RW ディスクを挿入し、写真コピー操作を行った ➤ 写真用フォーマットで初期化した DVD-RW ディスクを挿入し直してください。	30
ディスクに保存できる枚数を超えています。 写真の枚数を少なくして操作してください。	• ディスクに保存されている写真が 4000 枚ある ➤ ディスクへコピーできる枚数は最大 4000 枚です。 ➤ 不要な写真を消去してください。	— 131、132

■グループ設定（写真）に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
グループ数が一杯なので作成できません。 不要なグループを解除してください。	• グループ数が 100 グループとなっている ➤ アルバム内に設定できるグループ数は最大 100 グループです。不要なグループをグループ解除してから操作してください。	130

次ページへつづく

■グループ設定（写真）に関するメッセージ（つづき）

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
グループをこれ以上増やせません。 （グループへの追加は可能です）	• グループ数が 100 グループとなっているのにグループを作成しようとした ➤ アルバム内に設定できるグループ数は最大100グループです。不要なグループをグループ解除してから操作してください。	130

■写真再生時のメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
写真が再生できません。	• 写真データの読み込みに失敗したとき ➤ アルバムを一度終了し、操作し直してください。	—
	• 写真ファイルが壊れているとき	—

■外付け HDD に関するメッセージ

テレビ画面表示	エラーの内容と対応	ページ
外付け HDD が認識できません。接続機器の確認、または接続をし直してください。	• 外付け HDD が認識できない ➤ 外付け HDD が正しく接続されているか確認してください。	31
外付け HDD が接続されました。外付け HDD の登録を行ってください。	• 未登録の外付け HDD を接続した ➤ 外付け HDD を本機に登録してください。	32
複数の外付け HDD が接続されています。1 台のみ本機に接続してください。	• USB ハブなどを使用し複数台の外付け HDD を接続した ➤ 本機に接続できる外付け HDD は 1 台のみです。1 対 1 接続にしてください。	31
外付け HDD が既に接続されています。後から接続した外付け HDD は使用できません。		
ケーブルの抜き差しやリセット操作などにより外付けＨＤＤのディスクを確認しています。 完了まで１０分以上かかる場合があります。	• 外付け HDD の取り外し操作をせずにケーブルなどを抜き差しした ➤ 外付け HDD を本機から取り外すときは、必ず所定の取り外し操作を行ってください。	32
外付けＨＤＤを認識できなくなりました。 一度本体の電源を切り、再度電源を入れ直してください。	• 外付け HDD の取り外し操作をせずにケーブルなどを抜いたため、外付け HDD が認識できなくなった ➤ 外付け HDD を本機から取り外すときは、必ず所定の取り外し操作を行ってください。	32

■その他のメッセージ

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
A102	この B-CAS カードは使用できません。 正しい B-CAS カードを挿入してください。	• B-CAS カードが割れているなど、破損していたり、IC チップが壊れている ➤ B-CAS カードを一度抜き差ししてみてください。それでもエラーが表示される場合は、B-CAS カスタマーセンターおよびご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	165
A107	この B-CAS カードには必要な情報がありません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。	• ご覧のチャンネル用の B-CAS カードではありません ➤ ご覧のチャンネル用の B-CAS カードを挿入してください。	165
C000	アクセスできませんでした。	• 接続したが、サーバーへのアクセスができないとき ➤ 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—

■その他のメッセージ（つづき）

テレビ画面表示		エラーの内容と対応	ページ
C204	アクセスできませんでした。	• 接続したが、サーバーへのアクセスができないとき ➤ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—
C208	サーバー証明書が不正のため、アクセスを中断します。	• 放送で送られたルート証明書が信頼できないため、アクセスを中断したとき ➤ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—
C209	サーバー証明書に問題があり、アクセスを中断します。	• 放送で送られたルート証明書の形式が不正なため、アクセスを中断したとき ➤ ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。	—
E201	• 天候の影響やアンテナの接続状況などにより、受信状態が悪くなっています。	• 降雪や降雨障害などの電波障害またはアンテナの方向や角度がずれたことによりアンテナ信号が弱くなったとき ➤ アンテナの向きがずれていませんか。 ➤ 受信強度は 60 以上ありますか。アンテナ信号テストで受信強度を確認してください。 ➤ 降雪や降雨により電波障害が起こりアンテナ信号が弱くなる場合があります。	178 179 212
—	• ライブ放送の受信状態が回復しました。 • 降雨対応画面選択中です。		
—	• 放送が受信できないため録画を停止しライブ放送に戻りました。 • 放送が受信できないため録画を停止しました。	• アンテナが接続されていないときや、放送が受信できないとき • 電波状態が悪く放送が受信できないとき ➤ アンテナ線やチャンネル設定は正しいですか。	150 ～ 152、177 ～ 183
E400	データが受信できません。	• 電波障害等によりデータを受信できない場合など ➤ 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—
E401	対象地域外のため、データを表示できません。この受信機では、データを表示できません。	• 対象地域外のデータ放送を選局しているとき ➤ 別のチャンネルを選局してお楽しみください。	—
E402	データの表示に失敗しました。	• 選んだチャンネルのデータの表示に失敗したとき ➤ 一度別のチャンネルを選局した後、もう一度エラー表示のでたチャンネルを選局し直してみてください。	—
—	現在接続されている機器には、コンテンツ保護の必要な映像信号を出力できません。	• DVI-HDMI 変換ケーブルを使用し HDCP 非対応のモニターと接続した場合に表示されます	154
—	アンテナ信号レベルが強すぎて放送が受信できません。信号レベルを調整してください。	• アンテナ信号が強すぎるため、受信障害が発生しているとき ➤ ブースターの調整や減衰器の挿入が必要です。販売店などにご相談ください。	—
—	地上デジタル放送のチャンネル更新に失敗しました。 アンテナの接続状況や調整を確認してから地上デジタル放送の受信チャンネルの設定を行ってください。	• 地上デジタル放送のチャンネル更新ができない ➤ 地上デジタル放送のチャンネル設定をやり直してください。	179

保証とアフターサービス

保証書（別添）

● 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

● **保証期間**
お買い上げの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

使い方や修理のご相談など

● 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店、またはシャープお客様相談センターにお問い合わせください。（→ **233** ページ）

補修用性能部品の保有期間

● 当社は、ブルーレイディスクレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後 8 年保有しています。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

● 「故障かな？と思ったら」（→**210**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

- 品　　　名：ブルーレイディスクレコーダー
- 形　　　名：BD-W515
- お買い上げ日（年月日）
- 故障の状況（できるだけ詳しく）
- ご　住　所（付近の目印も合わせてお知らせください）
- お　名　前
- 電話番号
- ご訪問希望日

便利メモ

お客様へ…
お買い上げ日・販売店名を記入されると便利です。

お買い上げ日	販売店名
年　　月　　日	電話（　　　）　　―

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

愛情点検

長年ご使用のレコーダーの点検を！
こんな症状はありませんか？
・電源コードやプラグが異常に熱い。
・映像が乱れたり、きれいに映らない。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、スイッチを切り、プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。
発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

http://www.sharp.co.jp/support/ ■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。

使用方法や修理のご相談など【お客様相談センター】 おかけ間違いのないようにご注意ください。

0120 - 001 - 251
非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。
※一部、有料サポートがあります。

受付時間（年末年始を除く）
●月曜～土曜：9:00～18:00
●日曜・祝日：9:00～17:00

■フリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電話	FAX
043 - 331 - 1626	043 - 297 - 2696
〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間（祝日など弊社休日を除く）　●月曜～土曜：9:00～17:40 ただし、沖縄地区は月曜～金曜：9:00～17:40

地区	窓口	電話番号	所在地
北海道	札幌	011-641-4685	〒063-0801　札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北	仙台	022-288-9142	〒984-0002　仙台市若林区卸町東3-1-27
関東	宇都宮	028-637-1179	〒320-0833　宇都宮市不動前4-2-41
関東	東東京	03-5855-0432	〒114-0012　北区田端新町2-2-12
関東	横浜	045-753-4647	〒235-0036　横浜市磯子区中原1-2-23
中部	静岡	054-344-5781	〒424-0067　静岡市清水区鳥坂1170-1
中部	名古屋	052-332-2623	〒454-0011　名古屋市中川区山王3-5-5
中部	金沢	076-249-2434	〒921-8801　野々市市御経塚4-103
近畿	京都	075-672-2378	〒601-8102　京都市南区上鳥羽菅田町48
近畿	神戸	078-452-7009	〒658-0025　神戸市東灘区魚崎南町4-12-6
近畿	大阪	06-6794-5611	〒547-8510　大阪市平野区加美南3-7-19
中国	広島	082-874-8149	〒731-0113　広島市安佐南区西原2-13-4
四国	高松	087-823-4901	〒760-0065　高松市朝日町6-2-8
九州	福岡	092-572-4652	〒812-0881　福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄	那覇	098-861-0866	〒900-0002　那覇市曙2-10-1

「宅配業者引き取りサービス」のご案内

0120-001-251 非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。　※サービスエリア：日本国内地域。ただし、沖縄県を除く。

ご転居やご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理が依頼できない場合や、上記窓口にお持込みできない場合に、お電話で依頼いただきますと、当社指定の宅配業者がお客様のご都合の良い日時にご自宅に訪問してお預かりし、弊社で修理完了後ご自宅までお届けするサービスです。

■ご利用料金：保証期間内は無料です。(保証書記載の「保証規定」に準じます。保証期間内でも有料になる場合があります。)
保証期間外は修理料金(修理内容により異なります)と運送費1,000円＋梱包資材費＋代引き手数料がかかります。

■お引き取りの時間は次の時間帯よりお選びいただけます。

午前中	12:00～14:00	14:00～16:00	16:00～18:00	18:00～21:00

※交通事情などの理由により、ご指定の時間にお伺いできない場合がございます。

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2012.12)

仕様

品名			ブルーレイディスクレコーダー
形名			BD-W515
一般	ハードディスク容量		500GB（ギガバイト）
	電源電圧		AC 100V、50/60 Hz
	外形寸法		幅 430、奥行 235、高さ 58（mm）（突起部を除く）
	本体質量		約 2.9kg
	使用温度範囲		＋ 5℃～＋ 35℃
	使用湿度範囲		10%～ 80%（結露なきこと）
	動作姿勢		水平
記録	録画可能ディスク※1		BD-RE SL（1層）Ver. 2.1、BD-RE DL（2層）Ver. 2.1、BD-RE XL（3層）Ver. 3.0、 BD-R SL（1層）Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3/1.3LTH TYPE BD-R DL（2層）Ver.1.1/1.2/1.3、BD-R XL（3層/4層）Ver. 2.0、 DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL（2層）
	記録圧縮方式（HDD・BD）	映像 音声	MPEG2、MPEG4 AVC/H.264 MPEG2 AAC、ドルビーデジタル（2ch）
	記録圧縮方式（DVD-RW/-R）	映像 音声	MPEG2 ドルビーデジタル（2ch）、リニア PCM（2ch）（録画画質「XP」時）
	録画時間※2（HDD）	BS/CS ハイビジョン画質	約 44 時間
		地上 D ハイビジョン画質	約 62 時間
		標準画質	約 89 時間
		2倍※5	約 89 時間
		3倍※5	約 133 時間
		5倍※5	約 222 時間
		7倍※5	約 312 時間
		10 倍※5	約 445 時間
		12 倍※5	約 535 時間
		HD ○○※5	10 段階（HD10 ～ HD01 から選択可能）※3
		SXP	約 73 時間
		XP	約 98 時間
		SP	約 174 時間
		MN（マニュアル）	7 段階（MN68（SXP 相当）～ MN26）※3
		連続録画可能時間	最大 12 時間
	録画時間※2（BD-RE：25GB 時）（2 層 50GB、3 層 100GB 時の記録時間は **47** ページ）	BS/CS ハイビジョン画質	約 2 時間 10 分
		地上 D ハイビジョン画質	約 3 時間 00 分
		標準画質	約 4 時間 20 分
		2倍※5	約 4 時間 20 分
		3倍※5	約 6 時間 30 分
		5倍※5	約 10 時間 50 分
		7倍※5	約 15 時間 10 分
		10 倍※5	約 21 時間 40 分
		12 倍※5	約 26 時間
		HD ○○※5	10 段階（HD10 ～ HD01）※3
		SXP	約 3 時間 30 分
		XP	約 4 時間 40 分
		SP	約 8 時間 30 分
		MN（マニュアル）	7段階（MN68（SXP相当）～MN26）※3
	録画時間※2（DVD-RW/-R: 4.7GB 時）	XP	約 1 時間
		SP	約 2 時間
		LP	約 4 時間
		MN（マニュアル）	7段階（MN65（XP相当）～MN13（LP相当））※3

形名			BD-W515	
再生	再生可能ディスク※1		BD-RE SL(1層)Ver. 2.1、BD-RE DL(2層)Ver. 2.1、BD-RE XL(3層) Ver. 3.0、 BD-R SL(1層)Ver.1.1/1.2/1.2LTH TYPE/Ver.1.3/1.3LTH TYPE、 BD-R DL(2層)Ver.1.1/1.2/1.3、BD-R XL(3層/4層)Ver. 2.0、 BDビデオ、DVDビデオ、DVD-RW、DVD-R、DVD-R DL(2層)、 DVD+RW(ビデオフォーマットファイナライズ済)、 DVD+R(ビデオフォーマットファイナライズ済)、DVD-RAM(ケースから取り出せるもの)、 音楽CD、CD-R (音楽CDフォーマット)、CD-RW (音楽CDフォーマット)、 CD-R (JPEGファイル記録)、CD-RW (JPEGファイル記録)	
フォトシステム	保存可能な画像ファイル形式(JPEG)		JPEG ベースライン DCT 準拠 /JPEG(Exif2.2) DCF 準拠※4	
	保存可能なファイルサイズ		容量:最大 20MB(データ送受信端子取り込み時) サイズ:最大縦 4320 ×最大横 7680(最小縦 32 ×最小横 32)	
	保存可能写真数		10000 枚	
チューナー	受信チャンネル	BS デジタル	001 ～ 999ch	
		110 度 CS デジタル	000 ～ 999ch	
		地上デジタル	011 ～ 528ch	
		CATV	C13 ～ C63ch	
タイマー	予約番組数	本体予約	1 年 65 番組(HDD/BD)	本体予約とマイディスク予約合計で最大 65 番組
		マイディスク予約	8 日 8 番組	
接続端子	映像入力		1 系統 ピンジャック:1 V p-p(75 Ω)	
	音声入力		1 系統 ピンジャック(L/R):2 V rms (入力インピーダンス 22k Ω以上)	
	データ送受信(USB 準拠)		1 系統 DC5V 500mA	
	外付け HDD 用(USB 準拠)		1 系統 DC5V 500mA	
	HDMI 出力		1 系統	
	D1/D2/D3 映像出力		出力 1 の 1 系統 Y:1.0 V p-p(75 Ω) C_B、C_R:0.7 V p-p(75 Ω)	
	映像出力		1 系統 ピンジャック:1 V p-p(75 Ω)	
	音声出力		1 系統 ピンジャック(L/R):2 V rms (1kHz 0dB、出力インピーダンス 1k Ω以下)	
	光デジタル音声出力		1 系統 光コネクタ:角形光ジャック	
	BS・110 度 CS アンテナ入出力		入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター	
	地上デジタルアンテナ入出力		入力と出力のそれぞれ 1 系統 75 Ω F 型コネクター	
	LAN 端子(10BASE-T/100BASE-TX)		1 系統	

※ 1 BD-RE Ver.1.0 は本機では使用できません。(カートリッジタイプのディスクは使用できません。)
※ 2 **録画可能時間は目安です。**テレビ画面に表示される「残時間」は、きめ細かいシーンの多い映像や動きの多い映像など(ビットレートの高い映像)が録画できる時間の目安です。
実際の録画可能時間は、放送内容によってはテレビ画面に表示される「残時間」よりも長く録画することができます。
※ 3 HD ○○、MN(マニュアル)の録画時間については、**46** ～ **48** ページをご覧ください。
※ 4 DCF は、(社)電子技術産業協会(JEITA)の規格「Design rule for Camera File system」の略称です。
※ 5 連動データを記録する場合、「2 倍」～「12 倍」、「HD ○○」の録画時間は、連動データ放送のデータの大きさにより、実際に録画できる時間は記載値よりも短くなります。

形名	BD-W515
付属品	リモコン、単3形乾電池 2 個、HDMI ケーブル、アンテナケーブル（両側 F 接栓ケーブル）、電源コード、B-CAS カード（B-CAS カード使用許諾契約約款付き）、取扱説明書※、かんたんメニュー操作ガイド※、保証書

※ 当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

形名		BD-W515
消費電力※1		20 W
待機時消費電力※1	クイック起動「する（設定 1）」および「する（設定 2）」時	9.5 W
	クイック起動「する（設定 2）」時の 2 時間以降	同下
	クイック起動「しない」	0.6 W（時計表示点灯）／ 0.55 W（時計表示消灯）
	クイック起動「しない」および BS・110 度 CS デジタルアンテナ信号出力設定「しない」 およびアッテネーター設定「入」時	0.18 W（時計表示消灯）
エコモード		0.02 W
年間消費電力量※2		20.9 kWh ／年

※ 1 消費電力、待機時消費電力は BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源供給「切」時の値です。
※ 2 表示値は、JEITA 基準による算出式をもとに算出した参考値です。

- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 海外では使用できません。このブルーレイディスクレコーダーは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
  <This Blu-ray Disc Recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.>
- あなたがテレビ（ラジオ）放送や録画（レコード録音）物などから録画（録音）したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上の権利者に無断で使用できません。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

■本機で記録できるタイトル／チャプター数

ご注意

タイトル結合や録画の状態により、HDD や BD の管理情報が変化し、録画できるタイトル数が少なくなる場合があります。このようなときには、管理情報が上限を超えている、または、管理情報が一杯であることをお知らせするメッセージが表示されます。

HDD（内蔵／外付け）の場合

タイトル数：　999 タイトル※
チャプター数：1 タイトルにつき 99 チャプター。合計 20000 チャプター※
※内蔵 HDD は放送番組と動画アルバムの合計、外付け HDD は放送番組の合計です。

BD の場合

タイトル数：　200 タイトル
チャプター数：1 タイトルにつき 98 チャプター。合計 1000 チャプター（1 層、2 層）
　　　　　　　1 タイトルにつき 98 チャプター。合計 19600 チャプター（3 層）

DVD の場合

タイトル数：　99 タイトル
チャプター数：1 タイトルにつき 99 チャプター。合計 999 チャプター

用語の解説

アルファベット

1080i (1125i)
有効走査線 1080 本、インターレース（飛び越し走査）方式。デジタルハイビジョンの高画質です。総走査線数を使って「1125i」と呼ぶこともあります。

1080p (1125p)
有効走査線 1080 本、プログレッシブ（順次走査）方式。総走査線数を使って「1125p」と呼ぶこともあります。

2 番組同時録画
本機は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送において、「録画 1」「録画 2」での録画用にデジタル放送のチューナーを 2 つ搭載しています。2 番組同時録画はその 2 つのチューナーを使用し、同時に 2 番組を録画する機能です。

3D
人はものを見るときに右目・左目それぞれ、わずかに異なった映像を見ています。これを「視差」と呼び、脳の処理により奥行き感や立体感を認知します。3D 映像はこの「視差」を応用し、右目用、左目用の映像を交互に高速表示することにより 2 つのイメージを立体感のある映像として脳に認識させる技術です。3D の視聴には、3D に対応したテレビなどが必要です。

480i (525i)
有効走査線 480 本、インターレース（飛び越し走査）方式。地上アナログ放送（VHF/UHF）や BS アナログ放送と同等の画質です。総走査線数を使って「525i」と呼ぶこともあります。

480p (525p)
有効走査線 480 本、プログレッシブ（順次走査）方式。総走査線数を使って「525p」と呼ぶこともあります。

AAC
音声圧縮方式の一つで国際的な標準規格である、Advanced Audio Coding の略です。
地上デジタル /BS デジタル /CS デジタル放送の映像圧縮方式である「MPEG-2」に採用されています。MPEG-1 に採用されている音声圧縮方式「MP3」より、1.4 倍ほど圧縮効率が高くなっています。

AACS
Advanced Access Content System の略で、コンテンツ保護技術の一つです。デジタル放送番組を BD ディスクに録画・再生する場合は、機器および BD ディスクがこの技術に対応していることが必要です。

ADSL 回線
ブロードバンド回線のひとつで、アナログ固定電話回線の音声通話に使用しない帯域を使った回線です。

AVCHD
ハイビジョン動画記録フォーマットであり、8cm DVD への記録を H.264/MPEG-4 AVC 方式で行うものです。

BD-LIVE（BD ライブ）
インターネットに接続したブルーレイディスクプレーヤーを通じて、特典映像などのさまざまな情報をダウンロードできるサービスです。

CATV
ケーブルテレビ（有線放送）のことです。

CATV パススルー
ケーブルテレビ配信局が地上デジタル放送を、内容はそのままで CATV 網に流す放送方式です。この方式では、地上デジタル放送が本来使っている UHF 帯のチャンネルとは異なる他のチャンネルに周波数を変換して再送信することがあります。
本機で受信できるのは次の周波数帯です。
UHF 帯／ VHF 帯／ミッドバンド（MID：C13 ～ C22）帯／スーパーハイバンド（SHB：C23 ～ C63）帯

CPRM (Content Protection for Recordable Media)
デジタルメディアに対する著作権保護技術のことです。
デジタル放送の「1 回だけ録画可能」「ダビング 10」などの録画制限のある番組を録画・ダビングするには、CPRM 対応の録画用 DVD が必要です。

D 映像端子
コンポーネントと呼ばれる 3 本の輝度・色差信号（Y/C_B/C_R および Y/P_B/P_R）のコード接続を、1 本のコードで行えるように考案された端子です。D 端子は、色差信号の他にも、走査線、アスペクト比、インターレース／プログレッシブの情報を送ることができます。

DD2ch
ドルビーデジタル 2ch の略です。

DLNA
デジタル家電やパソコンなどを相互接続するためのガイドラインです。ネットワーク経由で異なる機器間でデータのやり取りができ、レコーダーで録画した映像を他の部屋のテレビで見ること等ができます。

DTS
DTS 社が開発した、劇場向けデジタル音声システムのことです。音声 6ch を使って、正確な音場定位とリアルな音響効果が得られます。DTS 対応プロセッサーやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。

DVD-R DL
- 片面 2 層の DVD-R ディスクのことです。
- VR フォーマットで使用しているとき、連続で録画できる時間は 9 時間です。

G ガイド（電子番組表）
- テレビの画面に表示される番組表のことです。番組表から視聴したい番組や、予約録画したい番組を選べます。
- 番組表データを取得中は、本体表示部に「PGUIDE」と表示されます。

HDMI
High Definition Multimedia Interface の略で、ハイビジョン映像信号、マルチチャンネルオーディオ信号、双方向伝送対応のコントロール信号を 1 本のコードで接続できるデジタル AV インターフェースです。デジタル信号を圧縮せずに転送するので、高品位な画質・音質をシンプルな接続で楽しむことができます。

JPEG ファイル
静止画ファイルを圧縮する技術の 1 つです。ファイル容量を小さくできるので、デジタルスチルカメラやインターネットなどで、広く使われています。

LAN
Local Area Network（ローカル・エリア・ネットワーク）の略で、コンピューター・ネットワークの形式のひとつです。一般家庭や企業のオフィスなど、小さな規模で用いられています。

LAN 録画
LAN の接続先から録画する機能です。本機は、スカパー！プレミアムサービスからの録画または DLNA 対応の CATV デジタルセットトップボックスからの録画ができます。

PCM（Pulse Code Modulation）
アナログの音声信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD はこの方式を利用しています。

RW コンパチブル（RW COMPATIBLE）
VR フォーマットで記録された DVD-RW が再生できる機能を示しています。
この機能がある DVD プレーヤーには、RW COMPATIBLE 表示があります。

TSUTAYA TV
インターネットを利用してハイビジョンテレビや、ブルーレイレコーダーなどのデジタル家電に、HD 動画などを配信するサービスです。

VR フォーマット
DVD にデジタル放送を録画できる録画方式です。

YouTube
インターネットで動画を共有するサービスの 1 つです。

あ行

アクトビラ
インターネットを利用して、テレビやレコーダーで映画やドラマ等を視聴する、動画配信サービスです。本機では「アクトビラ ビデオ」、「アクトビラ ビデオ・フル」を楽しむことができます。

アンテナ電源設定
BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナに本機からアンテナ電源を供給するかしないかを設定します。

インターネット
本機のインターネット機能は、アクトビラの動画配信サービス「アクトビラ ビデオ」、「アクトビラ ビデオ・フル」と TSUTAYA TV、YouTube を楽しむための機能です。

エコモード
電源切のときの待機電力を抑えるための機能です。

追いかけ再生
内蔵 HDD に録画しながら、録画中の番組を再生して見ることができます。

オリジナル／プレイリスト
他機で作成したプレイリストの再生が楽しめます。（本機でプレイリストを作ることはできません。）

オリジナル

テレビ放送や外部入力などを録画した映像（タイトル）を「オリジナル」と呼びます。

プレイリスト

オリジナルのタイトルから、必要なシーンだけをコピーして再生したりできるタイトルのことを「プレイリスト」と呼びます。（本機でプレイリストを作ることはできません。）

音声出力レベル
BD ビデオや DVD ビデオディスクの再生で、ドルビーデジタル音声の平均音声を上げるかどうかを設定する機能です。

か行

かんたんメニュー
ライブ中に簡単な操作で録画、予約録画、ダビング、再生などができる機能です。音声ガイドを聴きながら操作することができます。

高速ダビング
パソコン上でのデータコピーのように、タイトル（録画した番組）を画質を劣化させることなく、そのままの画質でダビングする機能です。

コピーガード（コピー制御信号）
複製防止機能のことです。著作権者などによって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。

さ行

視聴制限（パレンタルレベル）
デジタル放送や BD ビデオ、DVD ビデオディスクの中には、視聴者の年齢に合わせて、放送やディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。そのような放送やディスクを視聴したときの規制レベルを設定することができます。

自動調整
HDD（ハードディスク）から BD･DVD ディスクへダビングするとき、1 枚のディスクに収まるようにタイトルの記録時間に合わせて録画画質を選択し、録画する機能です。

写真用フォーマット
デジタルスチルカメラから HDD（ハードディスク）に取り込んだ写真を DVD-RW にコピーするための専用フォーマットです。

初期化
BD・DVD ディスクを録画／ダビングできるようにすることです。
DVD-RW の場合、初期化には「VR フォーマット」、「ビデオフォーマット」、「写真用フォーマット」の 3 種類があります。DVD-RW/-R の初期化には「VR フォーマット」と「ビデオフォーマット」の 2 種類があります。

スカパー！プレミアムサービス
通信衛星を利用した衛星放送（CS デジタル放送）サービスです。スカパー！プレミアムサービスチューナー（または、スカパー！プレミアムサービス光チューナー）と本機を LAN ケーブルで接続することで、スカパー！プレミアムサービスをハイビジョン録画することができます。

スカパー！プレミアムサービス Link
スカパー！プレミアムサービスチューナー、または、スカパー！プレミアムサービス光チューナーと「スカパー！プレミアムサービス Link」対応機器をホームネットワーク（家庭内 LAN）に接続することによって、スカパー！プレミアムサービスのハイビジョン番組（視聴年齢制限付番組を含む）をハイビジョン画質のままで録画やネットワークダビング（ムーブ / コピー）出来ます。対応機器またはスカパー！プレミアムサービス DVR に録画した番組は他の部屋でも再生・視聴できます。
※録画、ダビング（ムーブ / コピー）、再生などの機能があり、お使いになる対応機器により、利用可能な機能が異なります。詳しくはスカパー！公式ページまたは対応機器の仕様をご確認ください。

スキップ
選局をしたときに放送のないチャンネルをとばして選局できる機能です。

双方向番組
地上デジタル放送でのサービスで放送局との双方向通信を行い、テレビ上でのショッピングや視聴者が参加できるクイズなどの番組です。

外付け HDD
本機後面の外付け HDD 用端子に USB 接続して使用できるハードディスクです。

ソフトウェアの更新（アップデート）
通常は地上デジタル放送や、BS デジタル放送の放送電波を通じてソフトウェアの更新を自動で行います。デジタル放送が受信できない場合は、シャープのホームページから USB メモリーにソフトウェアをダウンロードして更新が行えます。
また、インターネットに接続している場合は、サーバーから更新用ソフトウェアをダウンロードし更新を行うこともできます。

た行

タイムシフト
本機は放送視聴中に、タイムシフト視聴設定で設定した一定時間ぶんを自動で録画しています。これにより、後から放送をさかのぼって視聴することができます。

ダウンロードサービス
地上デジタル放送および BS デジタル放送の電波を通して本機の性能を向上させるソフトウェア更新サービスを行うことができます。このサービスをダウンロードサービスといいます。ダウンロードを行うことでデジタル放送の新しいサービスに対応することも可能になります。

ダビング 10
- 「ダビング 10」の番組は、本機に録画したあと BD や DVD へ 10 回までのダビングが可能です。ただし、10 回目は移動（ムーブ）となり、ダビングするとハードディスクから番組が消去されます。
- すべてのデジタル放送が「ダビング 10」に対応しているわけではありません。「1 回だけ録画可能」の番組は 1 回のみの移動（ムーブ）となります。

地デジ難視対策放送
電波状況が悪く、地上デジタル放送が受信できない地域への受信対策として、衛星を利用した再送信サービスです。一般の地域ではご利用できないサービス放送です。

チャプター
ディスクのタイトル中にある章をチャプターといいます。

つづき再生
ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機が記憶し、停止した位置から続けて再生することができる機能です。

デジタル放送の種類
デジタル放送は、ハイビジョン放送（1080i）と標準放送（480i）の 2 つの放送があります。
- HD 放送……ハイビジョン放送のことです。
- SD 放送……標準スタンダード放送のことです。

電子番組表（G ガイド）
- テレビの画面に表示される番組表のことです。番組表から視聴したい番組や、予約録画したい番組を選べます。
- 番組表データを取得中は、本体表示部に「PGU IDE」と表示されます。

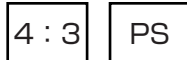
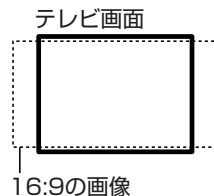
同時録画再生
録画しながら、録画済みの番組を再生して見ることができる機能です。

独立データ放送
テレビ放送とは別に送られてくるサービスで、ニュースや天気予報、株価などの情報を見ることができます。

ドルビーデジタルプラス
ドルビーデジタルと比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。HDMI ケーブルを使ってドルビーデジタルプラス対応の AV アンプやサラウンド機器と接続することで、最大 7.1ch のサラウンド音声が楽しめます。

ドルビー TrueHD
ドルビーデジタルプラスと比べてより高音質で多チャンネルに対応した、新しい音声圧縮技術です。原音と同じ音質で音声を再生できます。HDMI ケーブルを使ってドルビー TrueHD 対応の AV アンプやサラウンド機器と接続することで、最大 7.1ch のサラウンド音声が楽しめます。

は行

パンスキャン
4：3　PS

4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし 4：3 のサイズにする機能です。

ビットストリーム
圧縮されたデジタル信号のことです。このデジタル信号をそのまま出力することをビットストリーム出力といいます。ビットストリーム出力した音声信号を再生するためには、ドルビー TrueHD や DTS-HD などに対応したオーディオ機器と HDMI ケーブルを使って接続することが必要です。

ビデオフォーマット
市販の DVD プレーヤーで再生できる録画方式です。市販の DVD プレーヤーなどで再生するには、ファイナライズという処理が必要です。

ファイナライズ
DVD-RW/-R を他の機器でも再生できるようにすることです。DVD の場合、DVD-RW や DVD-R に対応した他の DVD プレーヤーで、本機でダビングしたディスク（ビデオフォーマット）を再生できるようになります。（全ての DVD プレーヤーでの再生を保証するものではありません。）
DVD-RW（VR フォーマット）のディスクを再生できる DVD プレーヤーは RW COMPATIBLE 表示の付いた DVD プレーヤーです。

ファミリンク機能
ファミリンク機能とは、HDMI CEC（**C**onsumer **E**lectronics **C**ontrol）を使用し、HDMI で規格化されているテレビや DVD レコーダー、AV アンプを制御するためのコントロール機能です。テレビのリモコンでレコーダーを再生したり、録画、予約録画などが行えます。

ファミリンク予約
テレビを見ながら、テレビの電子番組表で本機へ予約録画できる機能です。予約した番組を本機の内蔵 HDD へ予約録画できます。

フォトシステム
デジタルスチルカメラの写真をハードディスクに保存してテレビで見ることができる機能です。

プログレッシブ（順次走査）方式
映像の 1 フレーム（コマ）を 2 つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対し、1 フレームを 1 つの画像で表示する方法です。従来のインターレース方式が 1 秒を 30 フレーム（60 フィールド）で構成するのに対し、初めから 1 秒を 60 フレームで構成することで高品質な画像を再現できます。

ブロックノイズリダクション
低い録画画質で録画した番組の再生時、動きの速い部分で生じるブロック状のノイズを軽減します。

プロバイダ
一般にはインターネットサービスプロバイダ（ISP、インターネット接続業者）のことをいいます。電話回線などを使って顧客のコンピューターをインターネットに接続するほか、メール利用などのサービスを行うことがあります。

ホームネットワーク
それぞれの機器からインターネットに接続できるようにするために「LAN」で各機器をネットワーク接続することです。本機で録画した映像を他の部屋のテレビで視聴することや、スカパー！プレミアムサービスチューナー、DLNA 対応の CATV デジタルセットトップボックスから本機で録画することができます。

ま行

マルチアングル
BD・DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめる機能です。（マルチアングル記録のディスクで楽しめる機能です。）

マルチ音声
デジタル放送や BD・DVD ビデオディスクの特長の一つで、同じ画像に対して異なる音声をいくつも記録し、音声を切り換えて楽しめる機能です。

マルチビューサービス放送
地上デジタルや BS デジタルの標準テレビ信号を利用した放送です。最大 3 つの映像を同じチャンネルで楽しめます。対応した信号を放送局側が送信する必要があります。

見どころ画面
1 タイトルを 28 等分して静止画表示して、見たいシーンを選んでそこから再生させる機能です。

見どころポップアップサーチ
録画リストや、再生中のタイトルの見どころ一覧を表示します。見たいシーンから再生することができます。

モスキートノイズリダクション
画像の輪郭部分等で生じるチラツキを軽減します。

や行

ゆっくり再生
再生中に音声が聴きとりにくいときに、ゆっくりしたテンポで聴くことができる機能です。

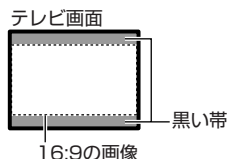
ら行

リージョンコード（再生可能地域番号）
BD ビデオや DVD ビデオは、各国に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョンコードといいます。
本機では、BD ビデオはリージョンコード「A」、DVD ビデオはリージョンコード「2」または「ALL」のソフトが再生できます。

リセット操作
操作の途中で画面が止まり、操作ボタンを受けつけない場合や、電源が切れない場合に本体のリセットボタンを押し、システムをリセットしたときは自動で電源が切れ、システムをリセットすることができます。

リニア PCM 音声
BD・DVD・音楽用 CD に用いられている信号記録方式です。

リモコン番号
本機を操作するためのリモコンの信号の種類です。リモコン番号は、「リモコン番号 1」「リモコン番号 2」「リモコン番号 3」の 3 種類があります。

レターボックス
4：3 のテレビと本機を接続しワイド（16：9）記録のディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。

録画画質
録画するときの画質を設定することができます。
ビデオテープの標準（SP）/3 倍（EP）と同じように、本機の HDD（ハードディスク）または BD に録画するときは以下の録画画質を設定できます。
- DR……デジタル放送をそのままの画質で HDD（ハードディスク）に予約・録画したいときに設定する録画画質です。BD に放送画質のままダビングしたいときも、DR に設定して録画します。
- **2 倍、3 倍**……圧縮したハイビジョン画質で、デジタル放送を長い時間録画できる録画設定です。
- **5 倍、7 倍、10 倍、12 倍**……圧縮したハイビジョン画質で、デジタル放送をより長時間録画できる録画設定です。
- **HD ○○**……圧縮したハイビジョン画質を 10 段階の中から選択できるマニュアル設定です。
- SXP……高画質で録画したいときに設定する録画画質です。ハイビジョン画質ではありません。DVD ディスクでは設定できません。
- XP……高画質で録画したいときに設定する録画画質です。ハイビジョン画質ではありません。片面一層の DVD ディスクの場合、1 時間録画できます。
- SP……標準の画質です。片面一層の DVD ディスクの場合、2 時間録画できます。
- LP……標準の 2 倍長い時間録画できる録画設定です。

録画画質変換ダビング
ダビングする際に、録画画質を変更してダビングする機能です。
（ダビング元の映像より高画質になることはありません。）

録画（記録）フォーマット（方式）
DVD に記録する場合は、VR フォーマットとビデオフォーマットの 2 つの録画フォーマット（方式）があります。（それに加えて、本機の場合、DVD-RW に写真をコピーするための写真用フォーマットがあります。）録画する前に使用目的に合わせてあらかじめ初期化する必要があります。
- **VR フォーマット**……HDD（ハードディスク）に録画したデジタル放送の番組を DVD にダビングするときに使う記録方式です。
- **ビデオフォーマット**……本機でダビングした DVD ディスクを他の DVD プレーヤーで再生することができる互換性に優れた記録方式です（ファイナライズ処理が必要です）。デジタル放送のダビングはできません。
- **写真用フォーマット**……HDD（ハードディスク）に取り込んだ写真データを DVD-RW にコピーし保存するための専用フォーマットです。
  写真用フォーマットのディスクは、本機では再生できません。DVD の内容を内蔵 HDD（ハードディスク）にコピーし、HDD から再生することができます。パソコンで再生するときは、DVD のファイナライズを行ってください。

録画リスト
録画した番組が一覧で確認できるリスト画面です。録画リストは、画面リストとタイトル名リストが選択できます。

画面に表示されるマーク

番組表に表示されるマーク（⇒番組表については 38 ページ）

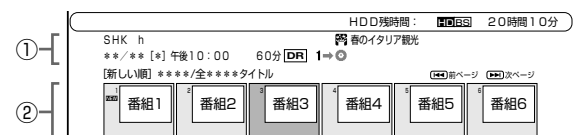
①番組の情報と録画予約の情報を示すマーク

マーク	説明
H	内蔵 HDD に録画予約している番組
	外付け HDD に録画予約している番組
B	BD（ブルーレイディスク）に録画予約している番組
	予約情報書き込み専用ディスクでの予約（マイディスク予約）
¥	有料放送／契約が必要な番組
	録画できない番組
C	コピーに制限がある番組（→ 18 ページ） ・1 回だけ録画可能な番組 ・ダビング 10 の番組
A	登録した条件で自動録画される番組
ジ	ジャンルで自動録画される番組

②ジャンルを示すマーク（ジャンルアイコン）

マーク	ジャンル	マーク	ジャンル
	ニュース／報道		アニメ／特撮
	スポーツ		ドキュメンタリー／教養
	情報／ワイドショー		劇場／公演
	ドラマ		趣味／教育
	音楽		福祉
	バラエティー	—	その他
	映画		

③予約リストのマーク（242 ページ参照）

録画リストまたは写真リストに表示されるマーク（⇒録画リストについては 69 ページ）

①選択しているタイトル情報

マーク	説明
	「タイトル保護」が設定されているタイトル（録画した番組）。予約録画時に詳細設定で「消さないで」を設定して録画した番組。
	「重ね録り番組」として録画された番組。（内蔵 HDD ／外付け HDD）
10→	「ダビング 10」の番組。数字「10」はダビングできる回数を示しています。ダビングするたびに数が減ります。（内蔵 HDD ／外付け HDD）
1→	「1 回だけ録画可能」な番組、または「ダビング 10」の番組で 9 回ダビングした番組。ダビングすると移動（ムーブ）になり、HDD からデータがなくなります。（内蔵 HDD ／外付け HDD）
1	HDD（ハードディスク）に録画したタイトルがグループ設定されているときに、1～20が表示されます。（内蔵 HDD）
	携帯電話用動画を同時録画したタイトル。（内蔵 HDD）

② タイトルの最初の画面情報など

マーク	説明
NEW	まだ再生していないタイトル（録画した番組）。BD/DVD は、ディスクを取り出すと表示されません。
チャプター	画面リストに表示されているのがチャプター（章）であることを示します。（HDD、BD のみ）
	動画アルバムリストを表示していることを示します。
AUTO	登録した条件で自動録画されたタイトル。
ジャンル	ジャンルで自動録画されたタイトル。

・写真リストのマーク（⇒写真リストについては 128 ページ）

マーク	説明
NEW	まだ再生していない写真。
	写真保護が設定されている写真。
	選択消去で選択した写真。
	CD/DVD への書き込みを選択した写真。
	グループ作成で選択された写真。
	グループ化された写真。

予約リストに表示されるマーク（⇒予約リストについては 64 ページ）

①		コピーに制限がある番組の予約 ・ダビング 10 または 1 回だけ録画可能な番組
		予約録画の詳細設定で保存設定の「消さないで」を設定した予約
		予約録画の詳細設定で保存設定の「重ね録り」を設定した予約
	d	連動データ放送を同時に録画する予約
	1	予約録画の詳細設定で「グループ設定」した予約。1〜20 が表示されます。
② 録画先	HDD	内蔵 HDD への録画予約
	BD	BD への録画予約
	外付け HDD	外付け HDD への録画予約
		マイディスク予約専用ディスク

③※ 予約実行可能表示	○	録画可能な予約
	×	HDD（ハードディスク）または BD の残時間の不足または記録できるタイトル数の制限を超えているため録画が実行できない予約
	休	休止状態になっている予約
	⊘	予約実行されなかったマイディスク予約
	❶	「録画 1」での録画中
	❷	「録画 2」での録画中

※「毎日予約」「毎週予約」の場合は、次回の予約録画が実行可能かどうかを表示します。

視聴設定画面に表示されるマーク（⇒視聴設定については 87 ページ）

①	T	タイトル（トラック）番号
②	C	チャプター番号
③		再生経過時間
④		字幕言語
⑤		アングル番号

⑥		音声種類
⑦		デジタルスーパーピクチャー設定
⑧		リピート再生設定

さくいん

英数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行